

箕 面 市

保健福祉および介護保険に関するアンケート調査

報 告 書

令和2年3月

箕 面 市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 調査結果.....	1
4. 報告書の見方.....	2
II 調査結果	3
1. 回答者と家族について.....	3
2. からだを動かすことについて.....	14
3. 食べることについて.....	29
4. 毎日の生活について.....	36
5. 地域での活動について.....	48
6. たすけあいについて.....	59
7. 健康について.....	67
8. 認知症や成年後見制度について.....	83
9. 運動や介護予防について.....	88
10. 介護保険サービスの利用状況について.....	100
11. 今後の生活について.....	102
12. 介護保険料について.....	108
13. 高齢者施策全体について.....	110
III 調査結果のまとめと課題	113
資料（調査票）	121
1. 第2号被保険者調査票.....	121
2. 第1号被保険者調査票.....	128
3. 要介護認定者調査票.....	136

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は令和3年度から令和5年度までの「箕面市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉施策を検討するために、市内在住の高齢者等を対象に、介護保険制度や介護予防施策の周知状況、今後の生活に関する考えなどの意識・実態を調査し、計画策定における基礎的な資料を得ることを目的に実施しました。

2. 調査設計

(1) 調査対象

調査の種類	調査対象
①第2号被保険者調査	市内在住で要支援・要介護認定を受けていない40歳以上65歳未満の方、500人 令和2年1月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
②第1号被保険者調査	市内在住で要介護認定を受けていない65歳以上の方、700人 令和2年1月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
③要介護認定者調査	市内在住で要介護認定を受けている65歳以上の方、100人 令和2年1月1日現在の要介護認定データから無作為抽出

(2) 調査期間

令和2年1月30日(水)～令和2年2月13日(木)

(3) 調査方法

郵送による配付及び回収

3 調査結果

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
①第2号被保険者調査	500件	300件	60.0%
②第1号被保険者調査	700件	546件	78.0%
③要介護認定者調査	100件	68件	68.0%

4. 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入しました。（比率の合計が100.0%にならない場合があります。）
- ② 図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味です。
 - ・MA%（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・3LA%（3 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢を簡略化している場合があります。
- ④ 本報告書のタイトルや分析文における【第2号】【第1号（全体）】【第1号（自立）】【第1号（総合事業対象者）】【第1号（要支援）】【要介護】については、以下のとおりです。

【第2号】：第2号被保険者調査
【第1号（全体）】：第1号被保険者調査
【第1号（自立）】：第1号被保険者調査の未認定者抜粋
【第1号（総合事業対象者）】：第1号被保険者調査の総合事業対象者抜粋
【第1号（要支援）】：第1号被保険者調査の要支援認定者抜粋
【要介護】：要介護認定者調査

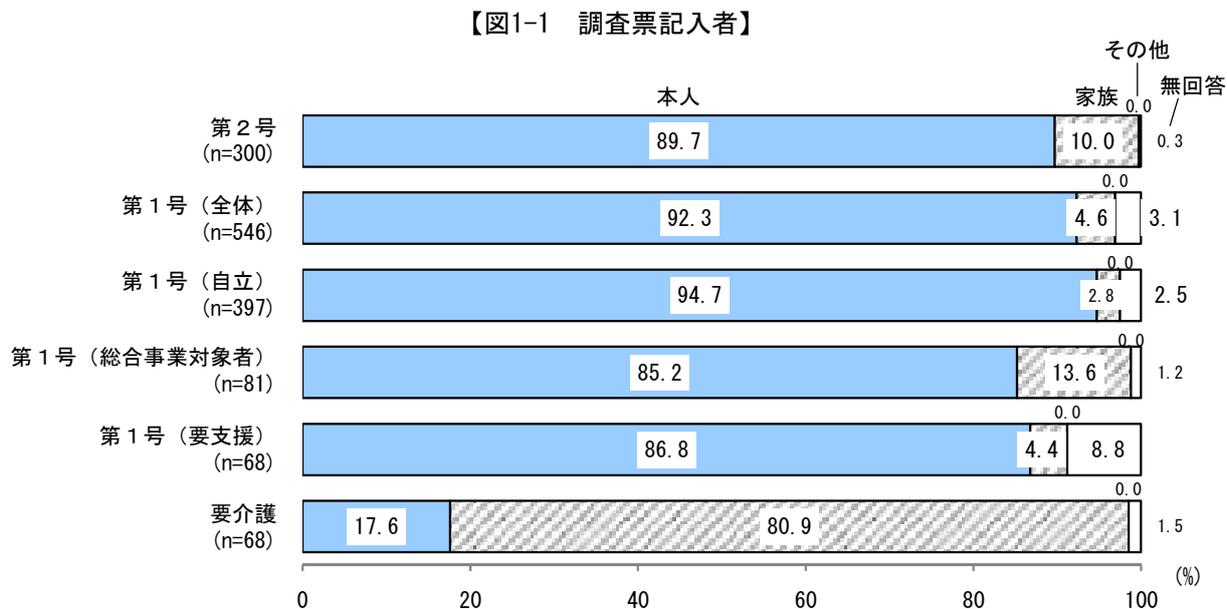
- ⑤ 調査結果の質問文の問番号については、第1号被保険者調査の問番号を示しており、第2号被保険者調査及び要介護認定者調査のみの問に関しては、それぞれの調査の問番号を示しています。
- ⑥ クロス集計では、母数が少ない項目に関しては、分析文を省略しています。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者と家族について

(1) 調査票記入者

問1 (1) この調査に回答されるかたはどなたですか (○は1つ)

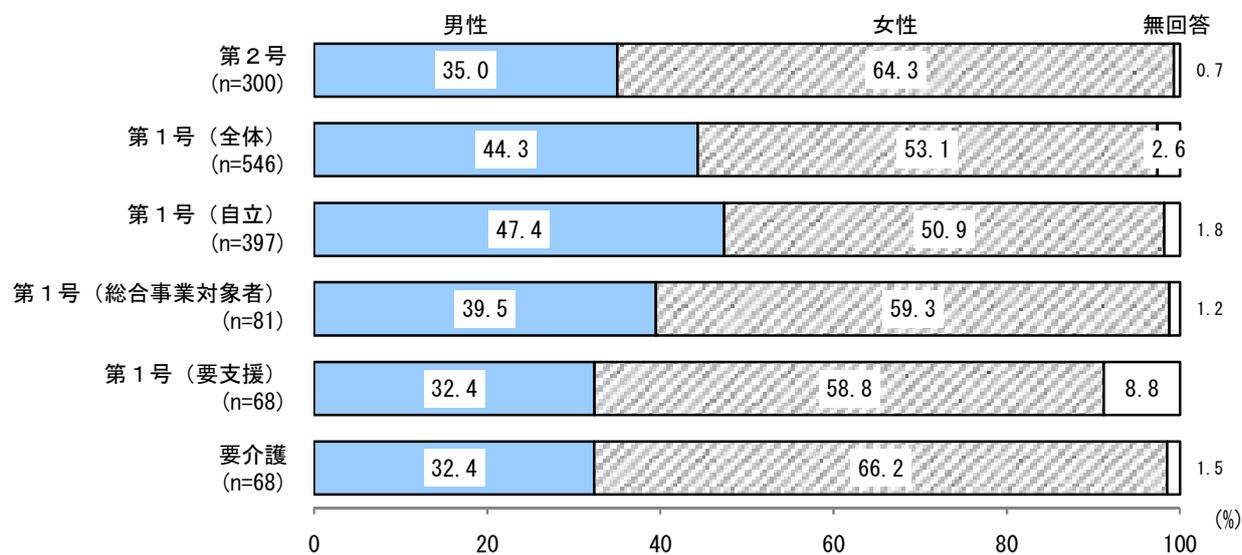


調査票記入者は、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】、【第1号 (要支援)】では「本人」が最も多くなっていますが、【要介護】では「家族」が80.9%で最も多く、「本人」は17.6%となっています。(図1-1)

(2) 性別

問2 (1) あなたの性別を教えてください (○は1つ)

【図1-2 性別】

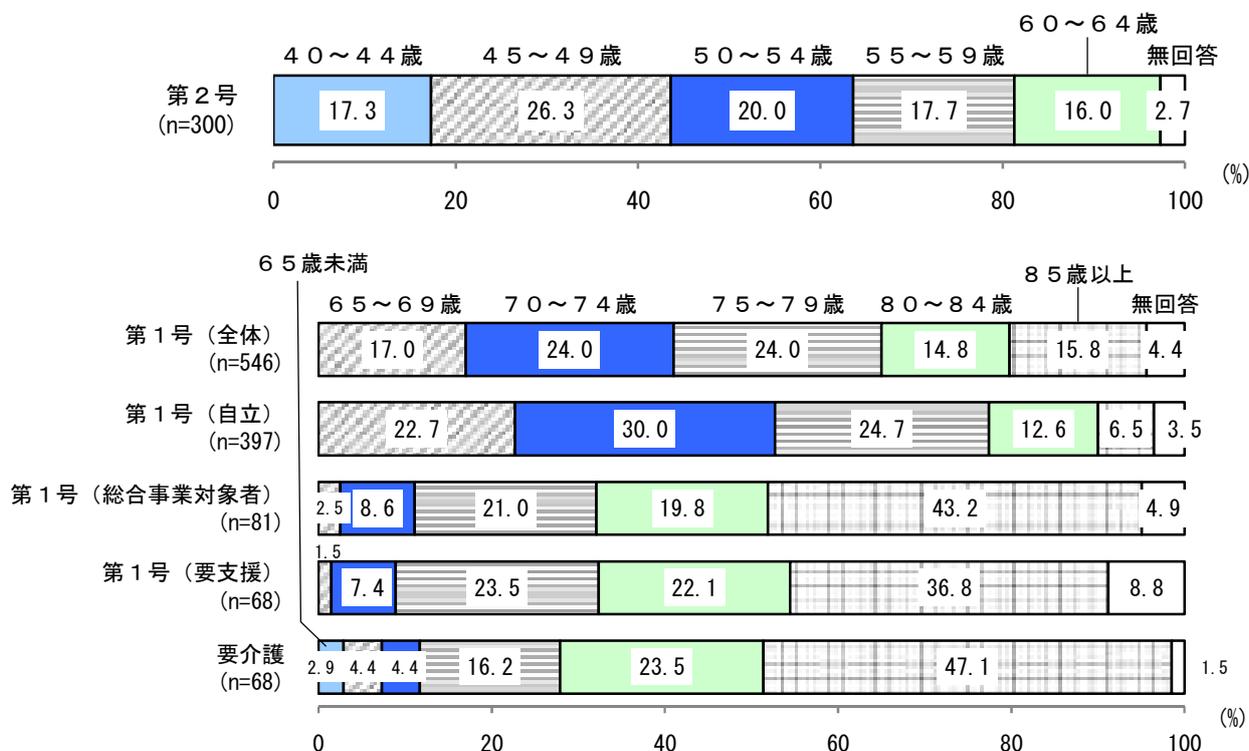


性別については、すべての区分で「女性」のほうが多く、【要介護】が66.2%で最も高い割合となっています。(図1-2)

(3) 年齢

問2(2) あなたは、令和2年(2020年)1月1日現在で何歳ですか。数字で記入してください

【図1-3 年齢】

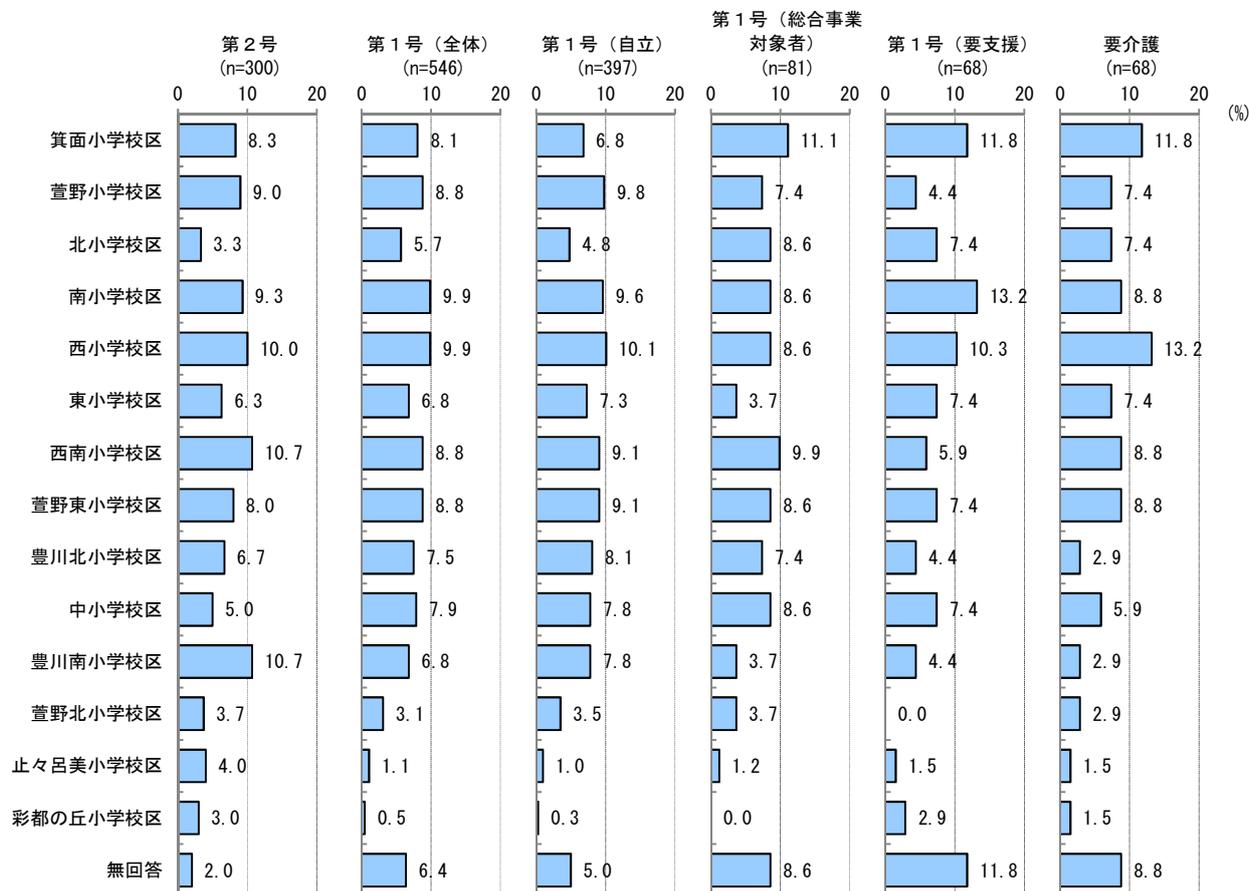


年齢については、【第2号】は「45~49歳」が26.3%で最も多く、次いで「50~54歳」が20.0%となっています。【第1号(自立)】は「70~74歳」が30.0%で最も多く、次いで「75~79歳」が24.7%となっています。【第1号(総合事業対象者)】と【第1号(要支援)】、【要介護】は「85歳以上」(総合43.2%、要支援36.8%、要介護47.1%)が最も多くなっています。(図1-3)

(4) 居住小学校区

問2 (3) あなたのお住まいの小学校区はどこですか (〇は1つ)

【図1-4 居住小学校区】

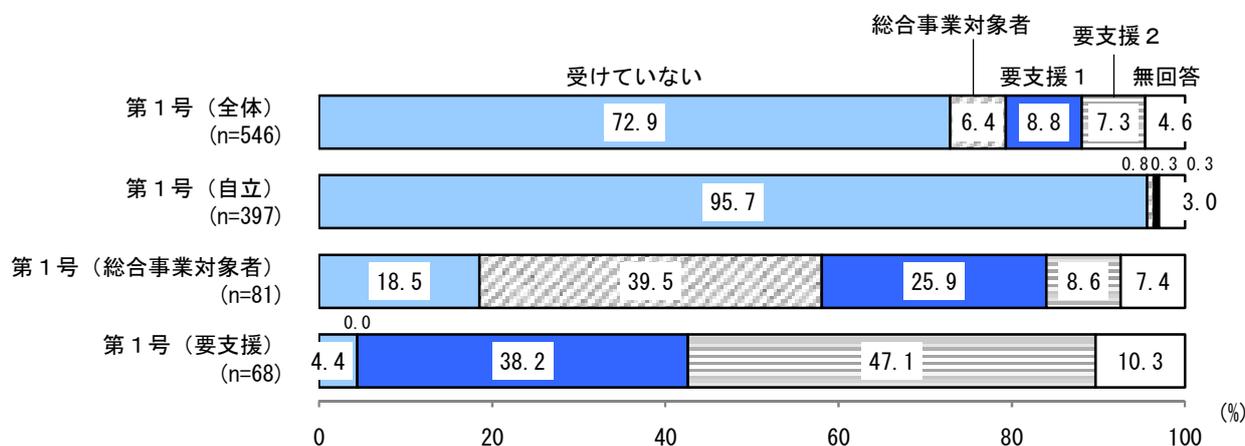


居住小学校区については、【第2号】は「西南小学校区」、「豊川南小学校区」がそれぞれ10.7%で最も多く、次いで「西小学校区」が10.0%となっています。【第1号 (自立)】は「西小学校区」が10.1%で最も多く、次いで「萱野小学校区」が9.8%となっています。【第1号 (総合事業対象者)】は「箕面小学校区」が11.1%で最も多く、次いで「西南小学校区」が9.9%、【第1号 (要支援)】は「南小学校区」が13.2%で最も多く、次いで「箕面小学校区」が11.8%となっています。【要介護】は「西小学校区」が13.2%で最も多く、次いで「箕面小学校区」が11.8%となっています。(図1-4)

(5) 要支援認定状況

問2(4) あなたは要支援認定などを受けていますか。または総合事業の対象者ですか(○は1つ)

【図1-5 要支援認定状況】

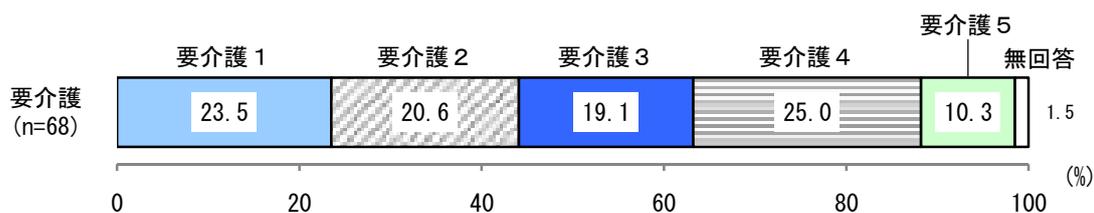


要支援認定状況については、【第1号(全体)】は「受けていない」が72.9%で最も多く、次いで「要支援1」が8.8%、「要支援2」が7.3%、「総合事業対象者」が6.4%となっています。(図1-5)

(6) 要介護度

問2(4) あなたの要介護度はどれですか。(○は1つ)

【図1-6 要介護度】

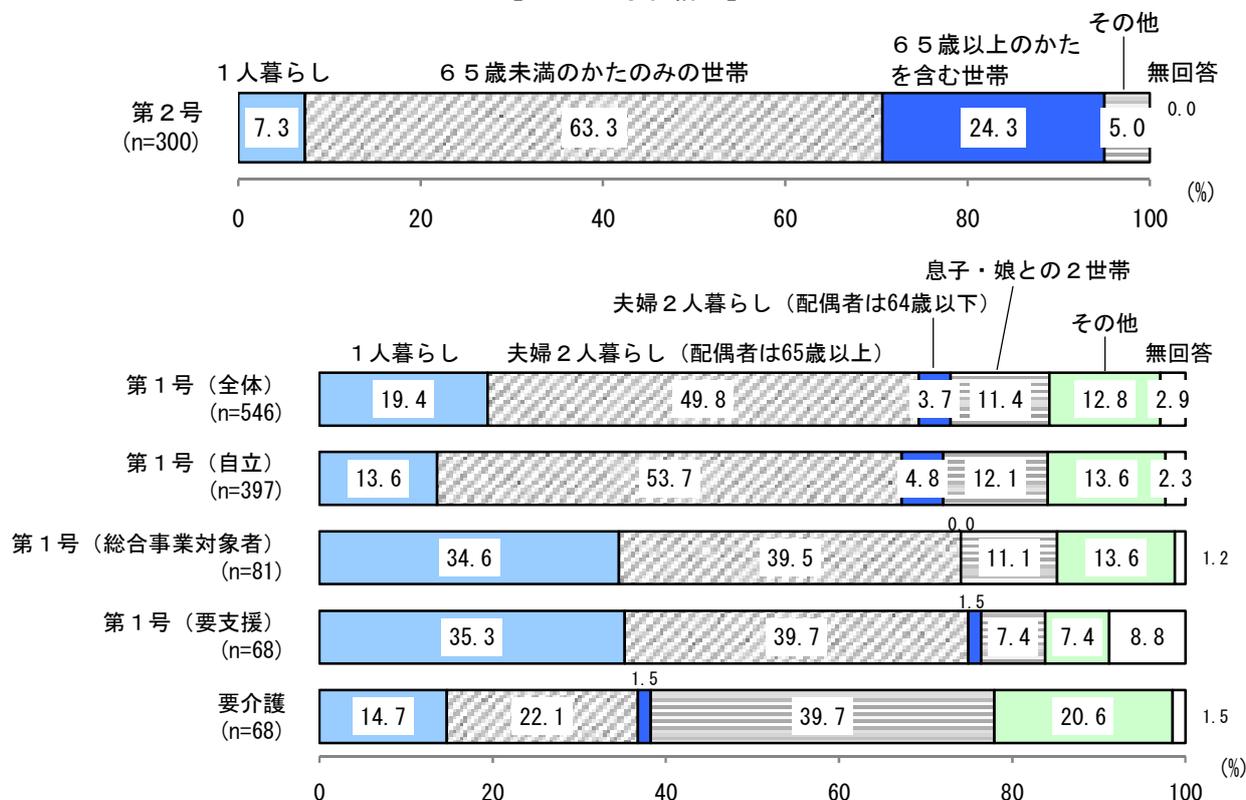


【要介護】の要介護度については、「要介護4」が25.0%で最も多く、次いで「要介護1」が23.5%、「要介護2」が20.6%となっています。(図1-6)

(7) 家族構成

問3 (1) 家族構成を教えてください (〇は1つ)

【図1-7 家族構成】



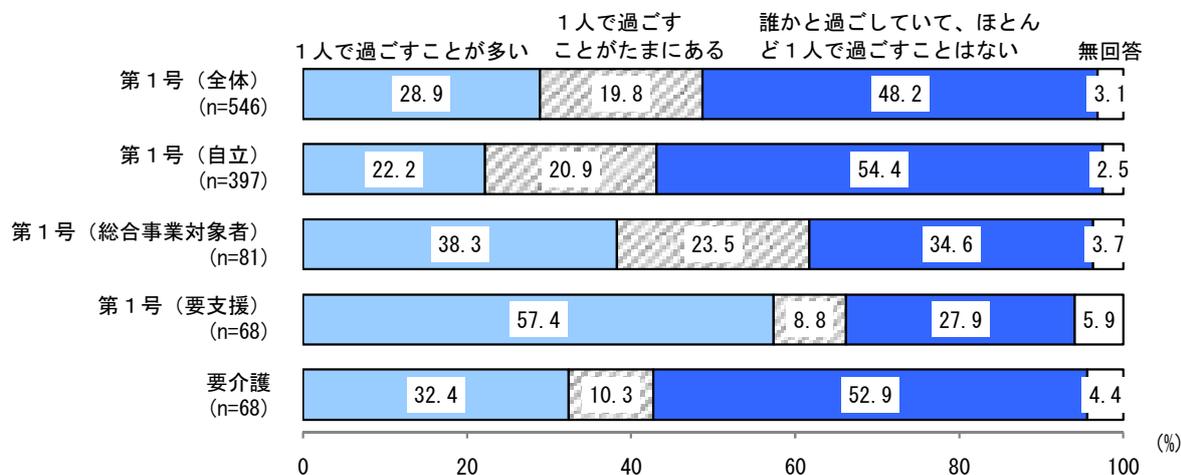
家族構成については、【第2号】は「65歳未満のかたのみの世帯」が63.3%で最も多く、次いで「65歳以上のかたを含む世帯」が24.3%、「1人暮らし」が7.3%となっています。

【第1号 (自立)】は「夫婦2人暮らし (配偶者は65歳以上)」が53.7%で最も多く、次いで「1人暮らし」が13.6%、「息子・娘との2世帯」が12.1%となっています。【第1号 (総合事業対象者)】と【第1号 (要支援)】では「1人暮らし」の割合が3割台と高いですが、いずれも「夫婦2人暮らし (配偶者は65歳以上)」が最も多くなっています。【要介護】は「息子・娘との2世帯」が39.7%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし (配偶者は65歳以上)」が22.1%、「1人暮らし」が14.7%となっています。(図1-7)

(8) 日中の過ごし方

問3 (2) あなたは日中、どのように過ごしていますか (○は1つ)

【図1-8 日中の過ごし方】

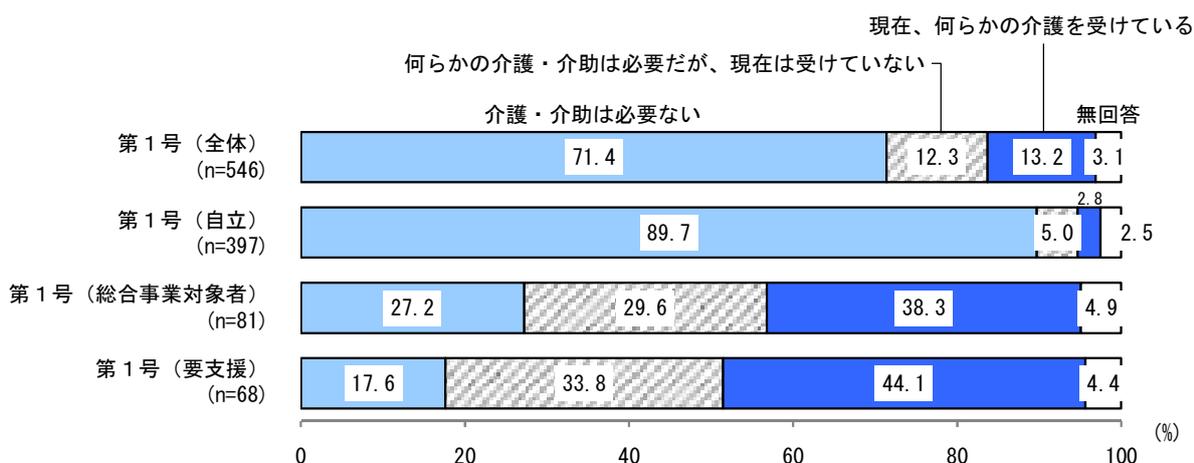


日中の過ごし方については、【第1号 (自立)】と【要介護】は「誰かと過ごしていて、ほとんど1人で過ごすことはない」(自立54.4%、要介護52.9%)が最も多くなっています。「1人で過ごすことが多い」の割合は【第1号 (要支援)】(57.4%)で最も高く、「1人で過ごすことがたまにある」は【第1号 (総合事業対象者)】(23.5%)で最も高くなっています。(図1-8)

(9) 介護・介助の必要性

問3 (3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

【図1-9 介護・介助の必要性】



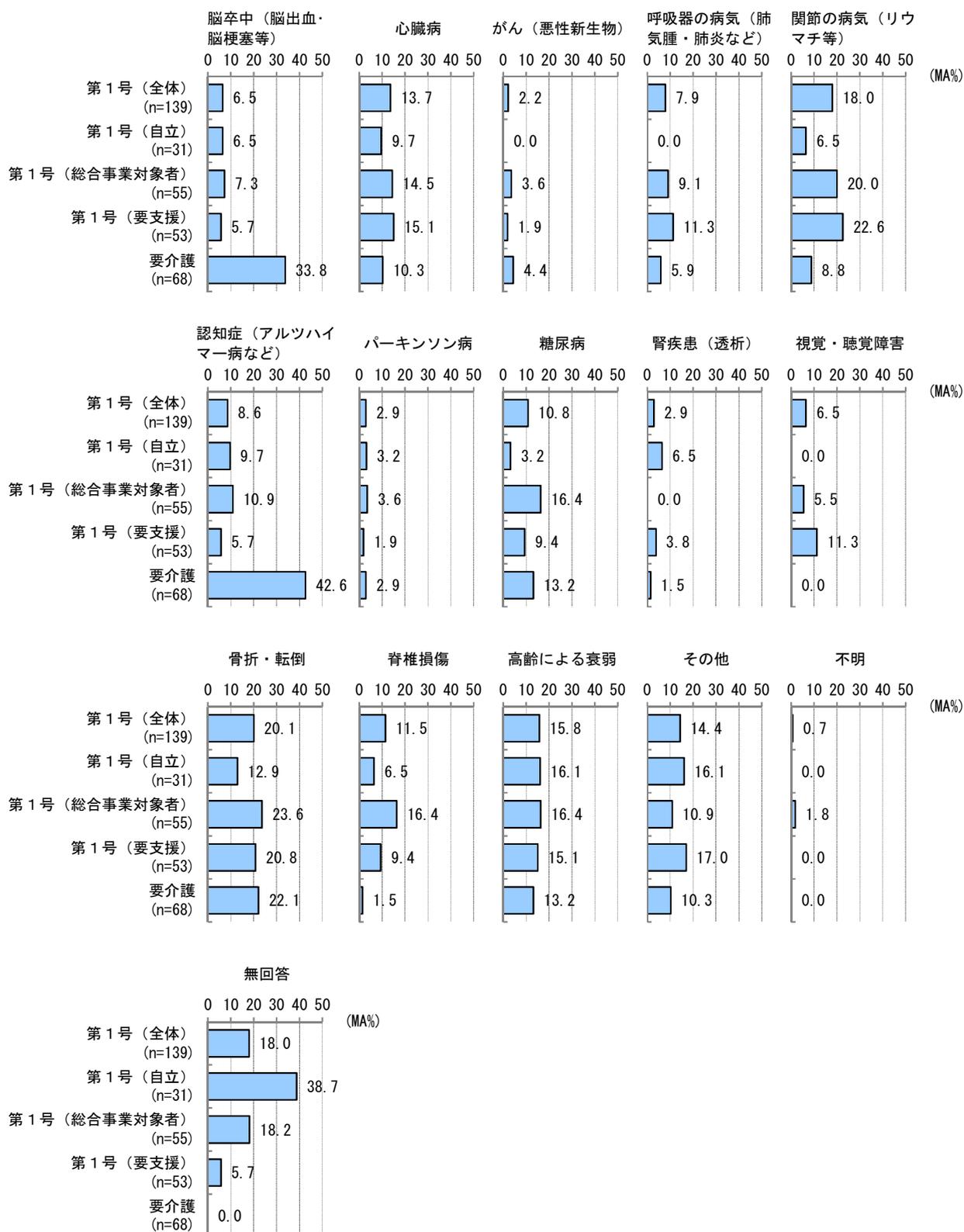
介護・介助の必要性については、【第1号 (自立)】は「介護・介助は必要ない」が89.7%で最も多くなっています。「介護・介助は必要ない」の割合は【第1号 (自立)】で最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」はともに【第1号 (要支援)】で最も高くなっています。(図1-9)

(10) 介護・介助が必要になった主な原因

【問3 (3) において「1. 介護・介助は必要ない」以外のかたのみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (〇はいくつでも)

【図1-10 介護・介助が必要になった主な原因】



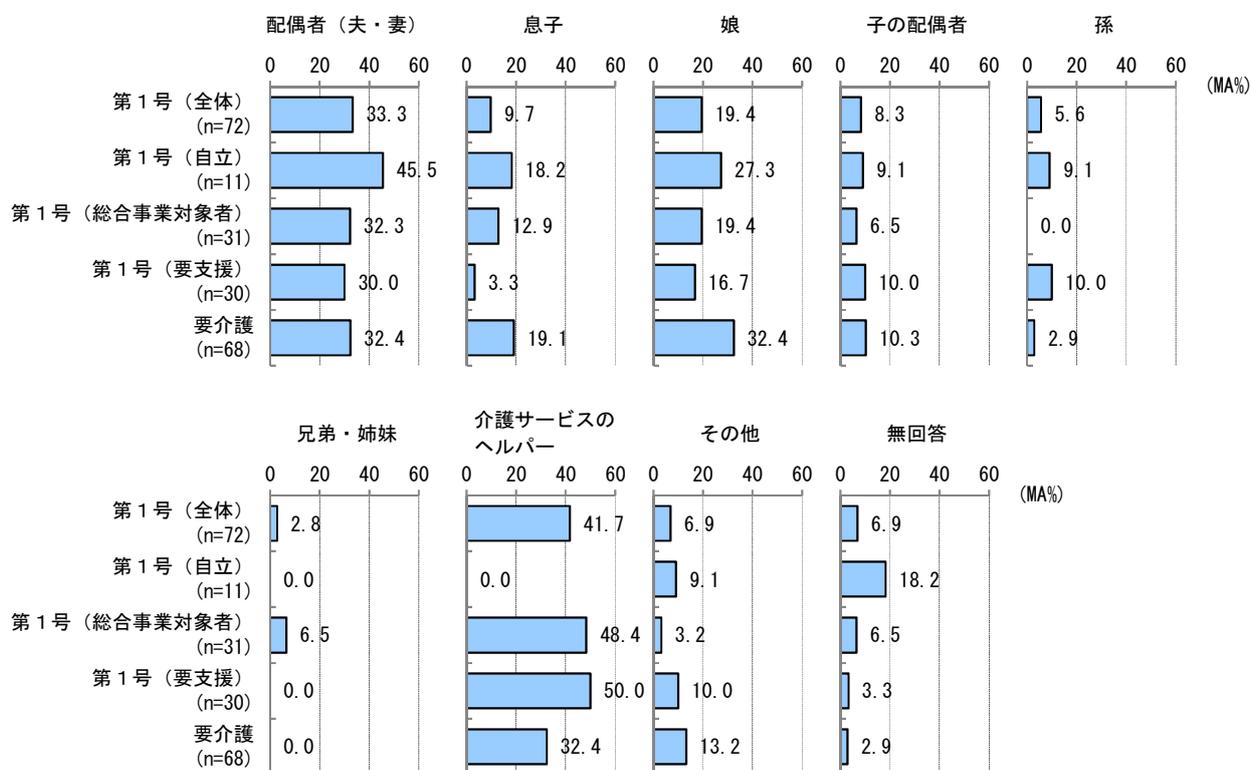
介護・介助が必要と回答した人に、介護・介助が必要になった主な原因についてたずねると、【第1号（自立）】は「高齢による衰弱」が16.1%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が12.9%となっています。【第1号（総合事業対象者）】は「骨折・転倒」（23.6%）、【第1号（要支援）】は「関節の病気（リウマチ等）」（22.6%）が最も多くなっています。【要介護】は、「認知症（アルツハイマー病など）」が42.6%で最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が33.8%となっています。（図1-10）

(11) 主な介護者・介助者

【問3（3）において「3. 現在、何らかの介護を受けている」のかたのみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（〇はいくつでも）

【図1-11 主な介護者・介助者】

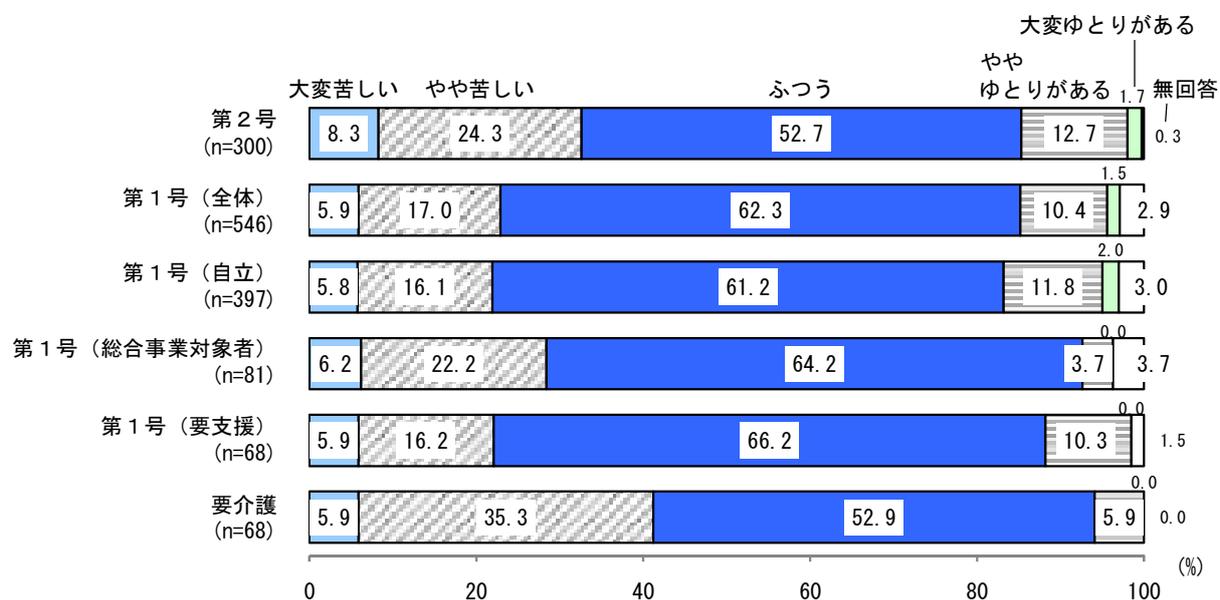


何らかの介護を受けていると回答した人に、主な介護者・介護者についてたずねると、母数が少ないため一概には言えませんが、【第1号（自立）】は「配偶者（夫・妻）」が45.5%で最も多く、次いで「娘」が27.3%となっています。【第1号（総合事業対象者）】と【第1号（要支援）】では「介護サービスのヘルパー」（総合48.4%、要支援50.0%）が最も多くなっています。【要介護】は「配偶者（夫・妻）」、「娘」、「介護サービスのヘルパー」がそれぞれ32.4%で最も多くなっています。（図1-11）

(12) 経済状況

問3 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

【図1-12 経済状況】



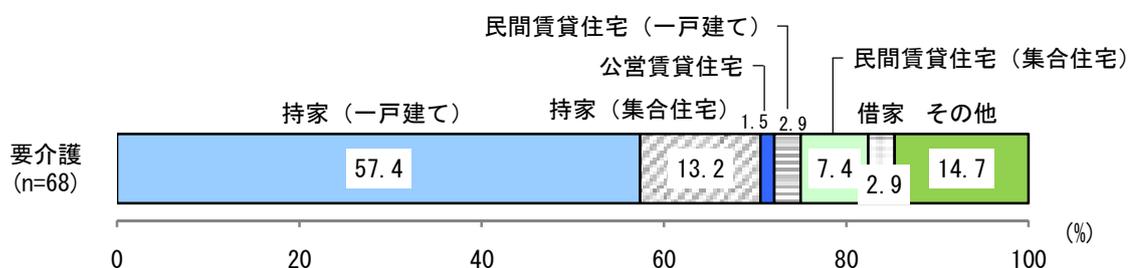
経済状況については、いずれの区分も「ふつう」が最も多く、【第1号 (要支援)】(66.2%)の割合が最も高くなっています。

「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた『苦しい』は【要介護】が41.2%で最も高く、次いで【第2号】(32.6%)、【第1号 (総合事業対象者)】(28.4%)となっています。(図1-12)

(13) 居住形態

問3 (6) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)

【図1-13 居住形態】



【要介護】の居住形態は、「持家 (一戸建て)」が57.4%で最も多く、次いで「持家 (集合住宅)」が13.2%、「民間賃貸住宅 (集合住宅)」が7.4%となっています。(図1-13)

2. からだを動かすことについて

(1) 運動器の機能低下リスク

① 設問と評価

介護予防・日常生活支援総合事業の対象者選定のための基本チェックリスト※¹では、下の5つの設問に対する回答から、高齢者の運動機能に関してリスク判定をしています。

具体的には、今回の第1号被保険者調査の調査票に含まれる以下の設問5問中3問以上に該当した場合に運動器の機能低下の「リスクあり」に該当します。

※1 基本チェックリストは、65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない方を対象にした、介護予防の必要性をチェックするための質問票のことです。介護の原因となりやすい生活機能低下の危険性がないかどうかという視点で、運動、栄養、口腔、物忘れ、うつ病、閉じこもり等の全25項目について、「はい」、「いいえ」等で記入します。

表 運動器に関する設問（基本チェックリスト）【第1号】

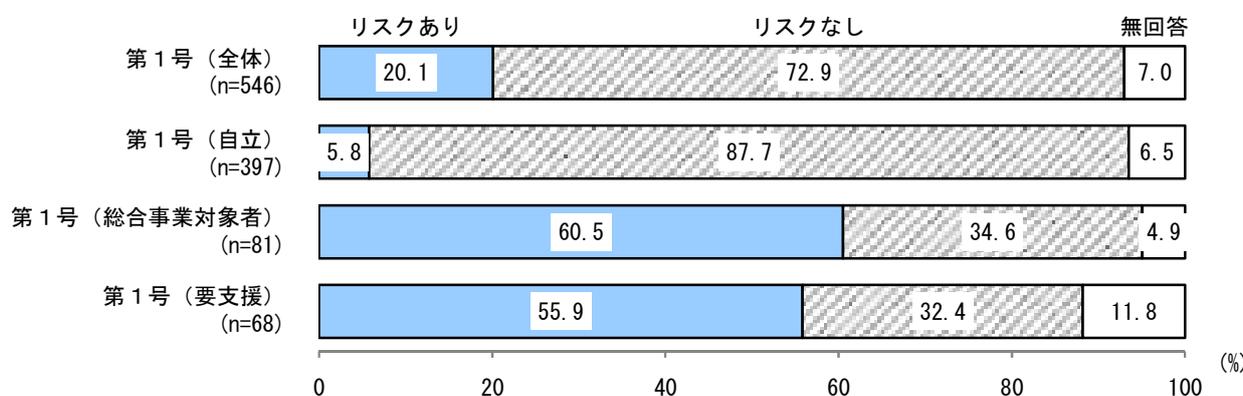
問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
問4(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
問4(3)	15分位続けて歩いていますか	「できない」
問4(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」「一度ある」
問4(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」「やや不安である」

② 評価結果

評価結果をみると、運動器の機能低下の「リスクあり」に該当する人の割合は【第1号(全体)】で20.1%となっています。

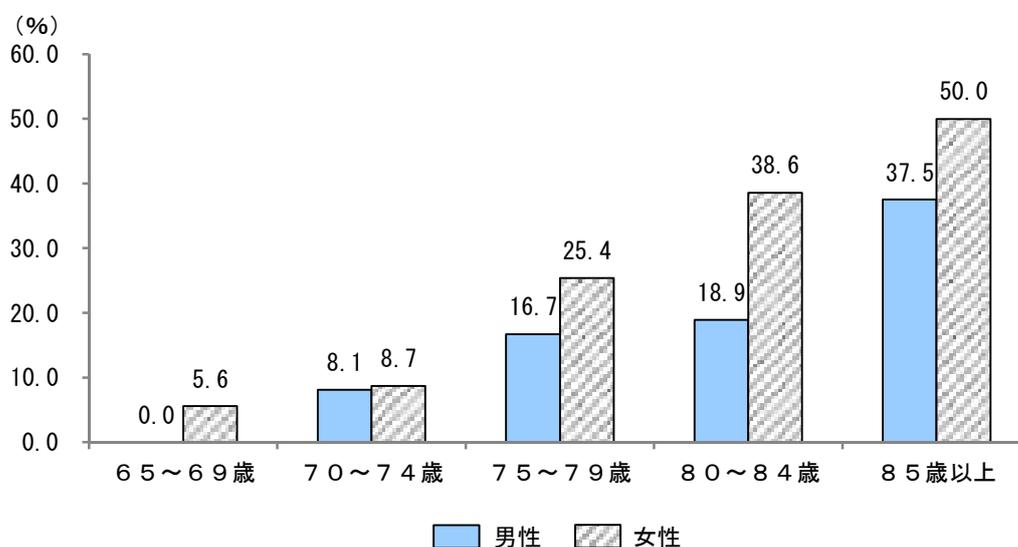
「リスクあり」の割合は、【第1号(総合事業対象者)】(60.5%)で最も高く、次いで【第1号(要支援)】(55.9%)となっています。(図2-1)

【図2-1 運動器の機能低下リスク】



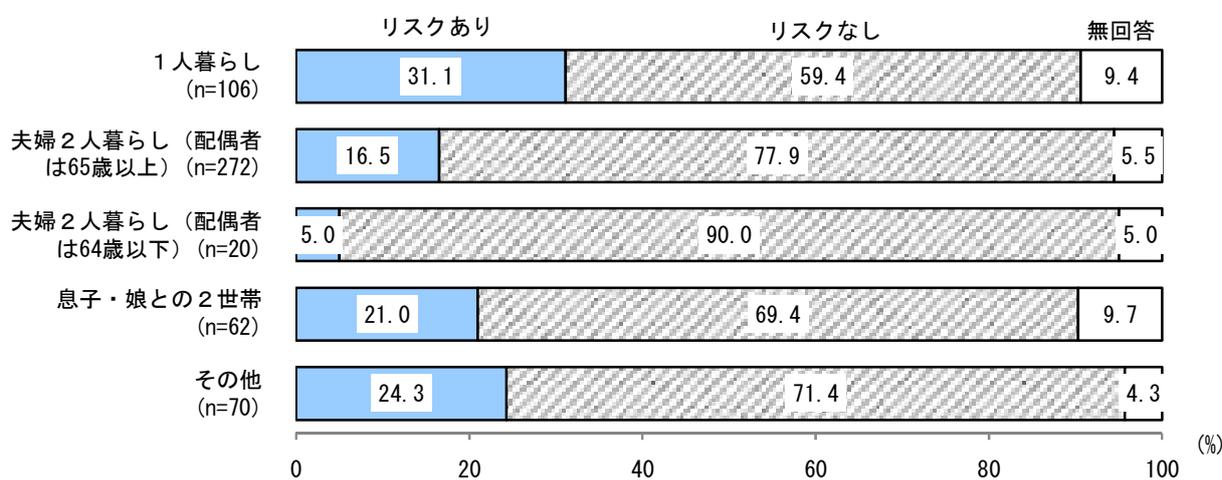
【第1号（全体）】を性・年齢別で見ると、「リスクあり」の割合は男女とも高齢になるほど割合が高く、いずれの年代も男性より女性のほうが高い割合となっています。（図2-1-1）

【図2-1-1 性・年齢別 運動器の機能低下リスクありの割合【第1号（全体）】】



【第1号（全体）】を家族構成別で見ると、「リスクあり」の割合は1人暮らし（31.1%）で最も高くなっています。（図2-1-2）

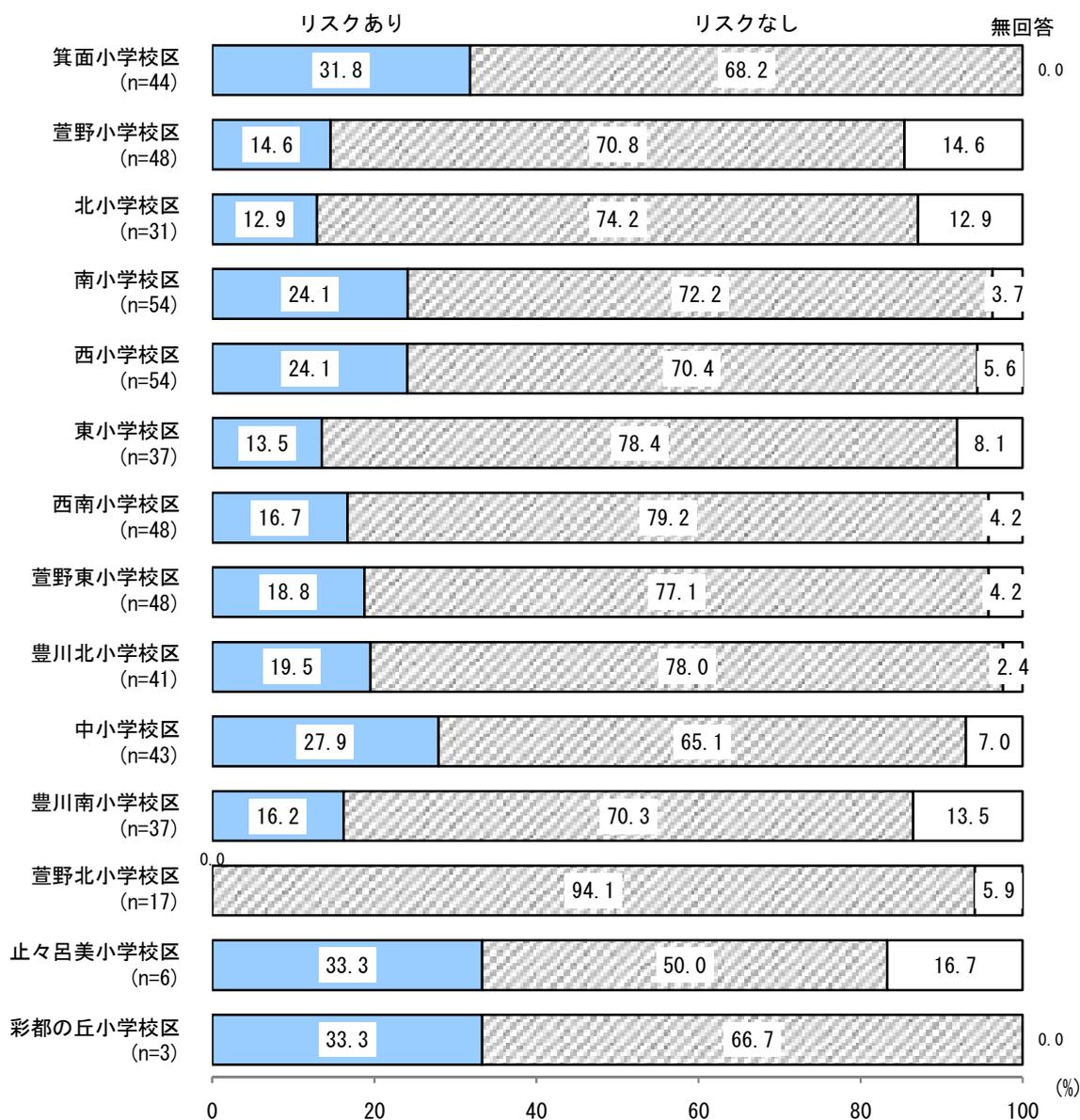
【図2-1-2 家族構成別 運動器の機能低下リスク【第1号（全体）】】



【第1号（全体）】を居住小学校区別で見ると、「リスクあり」の割合は箕面小学校区では31.8%、中小小学校区では27.9%となっています。（図2-1-3）

（※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。）

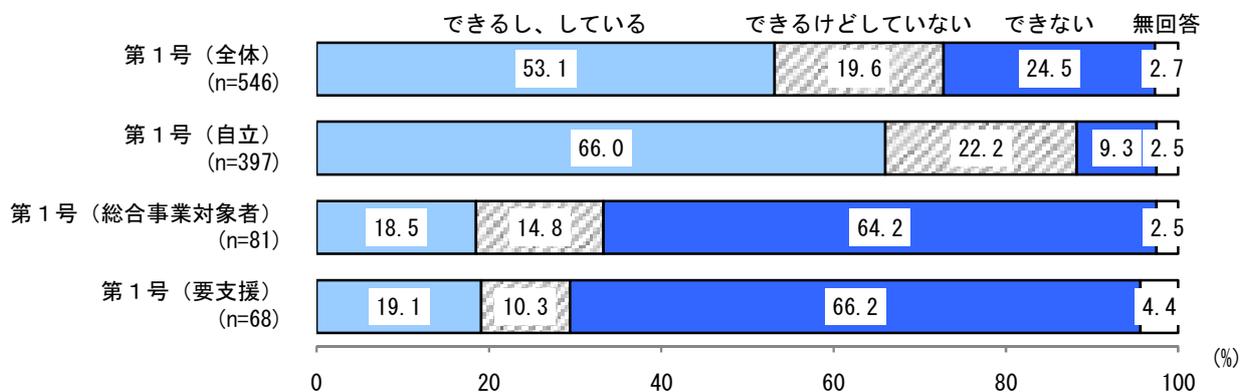
【図2-1-3 居住小学校区別 運動器の機能低下リスク【第1号（全体）】】



(2) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

問4 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

【図2-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること】

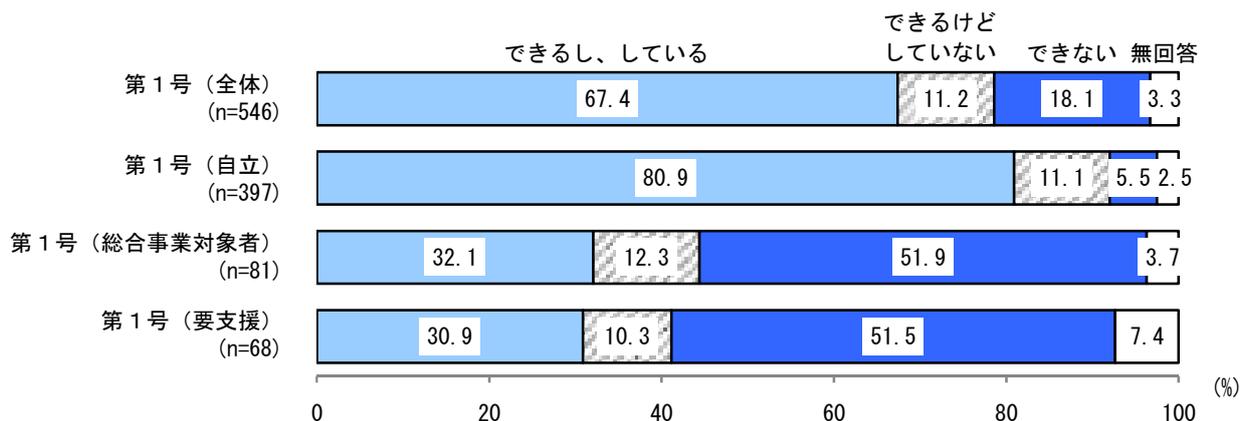


階段や手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、【第1号 (自立)】は「できるし、している」が66.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.2%となっています。【第1号 (総合事業対象者)】と【第1号 (要支援)】は「できない」が6割以上を占め、多くなっています。(図2-2)

(3) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

問4 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

【図2-3 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること】

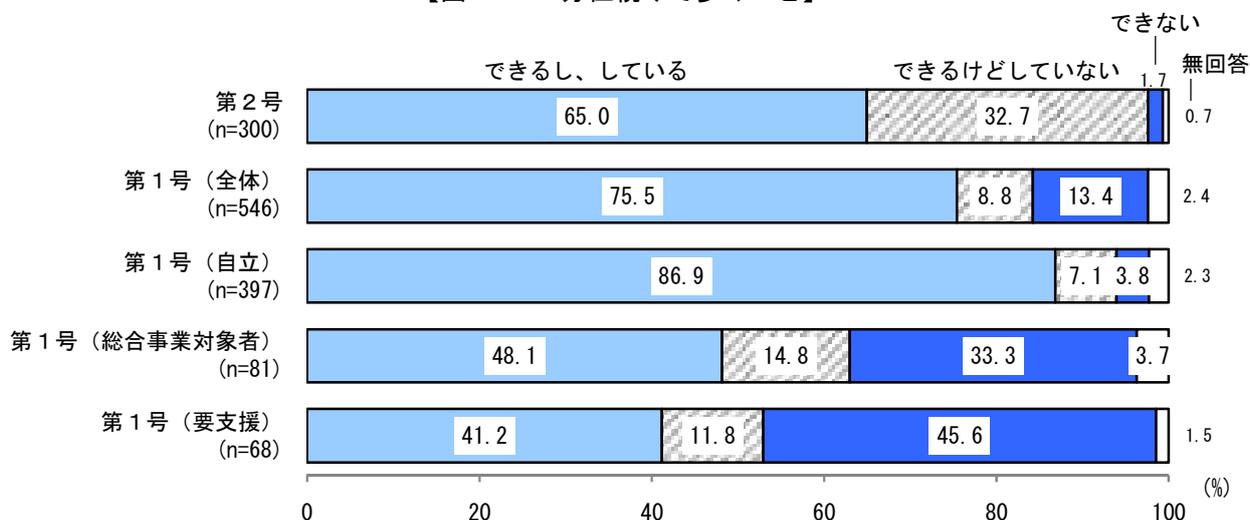


椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、【第1号 (自立)】は「できるし、している」が80.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.1%となっています。【第1号 (総合事業対象者)】と【第1号 (要支援)】は「できない」が51%台と多くなっています。(図2-3)

(4) 15分位続けて歩くこと

問4 (3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

【図2-4 15分位続けて歩くこと】

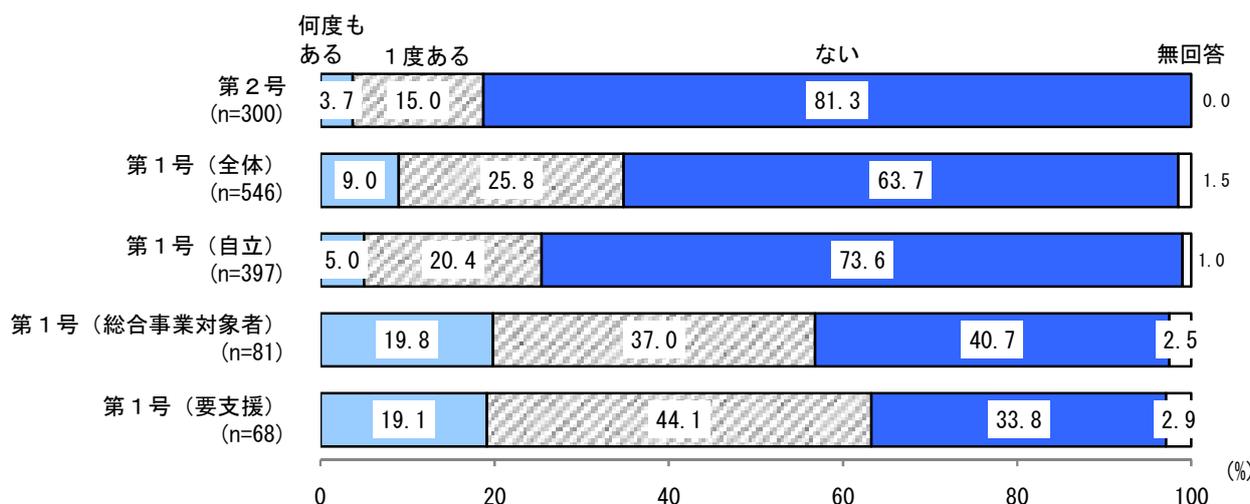


15分位続けて歩いているかについては、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】はいずれも「できるし、している」が最も多く、【第1号 (要支援)】は「できない」(45.6%) が最も多くなっています。(図2-4)

(5) 過去1年間に転んだ経験の有無

問4 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

【図2-5 過去1年間に転んだ経験の有無】

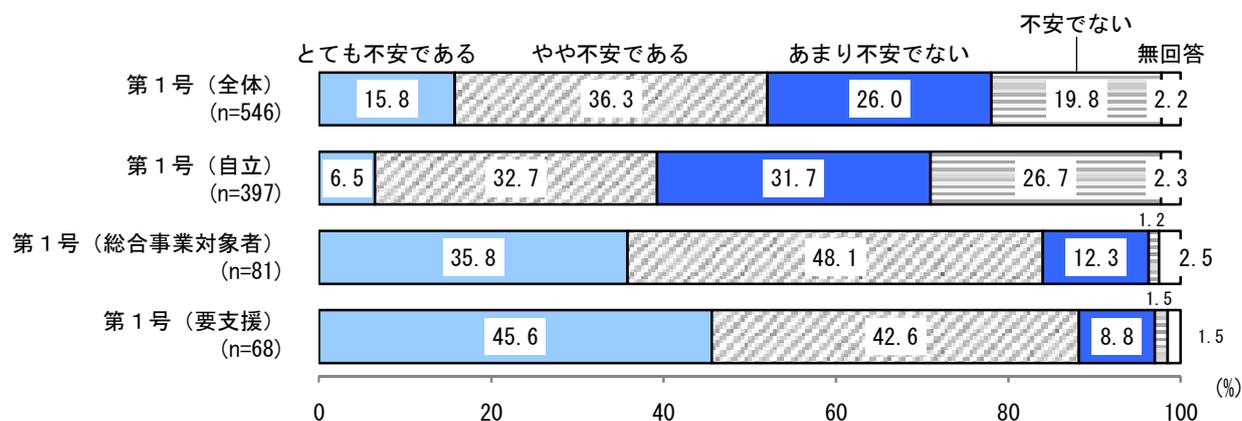


過去1年間に転んだ経験があるかについては、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】は「ない」が最も多いですが、【第1号 (要支援)】は「1度ある」(44.1%) が最も多くなっています。「何度もある」の割合は【第1号 (総合事業対象者)】(19.8%) で最も高くなっています。(図2-5)

(6) 転倒に対する不安

問4 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

【図2-6 転倒に対する不安】



転倒に対する不安は大きいかについては、【第1号(自立)】は「やや不安である」が32.7%で最も多く、「とても不安である」(6.5%)と「やや不安である」をあわせた『不安である』は39.2%となっています。『不安である』の割合は【第1号(要支援)】(88.2%)で最も高く、次いで【第1号(総合事業対象者)】(83.9%)となっています。(図2-6)

(7) 閉じこもりリスク

① 設問と評価

基本チェックリストでは、第1号被保険者調査の調査票に含まれる以下の設問2問中2問とも該当した場合に閉じこもりの「リスクあり」に該当します。

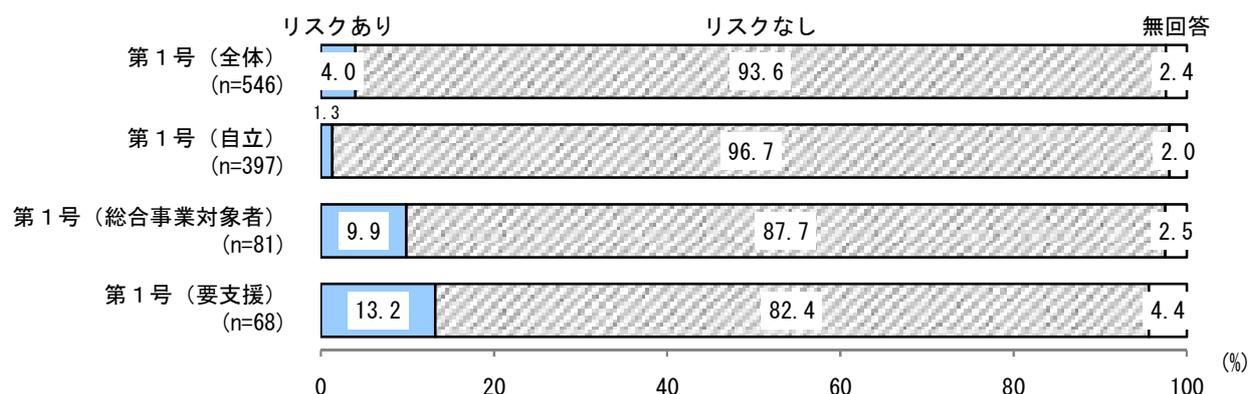
表 閉じこもりに関する設問（基本チェックリスト）【第1号】

問番号	設問	該当する選択肢
問4(6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」
問4(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「とても減っている」「減っている」

② 評価結果

評価結果をみると、閉じこもりの「リスクあり」に該当する人の割合は【第1号(全体)】で4.0%となっています。「リスクあり」の割合は【第1号(要支援)】(13.2%)で最も高く、次いで【第1号(総合事業対象者)】(9.9%)となっています。(図2-7)

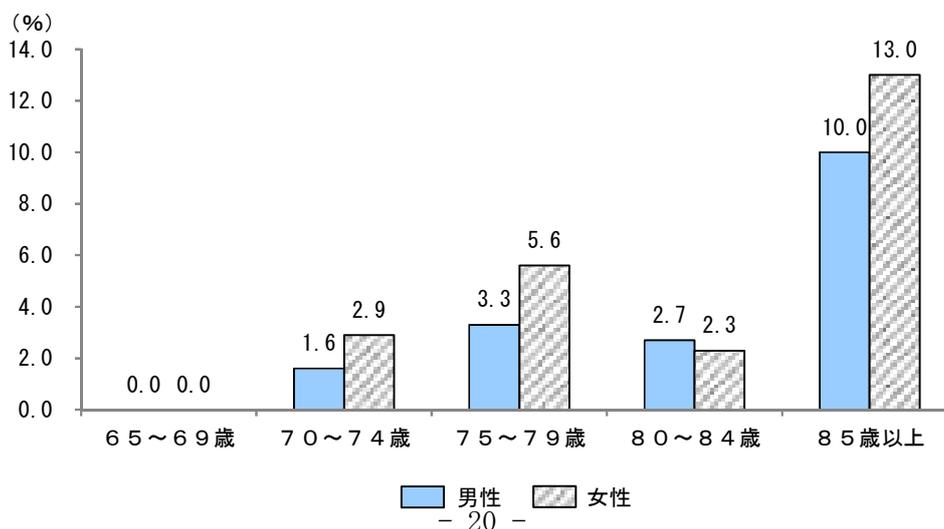
【図2-7 閉じこもりリスク】



【第1号(全体)】を性・年齢別で見ると、「リスクあり」の割合は、男女とも「85歳以上」で最も高く、80~84歳を除く年代で男性より女性のほうが高い割合となっています。

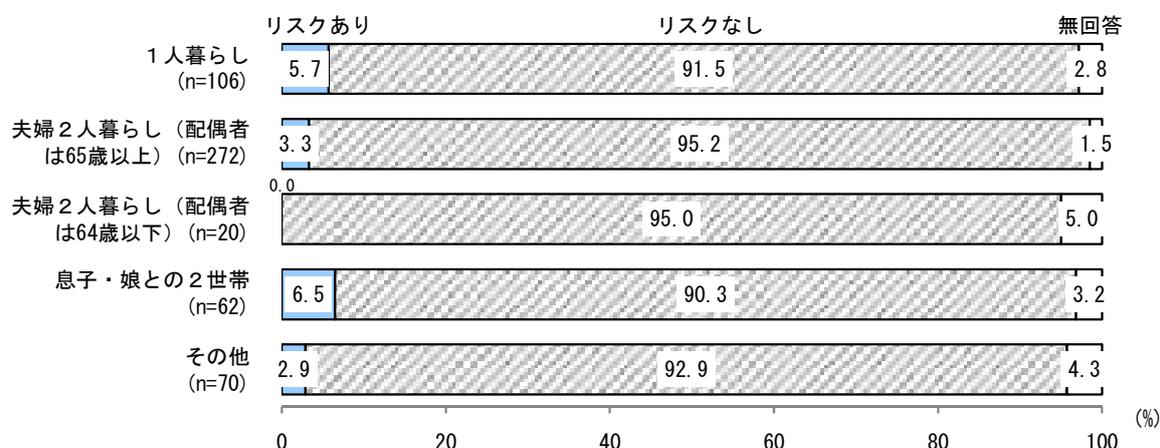
(図2-7-1)

【図2-7-1 性・年齢別 閉じこもりリスクありの割合【第1号(全体)】】



【第1号（全体）】を家族構成別で見ると、「リスクあり」の割合は息子・娘との2世帯（6.5%）で最も高く、次いで1人暮らし（5.7%）となっています。（図2-7-2）

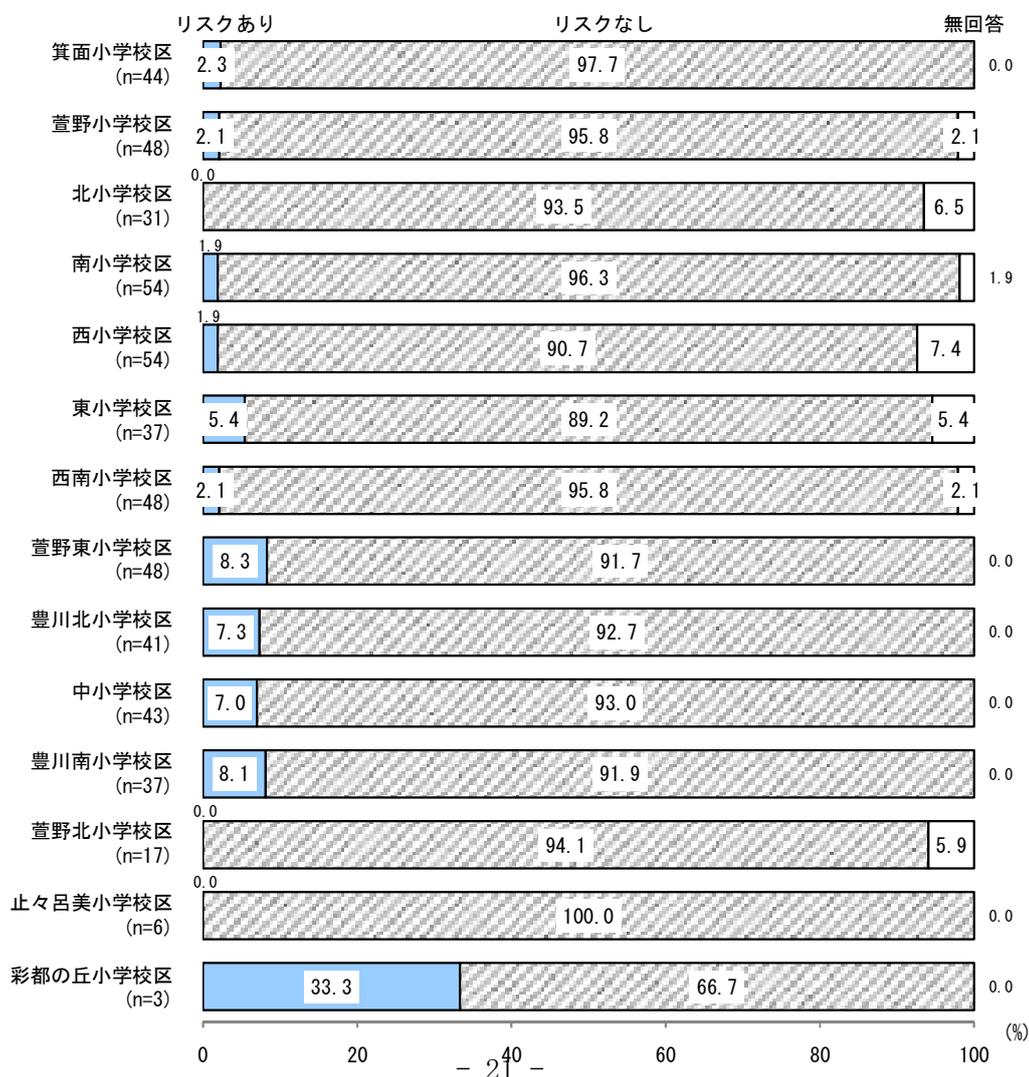
【図2-7-2 家族構成別 閉じこもりリスクありの割合【第1号（全体）】】



【第1号（全体）】を居住小学校区別で見ると、「リスクあり」の割合は萱野東小学校区が8.3%、豊川南小学校区が8.1%となっています。（図2-7-3）

（※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。）

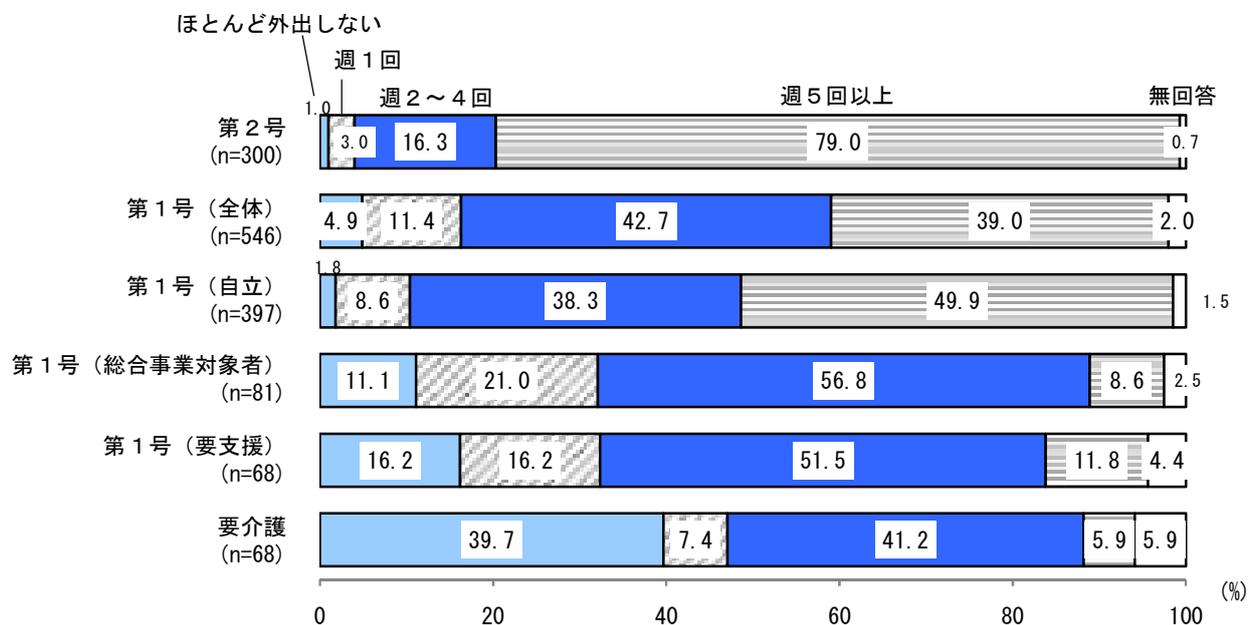
【図2-7-3 居住小学校区別 閉じこもりリスク【第1号（全体）】】



(8) 外出頻度

問4 (6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

【図2-8 外出頻度】

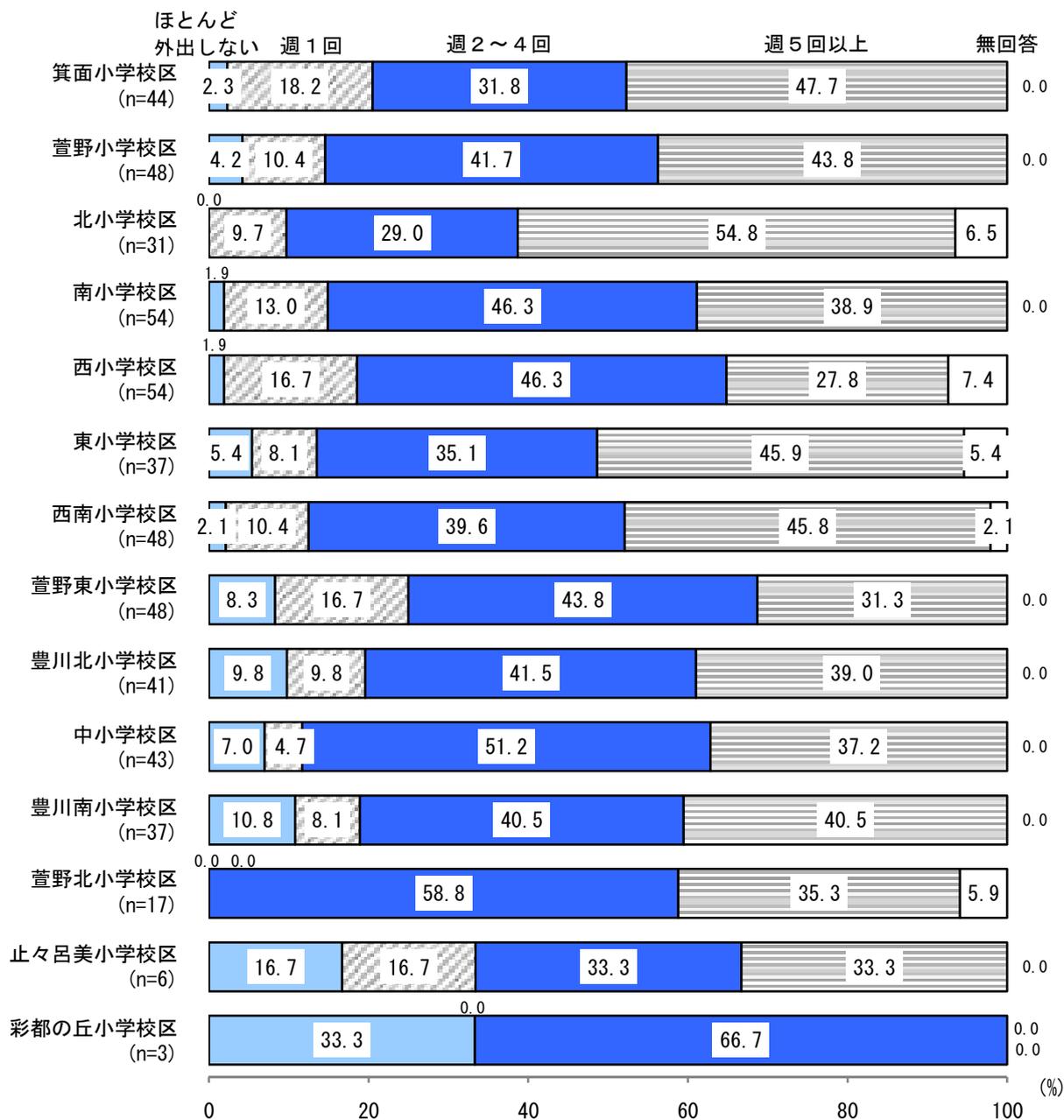


週に1回以上は外出しているかについては、【第2号】と【第1号 (自立)】は「週5回以上」(第2号79.0%、自立49.9%)で最も多いですが、【第1号 (総合事業対象者)】、【第1号 (要支援)】、【要介護】は「週2~4回」(総合56.8%、要支援51.5%、要介護41.2%)が最も多くなっています。「ほとんど外出しない」の割合は【要介護】(39.7%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(16.2%)となっています。(図2-8)

【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「ほとんど外出しない」の割合は豊川南小学校区が10.8%、豊川北小学校区が9.8%となっています。「週5回以上」は北小学校区が54.8%で最も高くなっています。（図2-8-1）

（※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。）

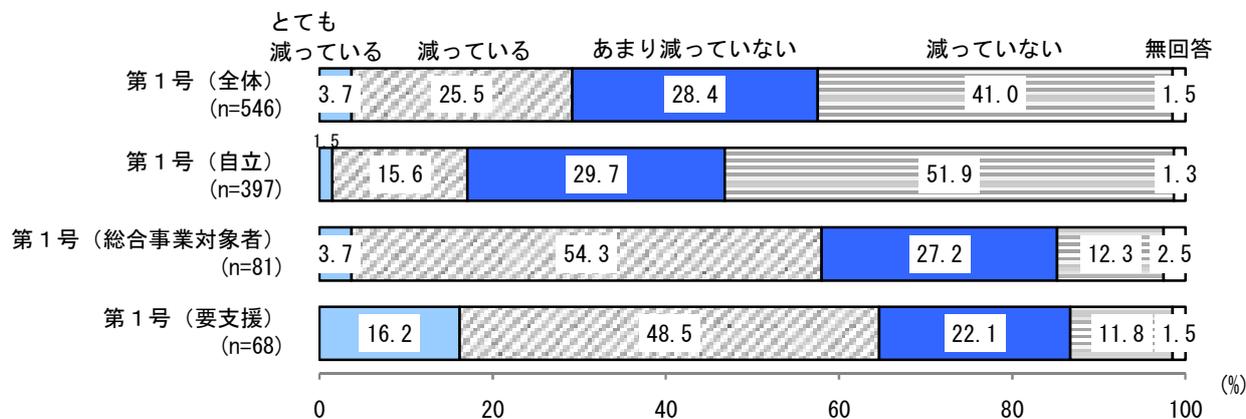
【図2-8-1 居住小学校区別 外出頻度【第1号（全体）】】



(9) 昨年と比べた外出回数

問4 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

【図2-9 昨年と比べた外出回数】



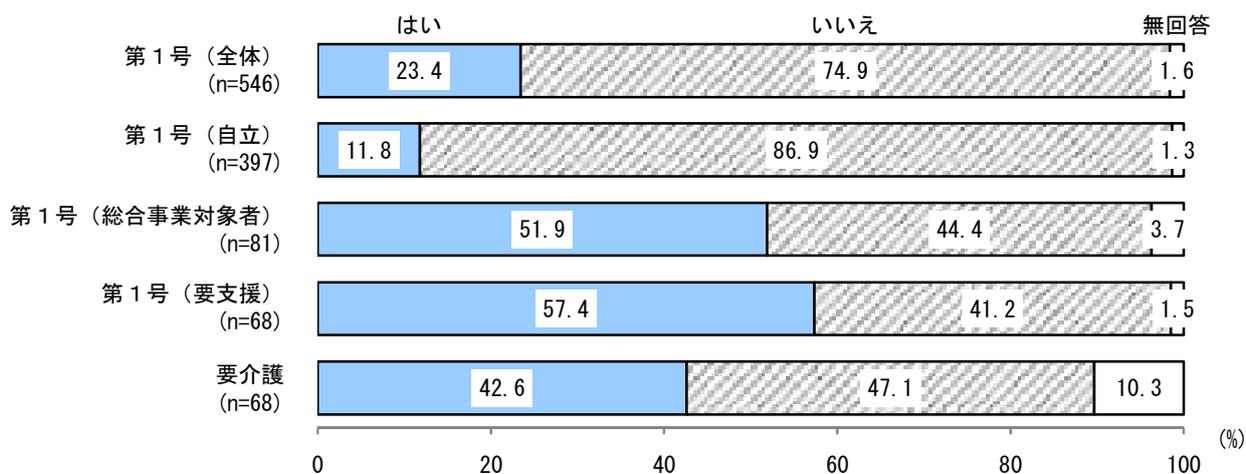
昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、【第1号 (自立)】は「減っていない」が51.9%で最も多いですが、【第1号 (総合事業対象者)】と【第1号 (要支援)】は「減っている」が最も多くなっています。

「とても減っている」と「減っている」をあわせた『減っている』の割合は【第1号 (要支援)】が64.7%で最も高くなっています。(図2-9)

(10) 外出控え

問4 (8) 外出を控えていますか (○は1つ)

【図2-10 外出控え】



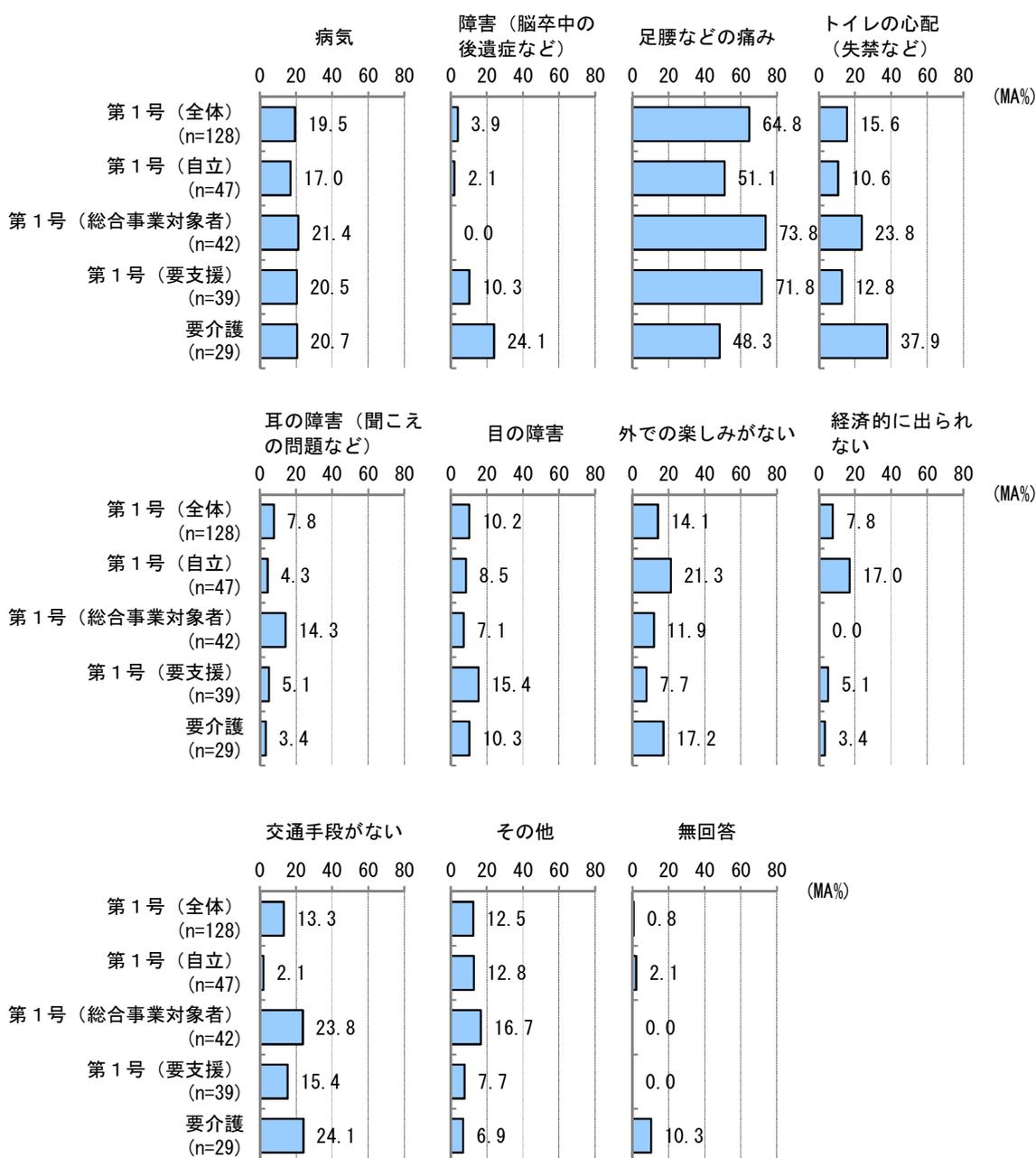
外出を控えているかについては、「はい」の割合は【第1号 (要支援)】(57.4%)が最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(51.9%)、【要介護】(42.6%)、【第1号 (自立)】(11.8%)となっています。(図2-10)

(11) 外出を控えている理由

【問4(8)で「1. はい」(外出を控えている)のかたのみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(〇はいくつでも)

【図2-11 外出を控えている理由】

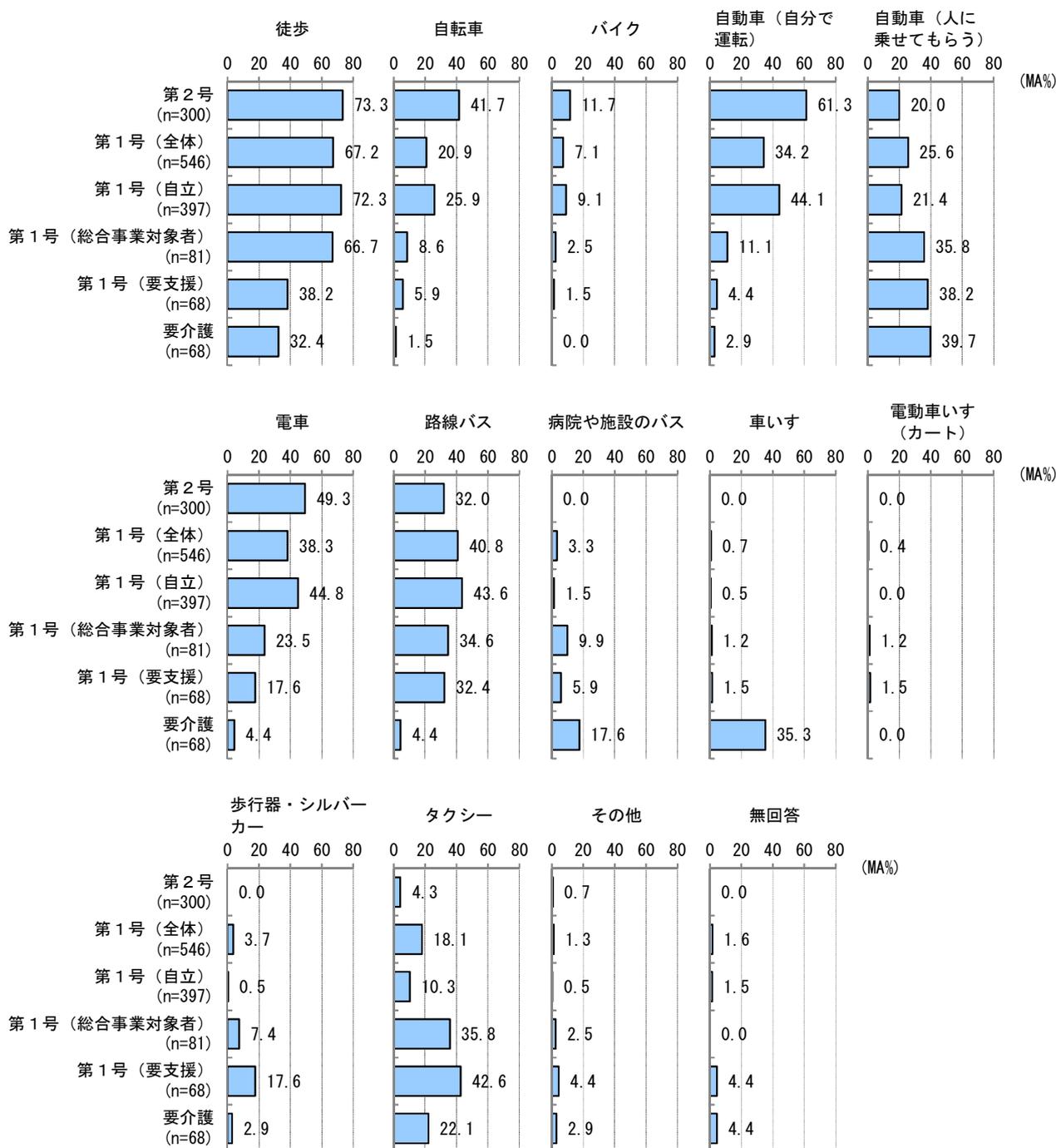


外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、いずれも「足腰などの痛み」が最も多く、次いで【第1号(自立)】は「外での楽しみがない」(21.3%)、【第1号(総合事業対象者)】は「トイレの心配(失禁など)」と「交通手段がない」(ともに23.8%)、【第1号(要支援)】は「病気」(20.5%)、【要介護】は「トイレの心配(失禁など)」(37.9%)が続いています。(図2-11)

(12) 外出する際の移動手段

問4 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

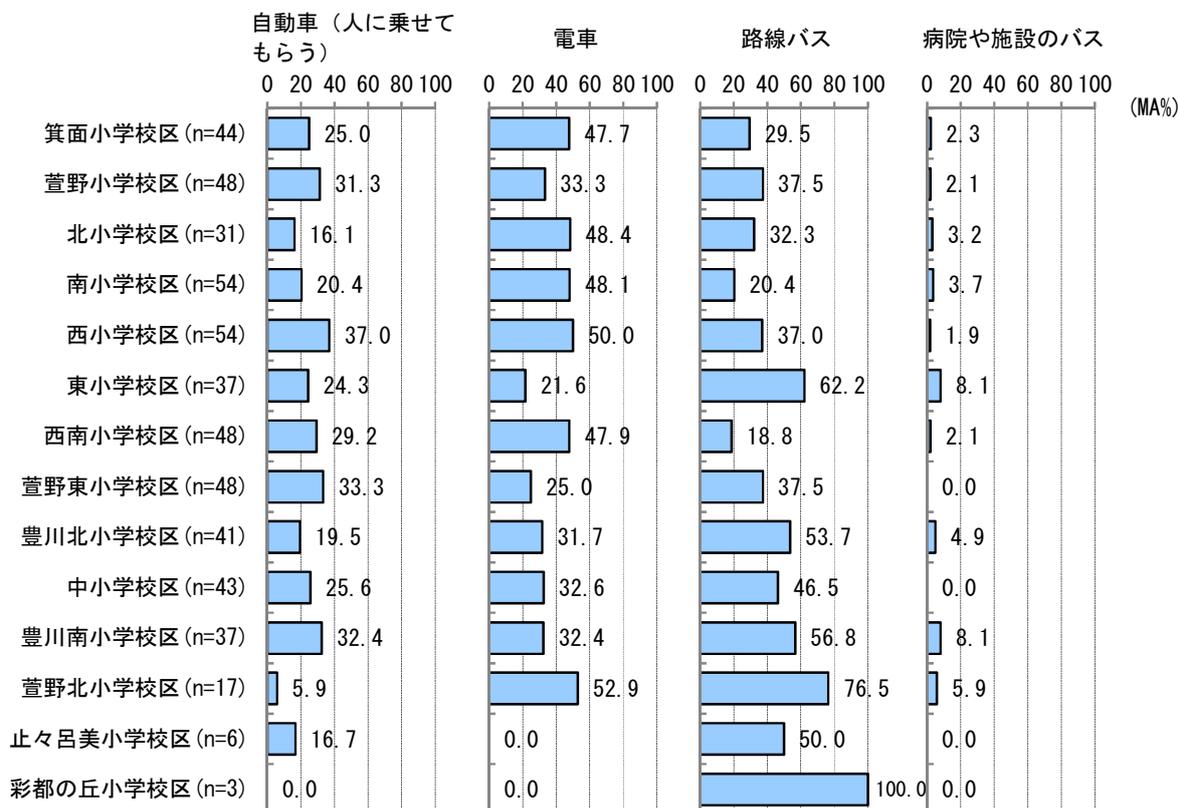
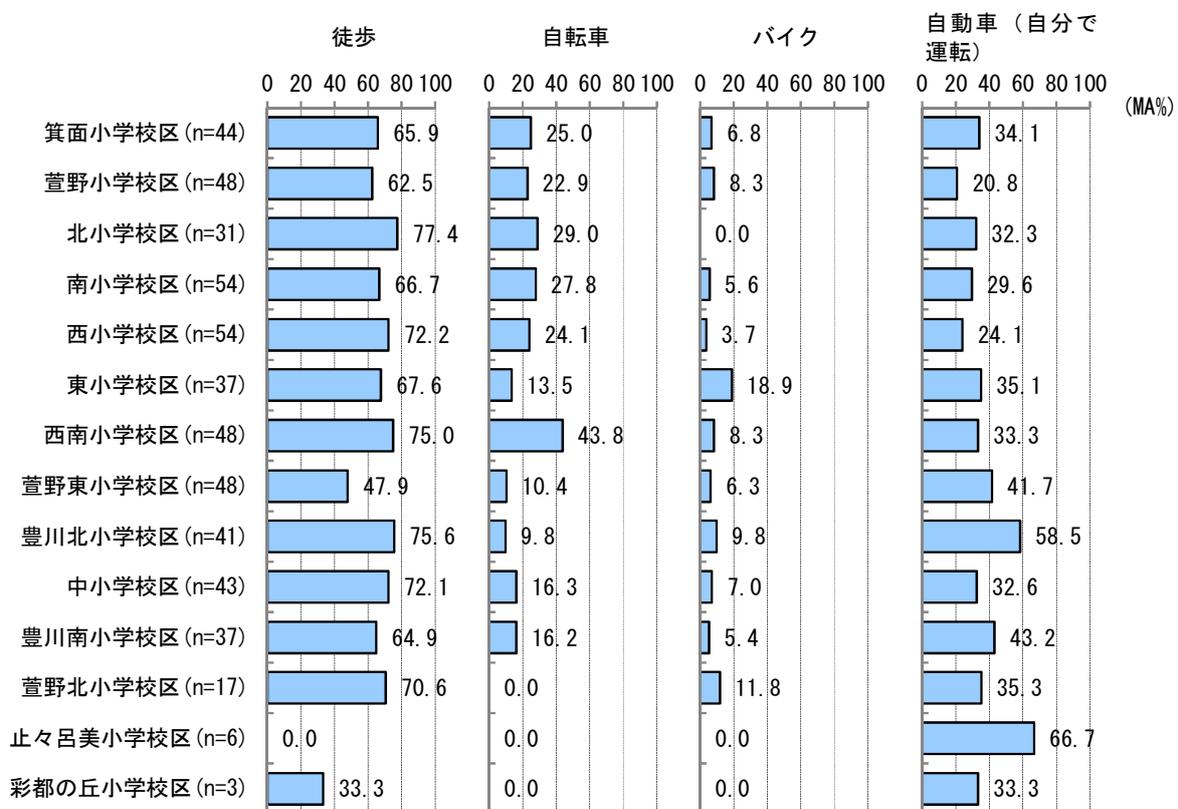
【図2-12 外出する際の移動手段】



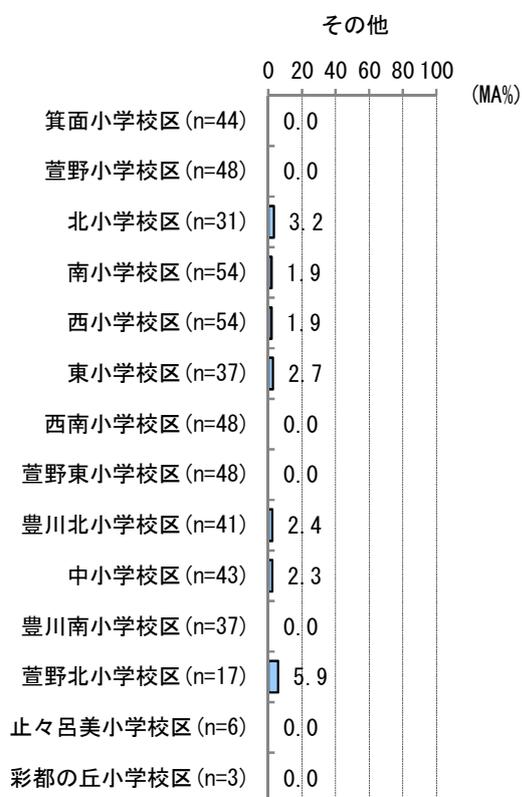
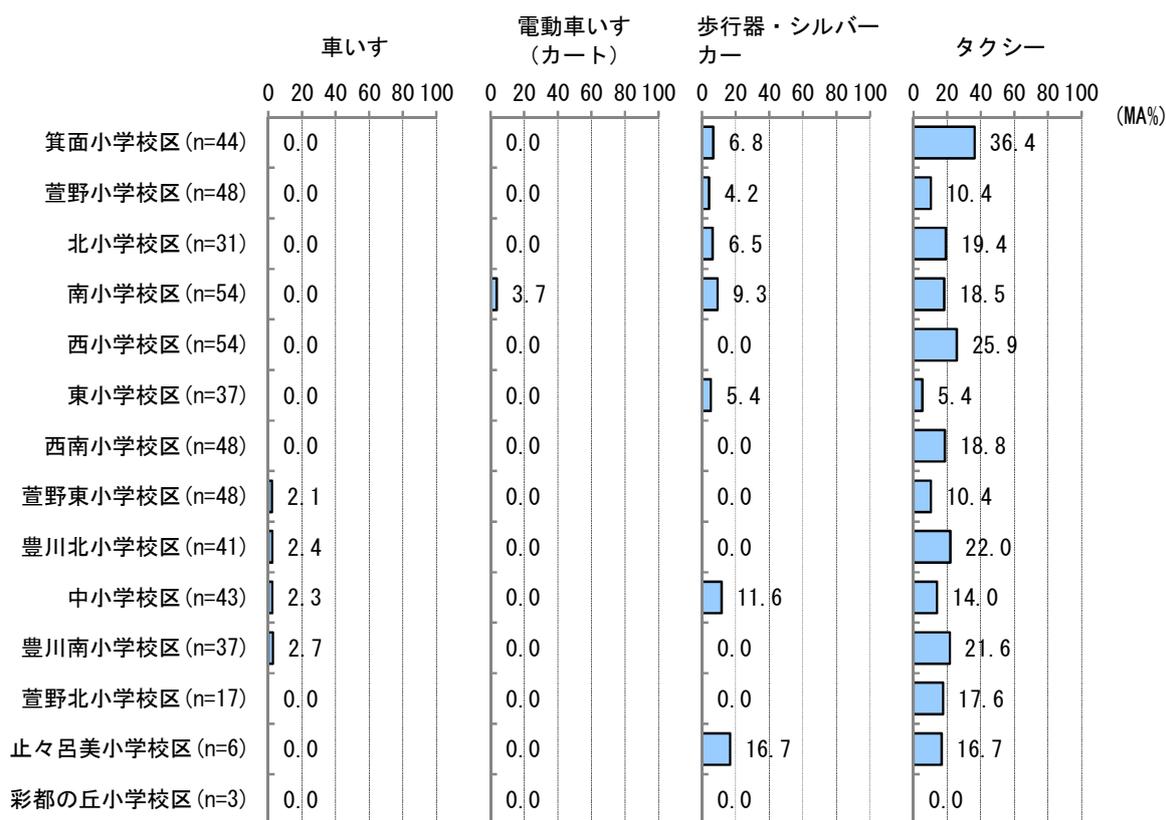
外出する際の移動手段については、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】は「徒歩」が最も多いですが、【第1号 (要支援)】は「タクシー」(42.6%)、【要介護】は「自動車 (人に乗せてもらう)」(39.7%) が最も多くなっています。「徒歩」、「自転車」、「バイク」、「自動車 (自分で運転)」、「電車」、「路線バス」「電動車いす (カート)」はいずれも【要介護】で最も低い割合となっています。(図2-12)

【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区を除く小学校区では「徒歩」が最も多くなっています。（図2-12-1①②）

【図2-12-1 居住小学校区別 外出する際の移動手段①【第1号（全体）】】



【図2-12-1 居住小学校区別 外出する際の移動手段②【第1号（全体）】】



3. 食べることについて

(1) 低栄養リスク

① 設問と評価

基本チェックリストでは、第1号被保険者調査の調査票に含まれる以下の設問2問中2問とも該当した場合に低栄養の「リスクあり」に該当します。

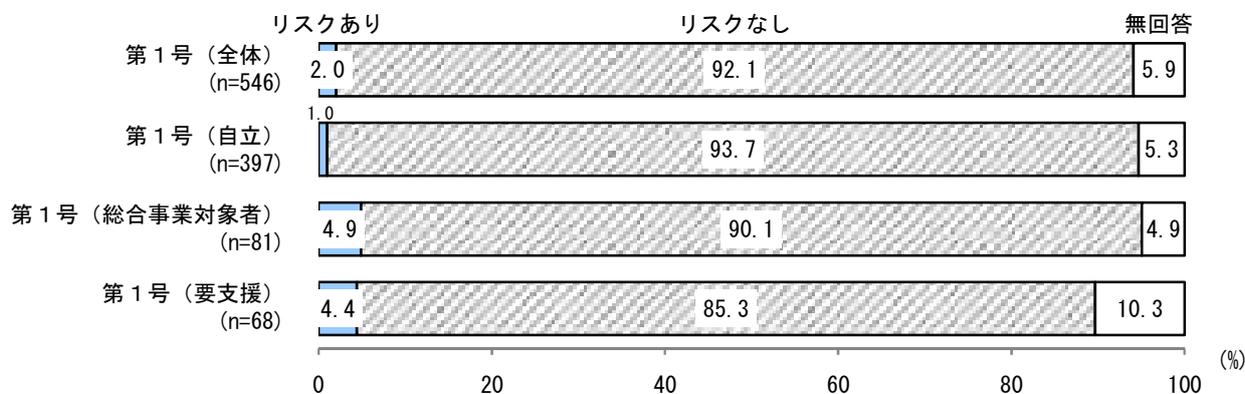
表 低栄養に関する設問（基本チェックリスト）【第1号】

問番号	設問	該当する選択肢
問5(1)	身長・体重 BMI値＝体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))	18.5未満
問5(2)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

② 評価結果

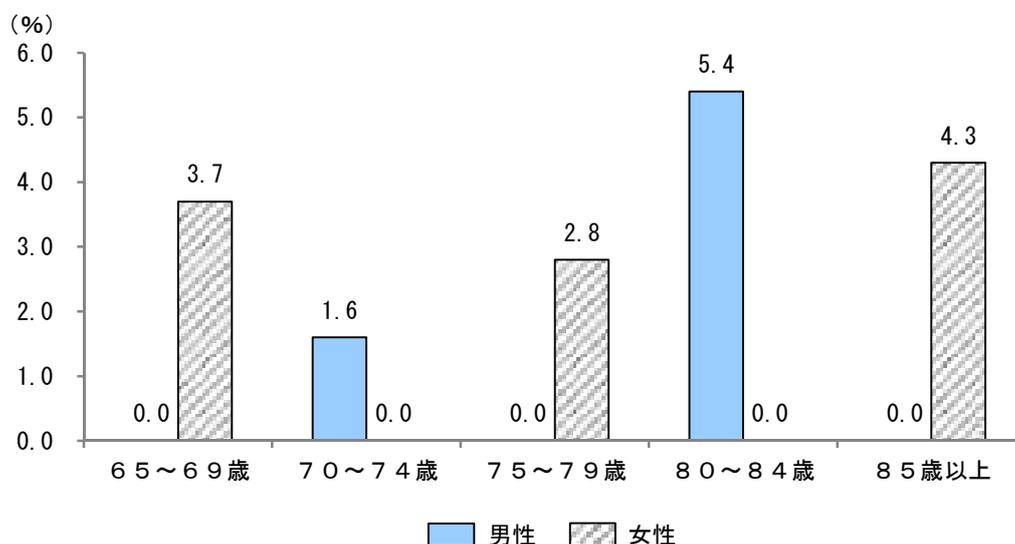
評価結果をみると、低栄養の「リスクあり」に該当する人の割合は【第1号(全体)】で2.0%となっています。「リスクあり」の割合は【第1号(総合事業対象者)】(4.9%)が最も高く、次いで【第1号(要支援)】(4.4%)となっています。(図3-1)

【図3-1 低栄養リスク】



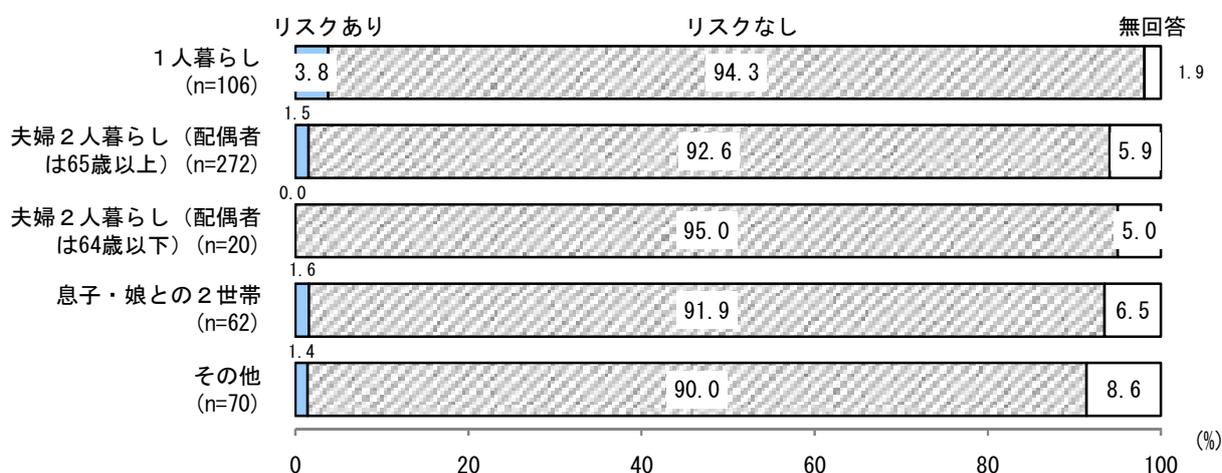
【第1号(全体)】を性・年齢別で見ると、「リスクあり」の割合は、男性は80～84歳(5.4%)、女性は85歳以上(4.3%)で最も高くなっています。(図3-1-1)

【図3-1-1 性・年齢別 低栄養リスクありの割合【第1号(全体)】】



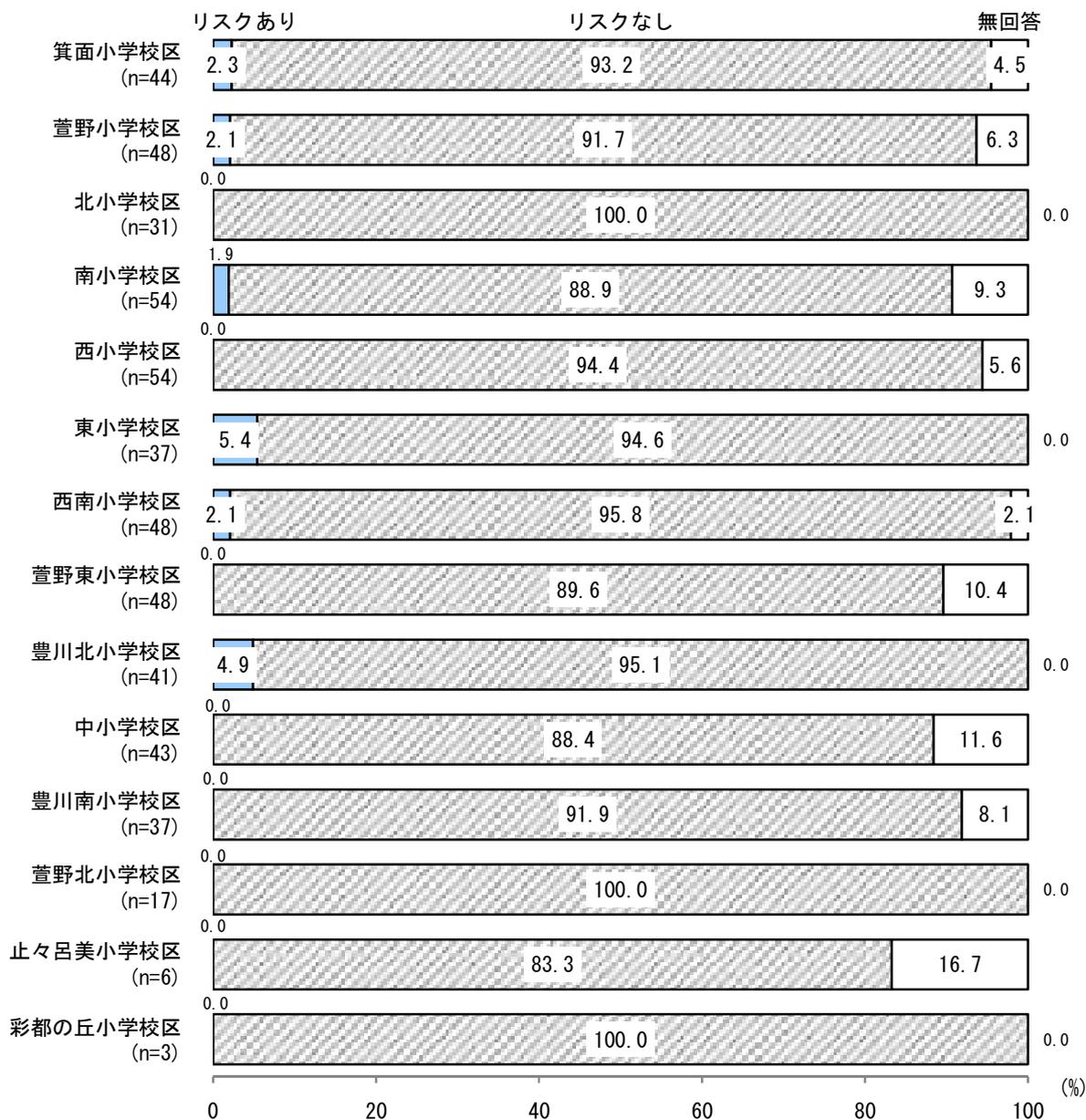
【第1号(全体)】を家族構成別で見ると、「リスクあり」の割合は1人暮らし(3.8%)で最も高くなっています。(図3-1-2)

【図3-1-2 家族構成別 低栄養リスク【第1号(全体)】】



【第1号(全体)】を居住小学校区別で見ると、「リスクあり」の割合は東小学校区が5.4%、豊川北小学校区が4.9%となっています。(図3-1-3)

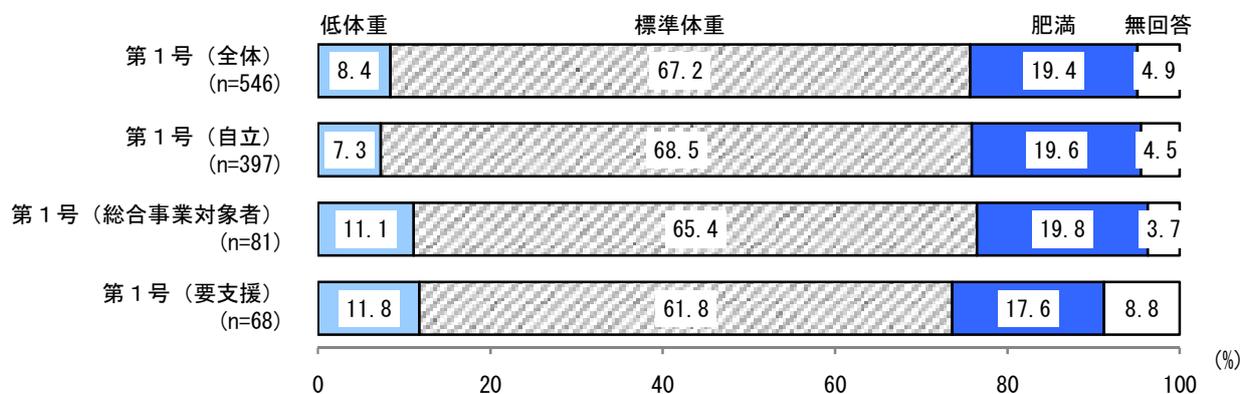
【図3-1-3 居住小学校区別 低栄養リスク【第1号(全体)】】



(2) BMI

問5 (1) 身長・体重 (数字で記入してください)

【図3-2 BMI】



* BMI = 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))

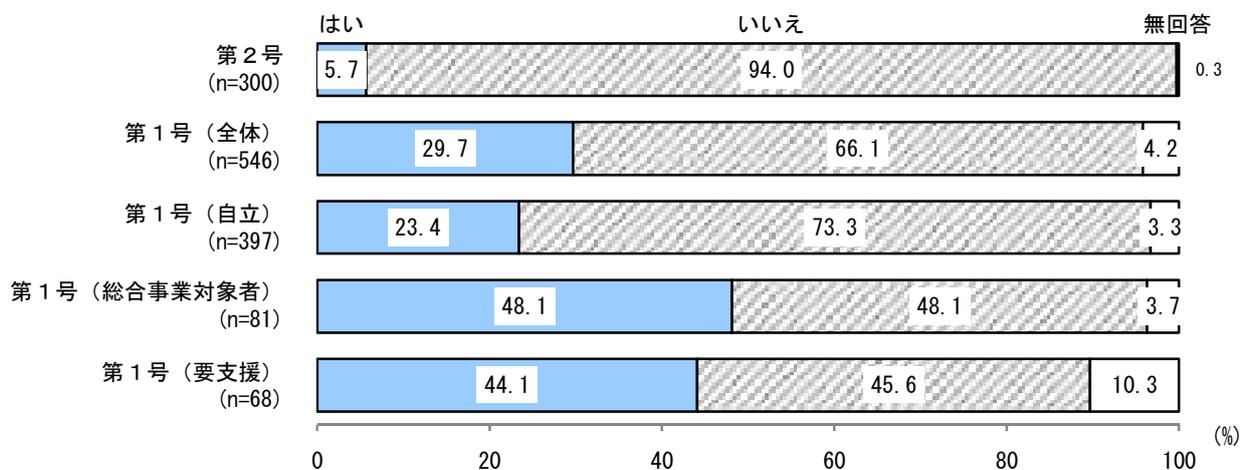
18.5未満「低体重 (やせ)」、18.5~25.0未満「標準体重」、25.0以上「肥満」

回答された身長・体重から算出したBMIは、【第1号 (自立)】は「標準体重」が68.5%で最も多く、次いで「肥満」が19.6%、「低体重」が7.3%となっています。「低体重」の割合は【第1号 (要支援)】(11.8%)で最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(11.1%)となっています。(図3-2)

(3) 固いものが食べにくくなったこと

問5 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

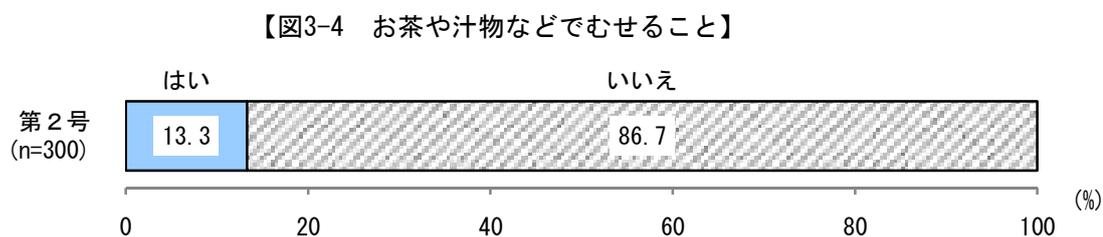
【図3-3 固いものが食べにくくなったこと】



半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、【第2号】は「はい」が5.7%となっています。「はい」の割合は【第1号 (総合事業対象者)】(48.1%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(44.1%)、【第1号 (自立)】(23.4%)となっています。(図3-3)

(4) お茶や汁物などでむせること

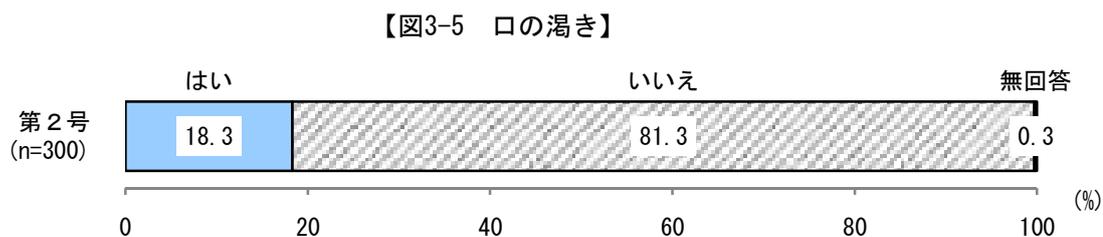
問5 (2) お茶や汁物などでむせることがありますか (○は1つ)



【第2号】のお茶や汁物などでむせることがあるかについては、「はい」が13.3%、「いいえ」が86.7%となっています。(図3-4)

(5) 口の渇き

問5 (3) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

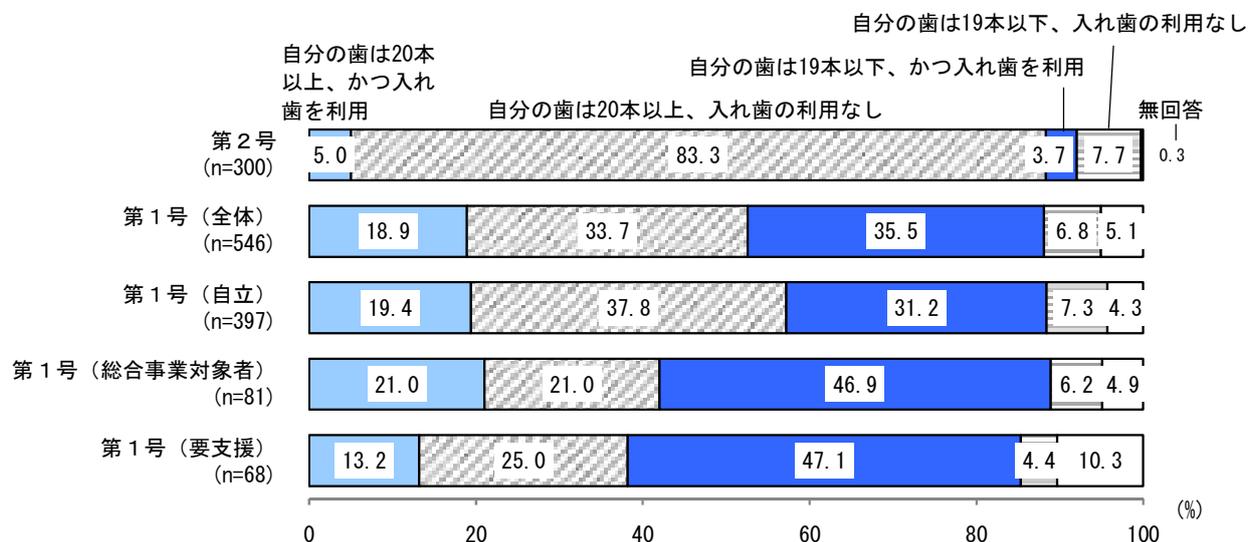


【第2号】の口の渇きが気になるかについては、「はい」が18.3%、「いいえ」が81.3%となっています。(図3-5)

(6) 歯の状況

問5 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)

【図3-6 歯の状況】



歯の数と入れ歯の利用状況については、【第2号】は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が83.3%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が7.7%となっています。【第1号 (自立)】は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.8%で最も多いですが、【第1号 (総合事業対象者)】、【第1号 (要支援)】はいずれも「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多く、【第1号 (要支援)】が47.1%で最も高い割合となっています。(図3-6)

(7) 噛み合わせ

問5 (5) 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

【図3-7 噛み合わせ】

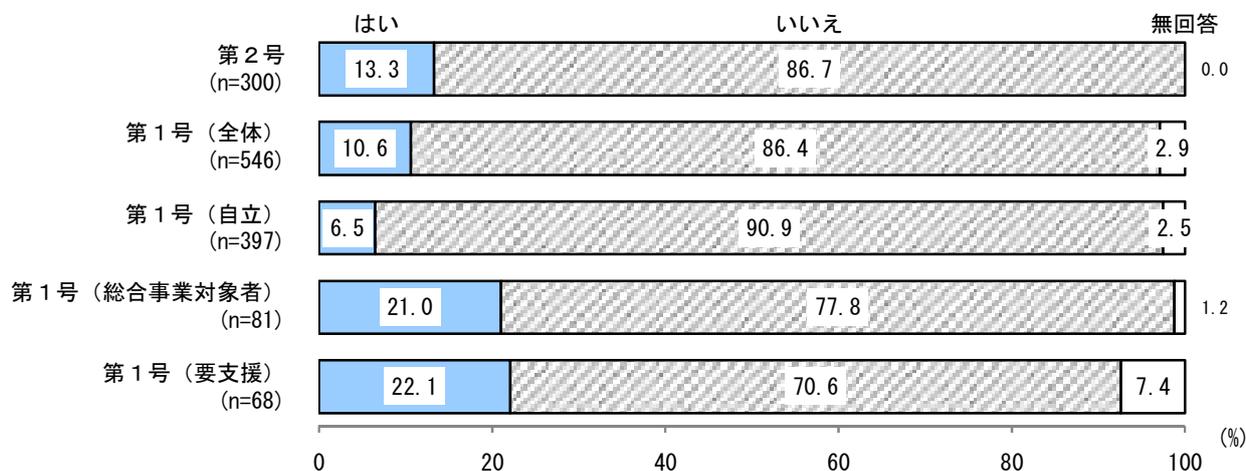


【第2号】の噛み合わせは良いかについては、「はい」が79.0%、「いいえ」が20.3%となっています。(図3-7)

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少

問5 (3) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

【図3-8 6か月間で2～3kg以上の体重減少】

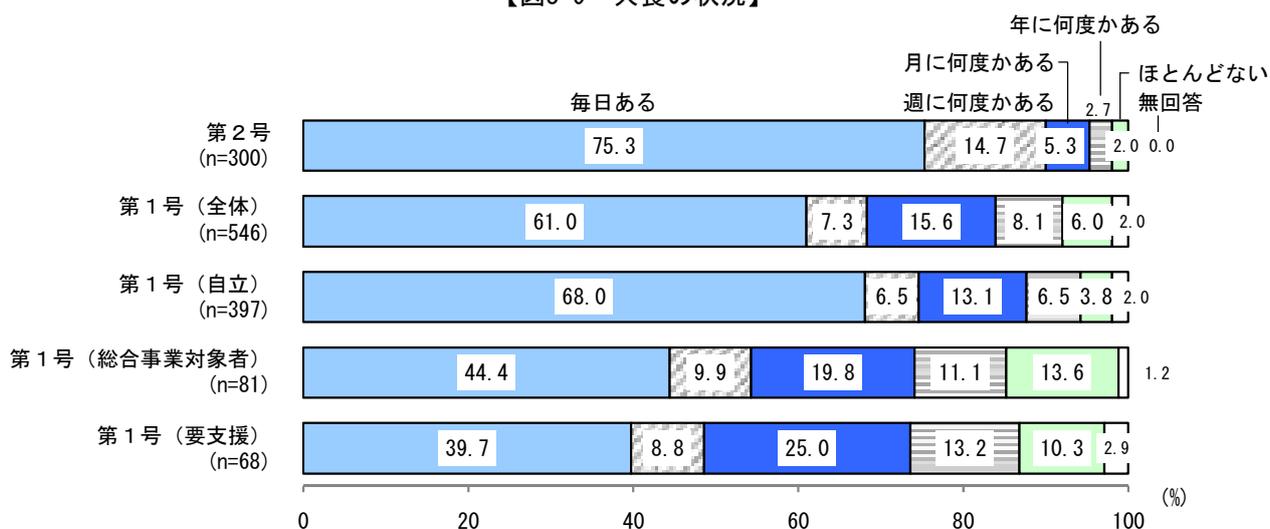


6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、【第2号】は「はい」が13.3%、「いいえ」が86.7%となっています。「はい」の割合は【第1号 (要支援)】(22.1%)が最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(21.0%)、【第1号 (自立)】(6.5%)となっています。(図3-8)

(9) 共食の状況

問5 (4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つ)

【図3-9 共食の状況】



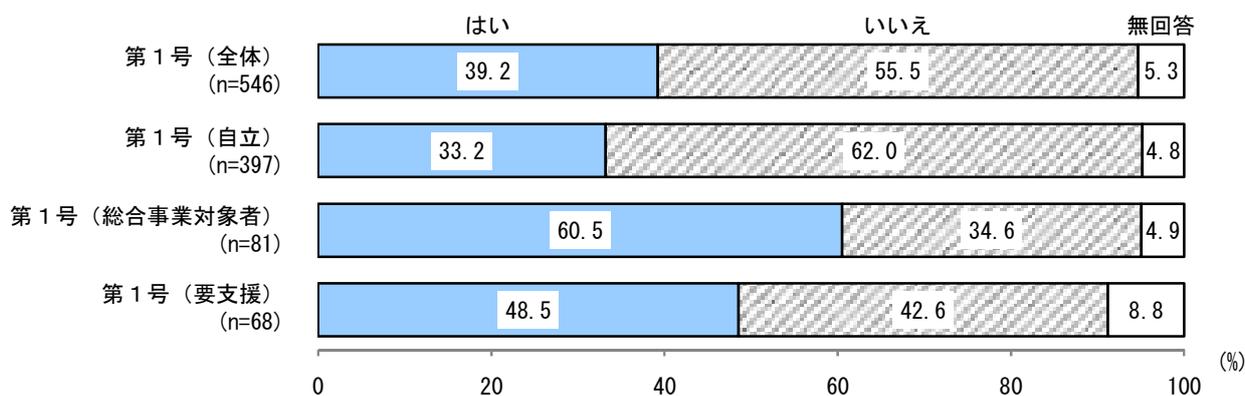
食事をとにもする機会があったかについては、【第2号】と【第1号 (自立)】は「毎日ある」(第2号75.3%、自立68.0%)が最も多くなっています。一方、「ほとんどない」の割合は、【第1号 (総合事業対象者)】(13.6%)で最も高くなっています。(図3-9)

4. 毎日の生活について

(1) 物忘れの多さ

問6 (1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

【図4-1 物忘れの多さ】



物忘れが多いと感じるかについては、【第1号 (自立)】は「はい」が33.2%、「いいえ」が62.0%となっています。「はい」の割合は【第1号 (総合事業対象者)】(60.5%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(48.5%)となっています。(図4-1)

(2) 手段的自立度 (IADL)

① 設問と評価

今回の第1号被保険者調査には、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標^{※2}に準じた設問が設けられています。ここでは、そのうち、手段的自立度 (IADL^{※3}) に関する結果について見てみます。

各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価しています。

※2 老研式活動能力指標は、社会的な生活機能を測る指標であり、「バスや電車で一人で外出しているか」、「友人の家を訪ねているか」など13の質問項目により構成されています。その内容は、「(1) 活動的な日常生活をおくるための動作能力 (IADL)、(2) 余暇や造作などの積極的な知的活動能力、(3) 地域で社会的な役割を果たす能力の3つとなっています。

※3 買物、洗濯、電話、薬の管理など、「日常生活動作 (Activity of Daily Living: ADL、食事、排泄、更衣、整容、入浴など日常生活を送るために必要な基本動作のことをいう。)」より複雑で高度な動作を行える自立度の程度を示す指標を「手段的自立度 (Instrument Activity of Daily Living: IADL)」といいます。

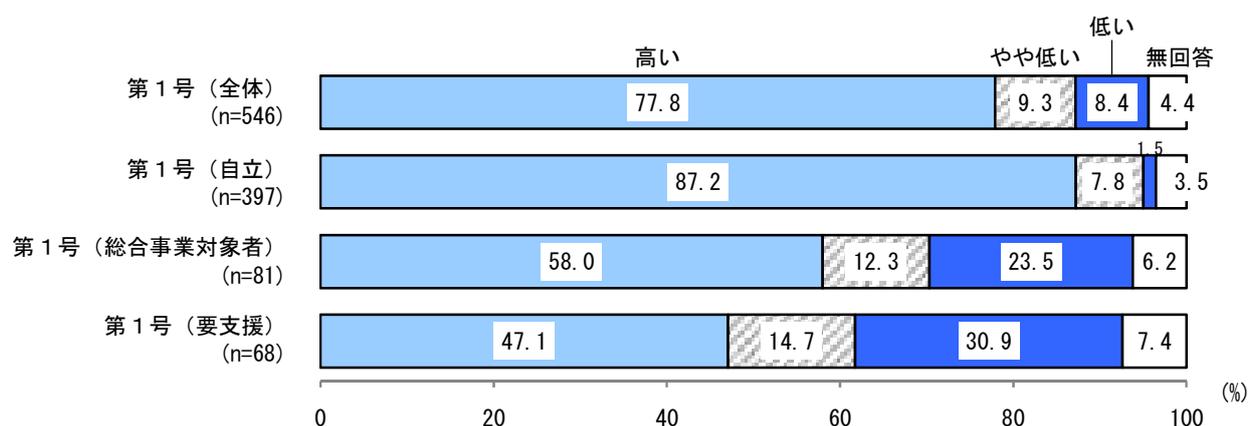
表 手段的自立度に関する設問 (老研指標)【第1号】

問番号	設問	該当する選択肢
問6 (2)	バスや電車を使って一人で外出していますか	「できるし、している」「できるけどしていない」を1点とした各問の合計
問6 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問6 (4)	自分で食事の用意をしていますか	
問6 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問6 (6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

② 評価結果

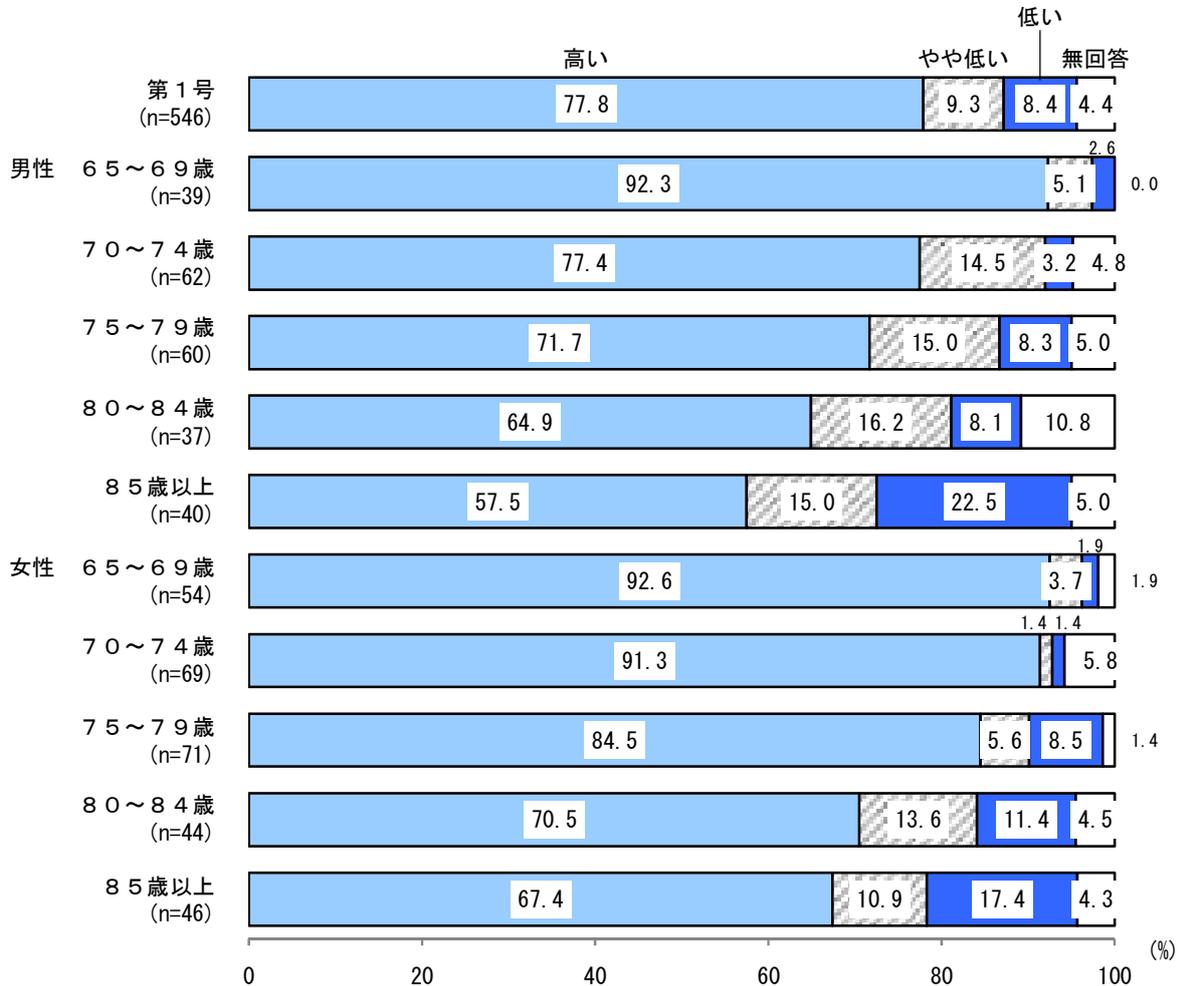
評価結果をみると、【第1号 (全体)】は「やや低い」が9.3%、「低い」が8.4%で、4点以下の『低下者』に該当する割合は17.7%となっています。『低下者』の割合は【第1号 (要支援)】(45.6%)で最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(35.8%)、【第1号 (自立)】(9.3%)となっています。(図4-2)

【図4-2 手段的自立度 (IADL)】



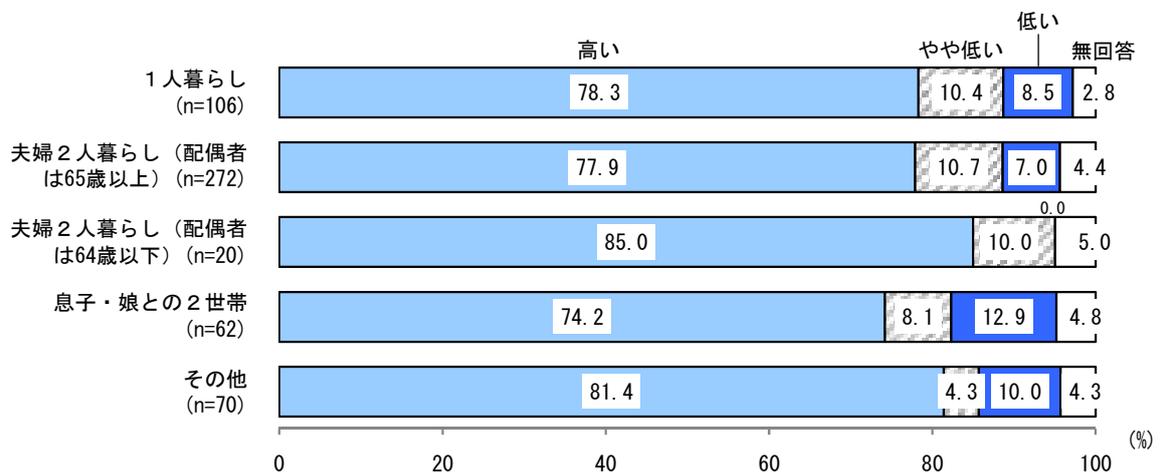
【第1号（全体）】を性・年齢別で見ると、男女とも高齢になるほど「高い」の割合が低くなり、『低下者』の割合は男女とも85歳以上で最も高く、男性37.5%、女性28.3%となっています。（図4-2-1）

【図4-2-1 性・年齢別 手段的自立度（IADL）【第1号（全体）】】



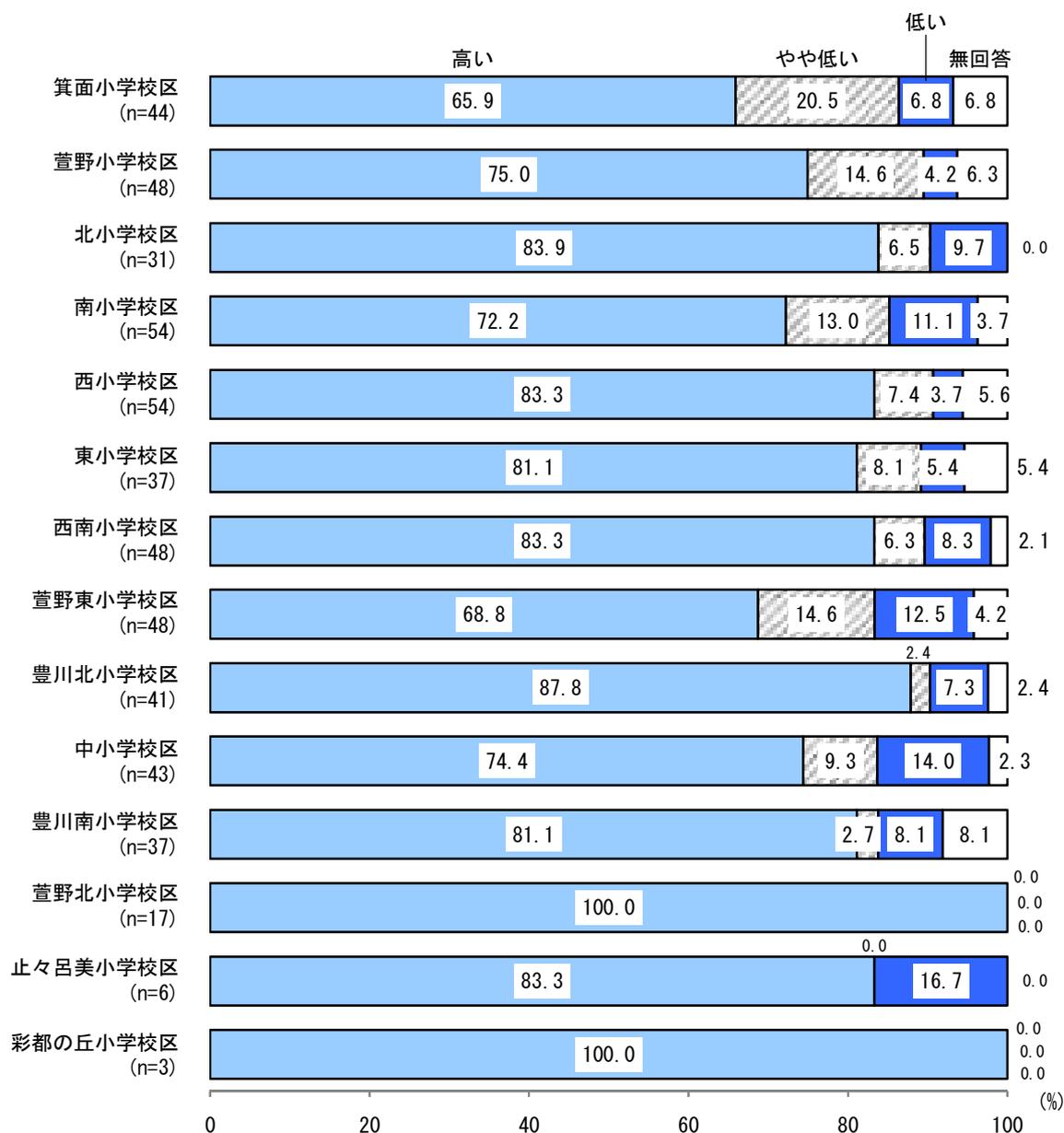
【第1号（全体）】を家族構成別で見ると、『低下者』の割合は息子・娘との2世帯が21.0%で最も高くなっています。（図4-2-2）

【図4-2-2 家族構成別 手段的自立度（IADL）【第1号（全体）】】



【第1号(全体)】を居住小学校区別で見ると、『低下者』の割合は箕面小学校区が27.3%で最も高く、次いで萱野東小学校区が27.1%となっています。(図4-2-3)

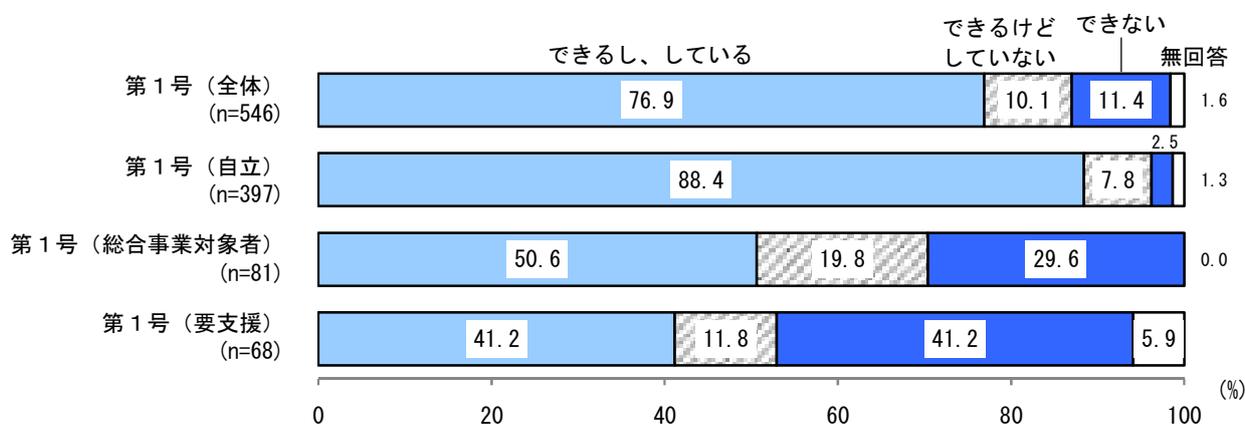
【図4-2-3 居住小学校区別 手段的自立度 (IADL) 【第1号(全体)】】



(3) バスや電車での1人の外出

問6 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

【図4-3 バスや電車での1人の外出】

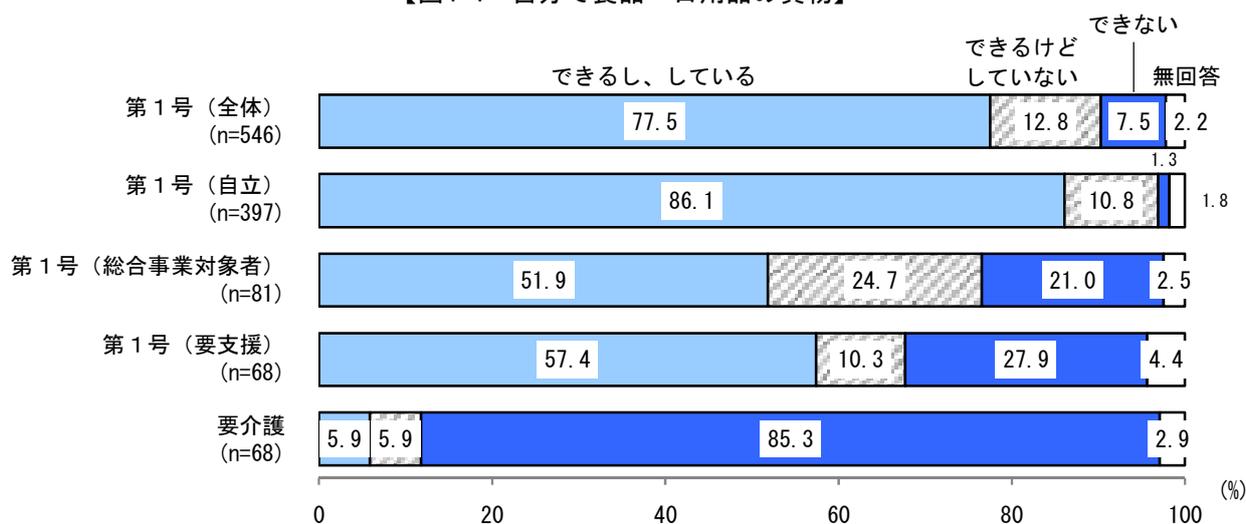


バスや電車を使って1人で外出しているかについては、【第1号 (自立)】は「できるし、している」が88.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が7.8%となっています。「できない」の割合は、【第1号 (要支援)】(41.2%)で最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(29.6%)となっています。(図4-3)

(4) 自分で食品・日用品の買物

問6 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

【図4-4 自分で食品・日用品の買物】

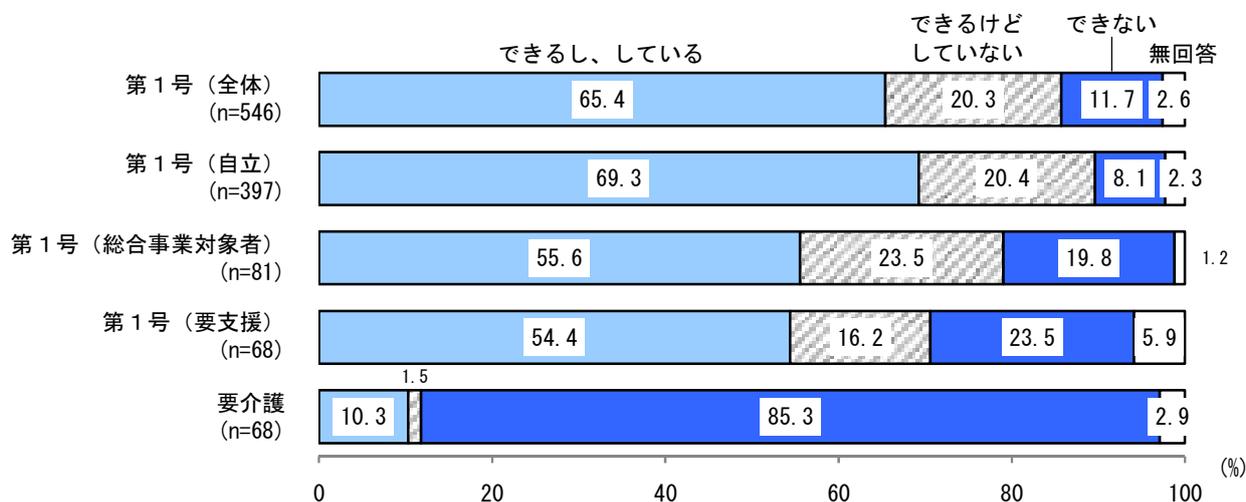


自分で食品・日用品の買物をしているかについては、【第1号 (自立)】は「できるし、している」が86.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.8%となっています。「できるし、している」の割合は【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】、【第1号 (要支援)】で過半数を占めていますが、「できない」の割合は【要介護】(85.3%)で最も高くなっています。(図4-4)

(5) 自分で食事の用意

問6 (4) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

【図4-5 自分で食事の用意】

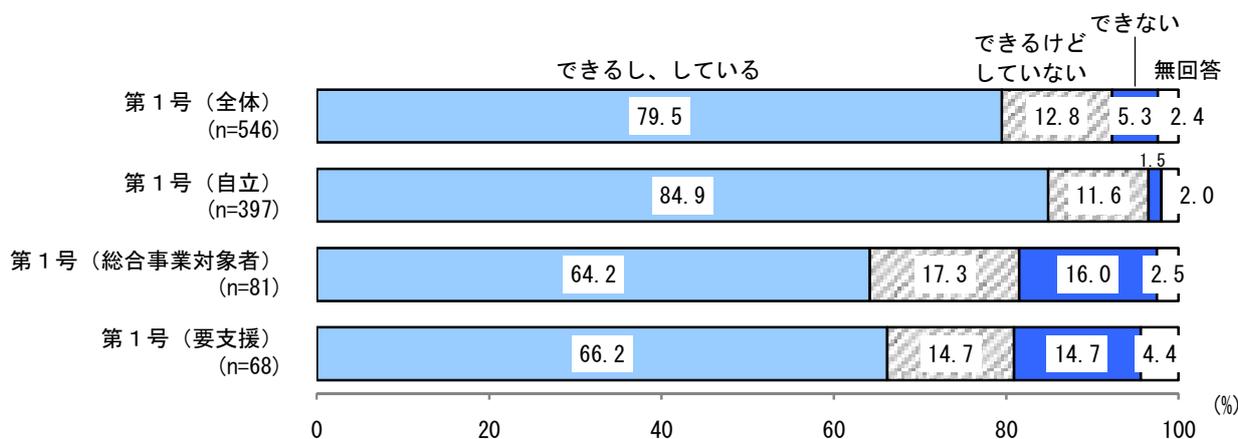


自分で食事の用意をしているかについては、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】、【第1号 (要支援)】は「できるし、している」が最も多いですが、【要介護】は「できない」が85.3%を占め、最も多くなっています。(図4-5)

(6) 自分で請求書の支払い

問6 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

【図4-6 自分で請求書の支払い】

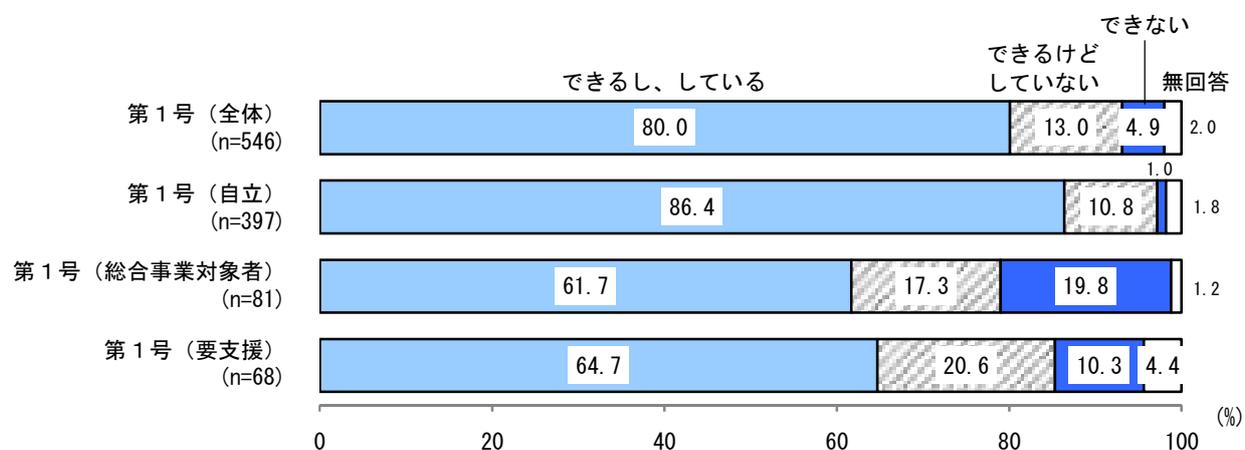


自分で請求書の支払いをしているかについては、いずれも「できるし、している」が最も多くなっています。「できない」の割合は、【第1号 (総合事業対象者)】(16.0%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(14.7%)となっています。(図4-6)

(7) 自分で預貯金の出し入れ

問6 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

【図4-7 自分で預貯金の出し入れ】

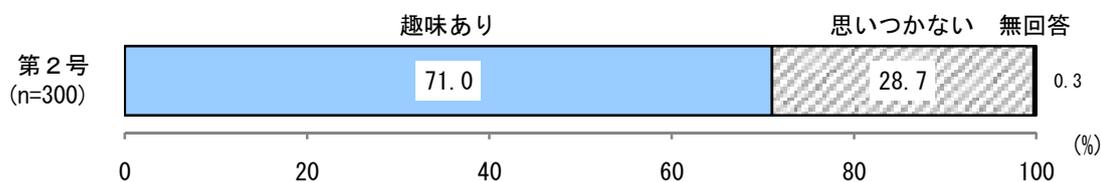


自分で預貯金の出し入れをしているかについては、いずれも「できるし、している」が最も多くなっています。「できない」の割合は、【第1号 (総合事業対象者)】(19.8%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(10.3%)となっています。(図4-7)

(8) 趣味の有無

問6 (1) 趣味はありますか (○は1つ) ある場合はどのような趣味ですか

【図4-8 趣味の有無】



【第2号】の趣味の有無については、「趣味あり」が71.0%、「思いつかない」が28.7%となっています。(図4-8)

「趣味あり」と回答した213人に、どのような趣味かを自由記述形式でたずねると、「読書」が25件で最も多く、次いで「手芸」が16件となっています。(表4-8-1)

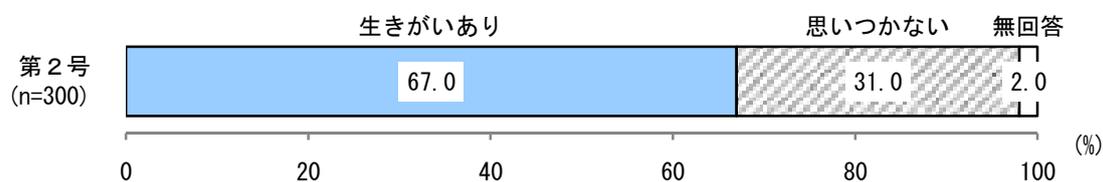
【表4-8-1 趣味の内容】

趣味	件数	趣味	件数
読書	25	麻雀	3
手芸	16	ショッピング	3
旅行	13	自転車・ロードバイク	3
音楽鑑賞	11	プロ野球観戦・応援	3
映画	11	散歩・犬の散歩	3
ゴルフ	9	ゲーム	3
楽器演奏	9	体操	3
ガーデニング、植木	8	登山	3
テニス	7	ウォーキング	2
観劇	6	パン作り	2
ヨガ	6	カメラ	2
釣り	5	クラフト	2
テレビ視聴	4	スキー	2
スポーツ・運動	4	ジム	2
スポーツ観戦	4	ジョギング・マラソン	2
ダンス	4	トールペイント	2
ドライブ	4	料理	2
ライブ・コンサート	3	バレーボール・ソフトバレーボール	2
いろいろ	3	ピラティス	2
英会話・語学	3	書道	2
お菓子作り	3	卓球	2
バイク	3	その他	37
カラオケ	3	合計	251

(9) 生きがいの有無

問6 (2) 生きがいはありますか (○は1つ) ある場合はどんなことですか

【図4-9 生きがいの有無】



【第2号】の生きがいの有無については、「生きがいあり」が67.0%、「思いつかない」が31.0%となっています。(図4-9)

「生きがいあり」と回答した201人に、どのような生きがいかを自由記述形式でたずねると、「子ども・孫・家族」が89件で最も多く、次いで「仕事」が34件となっています。(表4-9-1)

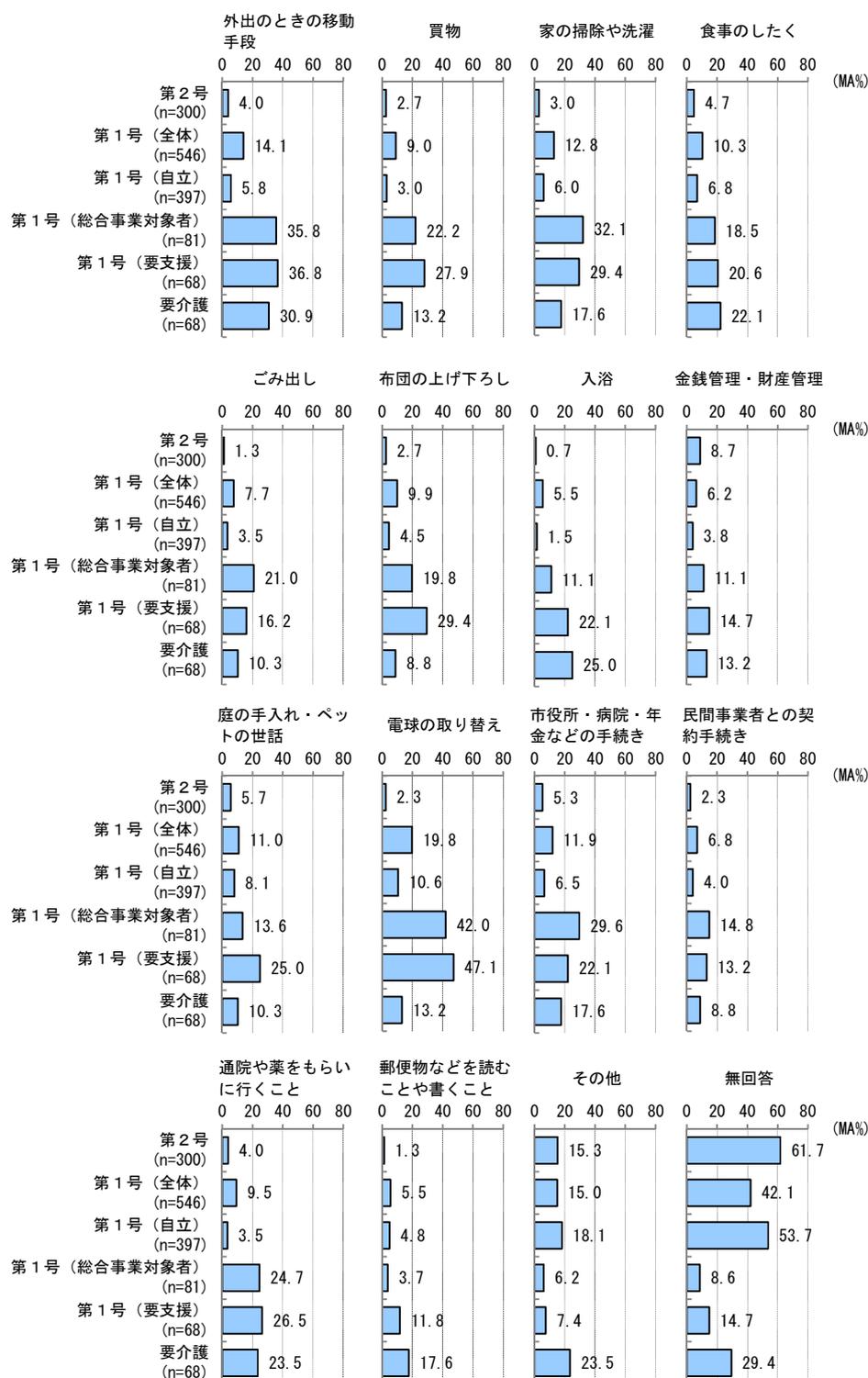
【表4-9-1 生きがいの内容】

趣味	件数
子ども・孫・家族	89
仕事	34
ペット	9
食事(食べ歩き)	7
趣味	7
旅行	5
ライブ・コンサート	2
いろいろ	2
習い事	2
育児	2
飲酒	2
介護	2
友達との交流	2
その他	18
合計	183

(10) 日常生活の中で困っていること

問6(7) あなたは現在、日常生活の中で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

【図4-10 日常生活の中で困っていること】



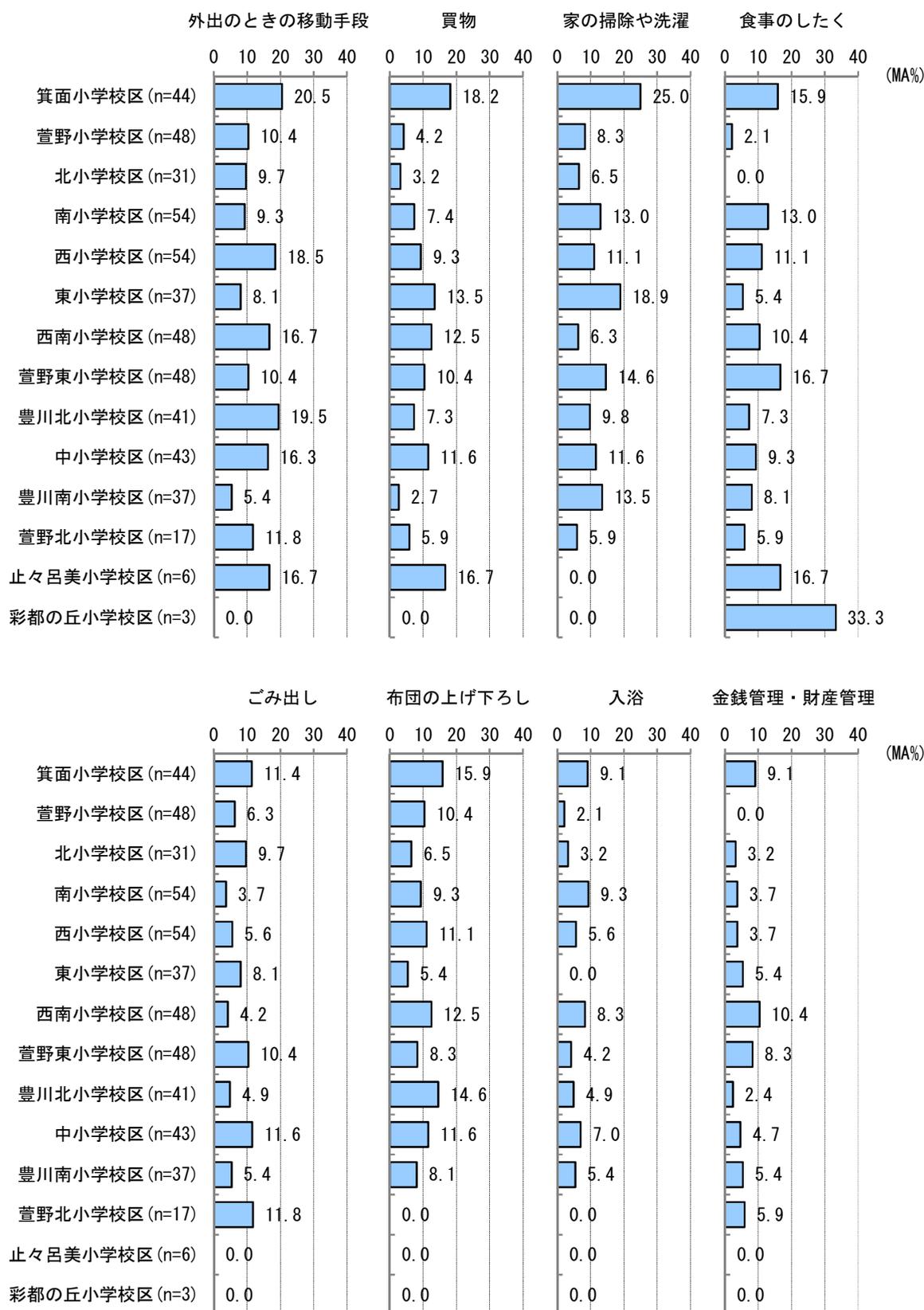
日常生活の中で困っていることについては、【第2号】は「金銭管理・財産管理」が8.7%で最も多く、次いで「庭の手入れ・ペットの世話」が5.7%となっています。

【第1号(自立)】、【第1号(総合事業対象者)】、【第1号(要支援)】は「電球の取り替え」が最も多く、【要介護】では「外出のときの移動手段」が最も多くなっています。(図4-10)

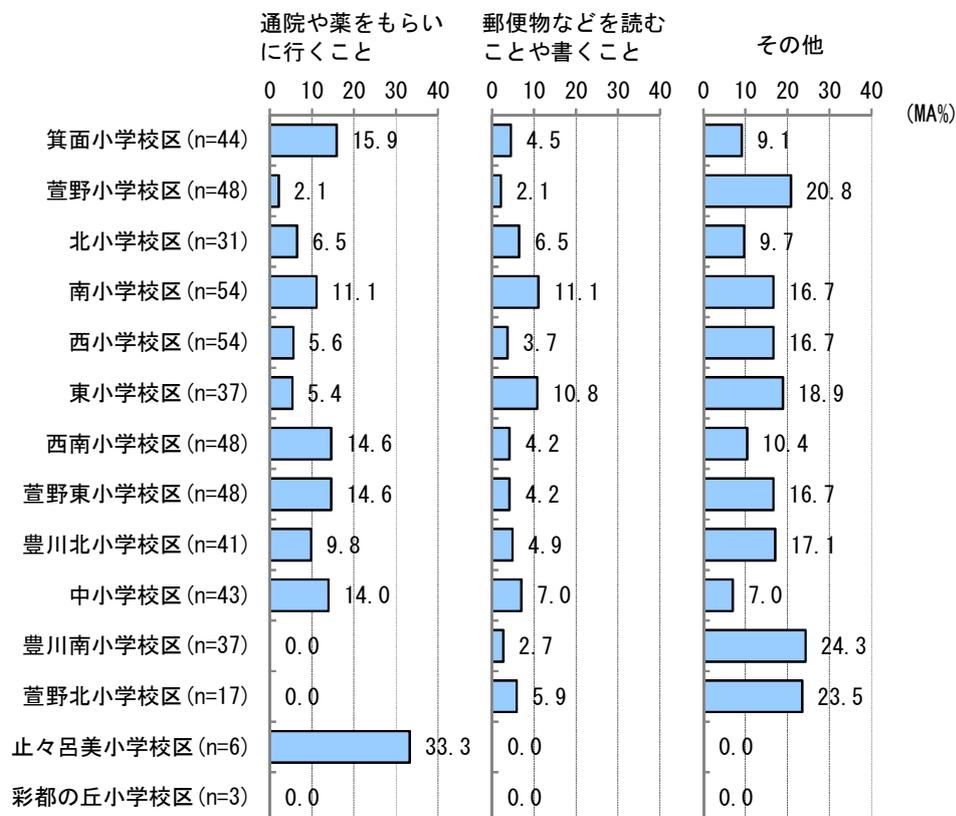
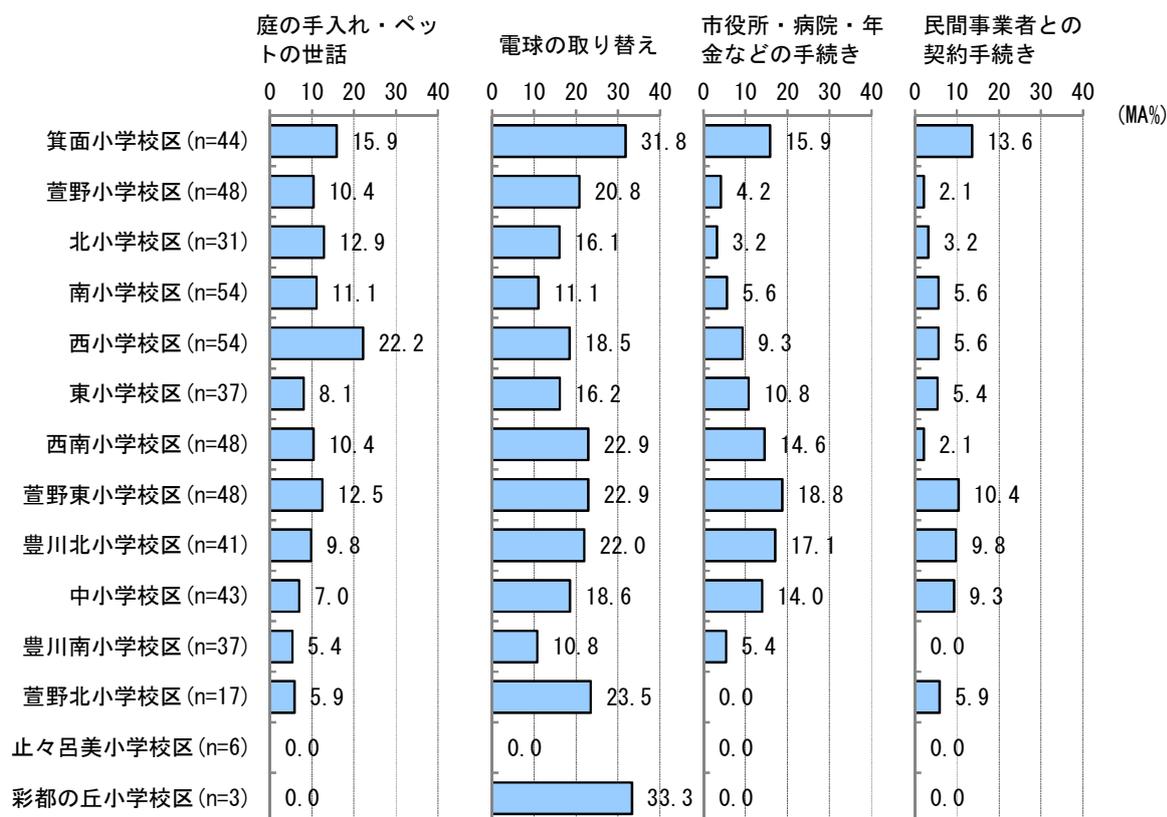
【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「外出のときの移動手段」、「買物」、「家の掃除や洗濯」、「布団の上げ下ろし」、「民間事業者との契約手続き」の割合は箕面小学校区で最も高くなっています。（図4-10-1①②）

（※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。）

【図4-10-1 居住小学校区別 日常生活の中で困っていること①【第1号（全体）】】



【図4-10-1 居住小学校区別 日常生活の中で困っていること②【第1号(全体)】】



5. 地域での活動について

(1) 地域の会・グループの参加頻度

問7(1) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください(○はそれぞれ1つ)

【表5-1-1 地域の会・グループの参加頻度〔①ボランティアのグループ〕】

	(単位:%)						
	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	0.3	1.3	0.3	1.0	3.3	85.7	8.0
第1号(全体) (n=546)	0.4	2.0	1.5	6.0	4.4	54.4	31.3
第1号(自立) (n=397)	0.5	2.0	1.5	6.8	3.8	57.2	28.2
第1号(総合事業対象者) (n=81)	-	2.5	-	3.7	4.9	44.4	44.4
第1号(要支援) (n=68)	-	1.5	2.9	4.4	7.4	50.0	33.8

地域の会・グループの参加頻度についてたずねました。

ボランティアのグループは、いずれも「参加していない」が最も多く、【第2号】(85.7%)で最も高い割合となっています。次いで【第1号(自立)】は「月1～3回」(6.8%)、それ以外の区分では「年に数回」が続いています。(表5-1-1)

【表5-1-2 地域の会・グループの参加頻度〔②スポーツ関係のグループやクラブ〕】

	(単位:%)						
	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	2.0	7.3	8.0	2.7	2.0	71.3	6.7
第1号(全体) (n=546)	3.8	7.7	7.1	3.7	0.5	50.4	26.7
第1号(自立) (n=397)	4.8	10.1	7.1	4.5	0.5	50.9	22.2
第1号(総合事業対象者) (n=81)	1.2	-	8.6	-	1.2	46.9	42.0
第1号(要支援) (n=68)	1.5	2.9	5.9	2.9	-	51.5	35.3

スポーツ関係のグループやクラブは、いずれも「参加していない」が最も多く、【第2号】(71.3%)で最も高い割合となっています。次いで【第1号(自立)】では「週2～3回」(10.1%)、それ以外の区分では「週1回」が続いています。(表5-1-2)

【表5-1-3 地域の会・グループの参加頻度〔③趣味関係のグループ〕】

(単位:%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	1.0	2.7	4.3	9.3	4.3	70.7	7.7
第1号(全体) (n=546)	1.8	4.9	6.2	12.5	3.5	45.8	25.3
第1号(自立) (n=397)	2.3	4.8	6.0	13.9	4.3	47.4	21.4
第1号(総合事業対象者) (n=81)	-	7.4	4.9	8.6	2.5	40.7	35.8
第1号(要支援) (n=68)	1.5	2.9	8.8	8.8	-	42.6	35.3

趣味関係のグループは、いずれも「参加していない」が最も多く、【第2号】(70.7%)で最も高い割合となっています。次いでいずれも「月1～3回」であり、【第1号(要支援)】は「週1回」が同率(8.8%)となっています。(表5-1-3)

【表5-1-4 地域の会・グループの参加頻度〔④学習・教養サークル〕】

(単位:%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	0.3	-	2.0	2.0	3.0	82.3	10.3
第1号(全体) (n=546)	0.7	-	1.3	5.1	2.4	56.2	34.2
第1号(自立) (n=397)	0.8	-	1.5	4.8	2.8	59.7	30.5
第1号(総合事業対象者) (n=81)	-	-	-	4.9	2.5	44.4	48.1
第1号(要支援) (n=68)	1.5	-	1.5	7.4	-	50.0	39.7

学習・教養サークルは、いずれも「参加していない」が最も多く、【第2号】(82.3%)で最も高い割合となっています。次いで【第2号】では「年に数回」(3.0%)、それ以外の区分では「月1～3回」が続いています。(表5-1-4)

【表5-1-5 地域の会・グループの参加頻度〔⑤介護予防のための通いの場〕】

(単位:%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	-	-	-	0.3	0.3	90.0	9.3
第1号(全体) (n=546)	1.1	2.7	7.0	1.1	1.1	56.4	30.6
第1号(自立) (n=397)	1.0	0.3	1.5	0.5	1.3	65.0	30.5
第1号(総合事業対象者) (n=81)	-	9.9	29.6	3.7	1.2	23.5	32.1
第1号(要支援) (n=68)	2.9	8.8	11.8	1.5	-	45.6	29.4

介護予防のための通いの場は、いずれも「参加していない」が最も多く、【第2号】(90.0%)で最も高い割合となっています。次いで【第1号(自立)】、【第1号(総合事業対象者)】、【第1号(要支援)】では「週1回」が続いており、【第1号(総合事業対象者)】が29.6%と最も高い割合となっています。(表5-1-5)

【表5-1-6 地域の会・グループの参加頻度〔⑥シニアクラブ(老人クラブ)〕】

(単位:%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	0.3	-	-	-	-	90.7	9.0
第1号(全体) (n=546)	-	0.5	0.7	3.3	3.3	60.6	31.5
第1号(自立) (n=397)	-	0.5	0.3	2.8	3.0	64.5	29.0
第1号(総合事業対象者) (n=81)	-	-	3.7	7.4	3.7	45.7	39.5
第1号(要支援) (n=68)	-	1.5	-	1.5	4.4	55.9	36.8

シニアクラブ(老人クラブ)は、いずれも「参加していない」が最も多く、次いで【第1号(総合事業対象者)】では「月1～3回」(7.4%)が続いています。(表5-1-6)

【表5-1-7 地域の会・グループの参加頻度〔⑦自治会・町内会〕】

(単位:%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	-	-	0.3	2.3	17.0	71.3	9.0
第1号(全体) (n=546)	0.4	0.4	0.5	4.2	13.7	47.8	33.0
第1号(自立) (n=397)	0.3	0.3	0.8	4.8	15.4	48.4	30.2
第1号(総合事業対象者) (n=81)	-	-	-	2.5	12.3	40.7	44.4
第1号(要支援) (n=68)	1.5	1.5	-	2.9	5.9	52.9	35.3

自治会・町内会は、いずれも「参加していない」が最も多く、【第2号】(71.3%)で最も高い割合となっています。次いで、いずれも「年に数回」が続いており、【第2号】が17.0%で最も高い割合となっています。(表5-1-7)

【表5-1-8 地域の会・グループの参加頻度〔⑧収入のある仕事〕】

(単位:%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
第2号 (n=300)	55.0	8.0	0.7	1.3	1.0	30.7	3.3
第1号(全体) (n=546)	10.4	7.0	0.9	1.6	0.7	49.3	30.0
第1号(自立) (n=397)	14.1	9.3	1.3	2.3	1.0	47.6	24.4
第1号(総合事業対象者) (n=81)	1.2	1.2	-	-	-	50.6	46.9
第1号(要支援) (n=68)	-	-	-	-	-	57.4	42.6

収入のある仕事は、【第2号】では「週4回以上」が55.0%で最も多くなっていますが、それ以外の区分では「参加していない」が最も多くなっています。(表5-1-8)

ボランティアのグループについて、【第1号(全体)】を居住小学校区別で見ると、「参加していない」は西南小学校区(64.6%)で最も高く、次いで西小学校区(61.1%)となっています。(表5-1-1-1)

(※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略していません。(以下同様))

【表5-1-1-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔①ボランティアのグループ〕【第1号(全体)】】

(単位: %)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区(n=44)	-	2.3	6.8	6.8	4.5	45.5	34.1
萱野小学校区(n=48)	-	2.1	6.3	6.3	4.2	54.2	27.1
北小学校区(n=31)	-	3.2	-	6.5	3.2	51.6	35.5
南小学校区(n=54)	-	1.9	-	3.7	1.9	53.7	38.9
西小学校区(n=54)	-	-	-	3.7	3.7	61.1	31.5
東小学校区(n=37)	-	-	-	5.4	8.1	45.9	40.5
西南小学校区(n=48)	2.1	2.1	-	10.4	4.2	64.6	16.7
萱野東小学校区(n=48)	-	-	-	4.2	4.2	58.3	33.3
豊川北小学校区(n=41)	-	4.9	2.4	9.8	-	53.7	29.3
中小小学校区(n=43)	2.3	2.3	-	2.3	11.6	53.5	27.9
豊川南小学校区(n=37)	-	5.4	-	5.4	2.7	59.5	27.0
萱野北小学校区(n=17)	-	5.9	-	5.9	11.8	52.9	23.5
止々呂美小学校区(n=6)	-	-	-	-	16.7	33.3	50.0
彩都の丘小学校区(n=3)	-	-	-	33.3	-	66.7	-

スポーツ関係のグループやクラブについて、【第1号(全体)】を居住小学校区別で見ると、「週4回以上」は萱野小学校区(8.3%)が最も高く、次いで箕面小学校区(6.8%)となっています。(表5-1-2-1)

【表5-1-2-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔②スポーツ関係のグループやクラブ〕【第1号(全体)】】

(単位: %)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区(n=44)	6.8	11.4	13.6	9.1	-	38.6	20.5
萱野小学校区(n=48)	8.3	2.1	4.2	4.2	2.1	50.0	29.2
北小学校区(n=31)	-	3.2	6.5	9.7	-	45.2	35.5
南小学校区(n=54)	1.9	3.7	9.3	3.7	-	51.9	29.6
西小学校区(n=54)	1.9	13.0	3.7	1.9	1.9	51.9	25.9
東小学校区(n=37)	5.4	5.4	8.1	2.7	2.7	45.9	29.7
西南小学校区(n=48)	4.2	8.3	12.5	2.1	-	58.3	14.6
萱野東小学校区(n=48)	2.1	6.3	4.2	4.2	-	54.2	29.2
豊川北小学校区(n=41)	4.9	9.8	7.3	7.3	-	43.9	26.8
中小小学校区(n=43)	7.0	9.3	4.7	2.3	-	58.1	18.6
豊川南小学校区(n=37)	-	10.8	10.8	-	-	56.8	21.6
萱野北小学校区(n=17)	-	-	5.9	-	-	64.7	29.4
止々呂美小学校区(n=6)	-	-	-	-	-	50.0	50.0
彩都の丘小学校区(n=3)	-	-	33.3	-	-	66.7	-

趣味関係のグループについて、【第1号(全体)】を居住小学校区別で見ると、「週4回以上」は豊川北小学校区(7.3%)が最も高く、次いで中小小学校区(4.7%)となっています。(表5-1-3-1)

【表5-1-3-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔③趣味関係のグループ〕【第1号(全体)】】

(単位：%)

	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区 (n=44)	-	4.5	13.6	11.4	-	43.2	27.3
萱野小学校区 (n=48)	2.1	6.3	4.2	14.6	6.3	43.8	22.9
北小学校区 (n=31)	-	-	3.2	19.4	-	45.2	32.3
南小学校区 (n=54)	-	9.3	5.6	14.8	5.6	38.9	25.9
西小学校区 (n=54)	-	5.6	7.4	9.3	1.9	50.0	25.9
東小学校区 (n=37)	-	-	10.8	13.5	2.7	43.2	29.7
西南小学校区 (n=48)	-	6.3	4.2	6.3	12.5	52.1	18.8
萱野東小学校区 (n=48)	4.2	4.2	6.3	14.6	4.2	41.7	25.0
豊川北小学校区 (n=41)	7.3	4.9	7.3	19.5	4.9	36.6	19.5
中小小学校区 (n=43)	4.7	7.0	2.3	9.3	-	55.8	20.9
豊川南小学校区 (n=37)	-	5.4	8.1	10.8	2.7	54.1	18.9
萱野北小学校区 (n=17)	-	-	5.9	23.5	-	58.8	11.8
止々呂美小学校区 (n=6)	-	-	-	16.7	-	33.3	50.0
彩都の丘小学校区 (n=3)	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-

学習・教養サークルについて、【第1号(全体)】を居住小学校区別で見ると、「参加していない」は箕面小学校区(43.2%)を除く小学校区で過半数となっています。(表5-1-4-1)

【表5-1-4-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔④学習・教養サークル〕【第1号(全体)】】

(単位：%)

	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区 (n=44)	2.3	-	2.3	6.8	9.1	43.2	36.4
萱野小学校区 (n=48)	-	-	2.1	4.2	6.3	54.2	33.3
北小学校区 (n=31)	-	-	3.2	-	-	58.1	38.7
南小学校区 (n=54)	1.9	-	1.9	5.6	3.7	53.7	33.3
西小学校区 (n=54)	-	-	3.7	9.3	1.9	55.6	29.6
東小学校区 (n=37)	-	-	-	-	-	56.8	43.2
西南小学校区 (n=48)	2.1	-	2.1	8.3	4.2	60.4	22.9
萱野東小学校区 (n=48)	-	-	-	2.1	-	58.3	39.6
豊川北小学校区 (n=41)	-	-	-	2.4	2.4	58.5	36.6
中小小学校区 (n=43)	2.3	-	-	4.7	-	62.8	30.2
豊川南小学校区 (n=37)	-	-	-	10.8	-	62.2	27.0
萱野北小学校区 (n=17)	-	-	-	-	-	70.6	29.4
止々呂美小学校区 (n=6)	-	-	-	-	-	50.0	50.0
彩都の丘小学校区 (n=3)	-	-	-	-	-	66.7	33.3

介護予防のための通いの場について、【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「週4回以上」は北小学校区（3.2%）が最も高く、「週2～3回」、「週1回」は箕面小学校区で最も高くなっています。（表5-1-5-1）

【表5-1-5-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔⑤介護予防のための通いの場〕【第1号（全体）】】

(単位：%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区 (n=44)	-	6.8	11.4	2.3	2.3	38.6	38.6
萱野小学校区 (n=48)	-	2.1	6.3	-	-	58.3	33.3
北小学校区 (n=31)	3.2	3.2	9.7	3.2	-	58.1	22.6
南小学校区 (n=54)	1.9	1.9	9.3	1.9	-	53.7	31.5
西小学校区 (n=54)	1.9	3.7	7.4	-	-	57.4	29.6
東小学校区 (n=37)	-	2.7	-	-	5.4	51.4	40.5
西南小学校区 (n=48)	2.1	4.2	6.3	-	-	68.8	18.8
萱野東小学校区 (n=48)	2.1	-	8.3	-	-	60.4	29.2
豊川北小学校区 (n=41)	-	-	7.3	-	2.4	53.7	36.6
中小学校区 (n=43)	-	4.7	9.3	2.3	2.3	55.8	25.6
豊川南小学校区 (n=37)	-	-	2.7	-	-	70.3	27.0
萱野北小学校区 (n=17)	-	-	5.9	5.9	-	70.6	17.6
止々呂美小学校区 (n=6)	-	-	16.7	-	-	50.0	33.3
彩都の丘小学校区 (n=3)	-	-	-	-	-	66.7	33.3

シニアクラブ（老人クラブ）について、【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「参加していない」は箕面小学校区（47.7%）を除く小学校区で過半数となっています。（表5-1-6-1）

【表5-1-6-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔⑥シニアクラブ（老人クラブ）〕【第1号（全体）】】

(単位：%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区 (n=44)	-	-	2.3	9.1	9.1	47.7	31.8
萱野小学校区 (n=48)	-	2.1	-	6.3	2.1	60.4	29.2
北小学校区 (n=31)	-	-	-	6.5	-	61.3	32.3
南小学校区 (n=54)	-	-	1.9	-	5.6	55.6	37.0
西小学校区 (n=54)	-	-	-	5.6	3.7	61.1	29.6
東小学校区 (n=37)	-	-	-	-	-	56.8	43.2
西南小学校区 (n=48)	-	-	-	4.2	2.1	72.9	20.8
萱野東小学校区 (n=48)	-	-	-	4.2	2.1	62.5	31.3
豊川北小学校区 (n=41)	-	-	2.4	-	2.4	63.4	31.7
中小学校区 (n=43)	-	2.3	-	-	-	69.8	27.9
豊川南小学校区 (n=37)	-	-	-	5.4	5.4	64.9	24.3
萱野北小学校区 (n=17)	-	-	-	-	11.8	58.8	29.4
止々呂美小学校区 (n=6)	-	-	-	-	16.7	50.0	33.3
彩都の丘小学校区 (n=3)	-	-	-	-	-	66.7	33.3

自治会・町内会について、【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「月1～3回」、「年に数回」は萱野小学校区で最も高くなっています。（表5-1-7-1）

【表5-1-7-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔⑦自治会・町内会〕【第1号（全体）】】

(単位：%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区 (n=44)	-	-	-	9.1	9.1	43.2	38.6
萱野小学校区 (n=48)	-	-	-	10.4	20.8	39.6	29.2
北小学校区 (n=31)	-	-	-	3.2	9.7	51.6	35.5
南小学校区 (n=54)	1.9	-	-	-	13.0	48.1	37.0
西小学校区 (n=54)	-	-	-	1.9	18.5	46.3	33.3
東小学校区 (n=37)	-	-	-	-	13.5	45.9	40.5
西南小学校区 (n=48)	2.1	-	2.1	2.1	14.6	58.3	20.8
萱野東小学校区 (n=48)	-	-	-	8.3	8.3	47.9	35.4
豊川北小学校区 (n=41)	-	2.4	2.4	2.4	14.6	48.8	29.3
中小小学校区 (n=43)	-	2.3	2.3	4.7	14.0	48.8	27.9
豊川南小学校区 (n=37)	-	-	-	-	16.2	56.8	27.0
萱野北小学校区 (n=17)	-	-	-	11.8	17.6	41.2	29.4
止々呂美小学校区 (n=6)	-	-	-	16.7	16.7	33.3	33.3
彩都の丘小学校区 (n=3)	-	-	-	-	-	66.7	33.3

収入のある仕事について、【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「週4回以上」は豊川北小学校区(17.1%)で最も高く、次いで北小学校区(16.1%)となっています。（表5-1-8-1）

【表5-1-8-1 居住小学校区別 地域の会・グループの参加頻度〔⑧収入のある仕事〕【第1号（全体）】】

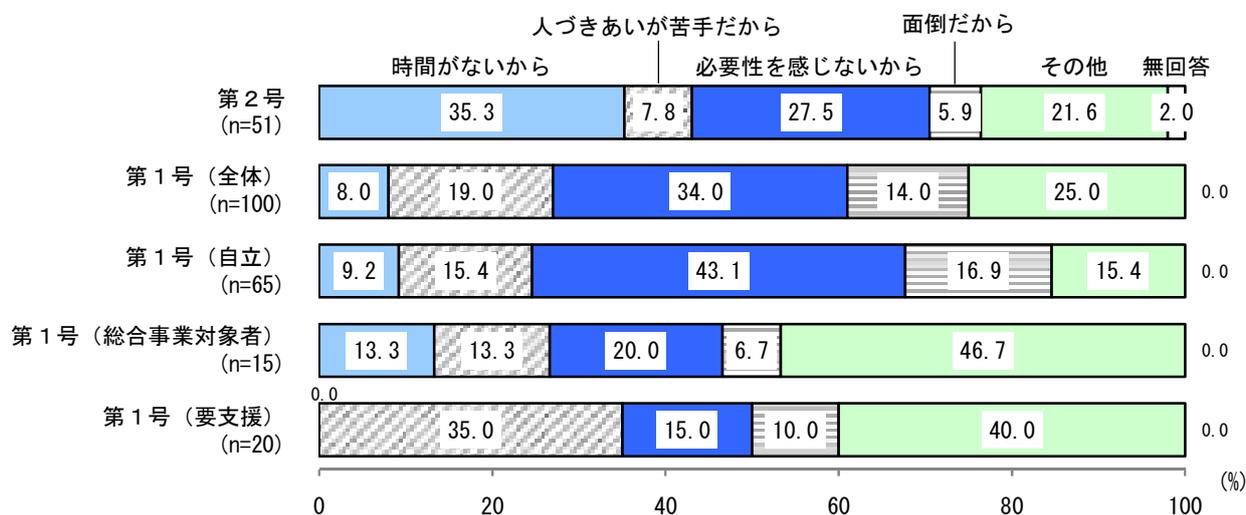
(単位：%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
箕面小学校区 (n=44)	6.8	9.1	-	4.5	-	47.7	31.8
萱野小学校区 (n=48)	12.5	-	-	4.2	-	52.1	31.3
北小学校区 (n=31)	16.1	6.5	3.2	3.2	-	35.5	35.5
南小学校区 (n=54)	7.4	3.7	-	5.6	-	46.3	37.0
西小学校区 (n=54)	5.6	13.0	-	-	-	51.9	29.6
東小学校区 (n=37)	13.5	8.1	-	-	-	43.2	35.1
西南小学校区 (n=48)	8.3	12.5	-	-	4.2	54.2	20.8
萱野東小学校区 (n=48)	6.3	4.2	2.1	-	-	56.3	31.3
豊川北小学校区 (n=41)	17.1	4.9	2.4	-	-	51.2	24.4
中小小学校区 (n=43)	11.6	4.7	-	-	2.3	55.8	25.6
豊川南小学校区 (n=37)	13.5	5.4	-	-	-	62.2	18.9
萱野北小学校区 (n=17)	17.6	11.8	5.9	-	-	35.3	29.4
止々呂美小学校区 (n=6)	16.7	16.7	-	-	-	33.3	33.3
彩都の丘小学校区 (n=3)	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3

(2) 地域の会・グループに参加していない理由

【問7 (1) において、①から⑧まですべて「6 参加していない」のかたのみ】
 参加していない理由は、次のどれですか (〇は1つ)

【図5-2 地域の会・グループに参加していない理由】

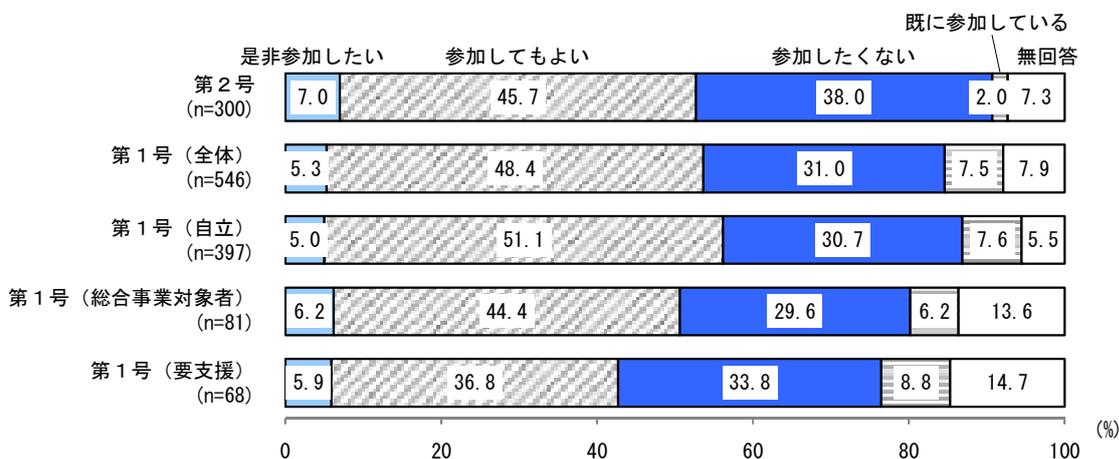


地域の会・グループなどにすべて参加していないと回答した人に、その理由をたずねると、【第2号】は「時間がないから」が35.3%で最も多く、次いで「必要性を感じないから」が27.5%となっています。【第1号 (自立)】では「必要性を感じないから」が43.1%で最も多く、次いで「面倒だから」が16.9%となっています。(図5-2)

(3) 地域活動に参加者としての参加意向

問7(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(○は1つ)

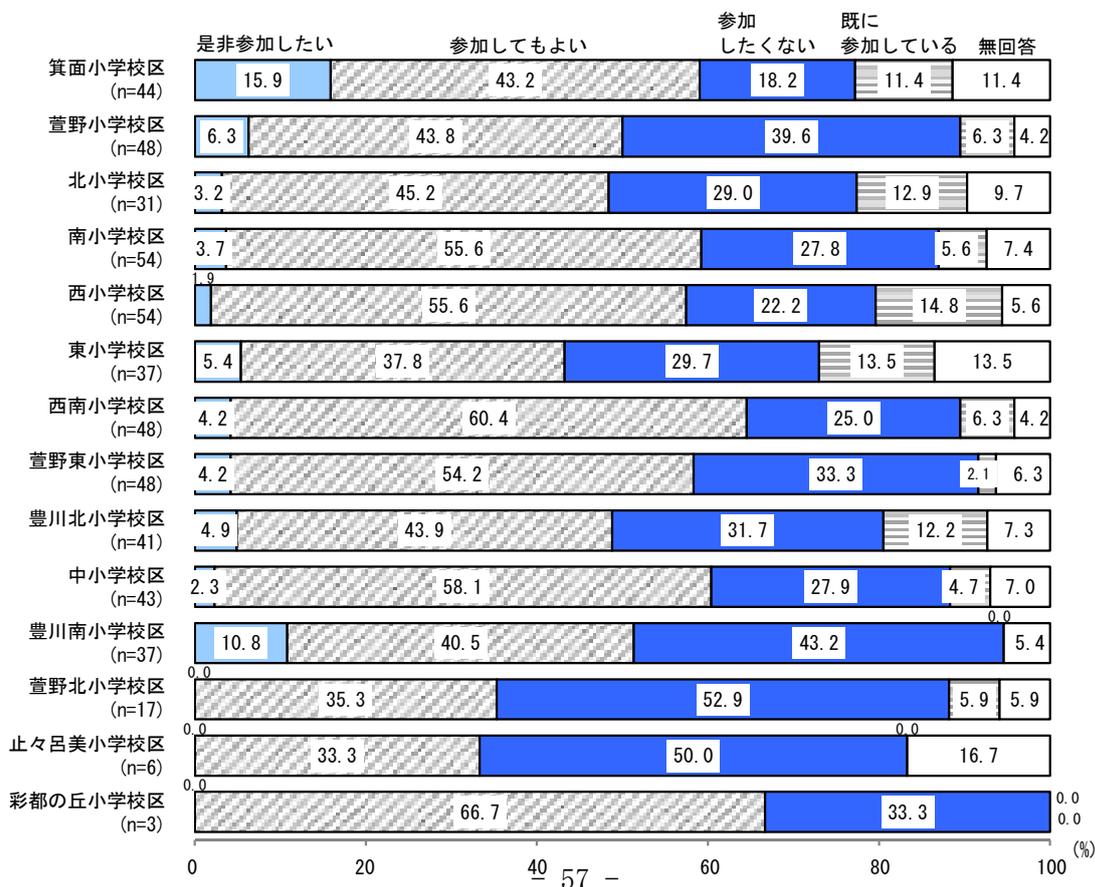
【図5-3 地域活動に参加者としての参加意向】



地域活動に参加者としての参加意向については、いずれの区分も「参加してもよい」が最も多く、次いで「参加したくない」となっています。「既に参加している」の割合は【第1号(要支援)】(8.8%)で最も高くなっています。(図5-3)

【第1号(全体)】を居住小学校区別でみると、「是非参加したい」は箕面小学校区(15.9%)で最も高くなっています。(図5-3-1)

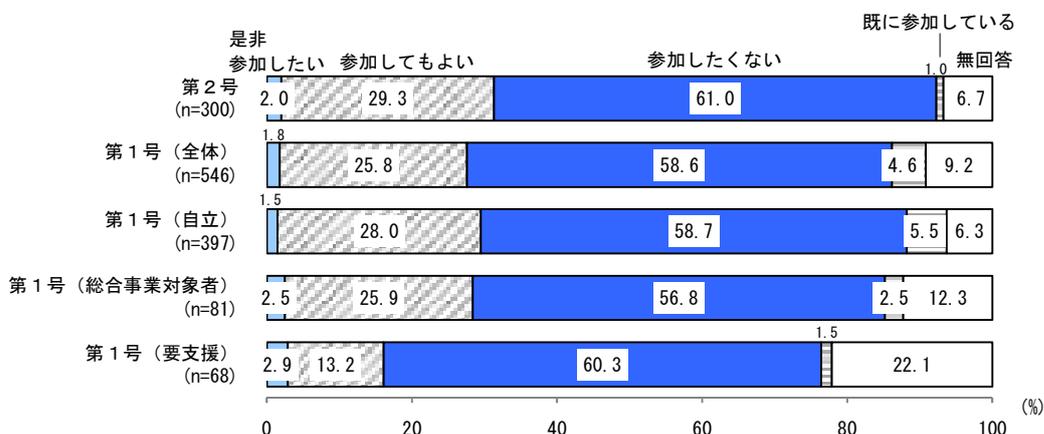
【図5-3-1 居住小学校区別 地域活動に参加者としての参加意向【第1号(全体)】】



(4) 地域活動に企画・運営としての参加意向

問7(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(○は1つ)

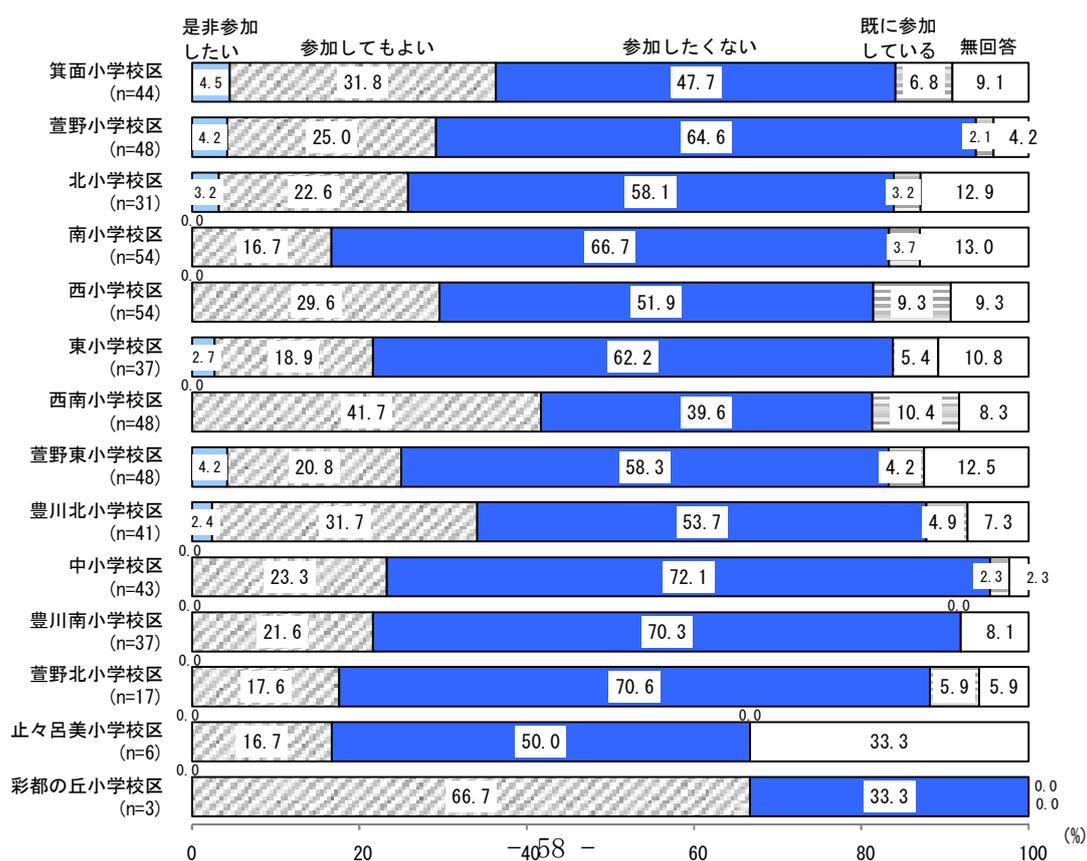
【図5-4 地域活動に企画・運営としての参加意向】



地域活動に企画・運営としての参加意向については、いずれの区分も「参加したくない」が最も多く、次いで「参加してもよい」となっています。「参加したくない」の割合は、【第1号(要支援)】(60.3%)で最も高くなっています。(図5-4)

【第1号(全体)】を居住小学校区別でみると、「是非参加したい」は箕面小学校区(4.5%)で最も高く、「参加してもよい」は西南小学校区(41.7%)で最も高くなっています。(図5-4-1)
(※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。)

【図5-4-1 居住小学校区別 地域活動に企画・運営としての参加意向【第1号(全体)】】

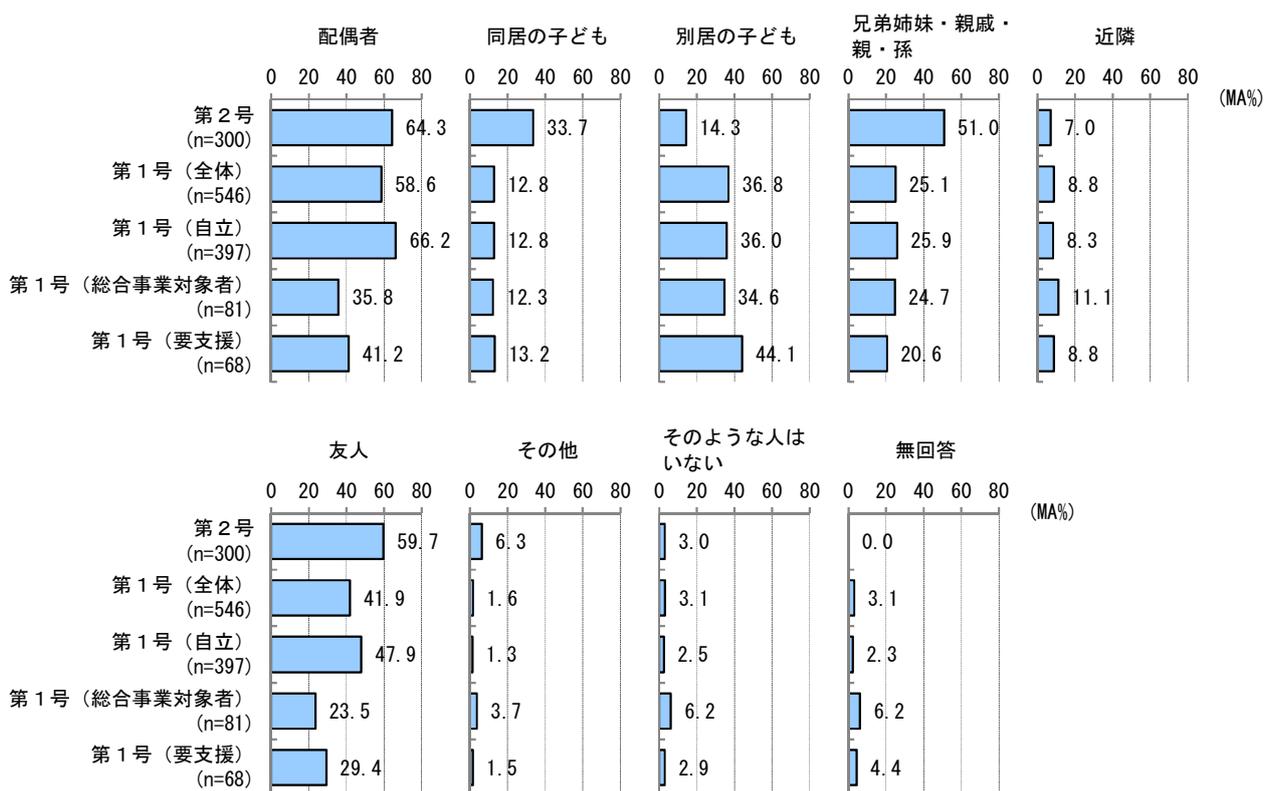


6. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問8 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどんな人ですか (〇はいくつでも)

【図6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

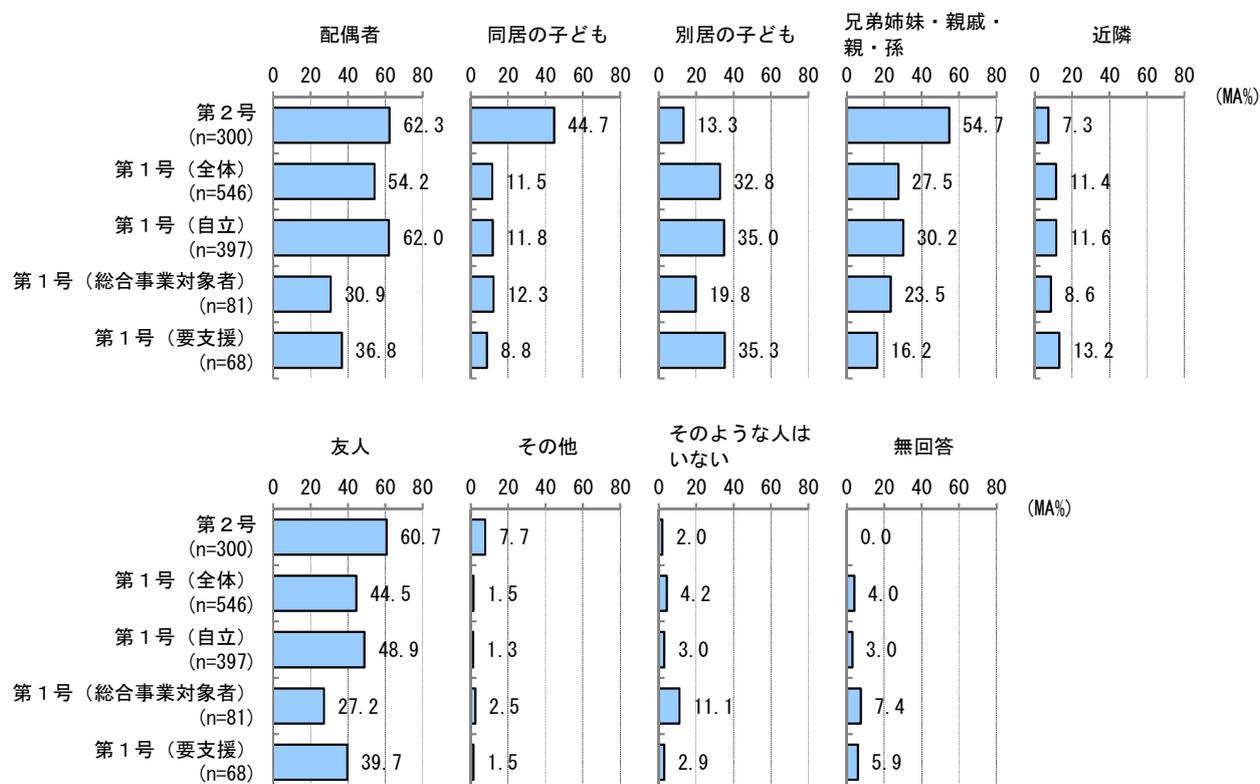


心配事や愚痴を聞いてくれる人については、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】は「配偶者」が最も多いですが、【第1号 (要支援)】では「別居の子ども」(44.1%)が最も多くなっています。「配偶者」、「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合はいずれも【第2号】が最も高くなっています。(図6-1)

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問8 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどんな人ですか (〇はいくつでも)

【図6-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人】

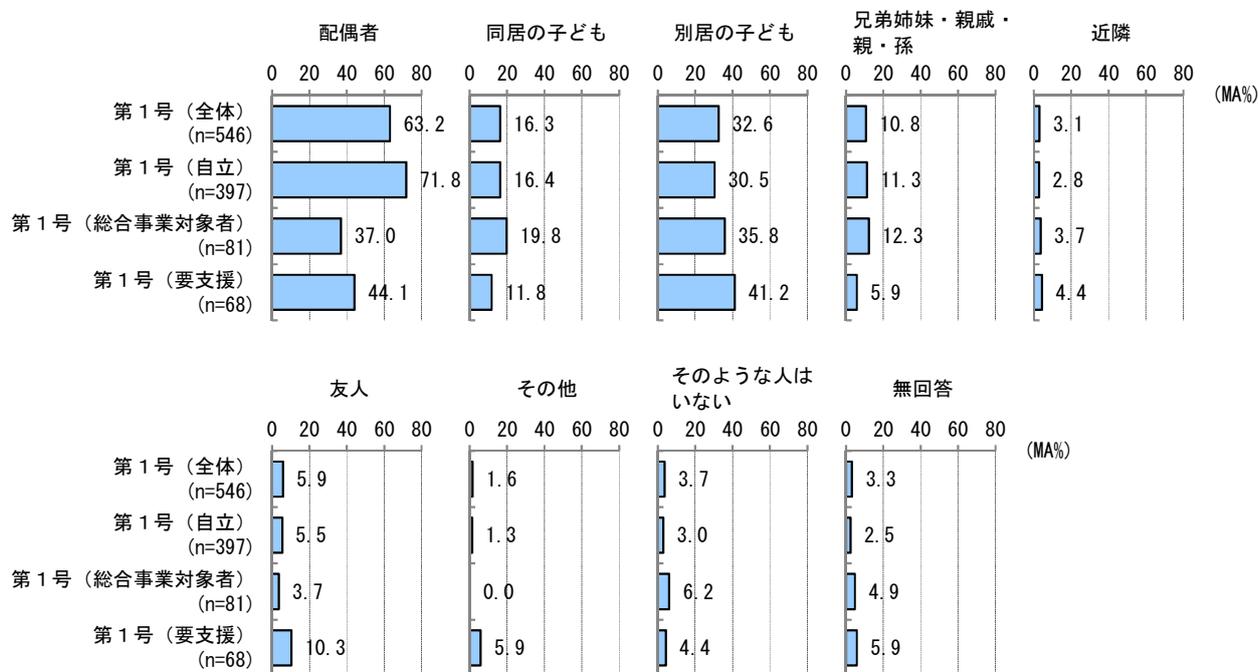


心配事や愚痴を聞いてあげる人については、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】は「配偶者」が最も多いですが、【第1号 (要支援)】では「友人」(39.7%)が最も多くなっています。「配偶者」、「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合はいずれも【第2号】が最も高くなっています。(図6-2)

(3) 看病や世話をしてくれる人

問8 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどんな人ですか (〇はいくつでも)

【図6-3 看病や世話をしてくれる人】

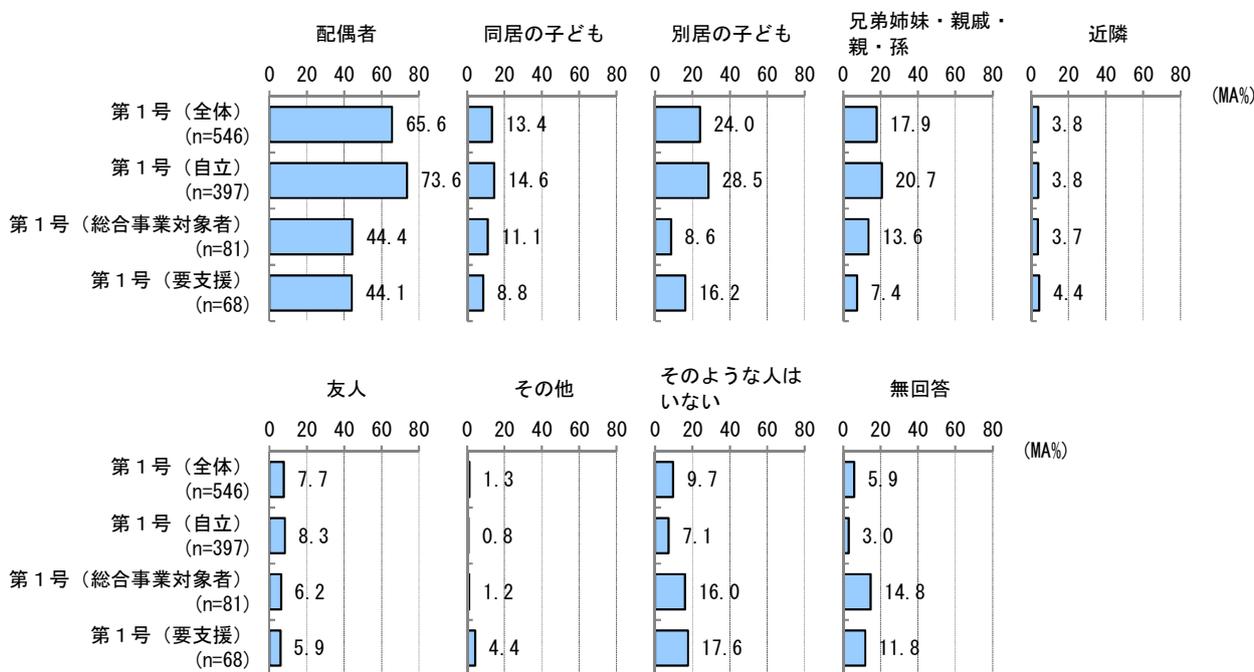


病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、いずれの区分も「配偶者」が最も多く、次いで「別居の子ども」となっています。「配偶者」の割合は【第1号(自立)】(71.8%)で最も高く、「別居の子ども」は【第1号(要支援)】(41.2%)で最も高くなっています。(図6-3)

(4) 看病や世話をしている人

問8 (4) 反対に、看病や世話をしている人はどんな人ですか (〇はいくつでも)

【図6-4 看病や世話をしている人】

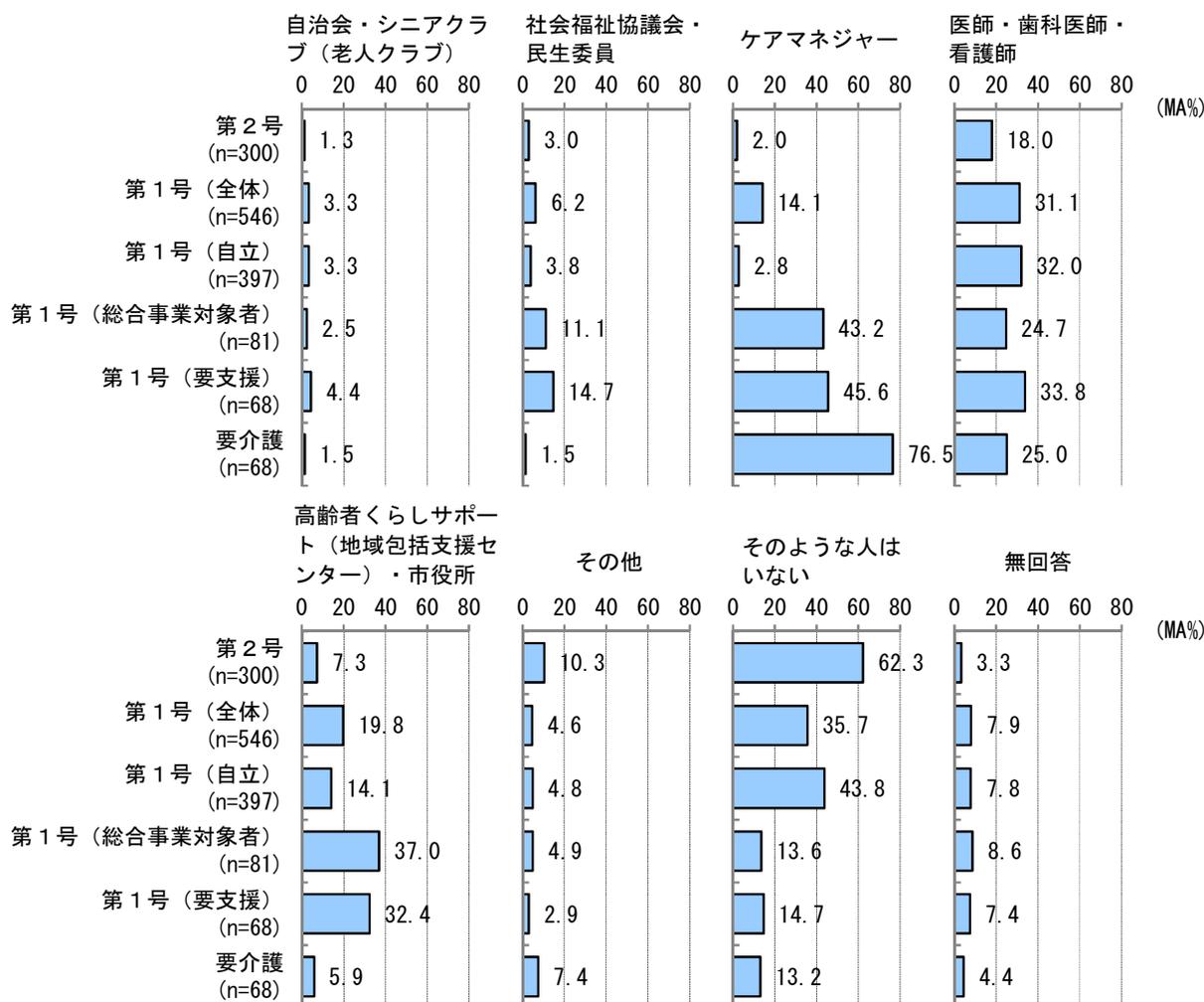


看病や世話をしている人については、いずれの区分も「配偶者」が最も多くなっています。次いで【第1号 (自立)】と【第1号 (要支援)】は「別居の子ども」(自立28.5%、要支援16.2%)、【第1号 (総合事業対象者)】は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.6%)が続いています。(図6-4)

(5) 相談相手

問8 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(○はいくつでも)

【図6-5 相談相手】

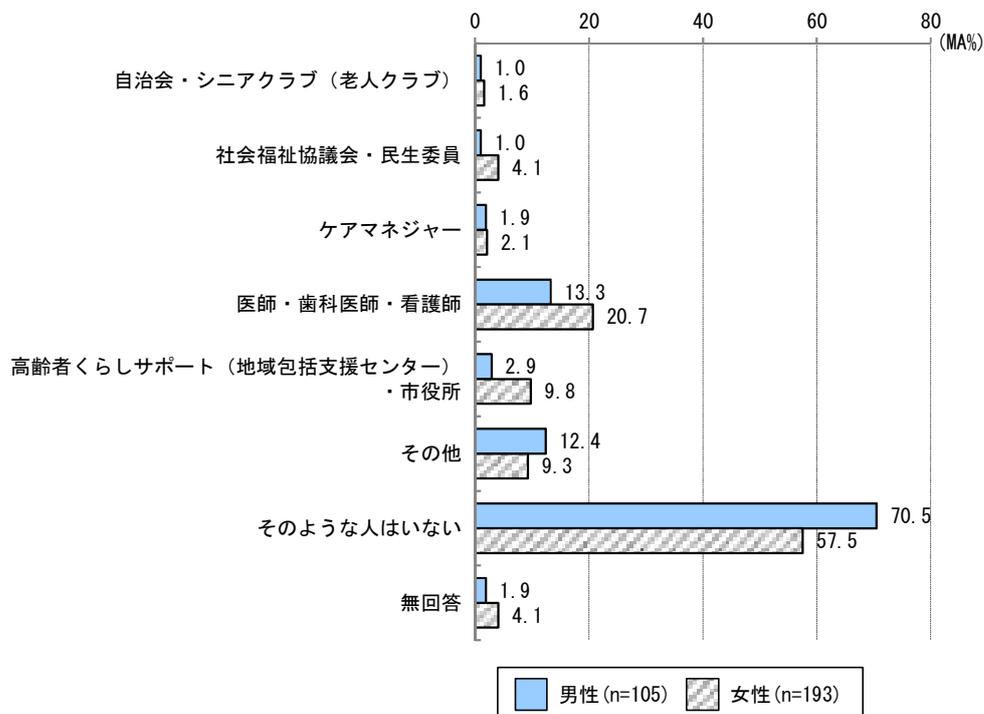


家族や友人・知人以外の相談相手については、【第2号】と【第1号(自立)】は「そのような人はいない」(第2号62.3%、自立43.8%)が最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(第2号18.0%、自立32.0%)となっています。【第1号(総合事業対象者)】と【第1号(要支援)】、【要介護】では「ケアマネジャー」(総合43.2%、要支援45.6%、要介護76.5%)が最も多く、次いで【第1号(総合事業対象者)】は「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)・市役所」(37.0%)、【第1号(要支援)】、【要介護】は「医師・歯科医師・看護師」(要支援33.8%、要介護25.0%)となっています。(図6-5)

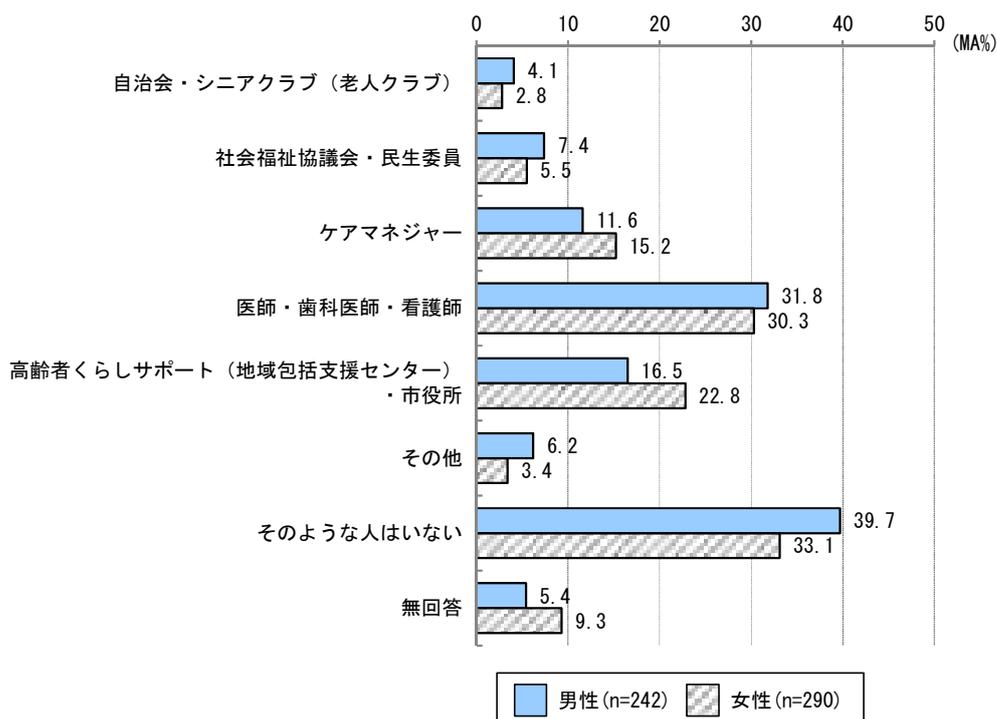
性別で見ると、【第2号】では「そのような人はいない」は女性(57.5%)より男性(70.5%)のほうが13.0ポイント高くなっています。(図6-5-1)

【第1号(全体)】では「そのような人はいない」は女性(33.1%)より男性(39.7%)のほうが6.6ポイント高く、「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)・市役所」は男性(16.5%)より女性(22.8%)のほうが6.3ポイント高くなっています。(図6-5-2)

【図6-5-1 性別 相談相手【第2号】】

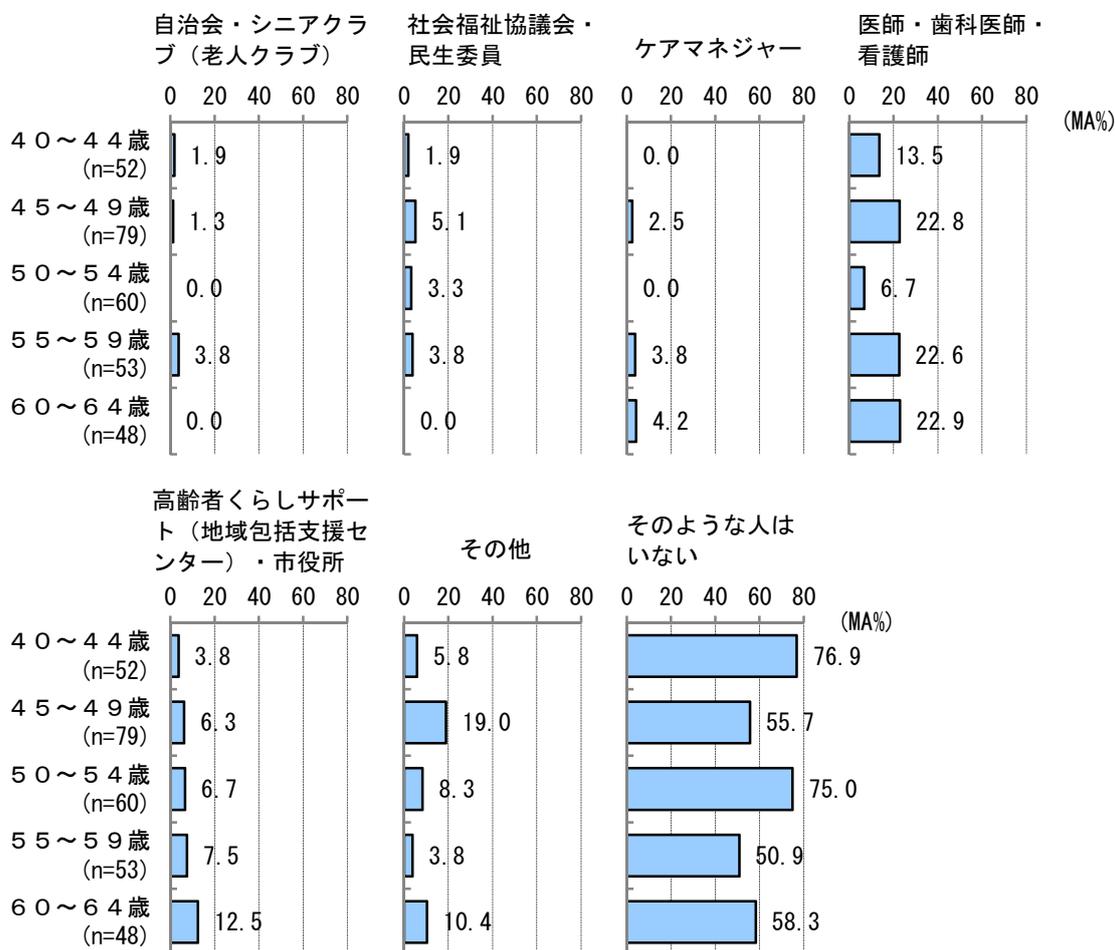


【図6-5-2 性別 相談相手【第1号(全体)】】



【第2号】を年齢別で見ると、「そのような人はいない」は40～44歳（76.9%）で最も高く、次いで50～54歳（75.0%）となっています。（図6-5-3）

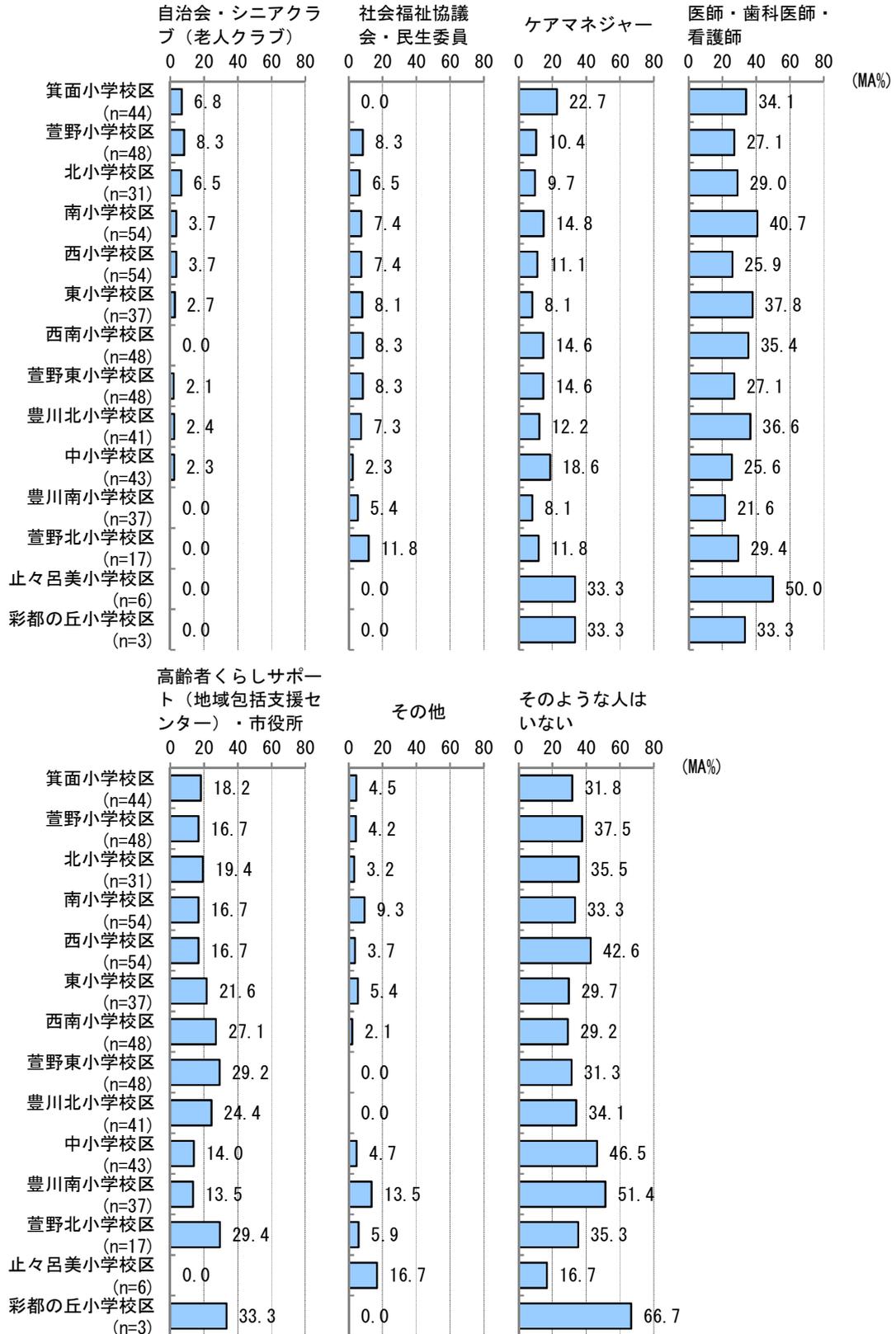
【図6-5-3 年齢別 相談相手【第2号】】



【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「医師・歯科医師・看護婦」は南小学校区（40.7%）で最も高く、「高齢者くらしサポート（地域包括支援センター）・市役所」は萱野東小学校区（29.2%）で最も高くなっています。（図6-5-4）

（※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。）

【図6-5-4 居住小学校区別 相談相手【第1号（全体）】】

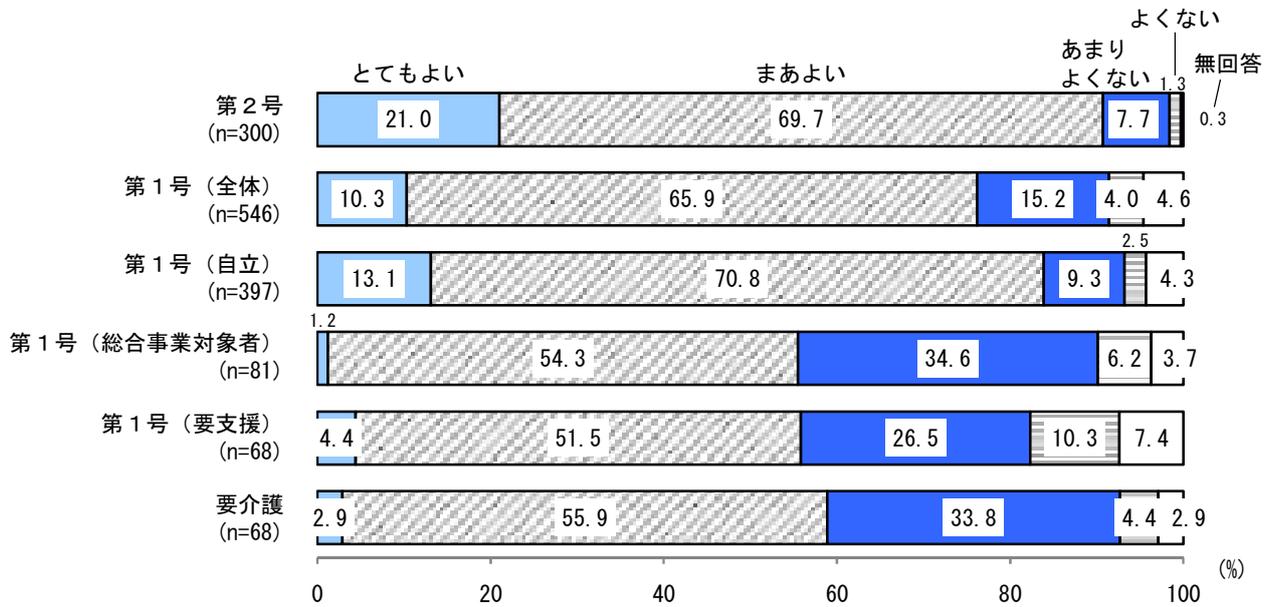


7. 健康について

(1) 健康状態

問9 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

【図7-1 健康状態】

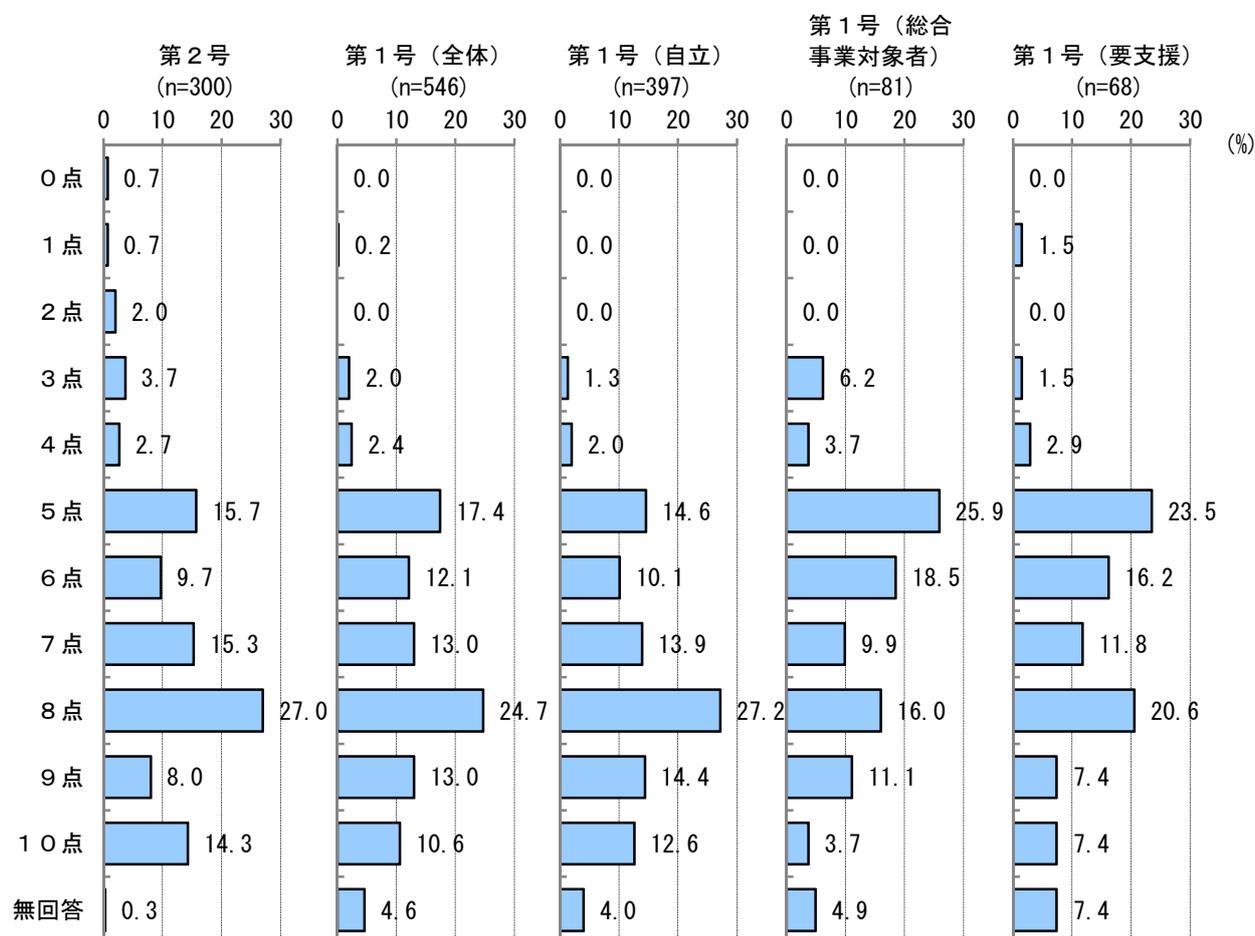


健康状態については、いずれの区分も「まあよい」が最も多くなっています。「とてもよい」と「まあよい」をあわせた『よい』の割合は【第2号】(90.7%)が最も高く、次いで【第1号(自立)】(83.9%)、【要介護】(58.8%)となっています。(図7-1)

(2) 幸福度

問9 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に〇をつけてください)

【図7-2 幸福度】



幸福度については、【第2号】と【第1号 (自立)】は「8点」(第2号27.0%、自立27.2%)が最も多く、【第1号 (総合事業対象者)】と【第1号 (要支援)】は「5点」(総合25.9%、要支援23.5%)が最も多くなっています。

『6点以上』の割合は、【第1号 (自立)】(78.2%)が最も高く、次いで【第2号】(74.3%)となっています。(図7-2)

(3) うつリスク

① 設問と評価

基本チェックリストでは、第1号被保険者調査の調査票に含まれる以下の設問2問中1問以上に該当した場合にうつの「リスクあり」に該当します。

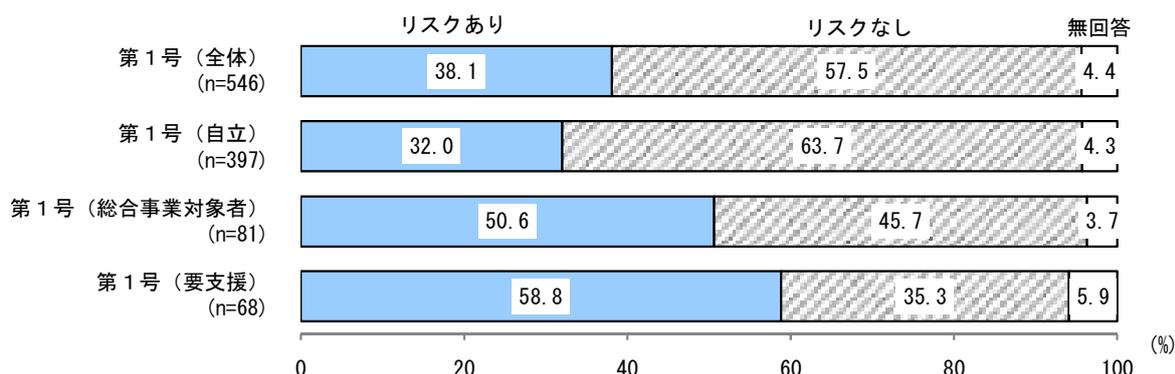
表 うつに関する設問（基本チェックリスト）【第1号】

問番号	設問	該当する選択肢
問9(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
問9(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

② 評価結果

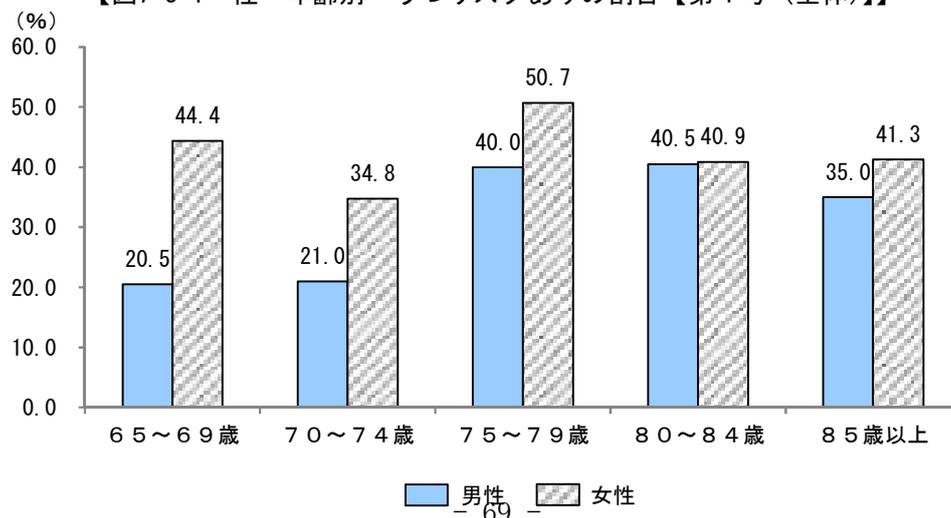
評価結果をみると、うつの「リスクあり」に該当する人の割合は【第1号(全体)】で38.1%となっています。「リスクあり」の割合は【第1号(要支援)】(58.8%)で最も高く、次いで【第1号(総合事業対象者)】(50.6%)、【第1号(自立)】(32.0%)となっています。
(図7-3)

【図7-3 うつリスク】



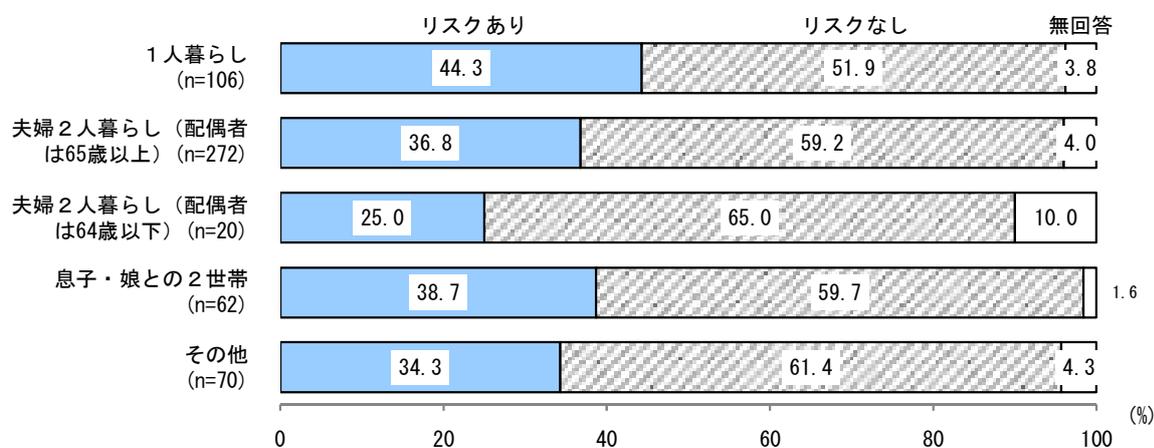
【第1号(全体)】を性・年齢別で見ると、「リスクあり」の割合はいずれの年代も男性より女性のほうが高く、男性は80～84歳(40.5%)、女性は75～79歳(50.7%)が最も高い割合となっています。(図7-3-1)

【図7-3-1 性・年齢別 うつリスクありの割合【第1号(全体)】】



【第1号（全体）】を家族構成別でみると、「リスクあり」の割合は1人暮らし（44.3%）で最も高く、次いで息子・娘との2世帯（38.7%）となっています。（図7-3-2）

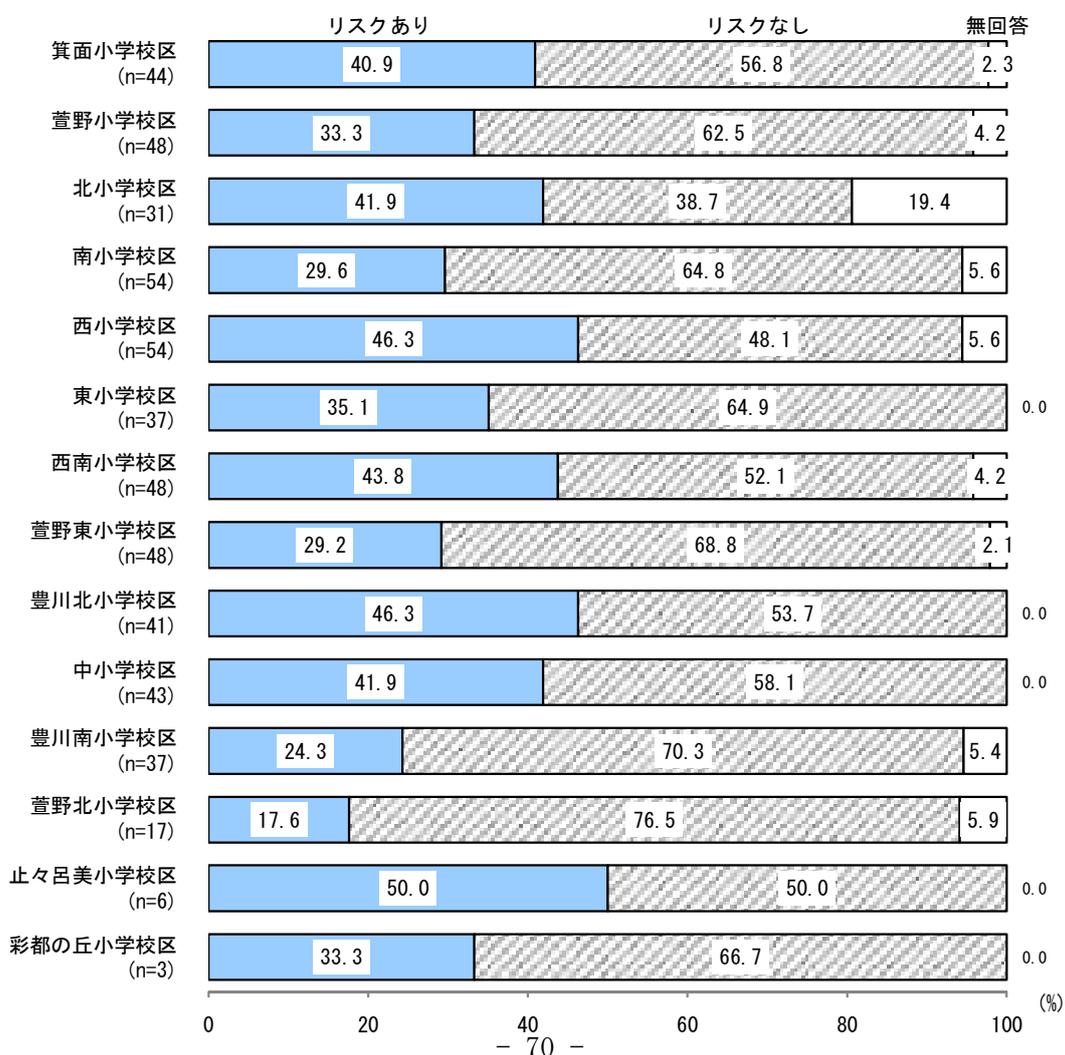
【図7-3-2 家族構成別 うつリスク【第1号（全体）】】



【第1号（全体）】を居住小学校区別でみると、「リスクあり」の割合は西小学校区と豊川北小学校区がともに46.3%で最も高くなっています。（図7-3-3）

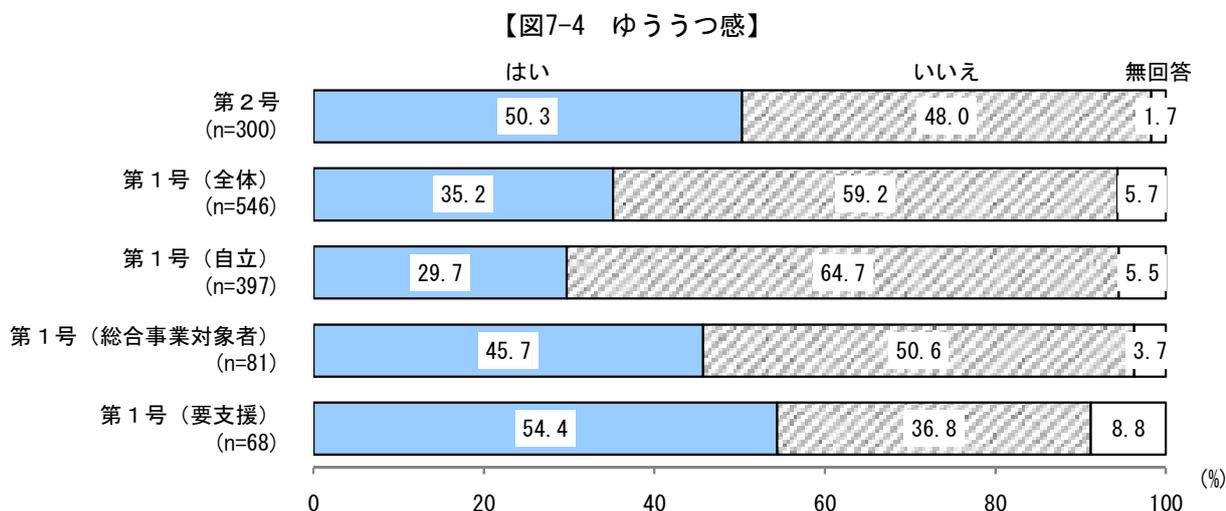
（※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。）

【図7-3-3 居住小学校区別 うつリスク【第1号（全体）】】



(4) ゆううつ感

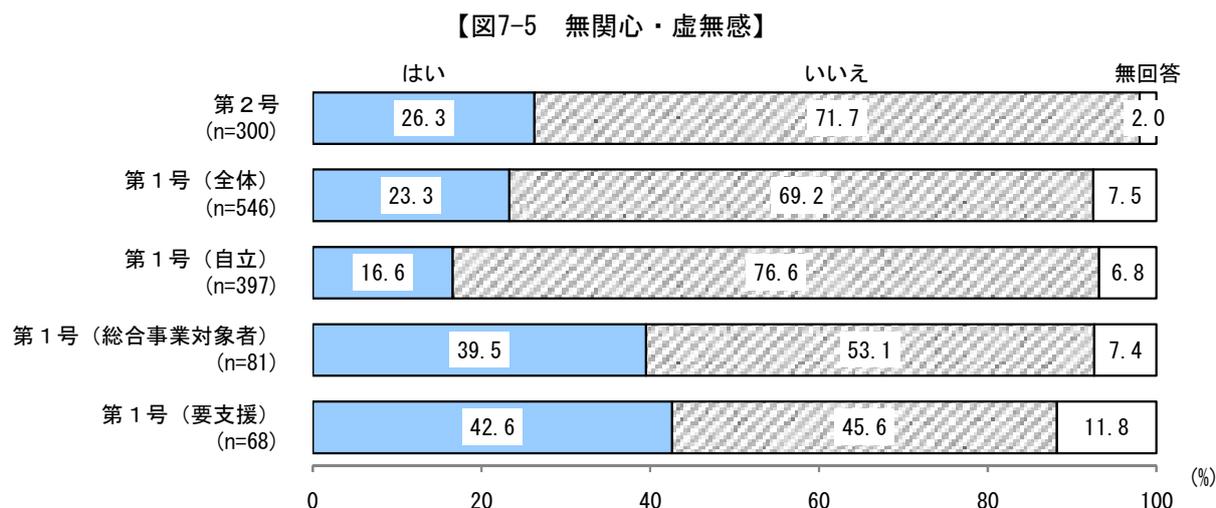
問9 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)



この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったかについては、【第2号】と【第1号 (要支援)】は「はい」(第2号50.3%、要支援54.4%)のほうが多くなっています。「はい」の割合は【第1号 (要支援)】が最も高くなっています。(図7-4)

(5) 無関心・虚無感

問9 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

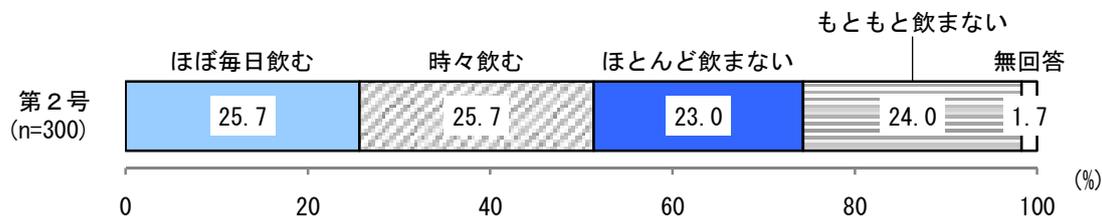


この1ヶ月間、物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについては、いずれの区分も「いいえ」のほうが多くなっています。「はい」の割合は【第1号 (要支援)】(42.6%)が最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(39.5%)、【第2号】(26.3%)となっています。(図7-5)

(6) 飲酒習慣

問9 (5) お酒は飲みますか (○は1つ)

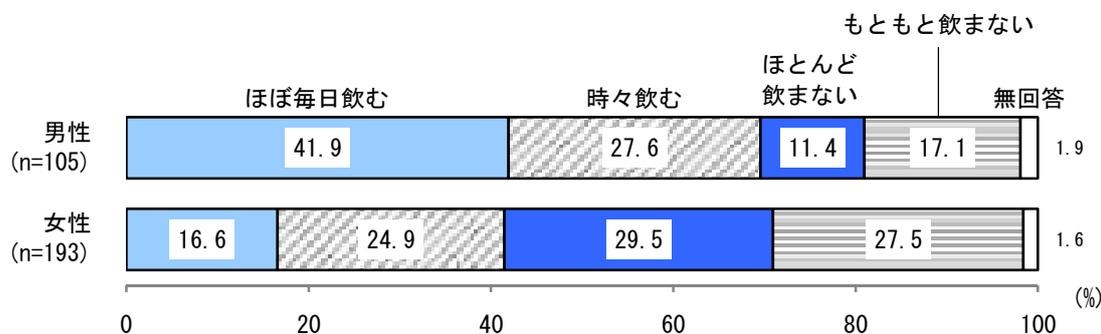
【図7-6 飲酒習慣】



【第2号】の飲酒習慣については、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」がともに25.7%で最も多く、次いで「もともと飲まない」が24.0%、「ほとんど飲まない」が23.0%となっています。(図7-6)

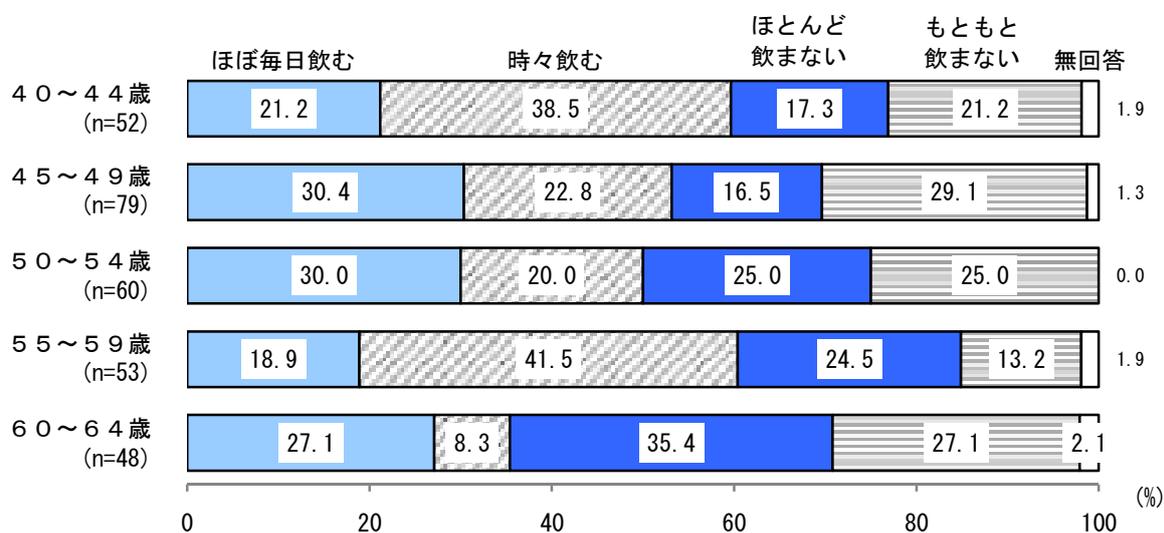
【第2号】を性別で見ると、「ほぼ毎日飲む」は女性(16.6%)より男性(41.9%)のほうが25.3ポイント高く、「ほとんど飲まない」は男性(11.4%)より女性(29.5%)のほうが18.1ポイント、「もともと飲まない」は男性(17.1%)より女性(27.5%)のほうが10.4ポイント高くなっています。(図7-6-1)

【図7-6-1 性別 飲酒習慣【第2号】】



【第2号】を年齢別で見ると、「ほぼ毎日飲む」は45～49歳（30.4%）が最も高く、次いで50～54歳（30.0%）となっています。（図7-6-2）

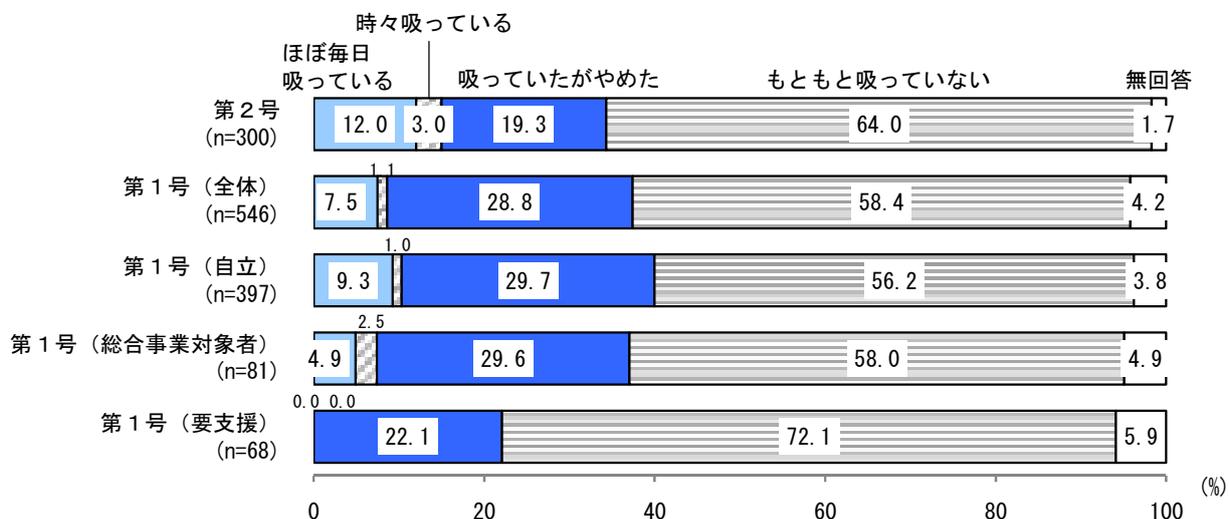
【図7-6-2 年齢別 飲酒習慣【第2号】】



(7) 喫煙習慣

問9 (5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

【図7-7 喫煙習慣】

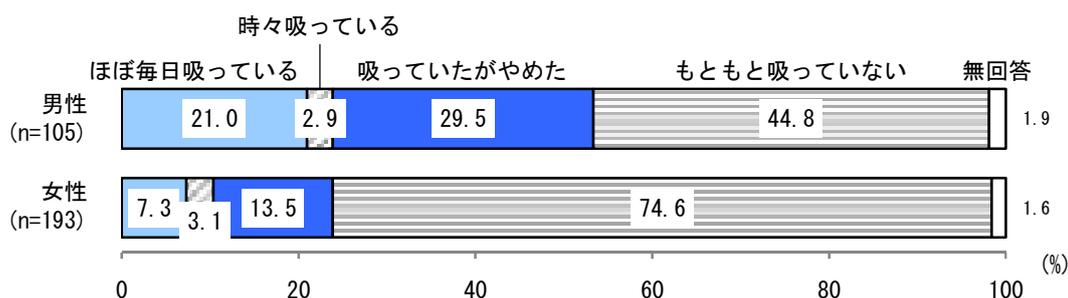


喫煙習慣については、いずれの区分も「もともと吸っていない」が最も多く、過半数を占めています。「ほぼ毎日吸っている」の割合は【第2号】(12.0%)が最も高く、次いで【第1号(自立)】(9.3%)となっています。(図7-7)

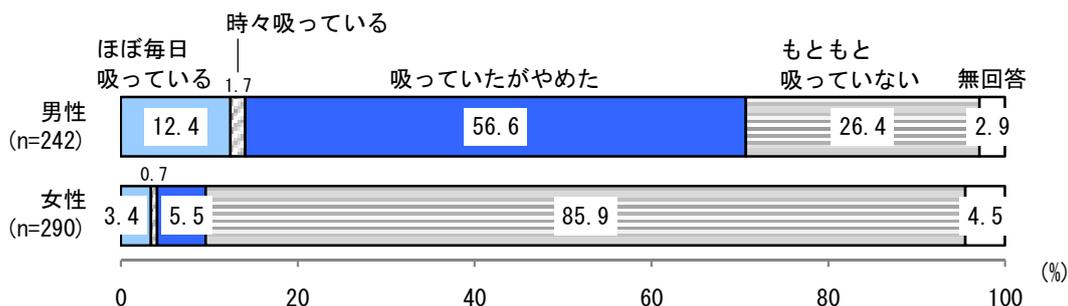
性別でみると、【第2号】では「ほぼ毎日吸っている」は女性(7.3%)より男性(21.0%)のほうが13.7ポイント、「吸っていたがやめた」も女性(13.5%)より男性(29.5%)のほうが16.0ポイント高くなっています。(図7-7-1)

【第1号(全体)】では「吸っていたがやめた」が女性(5.5%)より男性(56.6%)のほうが51.1ポイント高くなっています。(図7-7-2)

【図7-7-1 性別 喫煙習慣【第2号】】

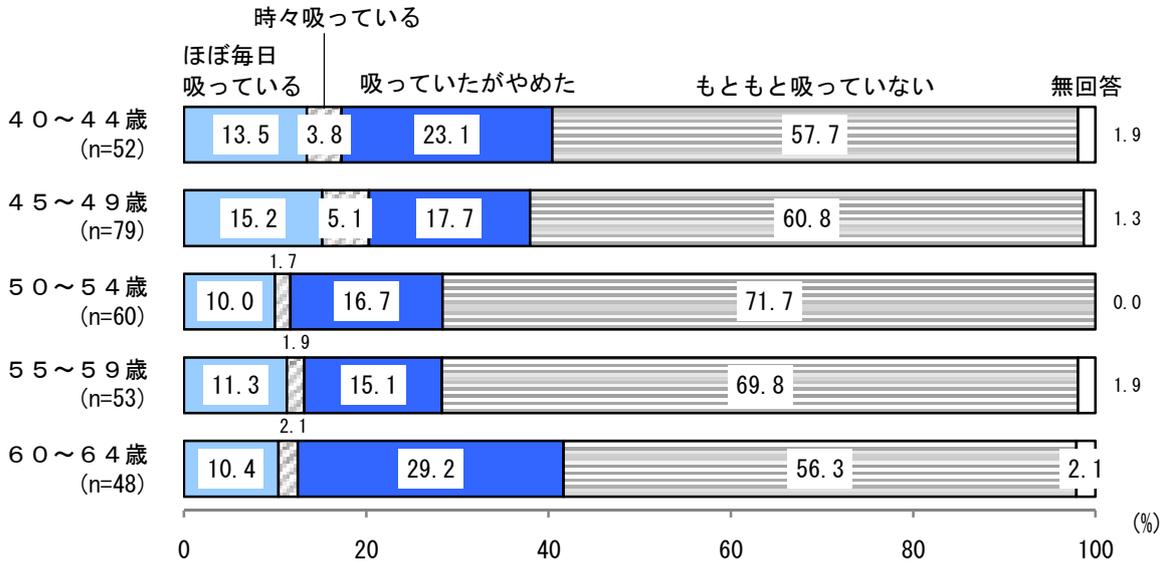


【図7-7-2 性別 喫煙習慣【第1号(全体)】】



【第2号】を年齢別で見ると、「ほぼ毎日吸っている」は45～49歳（15.2%）で最も高く、「時々吸っている」も45～49歳（5.1%）で最も高くなっています。（図7-7-3）

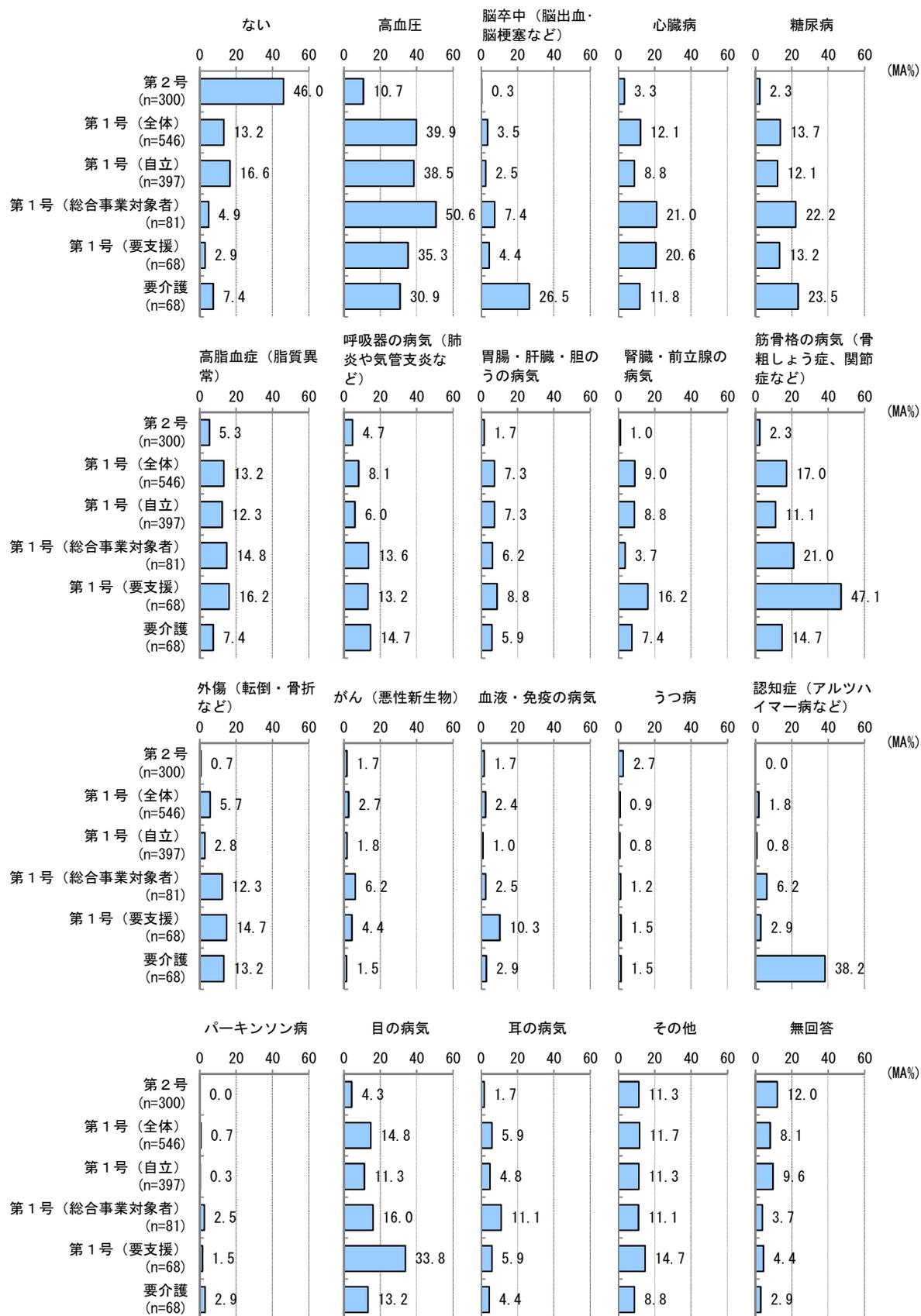
【図7-7-3 年齢別 喫煙習慣【第2号】】



(8) 治療中・後遺症のある病気

問9 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

【図7-8 治療中・後遺症のある病気】



現在治療中、または後遺症のある病気については、【第2号】は「ない」が46.0%で最も多く、次いで「高血圧」が10.7%となっています。【第1号（自立）】と【第1号（総合事業対象者）】は「高血圧」（自立38.5%、総合50.6%）、【第1号（要支援）】は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」（47.1%）、【要介護】は「認知症（アルツハイマー病など）」（38.2%）が最も多く、「ない」は【第1号（要支援）】（2.9%）で最も低い割合となっています。（図7-8）

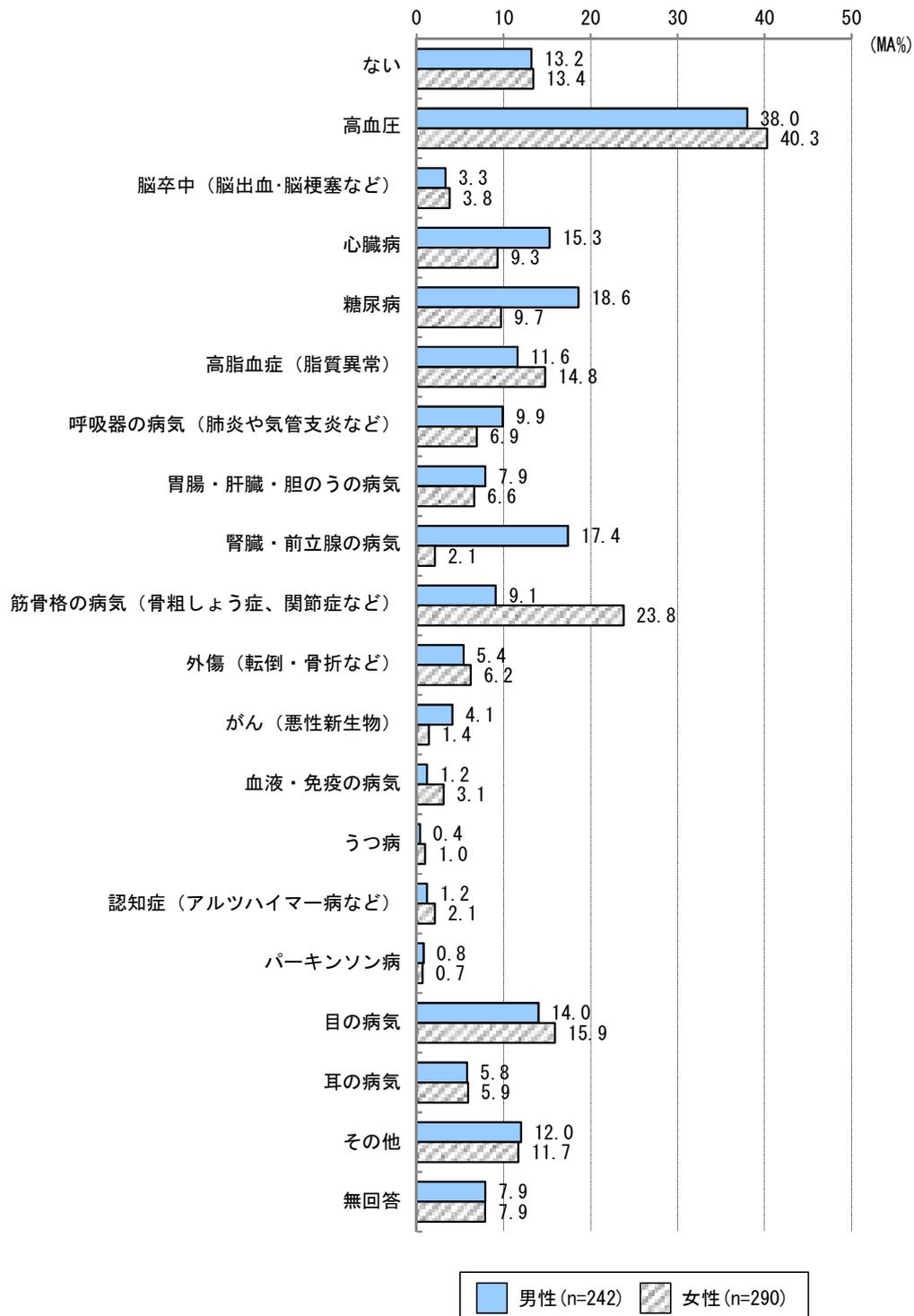
【第2号】を性別でみると、「高血圧」は女性（6.7%）より男性（18.1%）のほうが11.4ポイント高くなっています。（図7-8-1）

【図7-8-1 性別 治療中・後遺症のある病気【第2号】】



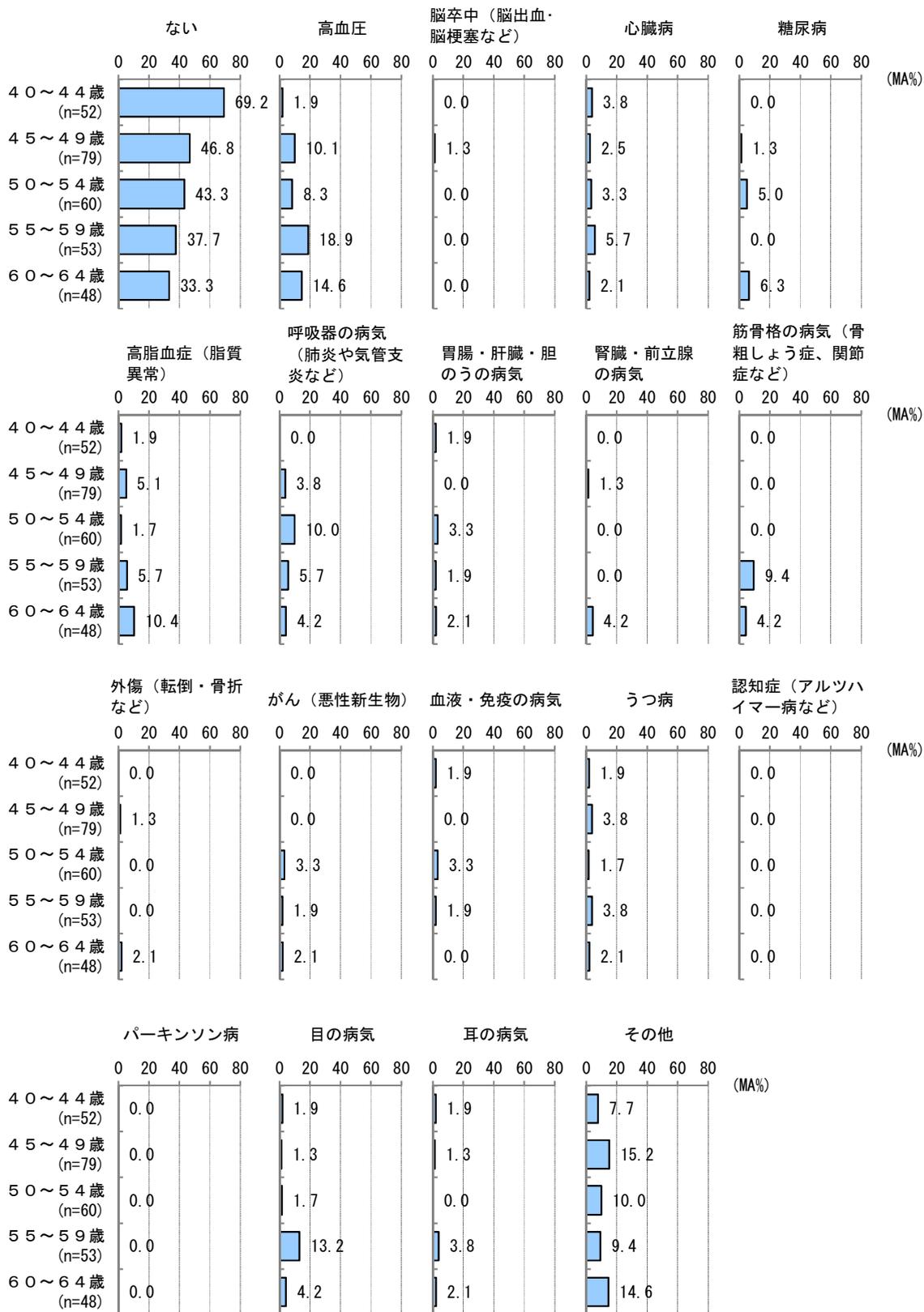
【第1号(全体)】を性別で見ると、「腎臓・前立腺の病気」は女性(2.1%)より男性(17.4%)のほうが15.3ポイント、「糖尿病」は女性(9.7%)より男性(15.3%)のほうが8.9ポイント高いですが、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症など)」は男性(9.1%)より女性(23.8%)のほうが14.7ポイント高くなっています。(図7-8-2)

【図7-8-2 性別 治療中・後遺症のある病気【第1号(全体)】】



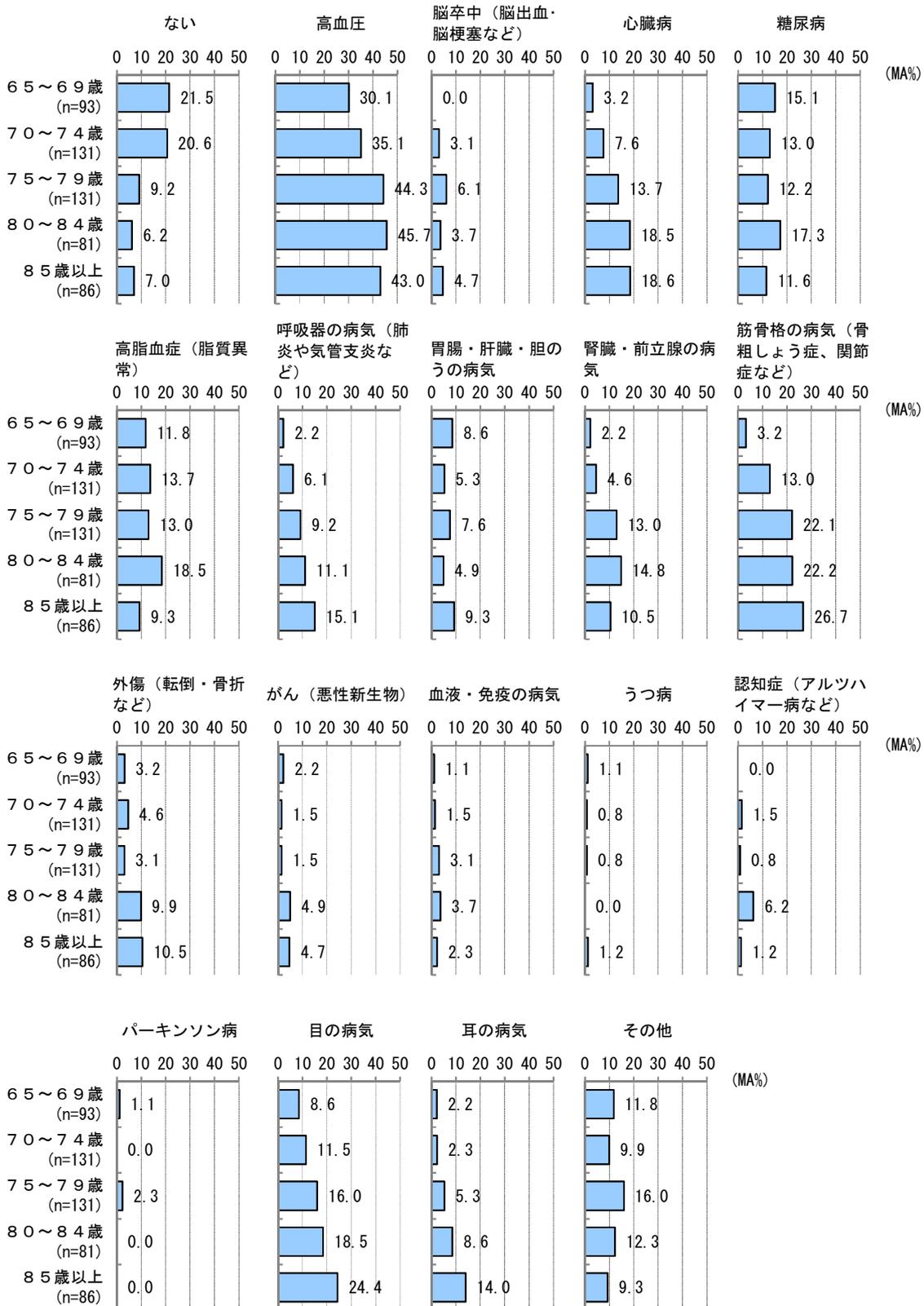
【第2号】を年齢別で見ると、「高血圧」は55～59歳（18.9%）で最も高く、「ない」は年齢が上がるほど割合が低くなっています。（図7-8-3）

【図7-8-3 年齢別 治療中・後遺症のある病気【第2号】】



【第1号（全体）】を年齢別でみると、「高血圧」は75歳以上の年代で40%台と高くなっています。「心臓病」、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎など）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」、「目の病気」、「耳の病気」は年齢が上がるほど割合が高くなっています。（図7-8-4）

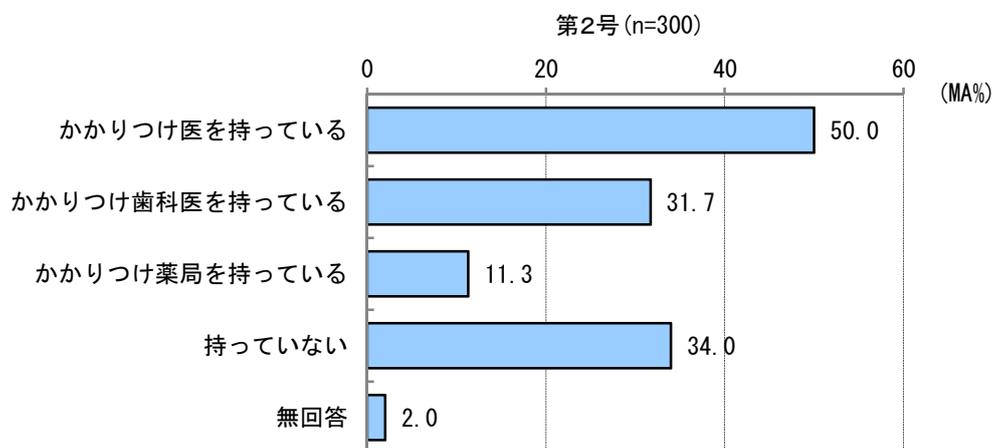
【図7-8-4 年齢別 治療中・後遺症のある病気【第1号（全体）】】



(9) かかりつけ医などの有無

問9 (8) 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などをお持ちですか (〇はいくつでも)

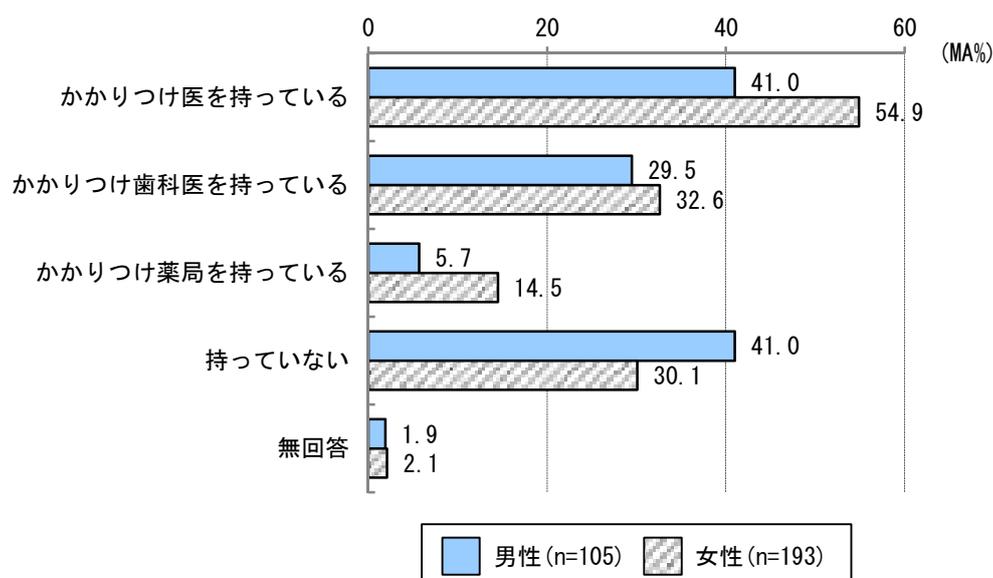
【図7-9 かかりつけ医などの有無】



【第2号】のかかりつけ医などの有無については、「かかりつけ医を持っている」が50.0%で最も多く、次いで「持っていない」が34.0%、「かかりつけ歯科医を持っている」が31.7%となっています。(図7-9)

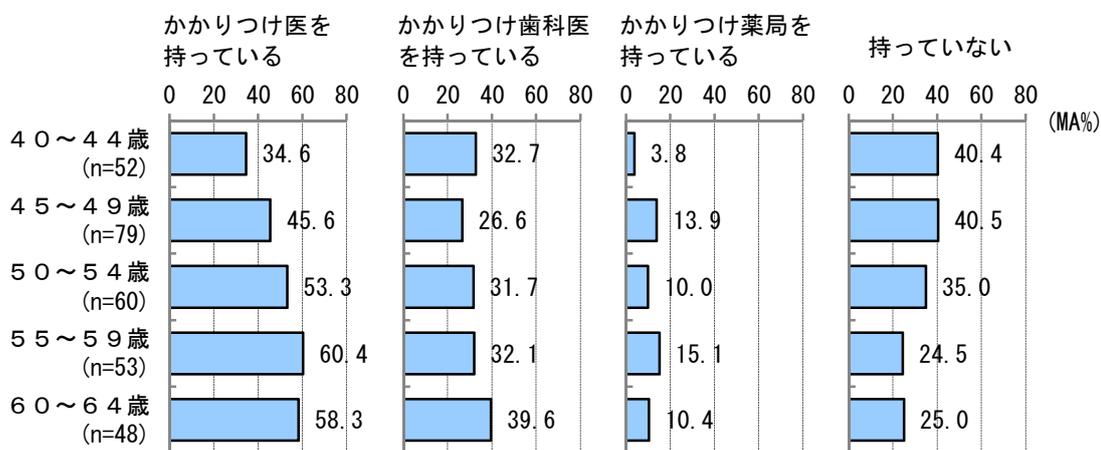
【第2号】を性別で見ると、「持っていない」は女性 (30.1%) より男性 (41.0%) のほうが10.9ポイント高く、「かかりつけ医を持っている」は男性 (41.0%) より女性 (54.9%) のほうが13.9ポイント高くなっています。(図7-9-1)

【図7-9-1 性別 かかりつけ医などの有無【第2号】】



【第2号】を年齢別で見ると、「かかりつけ医を持っている」は55～59歳（60.4%）で最も高く、「かかりつけ歯科医を持っている」は60～64歳（39.6%）で最も高くなっています。（図7-9-2）

【図7-9-2 年齢別 かかりつけ医などの有無【第2号】】

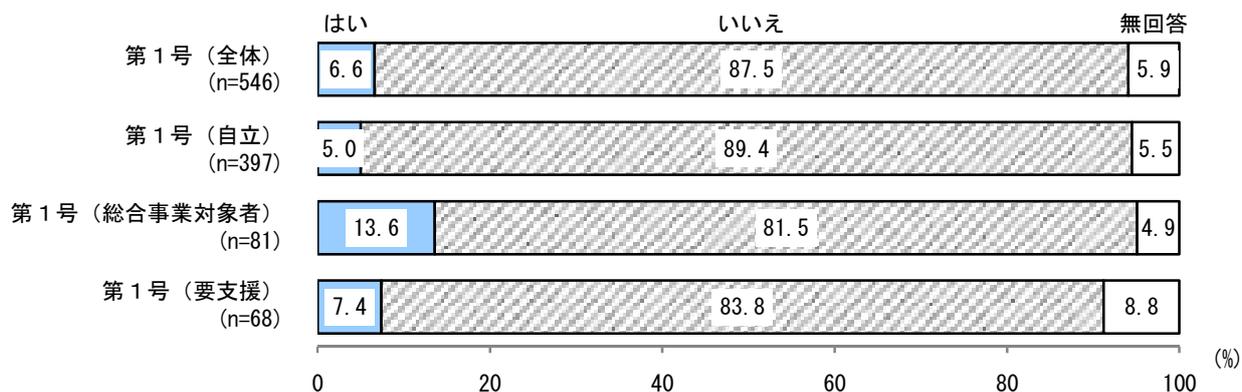


8. 認知症や成年後見制度について

(1) 認知症の症状がある人の有無

問10 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

【図8-1 認知症の症状がある人の有無】

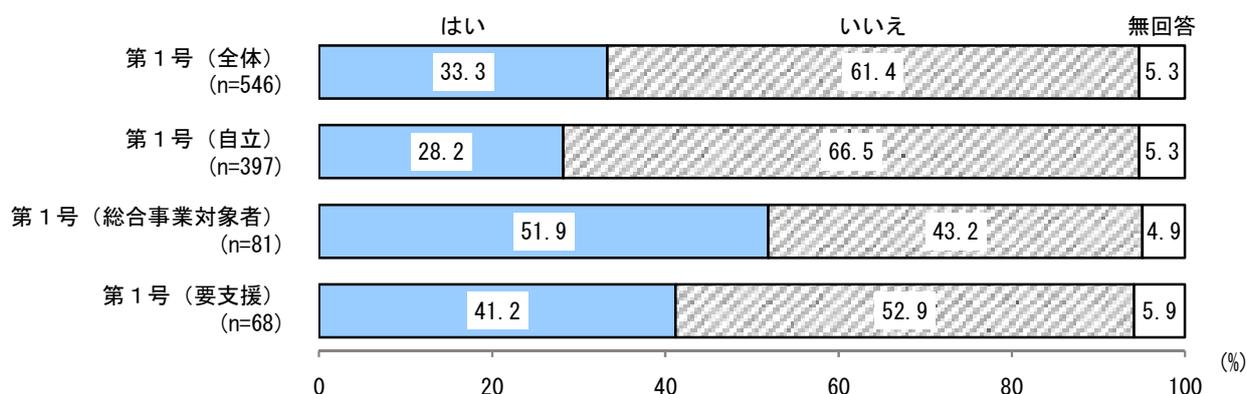


本人や家族に認知症の症状があるかについては、【第1号 (自立)】は「はい」が5.0%、「いいえ」が89.4%となっています。「はい」の割合は【第1号 (総合事業対象者)】(13.6%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(7.4%)となっています。(図8-1)

(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問10 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

【図8-2 認知症に関する相談窓口の認知度】

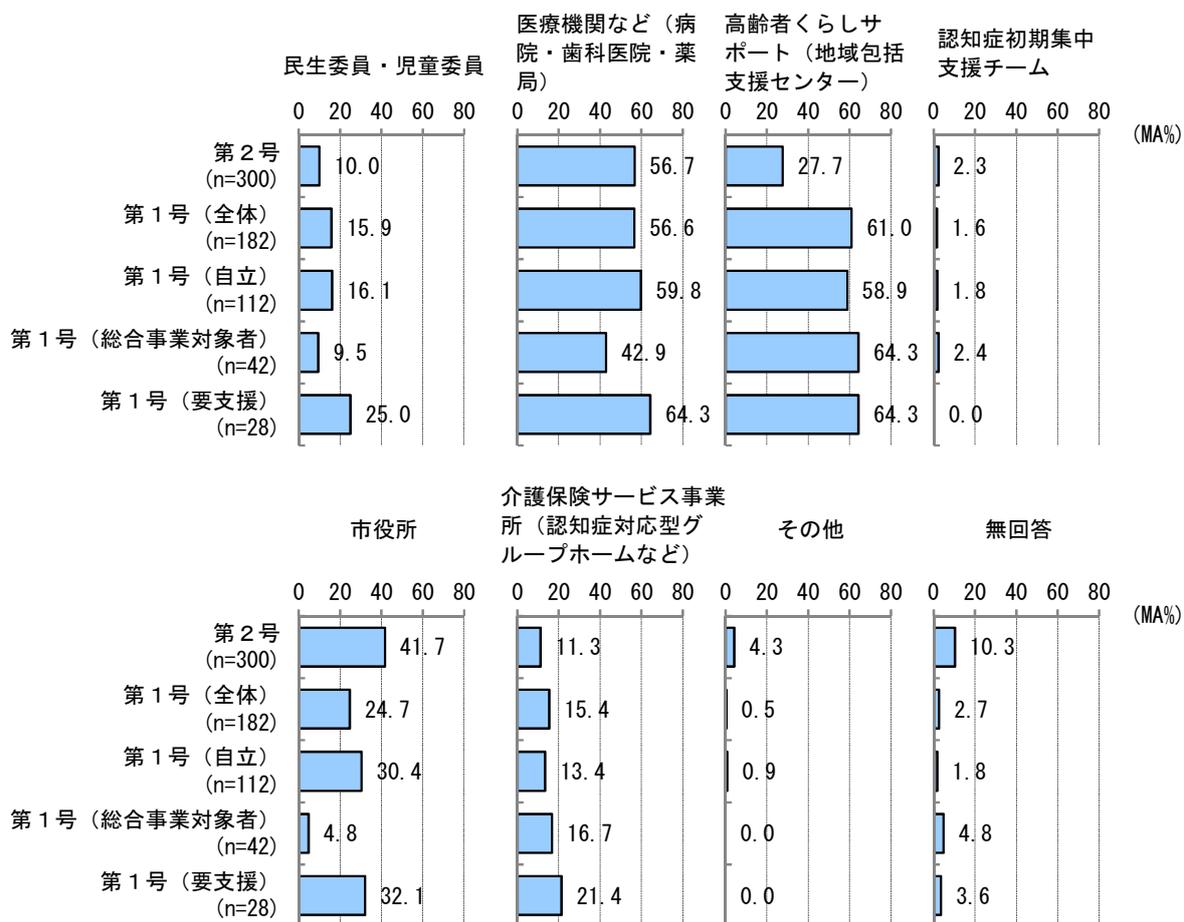


認知症に関する相談窓口を知っているかについては、【第1号 (自立)】は「はい」が28.2%、「いいえ」が66.5%となっています。「はい」の割合は【第1号 (総合事業対象者)】(51.9%)で最も高く、次いで【第1号 (要支援)】(41.2%)となっています。(図8-2)

(3) 知っている認知症に関する相談窓口

【問10(2)において、「1. はい」のかたのみ】
 認知症に関する相談窓口について、あなたが知っている窓口はどれですか(○はいくつでも)

【図8-3 知っている認知症に関する相談窓口】

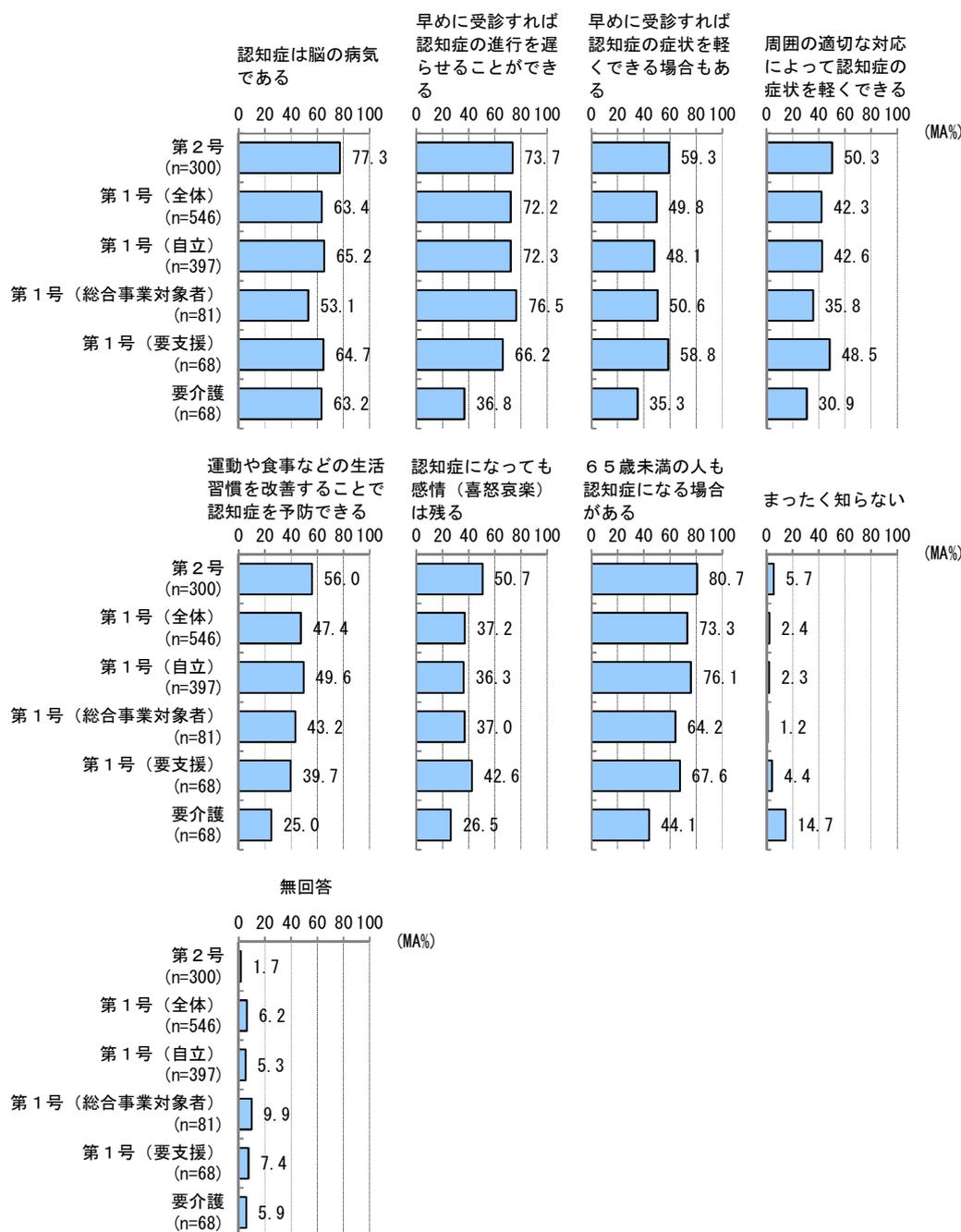


認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている窓口をたずねると、【第2号】は「医療機関など(病院・歯科医院・薬局)」(56.7%)が最も多く、次いで「市役所」(41.7%)となっています。【第1号(自立)】は「医療機関など(病院・歯科医院・薬局)」(59.8%)、【第1号(総合事業対象者)】は「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)」(64.3%)が最も多く、【第1号(要支援)】は「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)」と「医療機関など(病院・歯科医院・薬局)」(ともに64.3%)でそれぞれ最も多くなっています。(図8-3)

(4) 認知症について知っていること

問10 (3) 認知症についてあなたが知っていることはありますか (〇はいくつでも)

【図8-4 認知症について知っていること】

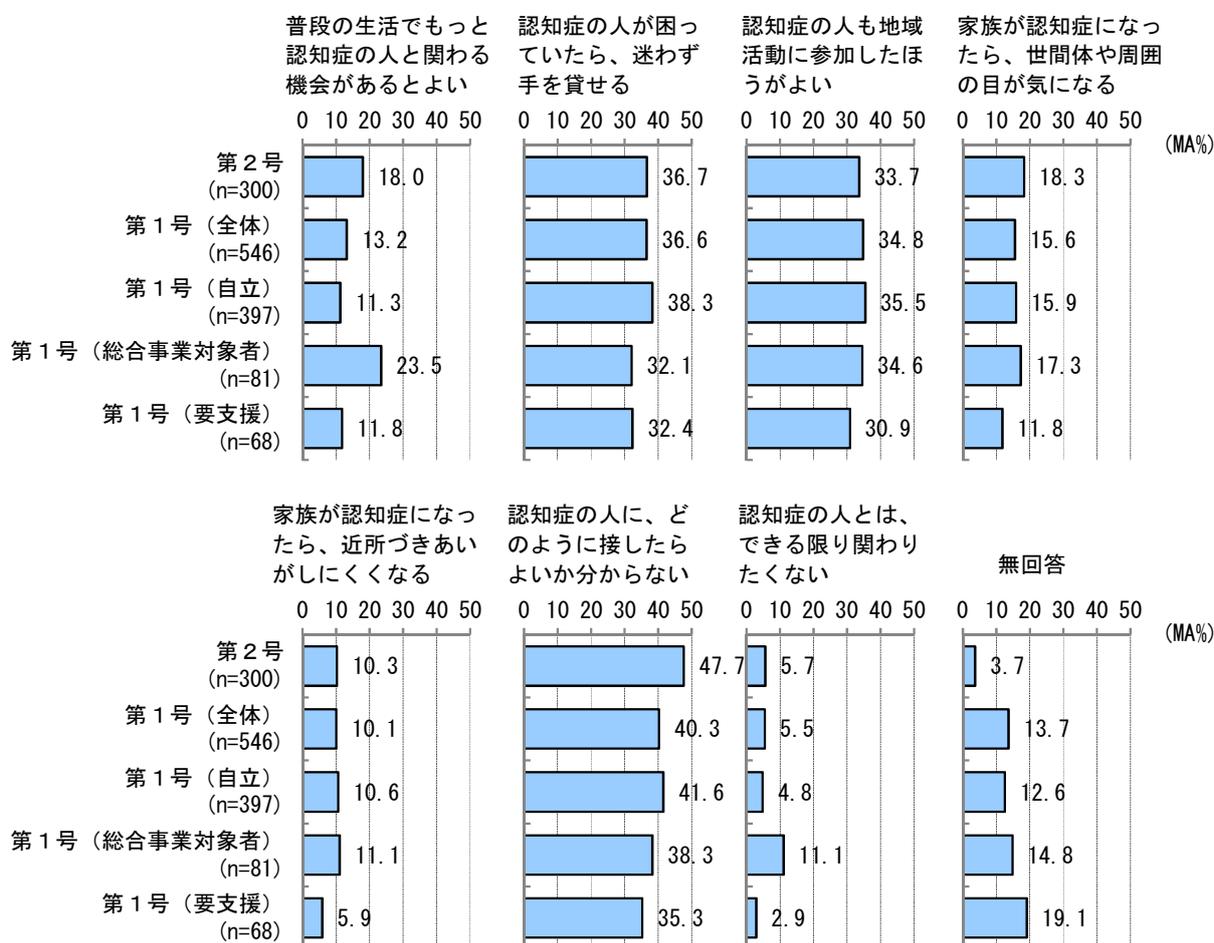


認知症について知っていることについては、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (要支援)】は「65歳未満の人も認知症になる場合がある」(第2号80.7%、自立76.1%、要支援67.6%)が最も多く、【第1号 (総合事業対象者)】は「早めに受診すれば認知症の進行を遅らせることができる」(76.5%)、【要介護】は「認知症は脳の病気である」(63.2%)が最も多くなっています。「認知症は脳の病気である」以外の項目ではいずれも【要介護】で最も低い割合となっています。(図8-4)

(5) 認知症についての考え

問10 (4) 認知症について、あなたの考えに近いものはどれですか (〇はいくつでも)

【図8-5 認知症についての考え】



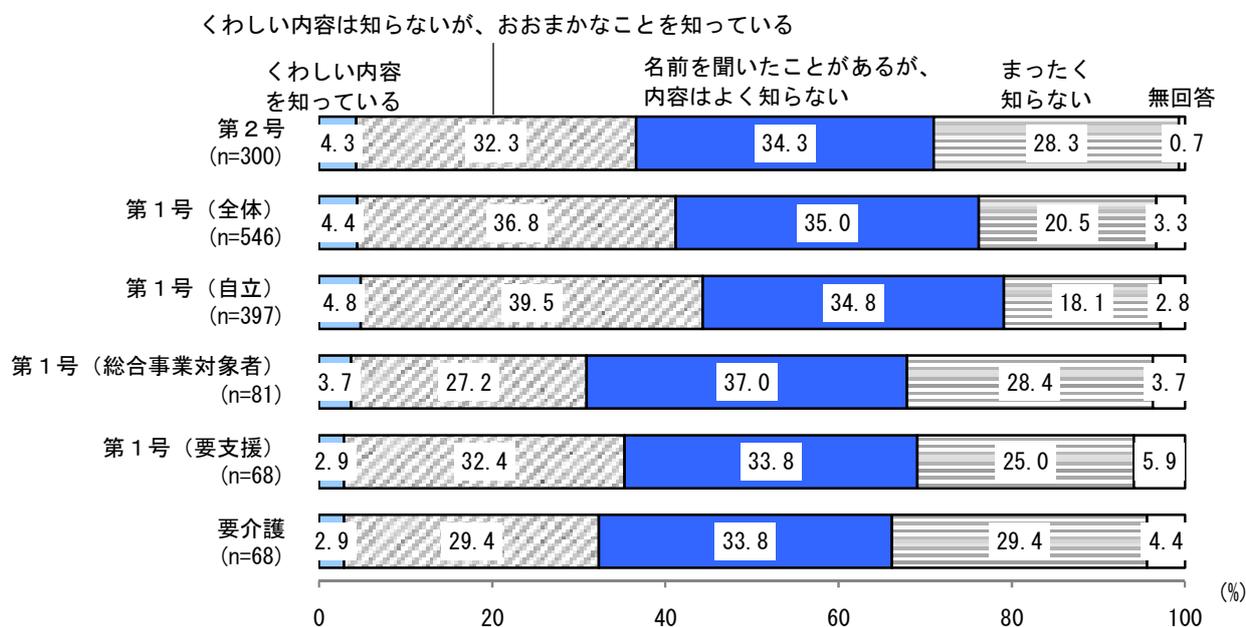
認知症についての考えに近いものについては、いずれの区分も「認知症の人に、どのように接したらよいか分からない」が最も多く、【第2号】(47.7%)で最も高い割合となっています。次いで【第2号】、【第1号(自立)】、【第1号(要支援)】では「認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せる」(第2号36.7%、自立38.3%、要支援32.4%)、【第1号(総合事業対象者)】は「認知症の人も地域活動に参加したほうがよい」(34.6%)が続いています。

(図8-5)

(6) 成年後見制度の認知度

問10 (5) 成年後見制度を知っていますか (○は1つ)

【図8-6 成年後見制度の認知度】



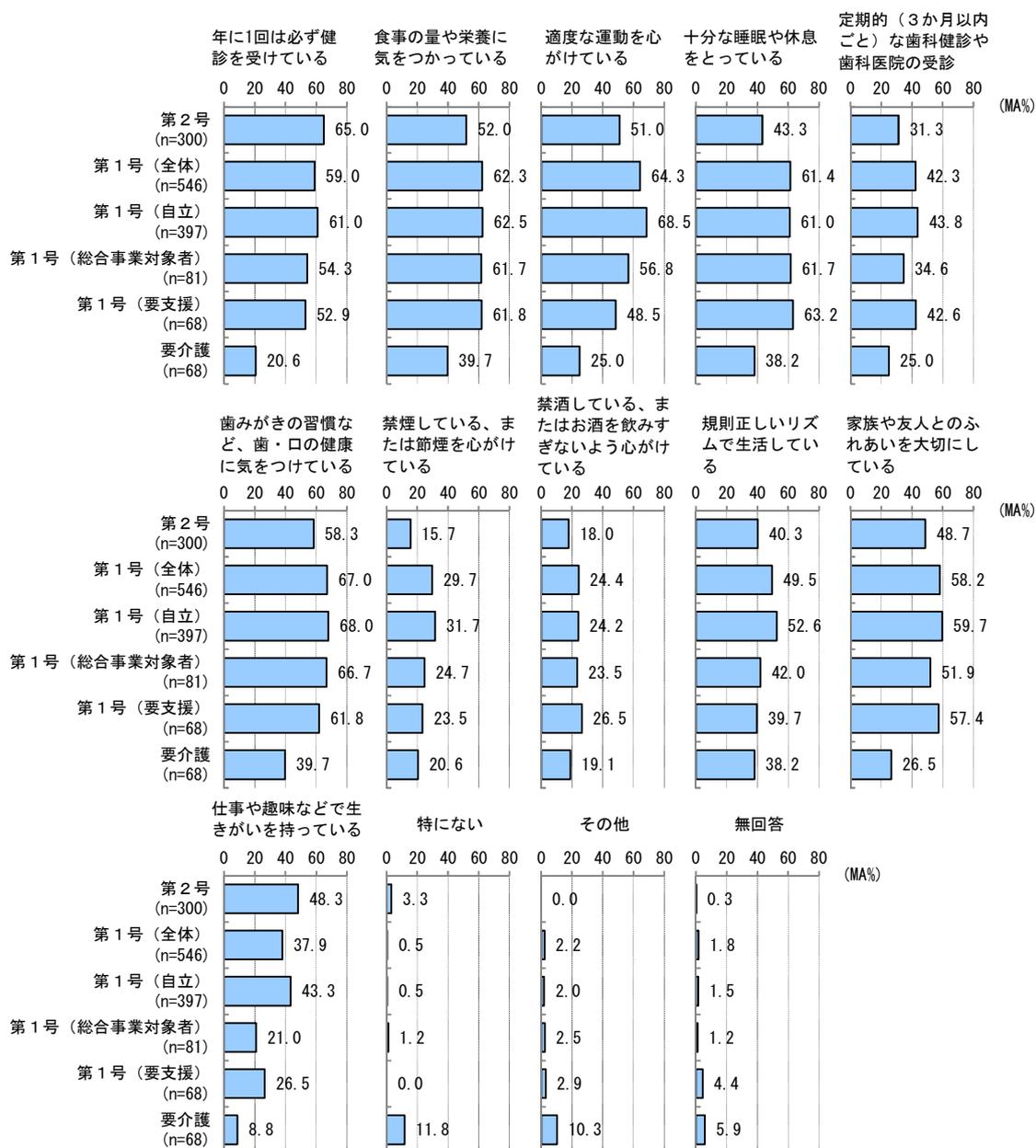
成年後見制度の認知度については、【第2号】は「名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(34.3%)が最も多く、次いで「くわしい内容は知らないが、おおまかなことを知っている」(32.3%)となっています。【第1号(自立)】は「くわしい内容は知らないが、おおまかなことを知っている」(39.5%)が最も多くなっていますが、【第1号(総合事業対象者)】、【第1号(要支援)】、【要介護】は「名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(総合37.0%、要支援33.8%、要介護33.8%)が最も多くなっています。(図8-6)

9. 運動や介護予防について

(1) 健康や介護予防のために気をつけていること

問11 (1) 健康や介護予防のために気をつけていることはありますか (〇はいくつでも)

【図9-1 健康や介護予防のために気をつけていること】

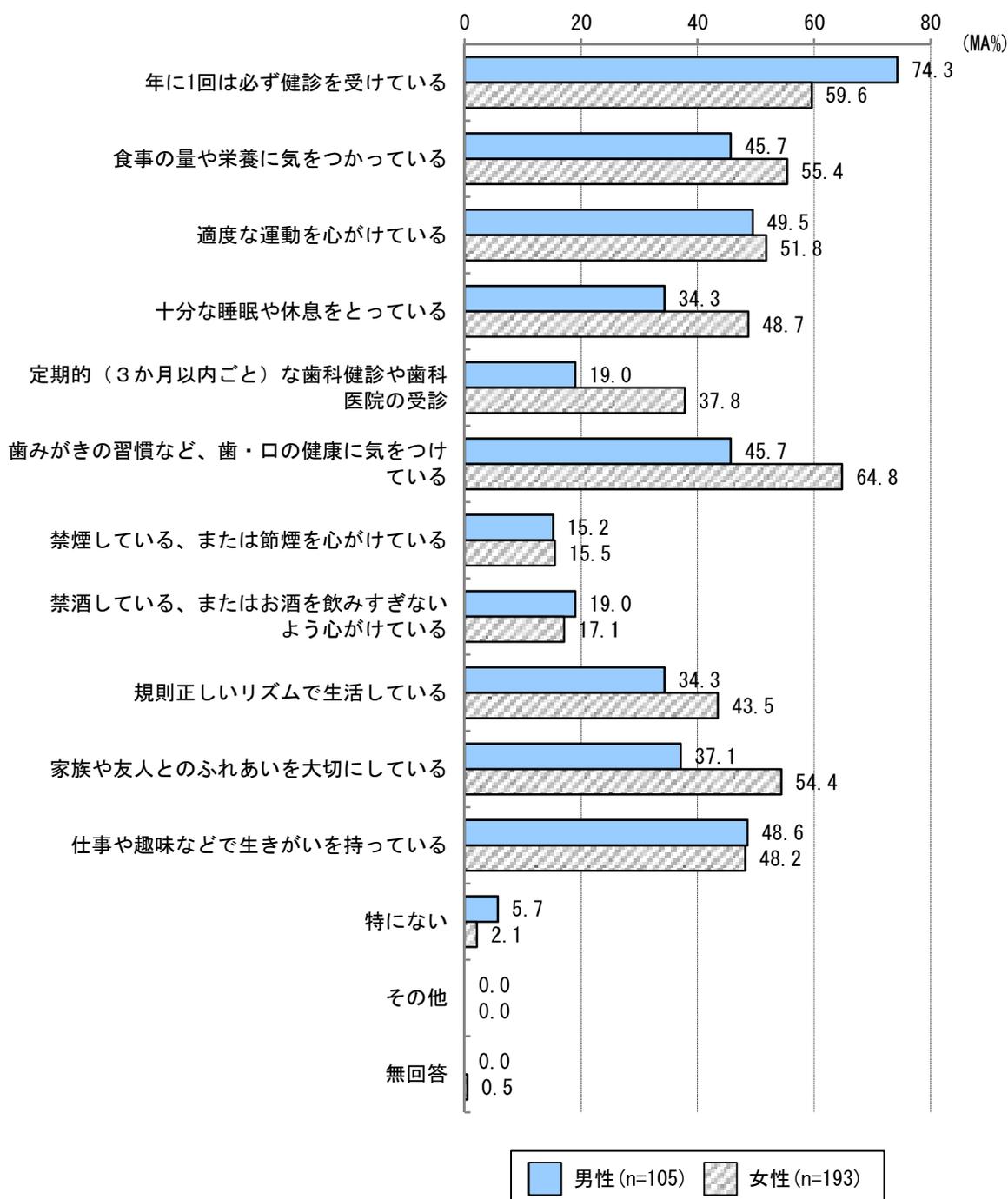


健康や介護予防のために気をつけていることについては、【第2号】は「年に1回は必ず健診を受けている」(65.0%)が最も多く、【第1号(自立)】は「適度な運動を心がけている」(68.5%)、【第1号(総合事業対象者)】は「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気をつけている」(66.7%)、【第1号(要支援)】は「十分な睡眠や休息をとっている」(63.2%)が最も多くなっています。【要介護】は「食事の量や栄養に気をつけている」と「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気をつけている」(ともに39.7%)が同率で最も多くなっています。

(図9-1)

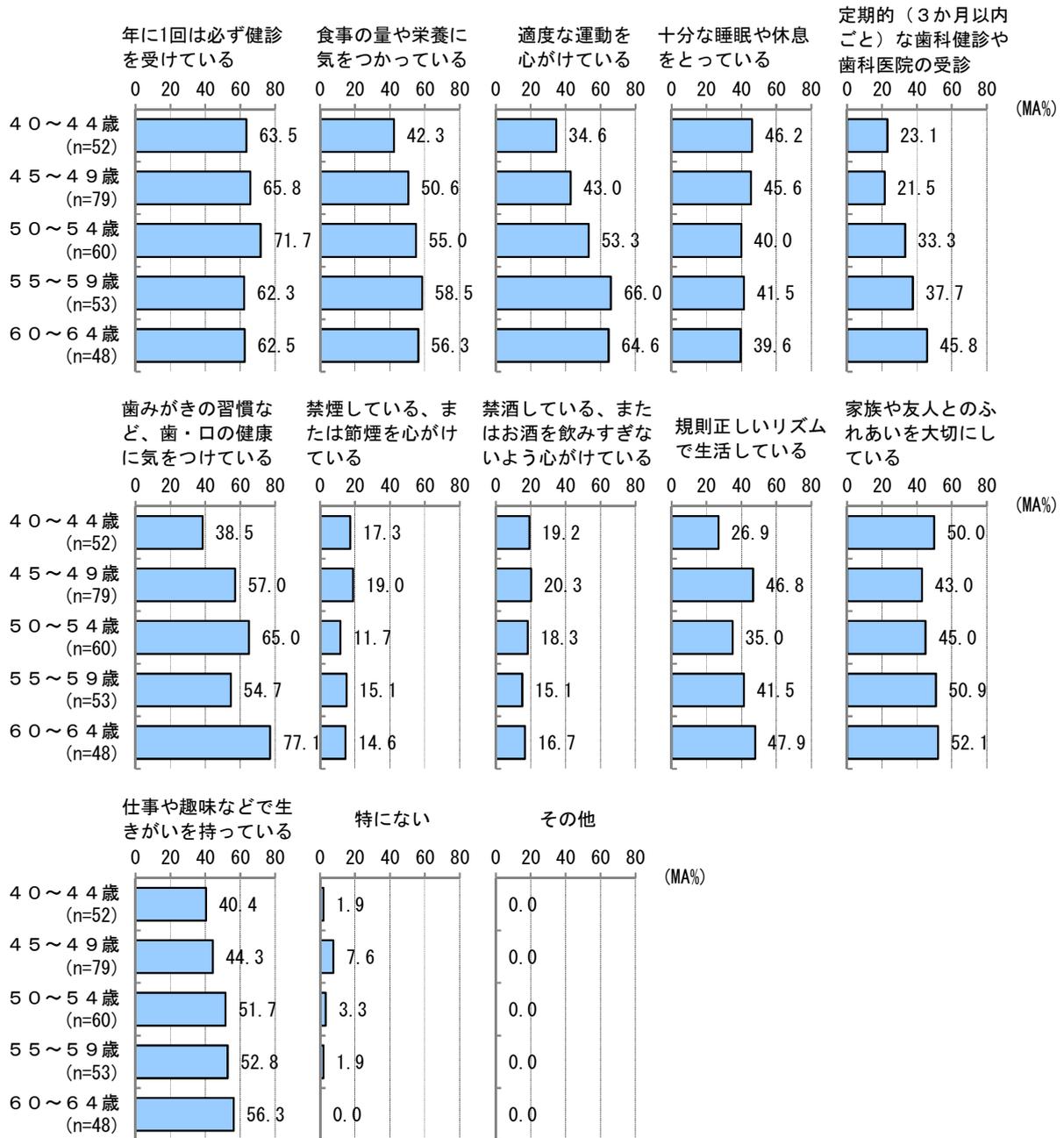
【第2号】を性別で見ると、「年に1回は必ず健診を受けている」は女性（59.6%）より男性（74.3%）のほうが14.7ポイント高いですが、「定期的（3か月以内ごと）な歯科健診や歯科医院の受診」は男性（19.0%）より女性（37.8%）のほうが18.8ポイント、「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気をつけている」は男性（45.7%）より女性（64.8%）のほうが19.1ポイント高くなっています。（図9-1-1）

【図9-1-1 性別 健康や介護予防のために気をつけていること【第2号】】



【第2号】を年齢別で見ると、「定期的（3か月以内ごと）な歯科健診や歯科医院の受診」、「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気をつけている」、「規則正しいリズムで生活している」、「家族や友人とのふれあいを大切にしている」、「仕事や趣味などで生きがいを持っている」は60～64歳で最も高くなっています。（図9-1-2）

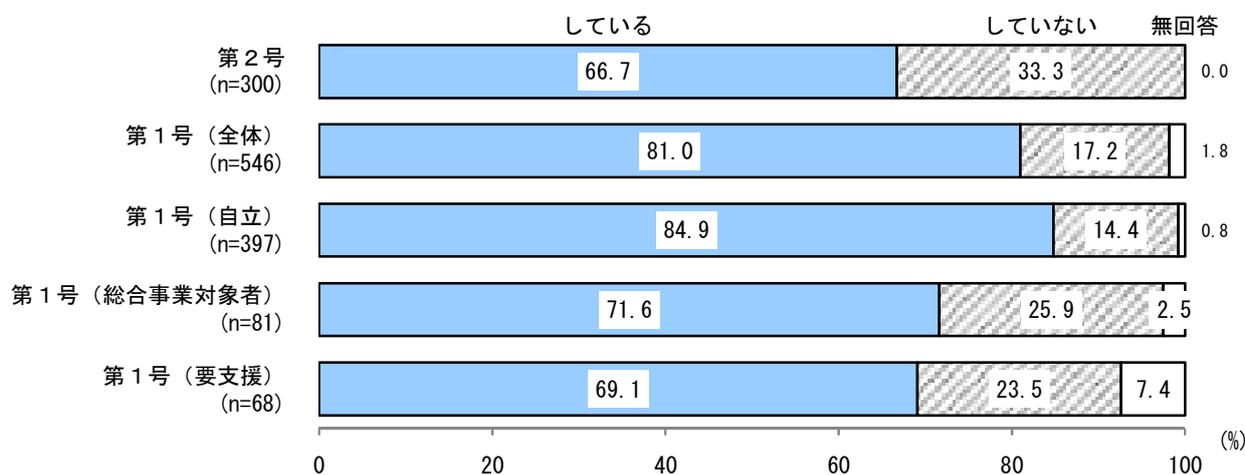
【図9-1-2 年齢別 健康や介護予防のために気をつけていること【第2号】】



(2) 健康のために意識的に体を動かすこと

問11 (2) 日常生活の中で、健康のために意識的に体を動かすようにしていますか (○は1つ)

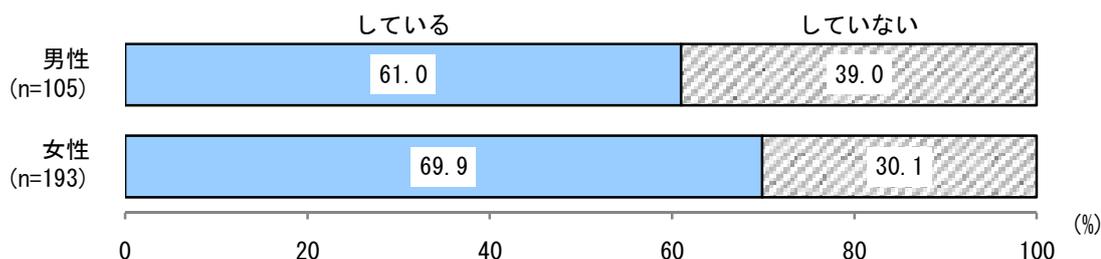
【図9-2 健康のために意識的に体を動かすこと】



健康のために意識的に体を動かしているかについては、いずれの区分も「している」が過半数を占めており、「している」の割合は【第1号 (自立)】(84.9%)で最も高く、次いで【第1号 (総合事業対象者)】(71.6%)となっています。(図9-2)

【第2号】を性別で見ると、「している」は男性(61.0%)より女性(69.9%)のほうが8.9ポイント高くなっています。(図9-2-1)

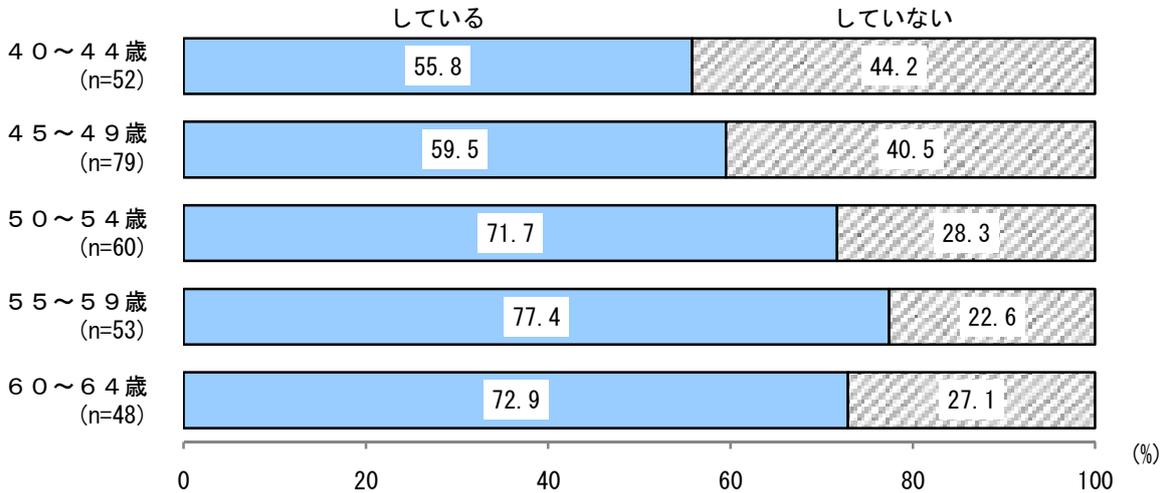
【図9-2-1 性別 健康のために意識的に体を動かすこと【第2号】】



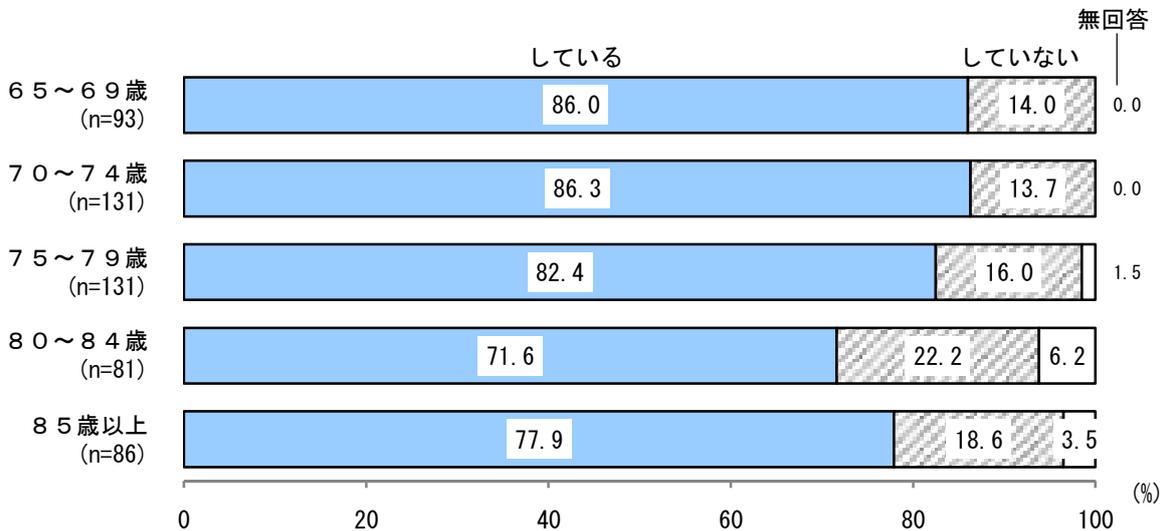
年齢別で見ると、【第2号】では「している」は55～59歳（77.4%）で最も高くなっています。（図9-2-2）

【第1号（全体）】では「している」は70～74歳（86.3%）で最も高く、次いで65～69歳（86.0%）となっています。（図9-2-3）

【図9-2-2 年齢別 健康のために意識的に体を動かすこと【第2号】】



【図9-2-3 年齢別 健康のために意識的に体を動かすこと【第1号（全体）】】

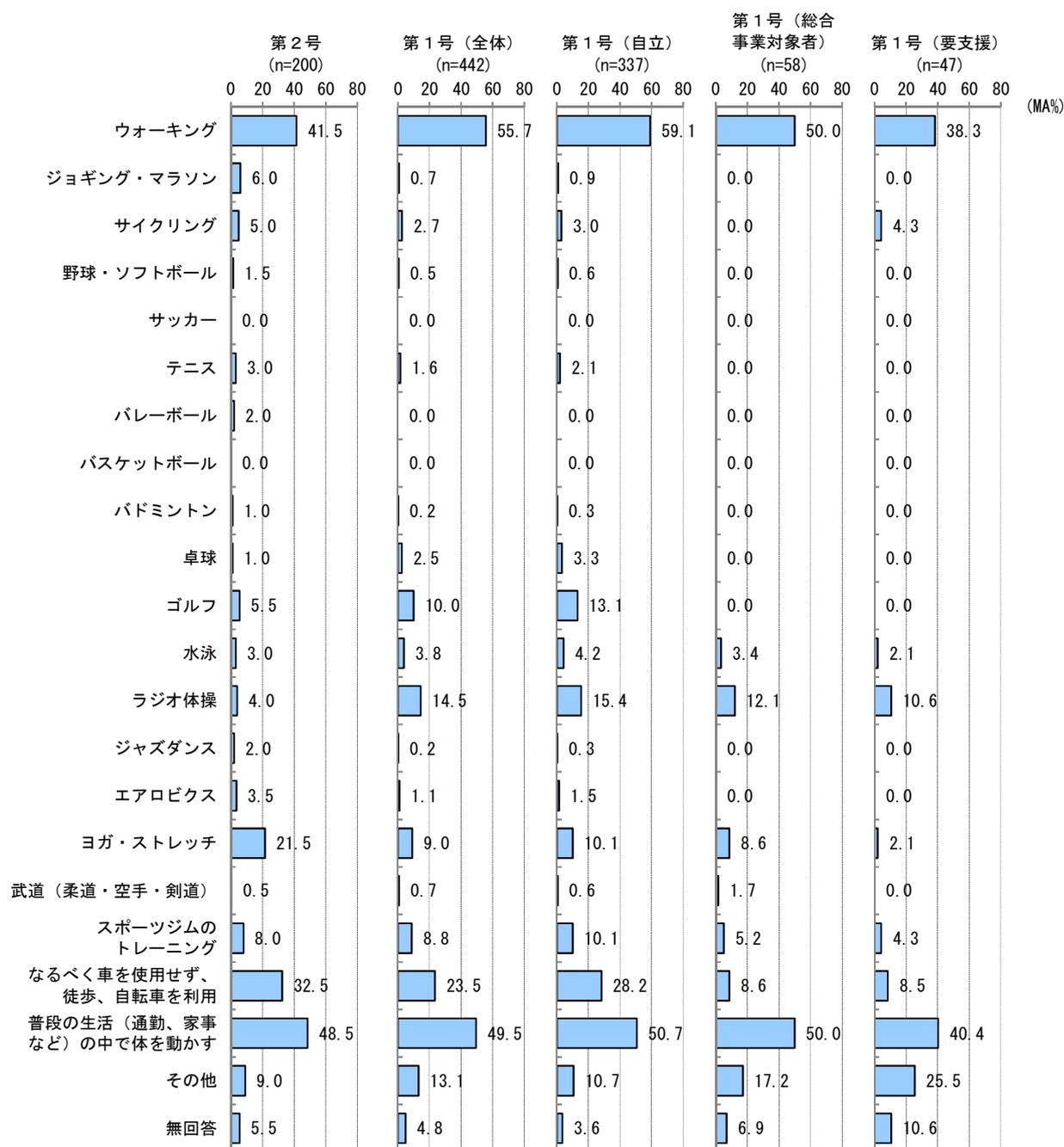


(3) しているスポーツ・活動

【問11(2)において「1. している」のかたのみ】

(2) -① どのように体を動かしていますか (〇はいくつでも)

【図9-3 しているスポーツ・活動】



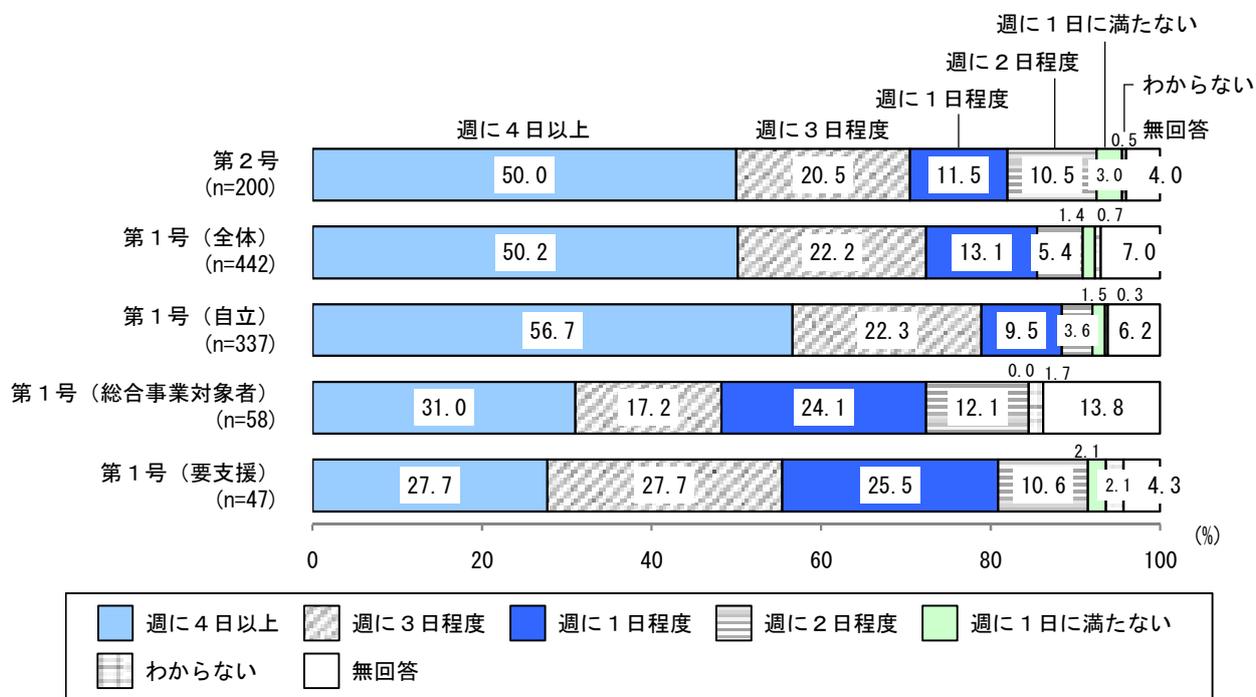
健康のために意識的に体を動かしていると回答した人に、どのように体を動かしているかをたずねると、【第2号】と【第1号(要支援)】は「普段の生活(通勤、家事など)の中で体を動かす」(第2号48.5%、要支援40.4%)が最も多く、【第1号(自立)】は「ウォーキング」(59.1%)が最も多くなっています。【第1号(総合事業対象者)】は「ウォーキング」と「普段の生活(通勤、家事など)の中で体を動かす」(ともに50.0%)が同率で最も多くなっています。(図9-3)

(4) 運動習慣

【問11 (2) において「1. している」のかたのみ】

(2) -② 体を動かしている日数は、週に何日程度になりますか (○は1つ)

【図9-4 運動習慣】



健康のために意識的に体を動かしていると回答した人に、体を動かしている週あたり日数をたずねると、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (総合事業対象者)】は「週に4日以上」(第2号50.0%、自立56.7%、総合31.0%)が最も多く、【第1号 (要支援)】は「週に4日以上」と「週に3日程度」(ともに27.7%)が同率で最も多くなっています。(図9-4)

(5) 体を動かしている1日あたりの時間と継続状況

【問11(2)において「1. している」のかたのみ】

(2)-③ 体を動かしている日はどの程度の時間動かしていますか(日によってばらつきがある場合は平均で)

(2)-④ また、その運動を始めてからどれくらい継続されていますか(○は1つ)

【表9-5 体を動かしている1日あたりの時間と継続状況】

(単位: %)

	1日で1時間以上の運動			1日30分以上1時間未満の運動			1日で30分未満の運動			無回答
	始めてから6か月未満	始めてから6か月以上1年未満	始めてから1年以上	始めてから6か月未満	始めてから6か月以上1年未満	始めてから1年以上	始めてから6か月未満	始めてから6か月以上1年未満	始めてから1年以上	
第2号 (n=200)	3.0	0.5	39.5	4.5	5.0	21.0	4.5	0.5	18.0	3.5
第1号(全体) (n=442)	1.4	1.4	42.8	2.3	1.6	23.8	3.4	2.0	11.1	10.4
第1号(自立) (n=337)	1.5	1.5	46.3	2.1	1.5	24.6	2.4	1.5	10.1	8.6
第1号(総合事業対象者) (n=58)	-	1.7	36.2	1.7	3.4	19.0	5.2	3.4	10.3	19.0
第1号(要支援) (n=47)	2.1	-	25.5	4.3	-	23.4	8.5	4.3	19.1	12.8

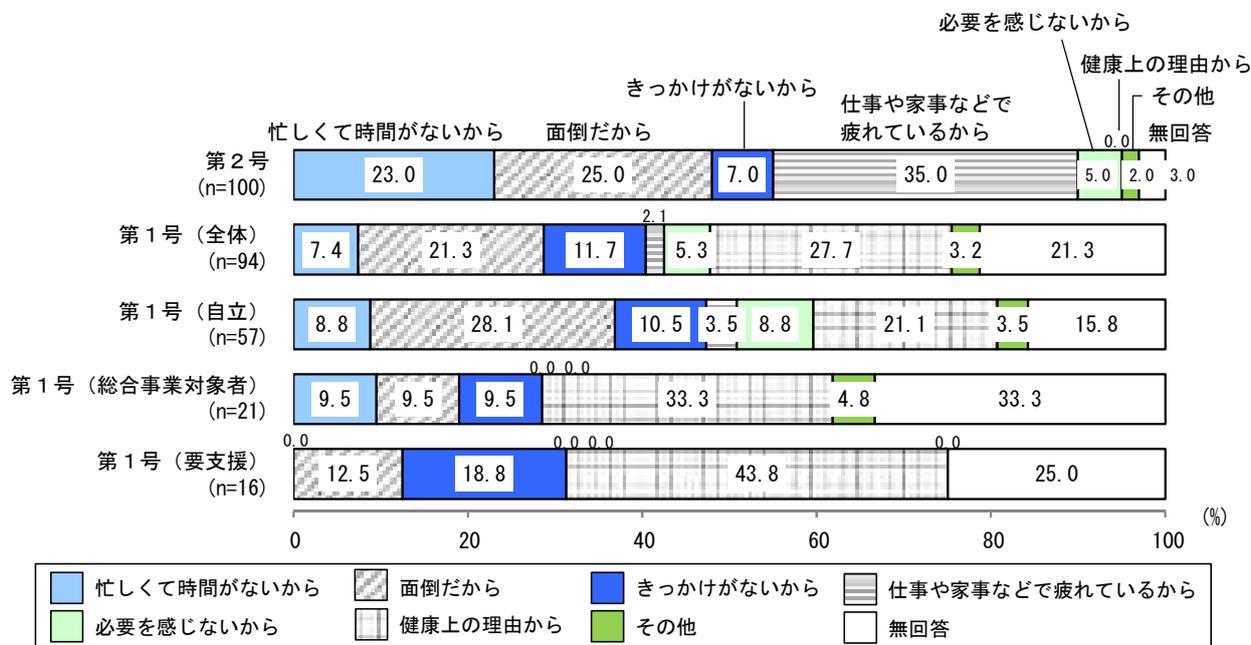
健康のために意識的に体を動かすことをしていると回答した人に、どの程度の時間体を動かしており、その運動をどのくらい継続しているかについてたずねると、いずれの区分も「1日で1時間以上の運動×始めてから1年以上」が最も多く、次いで「1日30分以上1時間未満の運動×始めてから1年以上」となっています。「1日で1時間以上の運動×始めてから1年以上」の割合は【第1号(自立)】(46.3%)で最も高く、次いで【第2号】(39.5%)となっています。(表9-5)

(6) 体を動かしていない理由

【問11 (2) において「2. していない」のかたのみ】

(2) -⑤ 体を動かしていない理由は次のどれですか (○は1つ)

【図9-6 体を動かしていない理由】



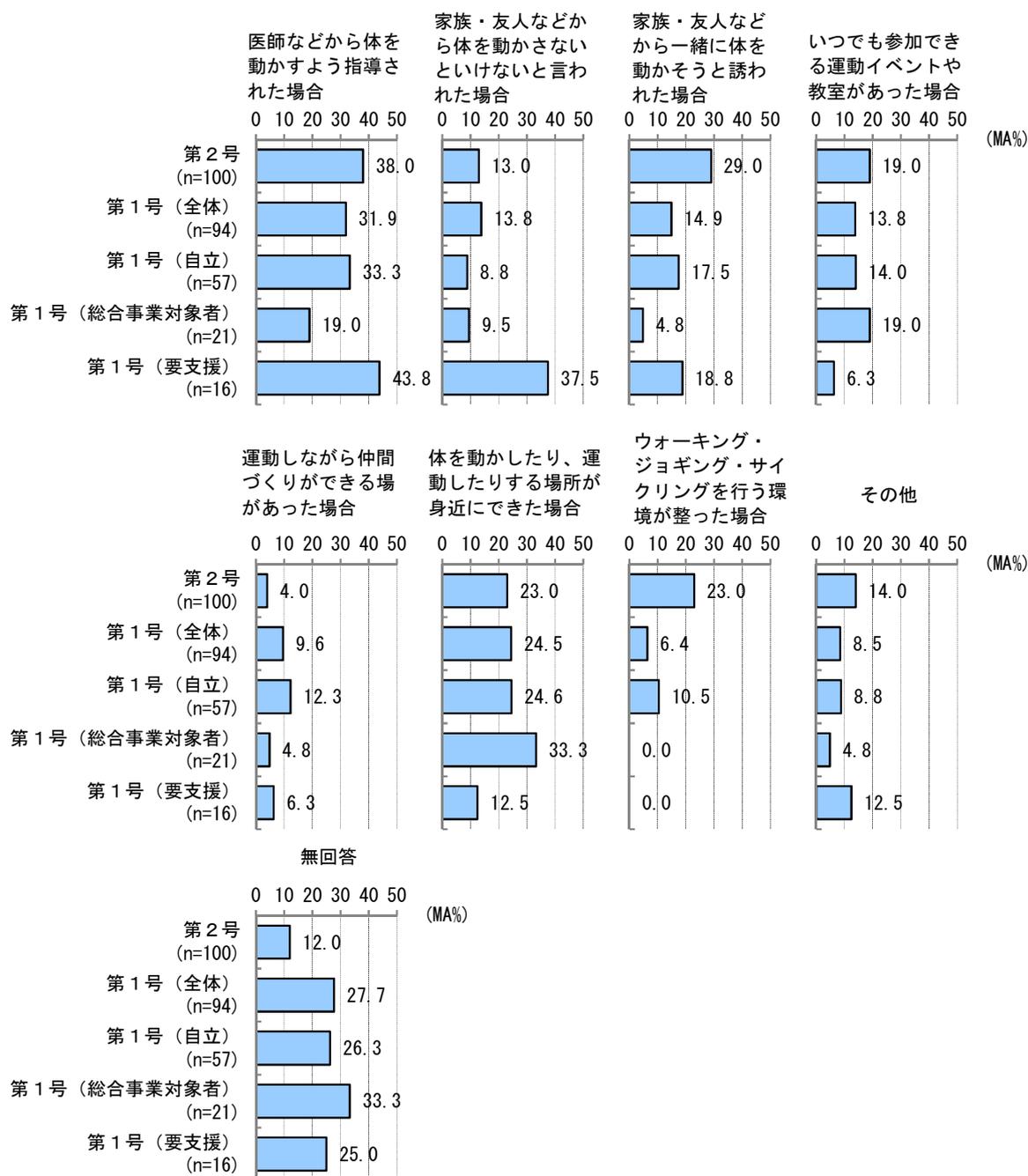
健康のために意識的に体を動かしていないと回答した人に、その理由をたずねると、【第2号】は「仕事や家事などで疲れているから」(35.0%)が最も多く、次いで「面倒だから」(25.0%)となっています。【第1号 (自立)】は「面倒だから」(28.1%)が最も多く、【第1号 (総合事業対象者)】、【第1号 (要支援)】は「健康上の理由から」(総合33.3%、要支援43.8%)が最も多くなっています。(図9-6)

(7) 体を動かそうと思うきっかけ

【問11 (2) において「2. していない」のかたのみ】

(2) -⑥どのようなことがあれば体を動かそうと思いますか (〇はいくつでも)

【図9-7 体を動かそうと思うきっかけ】



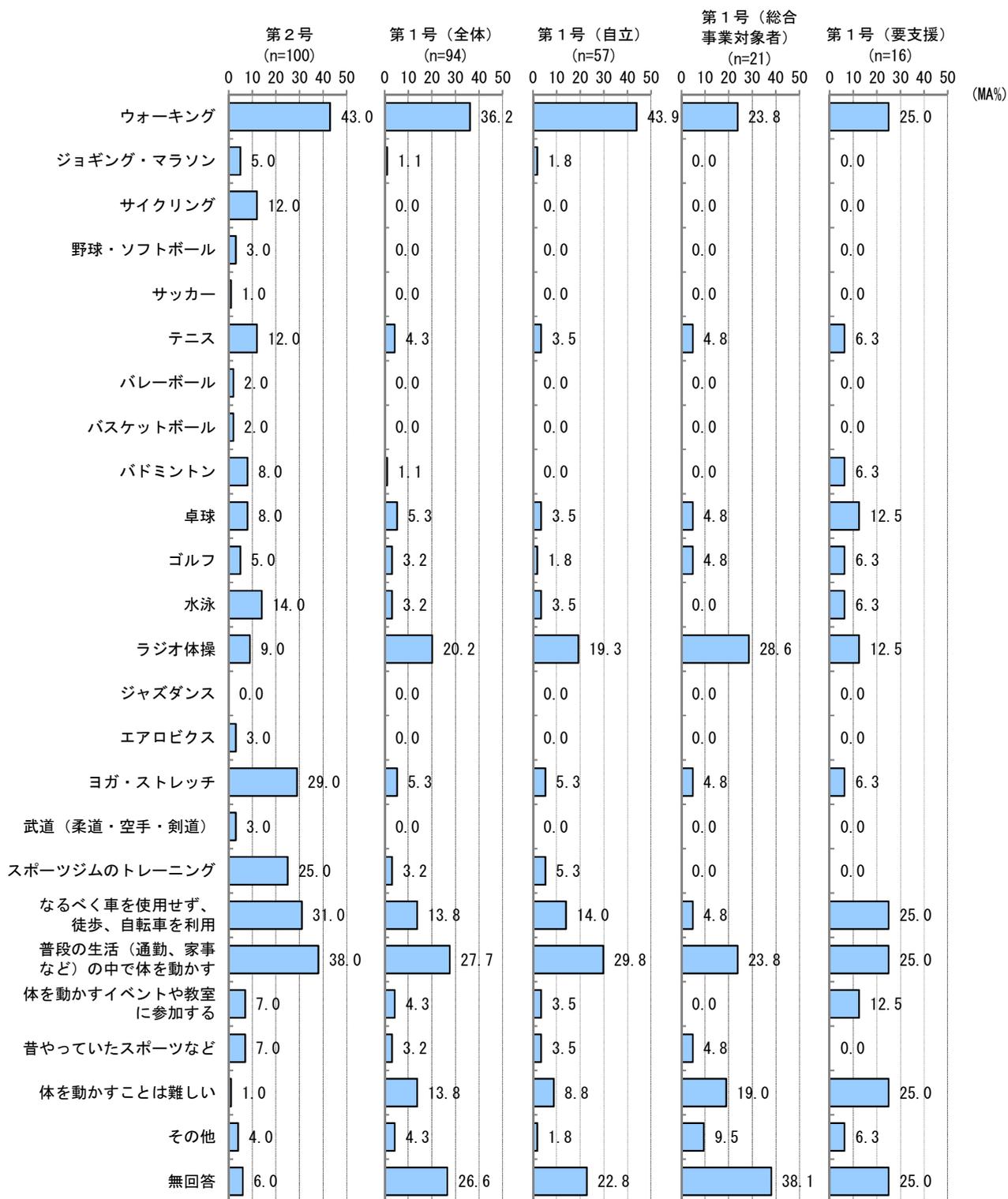
健康のために意識的に体を動かしていないと回答した人に、どのようなことがあれば体を動かそうと思うかについてたずねると、【第2号】、【第1号 (自立)】、【第1号 (要支援)】は「医師などから体を動かすよう指導された場合」(第2号38.0%、自立33.3%、要支援43.8%)が最も多く、【第1号 (総合事業対象者)】は「体を動かしたり、運動したりする場所が身近にできた場合」(33.3%)が最も多くなっています。(図9-7)

(8) 体を動かしやすいスポーツ・活動

【問11(2)において「2. していない」のかたのみ】

(2)-⑦どのようなスポーツ・活動であれば体を動かしやすいと思いますか(〇はいくつでも)

【図9-8 体を動かしやすいスポーツ・活動】



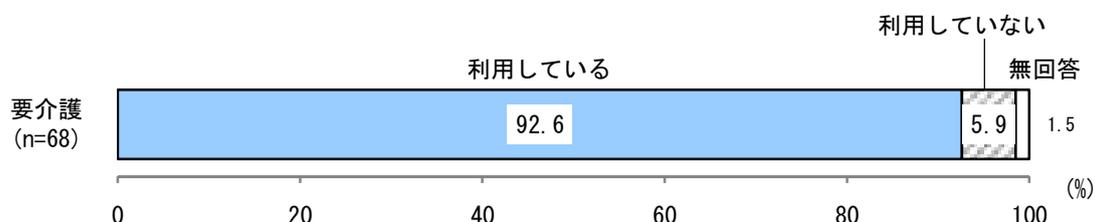
健康のために意識的に体を動かしていないと回答した人に、体を動かしやすいスポーツ・活動についてたずねると、【第2号】と【第1号（自立）】は「ウォーキング」（第2号43.0%、自立43.9%）が最も多く、次いで「普段の生活（通勤、家事など）の中で体を動かす」（第2号38.0%、自立29.8%）となっています。【第1号（総合事業対象者）】は「ラジオ体操」（28.6%、6件）が最も多く、【第1号（要支援）】は「ウォーキング」、「なるべく車を使用せず、徒歩、自転車を利用」、「普段の生活（通勤、家事など）の中で体を動かす」、「体を動かすことは難しい」がそれぞれ25.0%（4件）となっています。（図9-8）

10. 介護保険サービスの利用状況について

(1) 介護保険サービスの利用状況

問8 (1) 現在、介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)

【図10-1 介護保険サービスの利用状況】



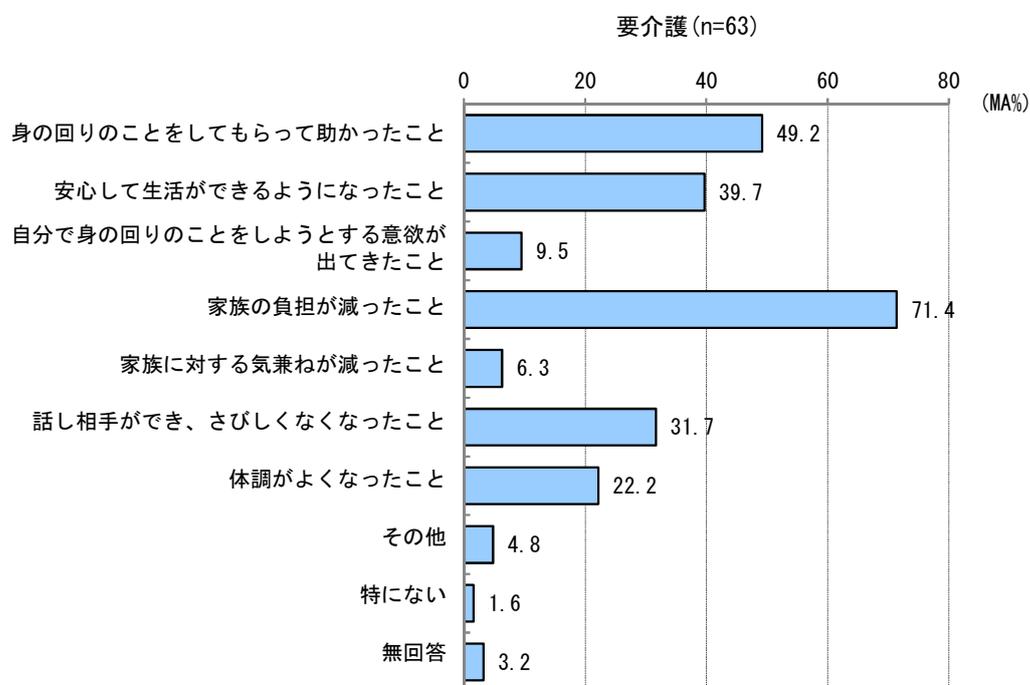
【要介護】の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が92.6%、「利用していない」が5.9%となっています。(図10-1)

(2) 介護保険サービスを利用してよかった点

【問8 (1) において「1. 利用している」のかたのみ】

(1) -①介護保険サービスを利用してよかった点はどれですか (○はいくつでも)

【図10-2 介護保険サービスを利用してよかった点】



【要介護】の介護保険サービスを利用していると回答した人に、利用してよかった点についてたずねると、「家族の負担が減ったこと」が71.4%で最も多く、次いで「身の回りのことをしてもらって助かったこと」が49.2%、「安心して生活ができるようになったこと」が39.7%となっています。(図10-2)

(3) 介護保険サービスの利用に対する満足度

【問8 (1) において「1. 利用している」のかたのみ】

(1) -②介護保険サービスの利用に対する満足度はどれですか

【図10-3 介護保険サービスの利用に対する満足度】



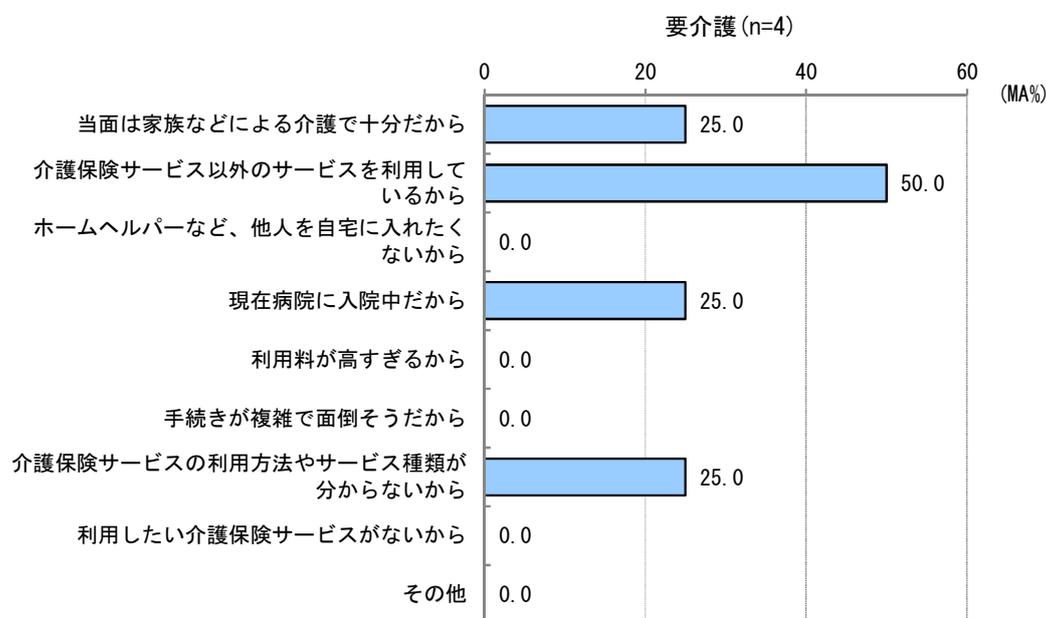
【要介護】の介護保険サービスを利用していると回答した人に、介護保険サービスの利用に対する満足度についてたずねると、「おおむね満足している」が76.2%で最も多く、次いで「大変満足である」が14.3%、「やや不満である」が4.8%となっています。(図10-3)

(4) 介護保険サービスを利用していない理由

【問8 (1) において「2. 利用していない」のかたのみ】

(1) -③介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか (〇はいくつでも)

【図10-4 介護保険サービスを利用していない理由】



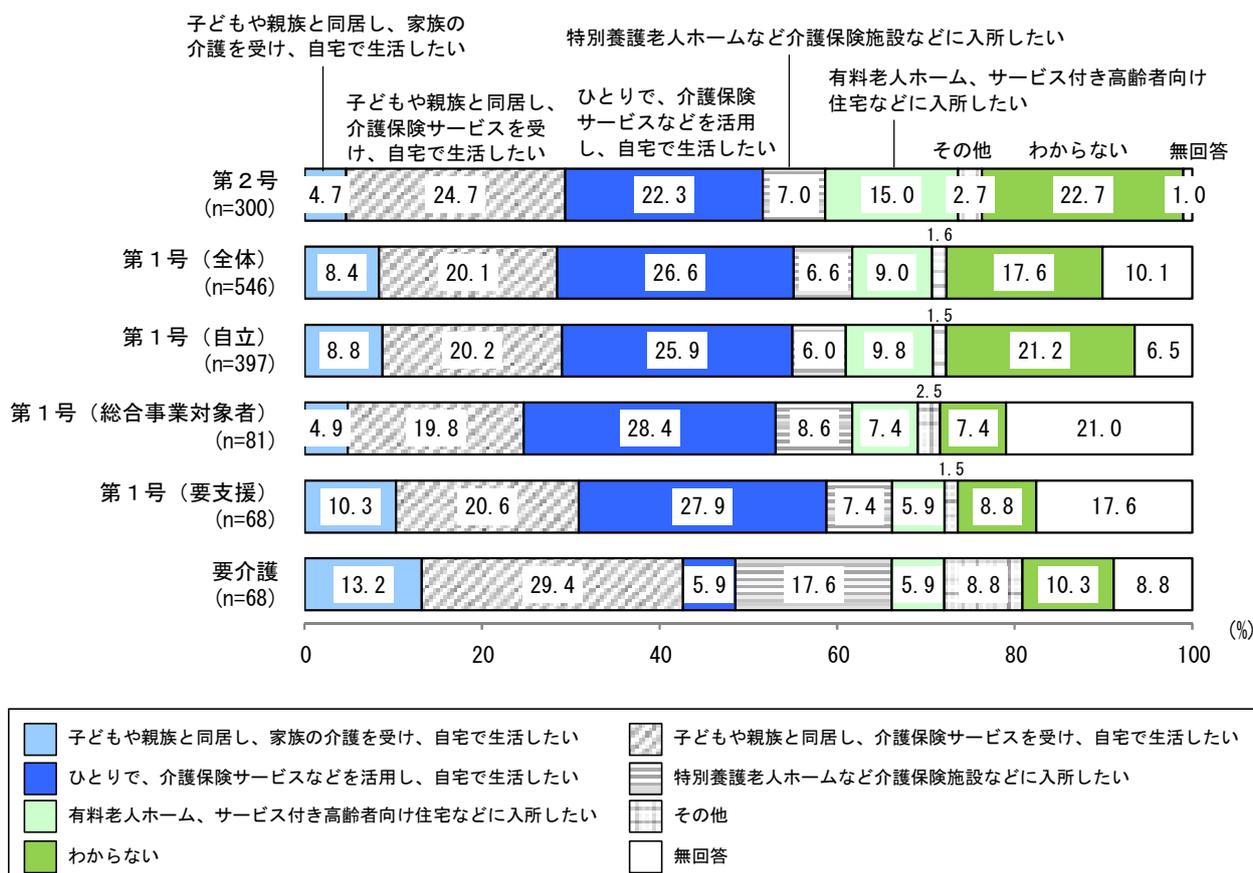
【要介護】で介護保険サービスを利用していないと回答した人(4人)に、その理由をたずねると、「介護保険サービス以外のサービスを利用しているから」が50.0%(2人)で最も多く、次いで「当面は家族などによる介護で十分だから」、「現在病院に入院中だから」、「介護保険サービスの利用方法やサービス種類が分からないから」がそれぞれ25.0%(1人)となっています。(図10-4)

11. 今後の生活について

(1) 将来の理想とする生活

問12(1) あなたは、将来どのような生活をしたいと思いますか。(〇は1つ)

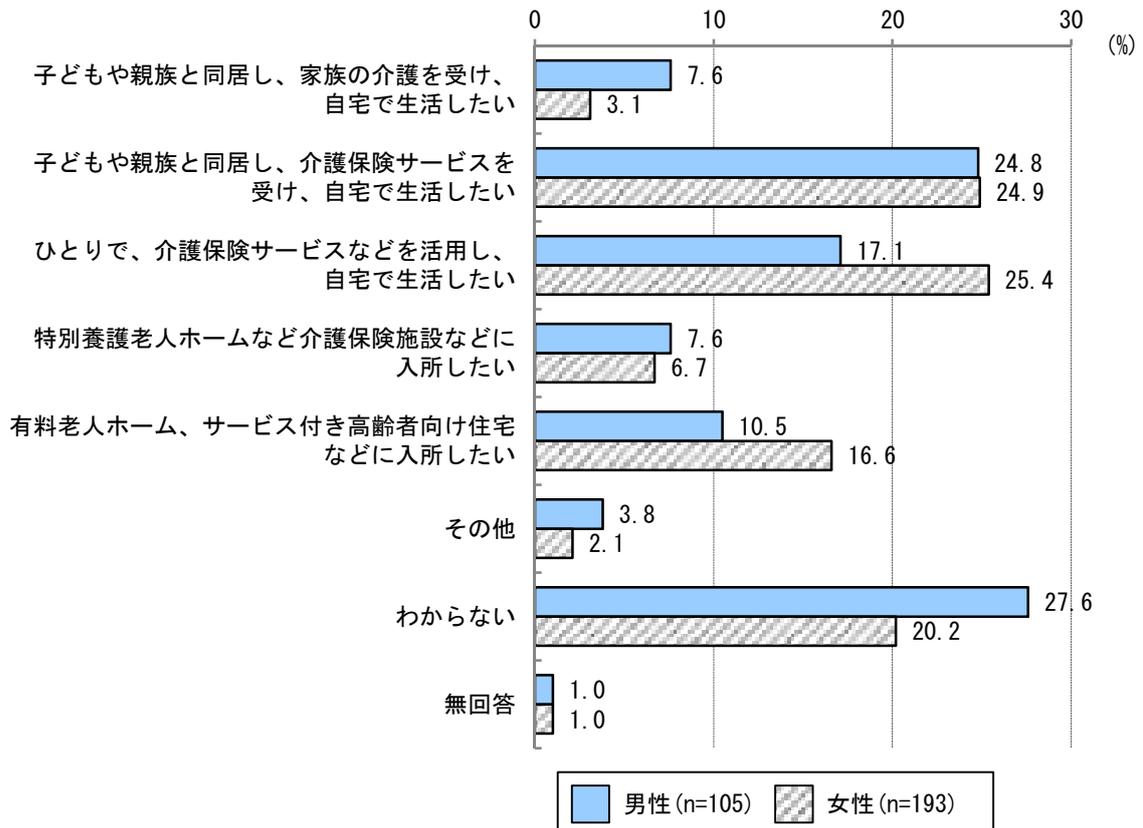
【図11-1 将来の理想とする生活】



将来の理想とする生活については、【第2号】と【要介護】は「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを受け、自宅で生活したい」（第2号24.7%、要介護29.4%）が最も多く、【第1号（自立）】、【第1号（総合事業対象者）】、【第1号（要支援）】は「ひとりで、介護保険サービスなどを活用し、自宅で生活したい」（自立25.9%、総合28.4%、要支援27.9%）が最も多くなっています。「特別養護老人ホームなど介護保険施設などに入所したい」の割合は【要介護】（17.6%）で最も高く、「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などに入所したい」は【第2号】（15.0%）で最も高くなっています。（図11-1）

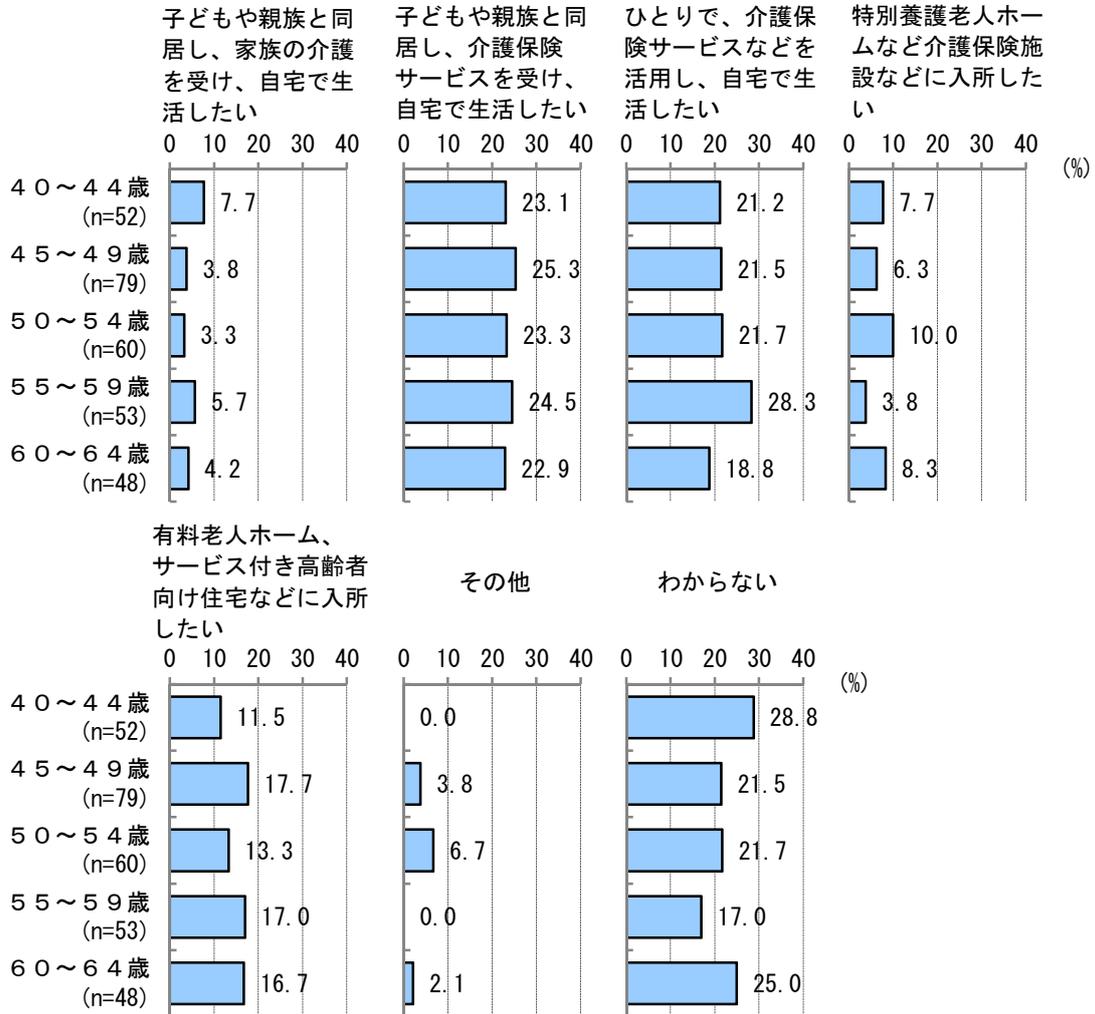
【第2号】を性別で見ると、男性は「わからない」(27.6%)が最も多く、次いで「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを受け、自宅で生活したい」(24.8%)となっていますが、女性は「ひとりで、介護保険サービスなどを活用し、自宅で生活したい」(25.4%)が最も多く、次いで「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを受け、自宅で生活したい」(24.9%)となっています。(図11-1-1)

【図11-1-1 性別 将来の理想とする生活【第2号】】



【第2号】を年齢別で見ると、「ひとりで、介護保険サービスなどを活用し、自宅で生活したい」は55～59歳（28.3%）で最も高くなっています。（図11-1-2）

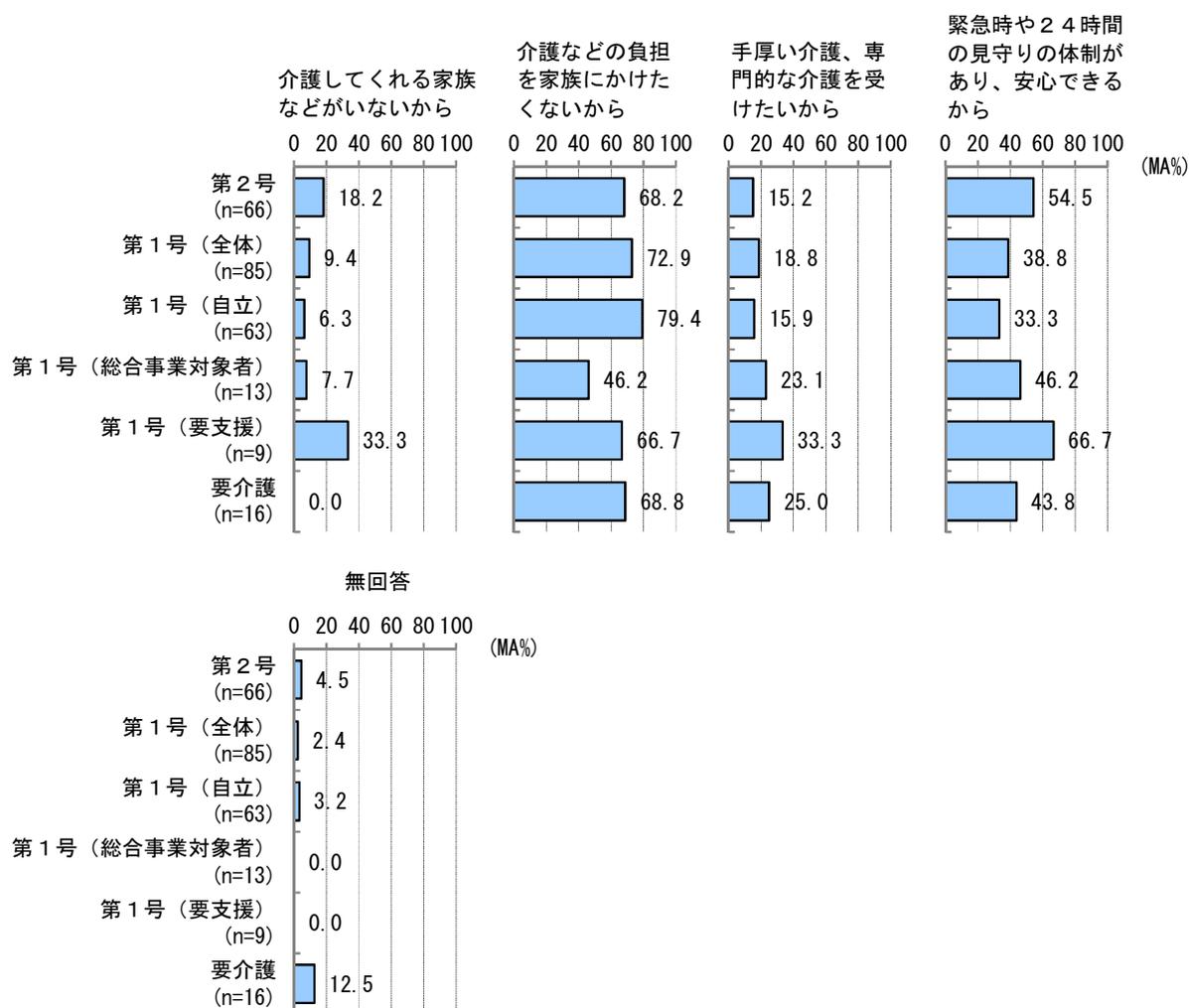
【図11-1-2 年齢別 将来の理想とする生活【第2号】】



(2) 施設に入所したい理由

【問12(1)において「施設に入所したい」(「4」または「5」)と回答されたかたのみ】
施設に入所したい理由はどれですか。(〇はいくつでも)

【図11-2 施設に入所したい理由】



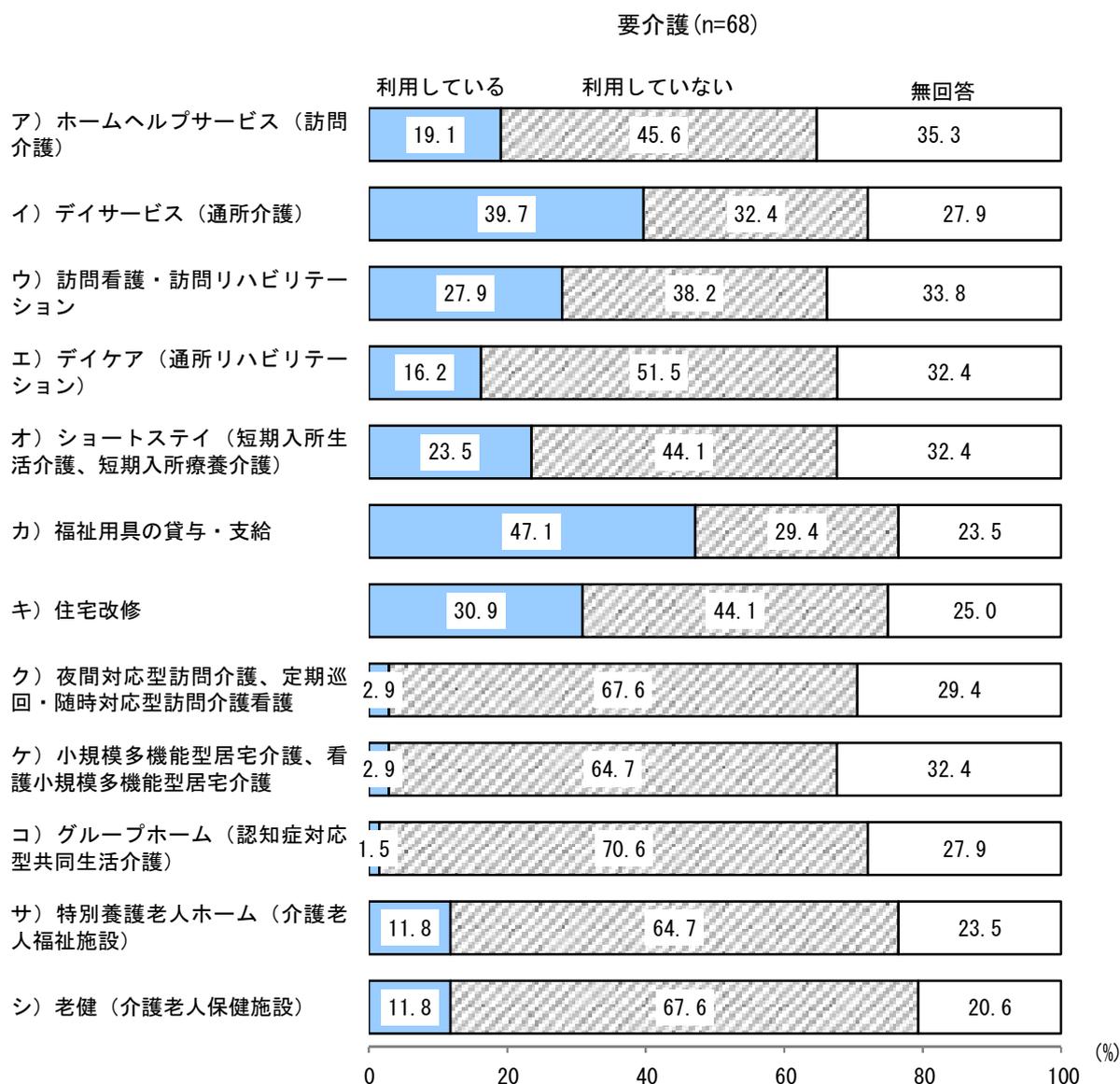
将来の理想とする生活について介護保険施設や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などに入所したいと回答した人に、その理由をたずねると、いずれの区分も「介護などの負担を家族にかけたくないから」が最も多く、【第1号(総合事業対象者)】と【第1号(要支援)】は「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」(総合46.2%(6件)、要支援66.7%(6件))も最も多くなっています。(図11-2)

(3) 介護保険サービスの利用状況と利用希望

問9 (2) 主な介護保険サービスの利用状況と今後の利用希望についておたずねします。
 以下のア～シについて、それぞれあてはまる項目に○をつけてください（それぞれは1つ）

① 介護保険サービスの利用状況

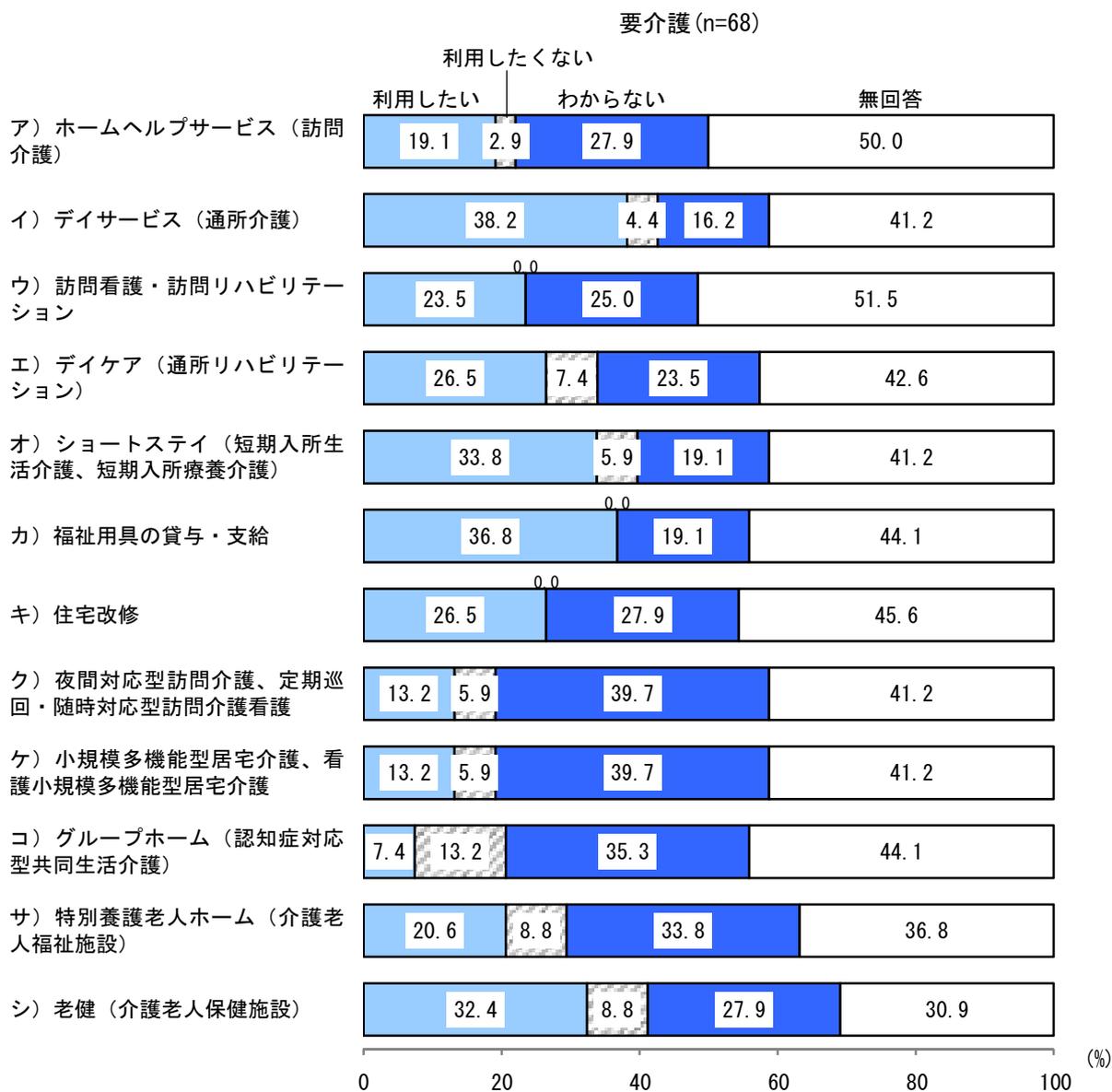
【図11-3-1 介護保険サービスの利用状況】



【要介護】の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」の割合は“カ) 福祉用具の貸与・支給”が47.1%で最も高く、次いで“イ) デイサービス (通所介護)”が39.7%、“キ) 住宅改修”が30.9%となっています。(図11-3-1)

② 介護保険サービスの利用希望

【図11-3-2 介護保険サービスの利用希望】



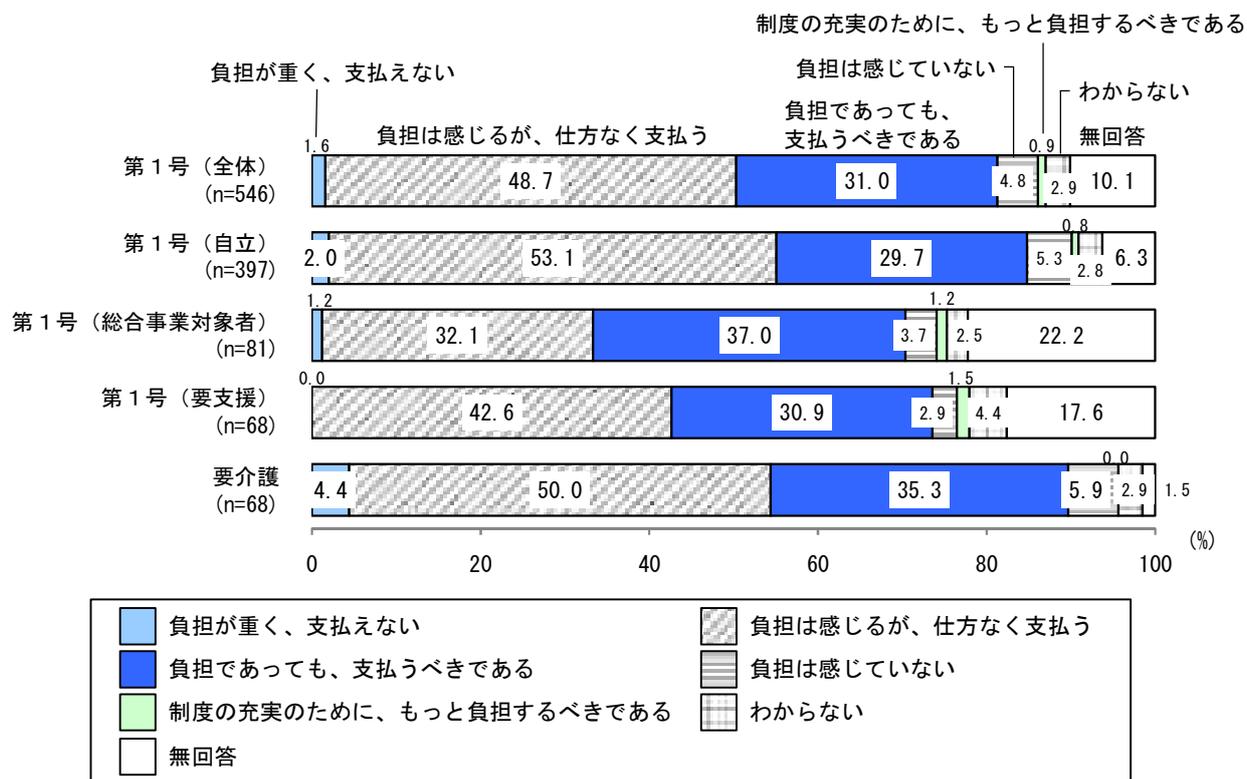
【要介護】の介護保険サービスの利用希望については、「利用したい」の割合は“イ) デイサービス (通所介護)”が38.2%で最も高く、次いで“カ) 福祉用具の貸与・支給”が36.8%、“オ) ショートステイ (短期入所生活介護、短期入所療養介護)”が33.8%となっています。(図11-3-2)

12. 介護保険料について

(1) 介護保険料の負担感

問13 (1) 介護保険料を支払うことについて、どう思いますか。(○は1つ)

【図12-1 介護保険料の負担感】

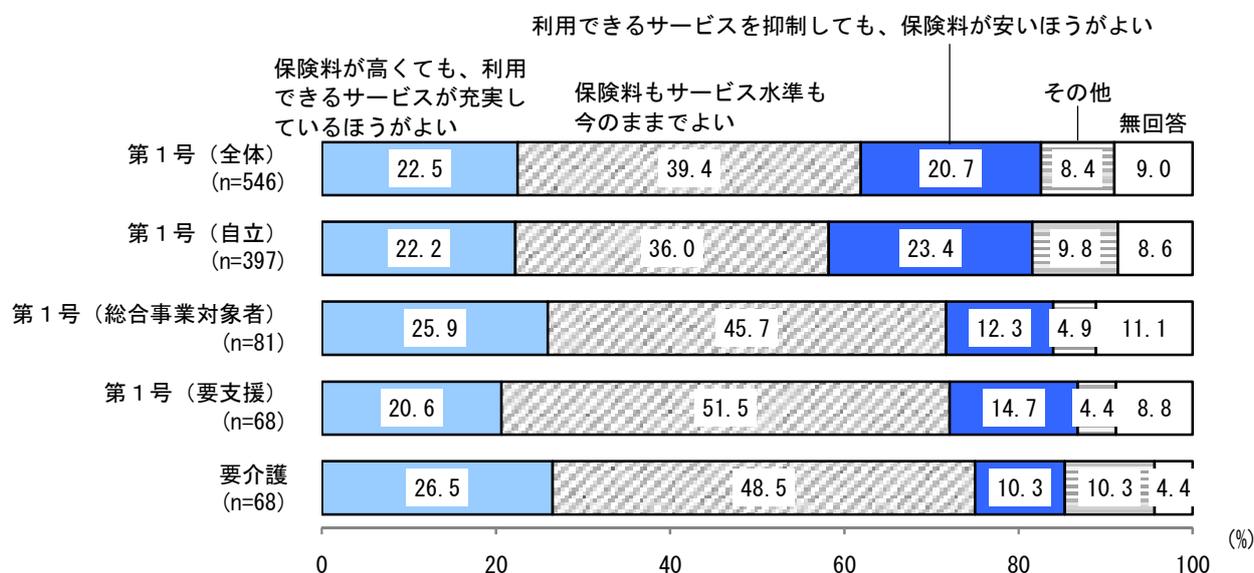


介護保険料の負担感については、【第1号 (総合事業対象者)】は「負担であっても、支払うべきである」(37.0%)が最も多いですが、【第1号 (自立)】と【第1号 (要支援)】、【要介護】は「負担を感じるが、仕方なく支払う」(自立53.1%、要支援42.6%、要介護50.0%)が最も多くなっています。(図12-1)

(2) 負担と給付の関係に対する考え

問13(2) 負担(介護保険料)と給付(介護保険サービス)の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

【図12-2 負担と給付の関係に対する考え】



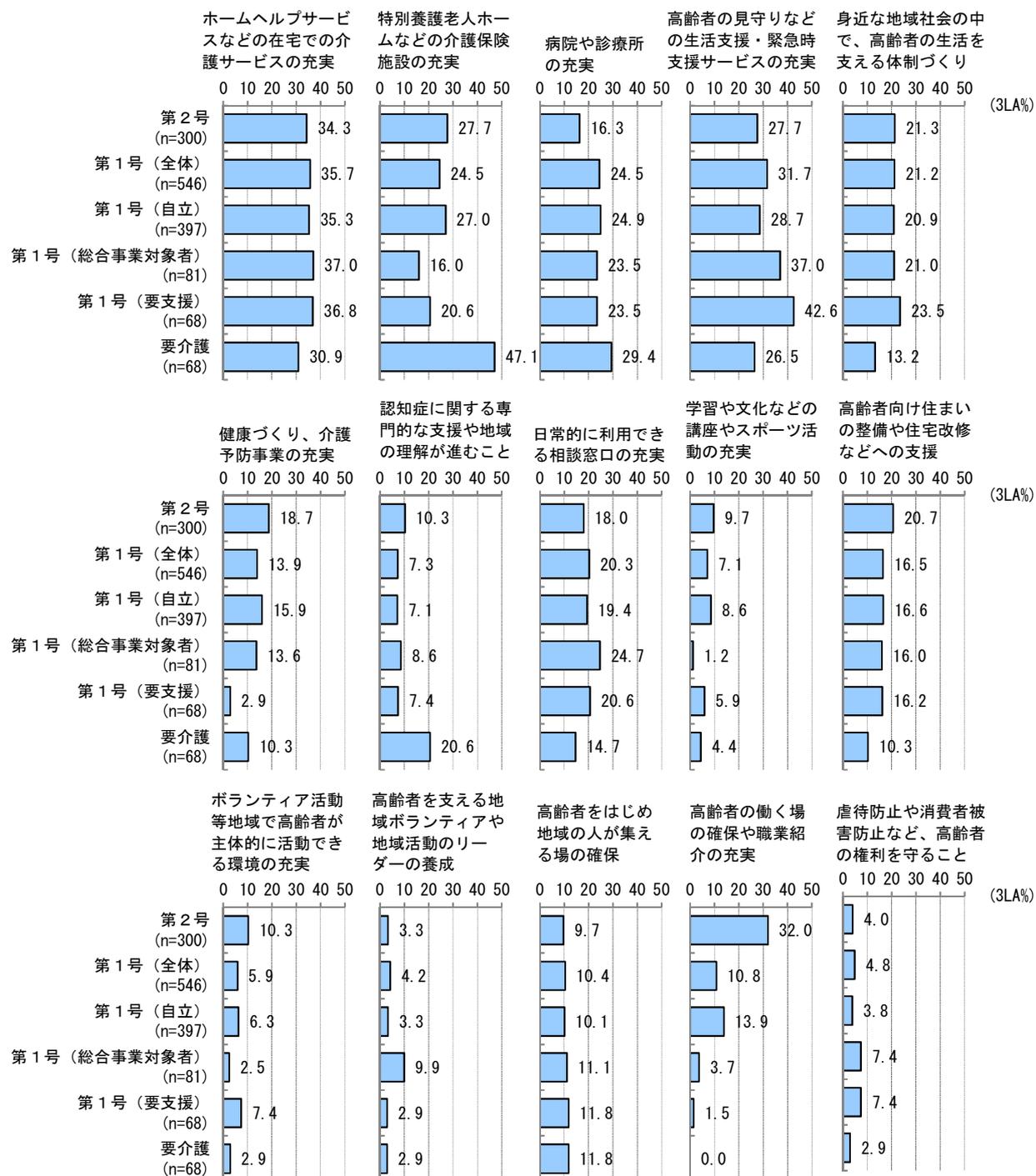
負担と給付の関係に対する考えについては、いずれの区分も「保険料もサービス水準も今のままでよい」が最も多く、次いで【第1号(自立)】は「利用できるサービスを抑制しても、保険料が安いほうがよい」(23.4%)、【第1号(総合事業対象者)】、【第1号(要支援)】、【要介護】は「保険料が高くて、利用できるサービスが充実しているほうがよい」(総合25.9%、要支援20.6%、要介護26.5%)となっています。(図12-2)

13. 高齢者施策全体について

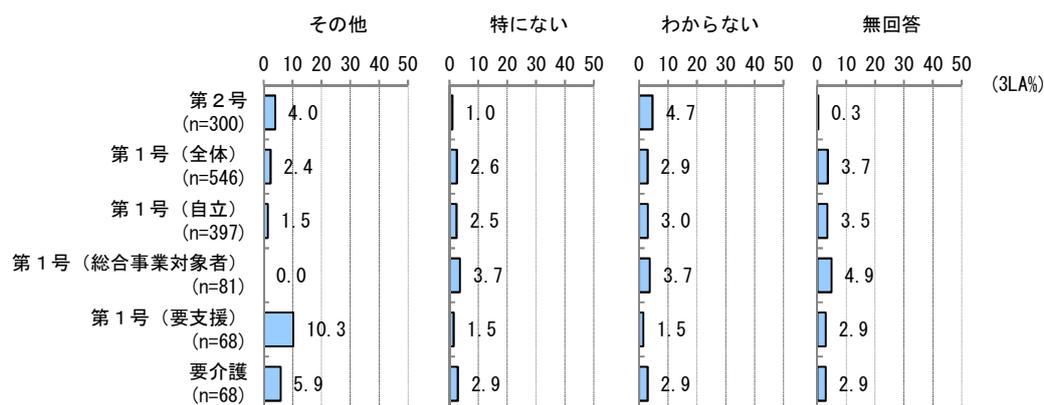
(1) 高齢者がいきいきと暮らせる社会を築くために重要な施策・事業

問14 (1) 高齢者が個性と主体性を発揮し、いきいきと暮らし続けることのできる社会を築いていくためにはどのような施策・事業が重要だと思いますか。
より重要度が高いと思う項目3つまでに○をつけてください。(○は3つまで)

【図13-1 高齢者がいきいきと暮らせる社会を築くために重要な施策・事業①】



【図13-1 高齢者がいきいきと暮らせる社会を築くために重要な施策・事業②】



高齢者がいきいきと暮らせる社会を築くために重要な施策・事業については、【第2号】と【第1号（自立）】は「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」（第2号34.3%、自立35.3%）が最も多く、【第1号（総合事業対象者）】は「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」と「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」（ともに37.0%）、【第1号（要支援）】は「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」（42.6%）、【要介護】は「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」（47.1%）が最も多くなっています。（図13-1①②）

【第1号(全体)】を居住小学校区別でみると、萱野、西南、豊川北小学校区では「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」が最も多くなっています。中小小学校区では「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」と「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」、「身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり」がともに30.2%で最も多く、それ以外の小学校区では「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」が最も多くなっています。(表13-1-1)

(※萱野北、止々呂美、彩都の丘小学校区は母数が少ないため、分析文では省略しています。)

【表13-1-1 居住小学校区別 高齢者がいきいきと暮らせる社会を築くために重要な施策・事業【第1号(全体)】(3LA%)】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
箕面小学校区 (n=44)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 40.9	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 29.5	日常的に利用できる相談窓口の充実 27.3	高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 22.7	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 20.5
萱野小学校区 (n=48)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 29.2	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実／身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 27.1	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 25.0	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 22.9	高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 22.9
北小学校区 (n=31)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 45.2	病院や診療所の充実 35.5	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実／高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 32.3	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 25.8	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 25.8
南小学校区 (n=54)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 37.0	病院や診療所の充実 27.8	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 25.9	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 24.1	高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 16.7
西小学校区 (n=54)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 38.9	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 35.2	病院や診療所の充実／身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 25.9	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 22.2	高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 22.2
東小学校区 (n=37)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 51.4	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 48.6	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 35.1	日常的に利用できる相談窓口の充実 24.3	病院や診療所の充実／身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり／健康づくり、介護予防事業の充実／高齢者をはじめ地域の人が集える場の確保 16.2
西南小学校区 (n=48)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 35.4	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 29.2	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 27.1	病院や診療所の充実／身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 22.9	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 22.9
萱野東小学校区 (n=48)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 37.5	病院や診療所の充実 27.1	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 22.9	健康づくり、介護予防事業の充実 20.8	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実／高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実／日常的に利用できる相談窓口の充実 18.8
豊川北小学校区 (n=41)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 41.5	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実／病院や診療所の充実 29.3	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 26.8	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 19.5	日常的に利用できる相談窓口の充実 19.5
中小小学校区 (n=43)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実／高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実／身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり 30.2	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 29.7	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 27.0	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 25.6	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 25.6
豊川南小学校区 (n=37)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 29.7	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 27.0	病院や診療所の充実 21.6	日常的に利用できる相談窓口の充実／高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 21.6	日常的に利用できる相談窓口の充実／高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 21.6
萱野北小学校区 (n=17)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実／特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 41.2	日常的に利用できる相談窓口の充実 35.3	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 29.4	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 23.5	認知症に関する専門的な支援や地域の理解が進むこと 23.5
止々呂美小学校区 (n=6)	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実／病院や診療所の充実 66.7	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 50.0	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 16.7	高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援／ボランティア活動等地域で高齢者が主体的に活動できる環境の充実 16.7	高齢者向け住まいの整備や住宅改修などへの支援 16.7
彩都の丘小学校区 (n=3)	病院や診療所の充実 100.0	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実／高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 66.7	学習や文化などの講座やスポーツ活動の充実／高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実 33.3	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 33.3	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 33.3

Ⅲ 調査結果のまとめと課題

1. 回答者自身の状況

回答者の性別は、第2号被保険者、第1号被保険者（自立、総合事業対象者、要支援認定者）、要介護認定者いずれにおいても女性の割合が男性を大きく上回っています。

回答者の年齢構成は、総合事業対象者及び要支援・要介護認定者では、75歳以上が8割で、そのうち85歳以上の年代の割合がほぼ半数を占めています。

要介護認定者のうち、要介護1・2は44.1%、要介護3以上は54.4%で、重度者の割合が高くなっています。

2. 回答者の世帯の状況

「1人暮らし」は、総合事業対象者及び要支援認定者では35%程度で、自立・要介護認定者に比べ20ポイント程度高くなっています。一方、自立は「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」が53.7%、要介護認定者は「息子・娘との2世帯」が39.7%で最も高くなっています。

日中1人で過ごすことが多い高齢者の割合は、要支援認定者が57.4%で最も高く、次いで総合事業対象者が38.3%となっています。

身寄りのないひとり暮らし高齢者であっても、住み慣れた地域で安心して自立生活を送れるよう、地域ごとにネットワークを築き、ひとり暮らし高齢者の生活を支えていく地域づくりが必要です。

3. 回答者の介護・介助の状況

普段の生活で介護・介助が必要で現在介護・介助を受けている割合は、自立が2.8%、総合事業対象者が38.3%、要支援認定者が44.1%で、自立の9割近くは「介護・介助は必要ない」と回答しています。

介護・介助が必要になった原因は、要介護認定者では「認知症（アルツハイマー病など）」が最も多く、総合事業対象者、要支援認定者では「関節の病気（リウマチ等）」や「骨折・転倒」が多くなっています。

認知症の進行による要介護状態のほか、運動器機能の低下や低栄養による転倒、骨折などが生じないように、認知症予防をはじめとする介護予防事業と健康づくりの取組を一体的に進め、要介護状態になる手前の対策の強化を図ることが必要です。

4. 回答者の生活機能の状況

■運動器

運動器の機能低下の「リスクあり」に該当する人の割合は、自立が5.8%、総合事業対象者が60.5%、要支援認定者が55.9%となっています。男女とも、75～79歳の年代を境に「リ

スクあり」の該当割合が上昇し、特に女性の割合が男性に比べ高くなっています。1人暮らしで「リスクあり」の該当割合が31.1%で、家族との同居世帯に比べ高くなっています。

運動器の機能低下の傾向が強い総合事業対象者及び要支援認定者では、過去1年間に転倒した経験が1度以上ある割合が5割を超え、また転倒に対する不安を感じている割合は8割に上ります。

骨や関節、筋肉や神経で構成される「運動器」の障害を防ぎ、歩行能力やADLを低下させる「身体的フレイル」の発生を減らすため、要介護状態になる主な原因である転倒・骨折や関節疾患を予防する取組が必要です。

■閉じこもり

閉じこもりの「リスクあり」に該当する人の割合は、自立が1.3%、総合事業対象者が9.9%、要支援認定者が13.2%となっています。男女とも85歳以上の年代で「リスクあり」の該当割合が最も高くなっています。また、「リスクあり」の該当割合は、1人暮らし（5.7%）と息子・娘の2世帯（6.5%）で高くなっています。

1週間のうち「ほとんど外出しない」割合は、要介護認定者が39.7%で最も高くなっています。総合事業対象者及び要支援認定者では、外出が「週1回」又は「ほとんど外出しない」が合わせて3割となっており、自立の割合（10.4%）に比べ高くなっています。

昨年と比べた外出回数が減った割合は、総合事業対象者が58.0%、要支援認定者が64.7%と、自立の17.1%に比べかなり高く、また外出控えも総合事業対象者が51.9%、要支援認定者が57.4%と、自立の11.8%に比べ4倍以上の開きとなっています。

外出控えの理由として最も多いものは、総合事業対象者・要支援認定者とも「足腰などの痛み」で7割を占めています。

外出する際の移動手段をみると、総合事業対象者は「徒歩」が66.7%で最も多く、これに次いで「自動車（人に乗せてもらう）」（35.8%）、「タクシー」（35.8%）などが続いています。要支援認定者は、「タクシー」（42.6%）が最も多く、次いで「徒歩」（38.2%）や「自動車（人に乗せてもらう）」（38.2%）となっています。

総合事業対象者と要支援認定者は足腰などの痛みを理由に外出控えをし、閉じこもり傾向が強くみられます。閉じこもりの継続により運動器の機能の低下を招く可能性もあり、家族や近隣の人などが外出の声をかけをしたり、自宅から歩いて行ける範囲に、高齢者が誰でも外出できる場や気軽に集える機会を充実したりすることが必要です。

■栄養状態、食生活の状況

低栄養の「リスクあり」に該当する人の割合は、自立が1.0%、総合事業対象者が4.9%、要支援認定者が4.4%となっています。1人暮らしで「リスクあり」の該当割合が3.8%と他の家族構成よりも高くなっています。

BMIをみると、「低体重」の割合は、総合事業対象者、要支援認定者のいずれも10%前後となっており、状態像により大きな違いはみられませんが、6か月間で2～3kg以上の体重減少があったと回答した割合は、総合事業対象者と要支援認定者では2割で、自立の6.5%に比べ高くなっています。

食事をともにする機会について「毎日ある」の割合は、自立の68.0%に比べ、総合事業対

象者は44.4%、要支援認定者は39.7%で、ともに食事をする機会が少なくなっています。

低栄養リスクのある高齢者は少なくなっていますが、低栄養により体の筋肉が減ると、立つこと・歩くことなどの運動能力が低下し、それにより「寝たきりになりやすくなる」「転倒のリスクが高まる」などの要因にもなります。様々な食品をバランス良く食べる、ひとり暮らしでも数日分の食事を冷凍したり、保存がきく食品を買い置きしたりするなど食事がしやすい環境を整える、また食事の時間を楽しめるように工夫するなどして、食習慣の改善を図ることが必要です。

■口腔機能

固いものが食べにくくなったと回答した割合は、総合事業対象者と要支援認定者では4割以上を占めています。

入れ歯を利用している割合は、自立では50.6%、総合事業対象者では67.9%、要支援認定者では60.3%で、歯が19本以下で入れ歯を利用している割合は、総合事業対象者と要支援認定者では半数近くを占めています。

口腔機能が低下すると食物の種類が制限されるため、免疫力の低下から病気にかかりやすくなったり、また食事や会話に支障をきたすと人とのつきあいがおっくうになったりします。そのため家に閉じこもり、身体的・精神的に活動が不活発になり寝たきりや認知症の原因になる場合があります。高齢者が身体的、精神的、さらには社会的にも健康な生活を送るために口腔ケアを推進し、口腔機能の低下や食の偏りなどを含む身体の衰えである「オーラルフレイル」の対策の強化が重要です。

■認知機能

物忘れが多いと感じると回答した割合は、総合事業対象者が60.5%で最も高く、次いで要支援認定者の48.5%となっています。

認知症は要介護の原因のひとつであり、その程度によっては介護者の負担は大きいものとなります。認知症の多くは、生活習慣を改善し、健康的な生活をおくることで予防が可能であるとされ、若い頃から認知症を予防するための知識をもち、生活習慣を健康的に変えていくことが重要です。

■手段的自立度（IADL）

手段的自立度（IADL）は、日常生活の基本的な動作の中でも、より高度な運動や記憶力を必要とされる動作について自力でできる能力の程度を示すもので、自立から総合事業対象者、要支援認定者へと状態像の変化に伴ってその能力には低下傾向がみられます。

高齢者が自立した生活を送るためには、心身の機能の向上を図るとともに、日常生活動作の維持・向上を図り、活動性の向上や社会参加を促して、生きがいや役割を持ってその人らしく生き生きと暮らせるよう支援していくことが重要です。

■うつ傾向

うつの「リスクあり」に該当する人の割合は、自立が32.0%、総合事業対象者が50.6%、要支援認定者が58.8%で、運動器機能の低下や閉じこもり傾向がみられる総合事業対象者及び要支援認定者の割合が高くなっています。また、リスクありの割合は、特に1人暮らしと

息子・娘との2世帯で高くなっています。

うつに関する知識の普及・啓発活動などを通じ、高齢者自身のうつに対する気づきを促すとともに、相談や受診しやすい環境づくりが重要です。また、うつの予防には孤立を防ぐ地域づくりが大切であり、特に高齢者の場合には、閉じこもりや社会的な孤立を予防し、気晴らしや生きがいにつながるような人間関係を豊かにする場づくりが必要です。

5. 地域活動への参加状況

ボランティアのほか、スポーツ、趣味、学習・教養サークル、シニアクラブ（老人クラブ）、自治会・町内会に参加する割合は、第2号被保険者、自立、総合事業対象者、要支援認定者のいずれも全般に低くなっています。介護予防のための通いの場については総合事業対象者で「週1回」が29.6%となっており、自立や要支援認定者に比べ参加率は高くなっています。収入のある仕事は、第2号被保険者では「週4回以上」が55.0%、自立でも週4回以上収入のある仕事に参加している人が14.1%となっています。

地域活動への参加意向割合は、第2号被保険者、自立、総合事業対象者、要支援認定者のいずれも「参加してもよい」が最も高く、「参加したくない」の割合を上回っています。

地域活動に企画・運営する立場としての参加意向をみると、第2号被保険者、自立、総合事業対象者、要支援認定者のいずれも「参加したくない」が50%を超え、「参加してもよい」の割合を上回っています。

高齢者が元気に活動できるうちは、働くことで社会との接点を持つことができますが、身体的な事情でそれが難しいようであれば、地域の様々なサークルやボランティア活動、スポーツや趣味などのグループ活動に参加するよう家族や友人・知人が促すなど、高齢者の地域活動・社会参加を後押しする取組も重要です。

6. 人や社会とのつながりの状況

■心配事や愚痴を聞いてくれる人や聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人も聞いてあげる人も、第2号被保険者、自立、総合事業対象者では「配偶者」が最も多くなっています。要支援認定者では、聞いてくれる人は「別居の子ども」(44.1%)が、聞いてあげる人では「友人」(39.7%)が最も多くなっています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人いずれも「近隣」の割合は低く、また総合事業対象者と要支援認定者では、「配偶者」や「友人」の割合が自立に比べ低く、身近なところで話し相手になってくれる人とのつながりが希薄な傾向がみられます。

■看病や世話をしてくれる人やしてあげる人

看病や世話をしてくれる人もしてあげる人も、自立、総合事業対象者、要支援認定者とも「配偶者」が最も多くなっています。

心配事や愚痴の場合と同様、自立、総合事業対象者、要支援認定者のいずれも「近隣」の割合は低く、また総合事業対象者と要支援認定者では、「配偶者」の割合が自立に比べ低くなっています。

■家族や友人・知人以外の相談相手

第2号被保険者は「そのような人はいない」が62.3%を占めており、何かあったときの相談先としては「医師・歯科医師・看護師」(18.0%)が多くなっています。自立では、「そのような人はいない」(43.8%)が多い一方で、相談先としては「医師・歯科医師・看護師」(32.0%)が多くなっています。

総合事業対象者、要支援認定者は「ケアマネジャー」や「高齢者くらしサポート（地域包括支援センター）・市役所」が、要介護認定者は「ケアマネジャー」(76.5%)がそれぞれ多くなっています。

介護や看護が必要になった時のほか、日常の些細なことでも、話し相手になってくれる人、助けてくれる人や心の支えになってくれる人がいないのは、高齢者にとって大きな不安材料となります。インフォーマルな助け合い、支え合いの関係は、従来の血縁や地縁を補完し、あるいは代替として高齢者の将来への不安を減らし、心の拠り所の役割を果たすことが期待できるため、血縁や地縁以外のつながりを元気なうちに構築しておくことが重要です。

7. 健康管理や介護予防の取組状況

■幸福度

幸せの度合いを10点満点で点数化してもらったところ、6点以上の割合は、自立(78.2%)が最も高く、次いで第2号被保険者(74.3%)となっています。一方、総合事業対象者(59.2%)、要支援認定者(63.4%)の各割合は自立に比べ低くなっています。

■喫煙習慣

「ほぼ毎日吸っている」割合は、第2号被保険者が12.0%で最も高く、自立が9.3%、総合事業対象者が4.9%で、要支援認定者は0.0%となっています。

■治療中・後遺症のある病気

自立と総合事業対象者は、「高血圧」(自立38.5%、総合50.6%)、要支援認定者は「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症など)」(47.1%)、要介護認定者は「認知症(アルツハイマー病など)」(38.2%)が最も多くなっています。「外傷(転倒、骨折など)」の割合は、自立に比べ、総合事業対象者、要支援認定者、要介護認定者で高い傾向がみられます。

■健康や介護予防のために気をつけていること

第2号被保険者は「年に1回は必ず健診を受けている」(65.0%)が、自立は「適度な運動を心がけている」(68.5%)が、総合事業対象者は「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気をつけている」(66.7%)が、要支援認定者は「十分な睡眠や休息をとっている」(63.2%)が最も多くなっています。要介護認定者は「食事の量や栄養に気をつけている」と「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気をつけている」(ともに39.7%)が同率で最も多くなっています。また、「適度な運動を心がけている」の割合は、第2号被保険者、自立、総合事業対象者では5割を超えていますが、要支援認定者では5割を下回っています。

■健康のために意識的に体を動かすこと

健康のために意識的に体を動かしていると回答した割合は、全体で6割を超え、特に自立(84.9%)と総合事業対象者(71.6%)の割合が高くなっています。

第2号被保険者及び自立では、週に4日以上体を動かしている割合が5割を占めるのに対し、総合事業対象者と要支援認定者では週に4日以上は3割前後となっており、「週1回程度」の割合が第2号及び自立に比べ高くなっています。

具体的な活動としては、「ウォーキング」や「普段の生活(通勤、家事など)の中で体を動かす」が多く、1日30分以上もしくは1時間以上の運動を1年以上継続して行っていると回答している人が多くなっています。また、現在体を動かすことを行っていない人でも「ウォーキング」や「普段の生活(通勤、家事など)の中で体を動かす」が体を動かしやすい活動として多くが挙げられており、総合事業対象者では「ラジオ体操」も多くなっています。

身体を動かしていない理由は、第2号被保険者は「仕事や家事などで疲れているから」(35.0%)や「面倒だから」(25.0%)が多くなっています。自立は「面倒だから」(28.1%)、総合事業対象者、要支援認定者は「健康上の理由から」(総合33.3%、要支援43.8%)が最も多くなっています。

どのようなことがあれば体を動かそうと思うかについてみると、第2号被保険者、自立、要支援認定者は「医師などから体を動かすよう指導された場合」(第2号38.0%、自立33.3%、要支援43.8%)が最も多く、総合事業対象者は「体を動かしたり、運動したりする場所が身近にできた場合」(33.3%)が最も多くなっています。

定期的な健診の受診をはじめ、栄養バランスのとれた食事、口腔衛生、運動習慣など健康づくりに意識して取り組む市民が多い一方で、第2号被保険者や第1号被保険者(総合事業対象者含む)の中では、少数であるものの、喫煙習慣がある人もみられます。健康づくりや介護予防について、引き続き市民自身が自主的な取組が行えるよう、継続して普及啓発に取り組むことが必要です。また、いつまでもお元気な高齢者を増やすため、若い世代からの健康づくり事業の推進を図るとともに、多くの高齢者が介護予防に取り組める環境整備が必要です。高齢者を「支える側・支えられる側」といった立場で区別するのではなく、社会参加することを通じて健康づくり・介護予防につなげていくという視点からのアプローチも求められています。引き続き、高齢者の居場所や通いの場など様々な機会を増やすことが重要です。

8. 認知症や成年後見制度について

■認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口の認知度は、自立が28.2%、総合事業対象者が51.9%、要支援認定者が41.2%で総合事業対象者の割合が最も高くなっています。

知られている相談窓口をみると、第2号被保険者は、「医療機関など(病院・歯科医院・薬局)」(56.7%)、「市役所」(41.7%)が多くなっています。自立は「医療機関など(病院・

歯科医院・薬局)」(59.8%)が、総合事業対象者は「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)」(64.3%)が、要支援認定者は「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)」と「医療機関など(病院・歯科医院・薬局)」(ともに64.3%)がそれぞれ最も多くなっています。

■認知症についての考え

第2号被保険者・自立・総合事業対象者・要支援認定者のいずれも「認知症の人に、どのように接したらよいか分からない」が最も多く、特に第2号被保険者の割合(47.7%)が高くなっています。

■成年後見制度について

第2号被保険者・自立・総合事業対象者・要支援認定者のいずれも「くわしい内容は知らないが、おおまかなことを知っている」と「名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の各割合が3割前後となっており、詳細まで知っている人は多くありません。

調査結果から「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)」は、高齢者の相談窓口として周知されている状況がうかがえ、認知症や権利擁護を含む高齢者の様々な支援につながる窓口として、世代を超えて周知し、その機能強化を進めることが重要です。

また、認知症に関する正しい理解を進めるため、認知症施策を含めより一層の普及啓発を図り、認知症の方に対する接し方をはじめ、認知症になっても不安を感じず生活できる支援の充実や環境づくりに引き続き努めることが必要です。

9. 介護サービスの利用状況について

要介護認定者のうち92.6%は介護保険サービスを利用していると回答しています。

「家族の負担が減ったこと」(71.4%)をはじめ、「身の回りのことをしてもらって助かったこと」(49.2%)、「安心して生活ができるようになったこと」(39.7%)などが介護保険サービスを利用してよかった点として上位に挙げられ、9割はサービスに満足しています。

利用者の視点に立ったサービスが提供されるよう、介護保険サービスを提供する事業者の質向上を図る取組が引き続き重要です。

10. 将来の理想とする生活

第2号被保険者と要介護認定者は「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを受け、自宅で生活したい」(第2号24.7%、要介護29.4%)が、自立、総合事業対象者、要支援認定者は「ひとりで、介護保険サービスなどを活用し、自宅で生活したい」(自立25.9%、総合28.4%、要支援27.9%)が最も多くなっています。また、「特別養護老人ホームなど介護保険施設などに入所したい」の割合は、要介護認定者(17.6%)が最も高く、「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などに入所したい」は第2号被保険者(15.0%)で最も高くなっています。

施設への入所希望の理由は、第2号被保険者、自立、総合事業対象者、要支援・要介護認定者のいずれも「介護などの負担を家族にかけたくないから」が最も多くなっています。また、総合事業対象者と要支援認定者は、「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」（総合46.2%（6件）、要支援66.7%（6件））も最も多くなっています。

要介護者とその介護家族の自宅で生活し続けたいというニーズに応えるため、介護が必要な状態になっても安心して暮らし続けられるよう、在宅サービスを中心に充足を図る必要があります。

また、要介護状態が重度で、かつ介護負担が大きい場合は、適切な判断のもと施設入所を進めるとともに、訪問看護などの医療系サービスや、緊急時や24時間の対応が可能なサービスなど、利用者の状況に応じて柔軟に対応できるサービス基盤の整備に引き続き努めることが重要です。

11. 高齢者がいきいきと暮らせる社会を築くために重要な施策・事業

第2号被保険者と自立は「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」（第2号34.3%、自立35.3%）が最も多くなっています。総合事業対象者は、「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」と「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」（ともに37.0%）が、要支援認定者は「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」（42.6%）がそれぞれ最も多くなっています。要介護認定者は「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」（47.1%）が最も多くなっています。

在宅での介護サービスの充実や見守りなど生活支援・緊急時支援サービスへのニーズが高く、市民の中では自宅で生活し続けたいという希望が強く結果に表れています。在宅を中心としたサービス提供とともに、ひとり暮らし世帯や認知症高齢者などの増加を踏まえ、地域の多様な主体による多様なサービスが提供できる体制づくりや、自助に加えて地域の支え合い（互助）の取組を一層進めていくことが必要です。

各項目について、あてはまる語を項目の○をつけてください。

問1 ご親善者について (調査票へ記入をされるか)

- (1) この調査に回答されるかは必ずやりますか (Oは1つ)
1. 常に
 2. しばしば
 3. ほとんどない
 4. 全くない

問2 ご本人について (調査の対象者のか)

- (1) あなたの住所を教えてください (Oは1つ)
1. 東京
 2. 支那
- (2) あなたは、何歳ですか (0歳前) 1月1日現在の年齢ですか、年齢を記入してください。
- (3) あなたの住んでいる小学校はどの小学校ですか (Oは1つ)

1. 藤野小学校
2. 藤野小学校
3. 芝山小学校
4. 関川小学校
5. 関川小学校
6. 関川小学校
7. 藤野小学校
8. 藤野小学校
9. 藤野小学校
10. 関川小学校
11. 関川小学校
12. 藤野小学校
13. 正倉小学校
14. 藤野小学校

問3 あなたのご家族や家族について

- (1) 家族構成を教えてください (Oは1つ)
1. 一人暮らし
 2. 6人家族
 3. 6人家族
 4. その他
- (2) 親近感を感じている家族を教えてください (Oは1つ)
1. 父親
 2. 母親
 3. その他
 4. 誰も感じない
 5. 父親と母親

問4 からだを動かすことについて

- (1) 1日何回運動をしていますか (Oは1つ)
1. 1回以上
 2. 2回以上
 3. 3回以上
 4. 4回以上
- (2) どのような運動をしていますか (Oは1つ)
1. 散歩
 2. 散歩
 3. テニス
 4. 散歩 (散歩)
 5. 散歩 (人に誘われて)
 6. 散歩
 7. 散歩
 8. 散歩
 9. 散歩
 10. 散歩 (カート)
 11. 散歩 (散歩)
 12. その他

問5 食べることについて

- (1) 毎食何回食べていますか (Oは1つ)
1. 1回
 2. 2回
- (2) お茶や汁類などを飲むことはありますか (Oは1つ)
1. 毎日
 2. 時々
- (3) どのくらい食べていますか (Oは1つ)
1. 多い
 2. 多い
- (4) お茶や汁類を飲む量はどのくらいですか (Oは1つ)
1. お茶や汁類は、飲む量が多いです。
 2. お茶や汁類は、飲む量が少ないです。
 3. お茶や汁類は、飲む量が少ないです。
 4. お茶や汁類は、飲む量が少ないです。

(5) 最も得意な活動はどれですか (0点1つ)

1. 読書 2. 料理

(6) どの程度で2～5の以上の体重減少が実現しましたか (0点1つ)

1. 読書 2. 料理

(7) どのような食事法をとり始めることができましたか (0点1つ)

1. 読書 2. 週に2回の散歩 3. 毎日の散歩
4. 毎日の散歩 5. 毎日の散歩

問6 毎日の生活について

(1) 散歩はありますか (0点1つ) ある場合はどのような散歩ですか、どのように行なっていますか

1. 散歩 () 2. 散歩 ()

(2) 食事の量は減りましたか (0点1つ) ある場合はどのようなことですか、どのように減らしましたか

1. 食事の量 () 2. 散歩 ()

(3) 散歩はありますか、日本全国のどこで歩いていることになりましたか (0点1つ)

1. 散歩 () 2. 散歩
3. 散歩 () 4. 散歩 ()
5. 散歩 () 6. 散歩 ()
7. 散歩 () 8. 散歩 ()
9. 散歩 () 10. 散歩 ()
11. 散歩 () 12. 散歩 ()
13. 散歩 () 14. 散歩 ()
15. その他 ()

問7 毎日の活動について

(1) 以下の各项活动・グループなどごとの取り組みの頻度で評価していますか
毎週1回以上定期的に評価してください (0はそれ以外)

	週4回以上	週2回～3回	週1回～2回	月に1回	月に1回未満	評価していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・習得サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護施設でのボランティア活動 (ボランティアセンター、介護施設 (高齢者のサークル、認知症対応サークル、認知症対応グループ、認知症対応グループ)	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ (昼食クラブ)	1	2	3	4	5	6
⑦ 読書・新聞読	1	2	3	4	5	6
⑧ 散歩 ()	1	2	3	4	5	6

★【1】において、①から⑧まですべて1回 評価していない項目はありますか

評価していない項目は、次のどれですか (0点1つ)

1. 読書 () 2. 散歩 ()
3. 読書 () 4. 散歩 ()
5. その他 ()

(2) 毎日の活動によって、散歩の頻度や時間などのグループ活動を始めて、いよいよ活動が楽しくなってきたら、あなたは毎日の活動にさらに参加をしようと考えていますか (0点1つ)

1. 参加したい 2. 参加したくない 3. 参加したくない 4. 参加していない

<p>前 10 認知症や成年後見制度について</p> <p>(1) 認知症に関する認知症日について、あはれあはれしている認知症日ですか (Q101～Q104)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症日・認知症日 2. 認知症日と (認知症日・認知症日・認知症日) 3. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 4. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 5. 認知症日 6. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) <p>7. その他 ()</p>	<p>(2) 認知症についてあはれあはれしていることはいくらですか (Q105～Q108)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症日と認知症日 2. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 3. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 4. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 5. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 6. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 7. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 8. あはれあはれ <p>(3) 認知症について、あはれあはれしていることはいくらですか (Q109～Q112)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 2. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 3. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 4. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 5. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 6. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 7. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 8. あはれあはれ
---	--

<p>(4) 認知症に関する認知症日について (Q113)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症日と認知症日 2. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 3. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 4. あはれあはれ 	<p>前 11 認知症や成年後見制度について</p> <p>(1) 認知症に関する認知症日について、あはれあはれしていることはいくらですか (Q114～Q117)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 2. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 3. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 4. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 5. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 6. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 7. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 8. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 9. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 10. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 11. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 12. あはれあはれ 13. その他 ()
<p>(2) 認知症に関する認知症日について、あはれあはれしていることはいくらですか (Q118～Q121)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 2. 認知症日と認知症日 (認知症日と認知症日) 	

★【12】において「2. 上記以外のものを」とある。

(2) -どの項目を選択かしていない項目はどれですか (0は1つ)

1. ウォーキング	2. ジョギング・マラソン	3. サイクリング
4. 野球・ソフトボール	5. サッカー	6. テニス
7. バレーボール	8. バドミントン	9. バドミントン
10. 散歩	11. ゴルフ	12. 読書
13. ラジオ体操	14. シェアダンス	15. エアロビクス
16. ヨガ・ストレッチ	17. 読書 (漫画・雑誌・新聞)	
18. スポーツジムのトレーニング		
19. なるべく早く始めるが、自分、開始時期は		
20. 開始の予定 (運動、散歩など) の中で年々変わります	21. その他 ()	

★【12】において「1. 上記以外のものを」とある。

(2) -どの項目を選択かしていない項目は、選に項目数に変わりますか (0は1つ)

1. 週に1回以上	2. 週に2回以上	3. 週に3回以上
4. 週に1回未満	5. 週に1日に満たない	6. わからない

★【12】において「1. 上記以外のものを」とある。

(2) -どの項目を選択かしていない項目はどの程度の頻度でしていますか
 日に1回以上
 日に1回未満

(2) -または、その頻度を自分でからどれくらいで調整されていますか
 1から9のうち1つにチェックしてください (0は1つ)

	頻度の 6か月未満 1年未満	頻度の 6か月以上 1年未満	頻度の 1年以上 1年未満
1日に1回以上での運動	1	2	3
1日に1回未満での運動	4	5	6
1日でも頻度の運動	7	8	9

★【12】において「2. 上記以外のものを」とある。

(2) -どの項目を選択かしていない項目はどれですか (0は1つ)

1. ほとんど頻度が無いから	2. 頻度にかかわらず
3. きっかけがないから	4. 仕事や家事などで忙れているから
5. 設備が揃っていないから	6. 道端上の道から
7. その他 ()	

★【12】において「2. 上記以外のものを」とある。

(2) -どの項目を選択かしていない項目はどれですか (0は1つ)

1. 運動場から	2. 公園
3. 学校・習い事から	4. 仕事や家事などで忙れているから
5. 公園・習い事から	6. 道端上の道から
7. コーキング・ウォーキング・サイクリングで行う頻度がなくなったから	
8. その他 (頻度にかかわらず)	

★【12】において「2. 上記以外のものを」とある。

(2) -どの項目を選択かしていない項目はどれですか (0は1つ)

1. ウォーキング	2. ジョギング・マラソン	3. サイクリング
4. 野球・ソフトボール	5. サッカー	6. テニス
7. バレーボール	8. バドミントン	9. バドミントン
10. 散歩	11. ゴルフ	12. 読書
13. ラジオ体操	14. シェアダンス	15. エアロビクス
16. ヨガ・ストレッチ	17. 読書 (漫画・雑誌・新聞)	
18. スポーツジムのトレーニング		
19. なるべく早く始めるが、自分、開始時期は		
20. 開始の予定 (運動、散歩など) の中で年々変わります		
21. なるべく早く始めるが、自分、開始時期は		
22. 開始の予定 (運動、散歩など) の中で年々変わります		
23. 開始の予定 (運動、散歩など) の中で年々変わります		
24. その他 (頻度にかかわらず)		

問 12 介護保険について

- (1) あなたは、介護士として勤務したいと希望します。(2017)
1. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア、前向きなケア
 2. 子どもの成長と関係し、介護サービスを提供しながら、前向きなケア
 3. 一方で、介護サービスなども提供しながら、前向きなケア
 4. 介護サービスも提供しながら、前向きなケア
 5. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア
 6. その他 ()
 7. わからない

介護士としての役割	日常生活に介護が必要な方には、日常生活の支援や介護サービスを提供する人(介護士)と、(例)施設、(例)特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホームなど
介護士や介護士の役割	介護サービスでは主に生活支援などのサービスを提供した介護士向けの人(介護士)
サービス提供の役割	「施設介護士」として働く介護士(介護士)と、介護・福祉と関係し、専門性による介護支援や生活支援サービスを提供する人(介護士)

★【11】において「4」または「5」と回答された場合は、絶対に記入しない項目となります。(2017)

1. 介護士としての役割(2017)
 2. サービス提供の役割(2017)
 3. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア、前向きなケア
 4. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア、前向きなケア
- (2) 介護士としての役割(2017)
1. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア、前向きなケア
 2. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア、前向きなケア
 3. 子どもの成長と関係し、遊びによる介護サービス、前向きなケア、前向きなケア
 4. その他 ()

問 13 高齢者施設運営について

(1) 高齢者の福祉と生活向上を目指し、いままで暮らしてこられた生活環境を維持していくためにはどのような施設・事業が必要だと感じますか、より重要だと感じるところを3つまで記入してください。(2017)

1. ホームヘルプサービスの充実
2. 介護職員の人材育成
3. 介護職員の待遇改善
4. 高齢者の認知症対応、介護サービス、介護サービスの充実
5. 高齢者の認知症対応、介護サービスの充実
6. 介護職員の待遇改善
7. 認知症対応の介護サービスの充実
8. 介護職員の待遇改善
9. 介護職員の待遇改善
10. 高齢者の認知症対応、介護サービスの充実
11. 介護職員の待遇改善
12. 高齢者の認知症対応、介護サービスの充実
13. 高齢者の認知症対応、介護サービスの充実
14. 高齢者の認知症対応、介護サービスの充実
15. 介護職員の待遇改善
16. その他 ()
17. わからない
18. わからない

■■■■以上で回答は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

質問書について、あつちある調査員に口をつけてください

問 1 ご調査者について（調査員へ記入をされる方へ）

- (1) この調査に同意されるかおなほなですか (Oは1つ)
1. 賛成
 2. 賛成
 3. その他()

問 2 ご本人について（調査の対象者の方へ）

- (1) あなたの性別を教えてください (Oは1つ)
1. 男性
 2. 女性
- (2) あなたは、令和2年（2020年）1月1日現在で何歳ですか、数字で記入してください
() 歳

- (3) あなたの住んでいる小学校区はどこですか (Oは1つ)
1. 新井小学校区
 2. 新井小学校区
 3. 新井小学校区
 4. 新井小学校区
 5. 新井小学校区
 6. 新井小学校区
 7. 新井小学校区
 8. 新井小学校区
 9. 新井小学校区
 10. 新井小学校区
 11. 新井小学校区
 12. 新井小学校区
 13. 新井小学校区
 14. 新井小学校区

- (4) あなたは最近就職先などを教えてくださいませんか、または最近卒業の卒業先ですか (Oは1つ)
1. 教えてください
 2. 新井町役場
 3. 新井町役場
 4. 新井町役場

問 3 あなたのご家族や生活状況について

- (1) 家族構成を教えてください (Oは1つ)
1. 1人暮らし
 2. 夫婦2人暮らし(専業主婦は別居可)
 3. 夫婦2人暮らし(専業主婦は専業主婦)
 4. 親子・親子2世帯
 5. その他

(2) あなたは日中、どのように過ごしていますか (Oは1つ)

1. 1人で過ごすことが多い
 2. 1人で過ごすことがたまにある
 3. 誰かと過ごしている、ほとんど1人で過ごすことはない
- (3) あなたは、最初の訪問であなたの名前・年齢が分かる (Oは1つ)
1. 名前・年齢が分かる
 2. 年齢が分かる・名前は分からない、住所は分らない
 3. 名前、住所が分かる
- (4) 最初の訪問であなたの住所を教えてください (Oは1つ)

●【3】について (1) 名前・年齢は必須か (2) 住所は必須か

- (1) 名前・年齢が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)
- (2) 住所が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)

●【4】について (1) 名前・年齢は必須か (2) 住所は必須か

- (1) 名前・年齢が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)
- (2) 住所が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)

●【5】について (1) 名前・年齢は必須か (2) 住所は必須か

- (1) 名前・年齢が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)
- (2) 住所が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)

●【6】について (1) 名前・年齢は必須か (2) 住所は必須か

- (1) 名前・年齢が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)
- (2) 住所が必須になった世帯数は何人ですか (Oはいくつでも)
1. 新井町 (新井町) (新井町)
 2. 新井町
 3. 新井町 (新井町)

問 4	からたき焼かすことについて
(1) 煎餅を手すりや箸をつかちからたきに焼かしています。(Oは1つ)	
1. である。 2. であるが正しい。 3. である。	
(2) 舟子に焼いた煎餅から煎餅の味を知らせようとして焼かしています。(Oは1つ)	
1. である。 2. であるが正しい。 3. である。	
(3) 煎餅を焼かすだけで焼かしています。(Oは1つ)	
1. である。 2. であるが正しい。 3. である。	
(4) 舟子に煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅である。 2. 煎餅である。 3. 煎餅。	
(5) 煎餅に煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅である。 2. 煎餅である。 3. 煎餅である。 4. 煎餅である。	
(6) 煎餅に煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅である。 2. 煎餅である。 3. 煎餅である。 4. 煎餅である。	
(7) 煎餅に煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅である。 2. 煎餅である。 3. 煎餅である。 4. 煎餅である。	
(8) 煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。	
★(9) 舟子(1)は、舟子(2)に煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
(1) 舟子(2)は、舟子(1)に煎餅を焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
3. 煎餅(舟子(2)の煎餅)である。	
4. 舟子(1)の煎餅(舟子(2)の煎餅)である。	
5. 舟子(2)の煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
6. 舟子(1)の煎餅。	
7. 舟子(2)の煎餅。	
8. 舟子(1)の煎餅。	
9. 舟子(2)の煎餅。	
10. 舟子()	

(9) 舟子(1)の煎餅の味を舟子(2)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。 3. 煎餅。	
4. 煎餅(舟子(1)の煎餅)である。 5. 煎餅(舟子(2)の煎餅)である。	
6. 舟子(1)の煎餅。 7. 舟子(2)の煎餅。	
8. 舟子(1)の煎餅。 9. 舟子(2)の煎餅。	
10. 舟子(1)の煎餅(舟子(2)の煎餅)である。 11. 舟子(2)の煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
12. 舟子() 13. 舟子()	
問 5	食べることについて
(1) 煎餅・体重 (数字)を記入してください	
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg	
(2) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。	
(3) 舟子(1)の煎餅の味を舟子(2)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
(舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ))	
1. 舟子(1)の煎餅(舟子(2)の煎餅)である。 2. 舟子(2)の煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
3. 舟子(1)の煎餅。 4. 舟子(2)の煎餅。	
(4) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。	
(5) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
(舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ))	
1. 舟子(1)の煎餅(舟子(2)の煎餅)である。 2. 舟子(2)の煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
3. 舟子(1)の煎餅。 4. 舟子(2)の煎餅。	
(6) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。	
(7) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 舟子(1)の煎餅(舟子(2)の煎餅)である。 2. 舟子(2)の煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
3. 舟子(1)の煎餅。 4. 舟子(2)の煎餅。	
(8) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。	
(9) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 舟子(1)の煎餅(舟子(2)の煎餅)である。 2. 舟子(2)の煎餅(舟子(1)の煎餅)である。	
3. 舟子(1)の煎餅。 4. 舟子(2)の煎餅。	
問 6	舟子の生活について
(1) 舟子(1)は、舟子(2)の煎餅の味を舟子(1)に焼かす煎餅の味があります。(Oは1つ)	
1. 煎餅。 2. 煎餅。	

(8) 結婚式の準備によって、家族づくり活動や結婚などのグループ活動も行って、いよいよ結婚の準備がはかばかしく進んでいく。あなた自身の結婚に必要・重要（必須項目）として参加してみたいと思うものは、前記の項目から、2つ選んでください。3つ、4つ選んでください。

1. 結婚前講座 2. 結婚式 3. 結婚披露宴 4. 前に参加している

問B	ただしけあいについて
(1) あなたの心配事や懸念を抱いてくれる人はどんな人ですか（0はいつでも）	あなたとまわりの人の「たすけあい」についておろかありませんか（0はいつでも）
1. 結婚前	2. 同僚の子ども
4. 兄弟姉妹・祖父母・親・叔	3. 同僚の子ども
7. その他（ ）	4. 親
	5. 叔父
	6. 叔母
	7. その他（ ）
	8. そのほかの人（お名前）
(2) 最初に、あなたの心配事や懸念を抱いてくれる人はどんな人ですか（0はいつでも）	
1. 結婚前	2. 同僚の子ども
4. 兄弟姉妹・祖父母・親・叔	3. 同僚の子ども
7. その他（ ）	4. 親
	5. 叔父
	6. 叔母
	7. その他（ ）
	8. そのほかの人（お名前）
(3) あなたの懸念や悩みを抱えている人は、結婚や結婚生活してくる人はどんな人ですか（0はいつでも）	
1. 結婚前	2. 同僚の子ども
4. 兄弟姉妹・祖父母・親・叔	3. 同僚の子ども
7. その他（ ）	4. 親
	5. 叔父
	6. 叔母
	7. その他（ ）
	8. そのほかの人（お名前）
(4) 最初に、結婚や結婚生活をしてくれる人はどんな人ですか（0はいつでも）	
1. 結婚前	2. 同僚の子ども
4. 兄弟姉妹・祖父母・親・叔	3. 同僚の子ども
7. その他（ ）	4. 親
	5. 叔父
	6. 叔母
	7. その他（ ）
	8. そのほかの人（お名前）
(5) 結婚や結婚生活をして、何かあったときに頼れる相手も書きてください（0はいつでも）	
1. 結婚前	2. 結婚生活相談員
3. アパートマネージャー	4. 結婚・子育て支援センター
5. 結婚生活相談員（結婚生活相談センター）・市役所	
6. その他（ ）	7. その他（お名前）

問9	結婚について
(1) 最近のあなたの結婚生活は思いがけずですか（0はいつでも）	
1. とてもいい	2. まあいい
	3. あまりよくない
	4. よくない
(2) あなたは、親戚などの結婚準備ですか （とても準備）まで、1としても「準備」まで10までとして、親戚の準備をつけてください とても準備 ← 10まで	
0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳	
(3) この1か月間、自分が成長を感じたり、仲うちな気分になったりすることがありましたか（0はいつでも）	
1. はい	2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても結婚に向けて準備がつかない、あるいは準備がはかばかしくありませんでしたか（0はいつでも）	
1. はい	2. いいえ
(5) タレコは思っていますか（0はいつでも）	
1. 全然思っていない	2. 思っています
4. ほとんど思っています	3. 思っています
(6) 親戚準備中、または準備中のある親戚はありますか（0はいつでも）	
1. はい	2. 無回答
4. 結婚前	5. 結婚前
7. 結婚後の準備（親戚の準備など）	8. 同僚・仲間・結婚・結婚後の準備
9. 結婚・結婚後の準備	10. 結婚後の準備（結婚生活など、結婚生活など）
11. 家族（結婚・結婚など）	12. 母（結婚生活など）
14. 自分	15. 結婚生活相談員（結婚生活相談員）
17. 別の親戚	18. 別の親戚
	19. その他（ ）

<p>問 10 認知症や痴呆、痴呆状態について</p> <p>(1) 認知症の症状がある又は認知症状態の疑いがある人があります。(0は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	<p>(2) 認知症に関する認知症日を知っていますか。(0は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>★【2】において、「はい」の回答は、認知症に関する認知症日について、あなたが知っている認知症日を知っています。(0は1つでも)</p> <p>1. 厚生労働省・認知症情報 2. 認知症情報センター 3. 認知症くらしサポート（認知症対応型共同生活介護） 4. 認知症対応型グループホーム 5. 市役所 6. 介護保険サービス課（認知症対応型グループホームなど） 7. その他（ ）</p> <p>(3) 認知症についてあなたが知っていることはありますか。(0は1つでも)</p> <p>1. 認知症の症状 2. 認知症の原因 3. 認知症の予防 4. 認知症の診断 5. 認知症の治療 6. 認知症の介護 7. 認知症の法律 8. その他（ ）</p> <p>(4) 認知症について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(0は1つでも)</p> <p>1. 認知症は誰でもなる可能性がある 2. 認知症は高齢者になるにつれてなる 3. 認知症は遺伝する 4. 認知症は脳の病気 5. 認知症は脳の萎縮による 6. 認知症は脳の炎症による 7. 認知症は脳の血管障害による 8. その他（ ）</p>
---	--

<p>(5) 認知症の原因を知っていますか。(0は1つ)</p> <p>1. くも膜下出血 2. くも膜下出血以外の脳出血 3. 脳梗塞 4. その他（ ）</p>	<p>問 11 認知症や痴呆予防について</p> <p>(1) 認知症や痴呆予防のために取り組んでいることはありますか。(0は1つでも)</p> <p>1. はい 2. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 3. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 4. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 5. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 6. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 7. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 8. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 9. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 10. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 11. 認知症や痴呆予防のために取り組んでいる 12. はい 13. その他（ ）</p> <p>(2) 認知症や痴呆予防のために取り組んでいることはありますか。(0は1つでも)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
--	--

★【12】において「上」してはいらぬものを			
(2)→① どのように「上」を動かしてありますか (Oは1つ)			
1. ウォーキング	2. ショッピング・マラソン		
4. 野球・ソフトボール	5. サッカー		
7. バレーボール	8. バスケットボール		
10. 野球	11. コロフ		
13. サッカー	14. シェスダンス		
16. コロ・ストレッチ	17. 剣道 (剣道・空手・剣道)		
18. スポーツのトレーニング			
19. さまざまな種類のダンス、体操、体操競技			
20. 動物の世話 (園芸、動物園) の中で「上」る動物	21. その他 ()		
★【12】において「上」してはいらぬものを			
(2)→② どのように「上」を動かしてありますか (Oは1つ)			
1. 日に4回以上	2. 週に3回以上		
4. 週に1回以上	5. 週に1日に2回以上		
6. 毎分5回以上			
★【12】において「上」してはいらぬものを			
(2)→③ どのように「上」を動かしてありますか (Oは1つ)			
(2)→④ また、その運動の種類を「上」に記入してください (Oは1つ)			
1から9までの番号を記入するところ「上」にOをつけてください (Oは1つ)			
1日1回以上上の運動	1回以上1日未満	1回以上1日未満	1回以上1日未満
1日2回以上1回以上1日未満	4	5	6
1日3回以上1回以上1日未満	7	8	9

★【12】において「上」してはいらぬものを	
(2)→⑤ どのように「上」を動かしてありますか (Oは1つ)	
1. 足して時間がないから	2. 面倒だから
3. 場所がないから	4. 仕事や家事などで忙しくて暇がないから
5. 運動が嫌いだから	6. 運動場の設備が悪いから
7. その他 ()	
★【12】において「上」してはいらぬものを	
(2)→⑥ どのように「上」を動かしてありますか (Oは1つ)	
1. 運動場から徒歩10分以内の場所に行く	
2. 徒歩・自転車から徒歩10分以内の場所に行く	
3. 徒歩・自転車から徒歩10分以内の場所に行く	
4. 徒歩・自転車から徒歩10分以内の場所に行く	
5. 徒歩・自転車から徒歩10分以内の場所に行く	
6. 徒歩・自転車から徒歩10分以内の場所に行く	
7. ウォーキング・ジョギング・サイクリングを行う場所がある	
8. その他 ()	
★【12】において「上」してはいらぬものを	
(2)→⑦ どのように「上」を動かしてありますか (Oは1つ)	
1. ウォーキング	2. ショッピング・マラソン
4. 野球・ソフトボール	5. サッカー
7. バレーボール	8. バスケットボール
10. 野球	11. コロフ
13. サッカー	14. シェスダンス
16. コロ・ストレッチ	17. 剣道 (剣道・空手・剣道)
18. スポーツのトレーニング	
19. さまざまな種類のダンス、体操、体操競技	
20. 動物の世話 (園芸、動物園) の中で「上」る動物	
21. 運動場の設備が悪いから	
22. 運動場から徒歩10分以内の場所に行く	
23. 運動場から徒歩10分以内の場所に行く	
24. その他 ()	

問 1 2 今後の生活について

(1) あなたは、将来どのような生活をしたいたいですか。(OHP17)

1. 全うな健康と富を、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい
2. 全うな健康と富を、介護施設サービスを利用しながら、自宅で生活したい
3. 自宅で、介護施設サービスなどを利用しながら、自宅で生活したい
4. 介護施設入ホームなど介護施設などで生活したい
5. 住居費や介護費の負担を減らすホーム、サービス付の介護施設や住居などに生活したい
6. その他 ()
7. わからない

介護施設の種類など	介護施設の種類など は、実生活に介護が必要ならば、日常生活の支障や介護サービスを受ける入居「入居」施設、(例) 介護施設入ホーム、介護付有料老人ホーム、介護付有料グループホームなど
住居費や介護費の負担を減らすホーム	介護サービスなどでは、生活支援などのサービスが、介護施設や介護付有料老人ホームの介護施設、
サービス付き高齢者向け住宅	「高齢者向け住宅」に「介護付」や「ケア付」住宅、介護・福祉と連携し、専門員による生活支援や基幹介護サービスを受ける入居者に提供される施設。

★【(1) において「4」または「5」と回答された場合は】

施設に入居したい介護施設はありますか。(OHP15、27)

1. 介護してくれる施設はありますか。(OHP15)
2. 介護などの負担を軽減してくれる施設はありますか
3. 介護、介護、専門的な介護を受けたいから
4. 介護費や24時間対応の介護が必要、介護できるから

問 1 3 介護施設の種類について

(1) 介護施設の種類を挙げることにして、どれが欲しいですか。(OHP17)

1. 介護の専門に、対応できる
2. 施設は介護施設、専門的な施設
3. 施設であっても、24時間である
4. 施設は介護施設
5. 施設の介護のために、もっと介護が必要である
6. ほか()

(2) 介護（介護施設利用）と経済（介護施設サービス）の両方について、あなたの日暮らしに最も近いものはありますか。(OHP17)

1. 介護のみに従って、自宅で介護サービスが利用している状態である
2. 介護施設サービスを受ける状態である
3. 自宅で介護サービスを受けながら、介護施設を利用している状態である
4. その他 ()

問 1 4 高齢者施設全体について

(1) 高齢者が施設と生活する加齢し、いまいちと暮らし続けることである状態を認めていくためにはどのような施設・事業が必要かと思いませんか、より事業が盛いと思える施設を3つまでに挙げてください。(OHP17)

1. ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実
2. 利用可能な入ホームなどの介護施設全体の充実
3. 介護や介護施設の充実
4. 高齢者の病気の予防などの生活支援・緊急対応サービス等の充実
5. 介護施設利用の中で、高齢者の生活を支える体制づくり
6. 介護費の削減、介護費の削減
7. 施設費に負担する自治体の支援や財政負担の軽減が進むこと
8. 自治体に負担する施設費の削減
9. 介護や介護などの施設やサービス施設の充実
10. 高齢者が施設での生活や在宅生活などへの移行
11. ケンブリッジ型など、在宅で高齢者の生活が一歩進めることができる施設の充実
12. 高齢者が受ける施設やボランティアの介護施設の充実
13. 高齢者が施設での生活の人が減るような環境
14. 高齢者の働く場の確保や介護サービスの充実
15. 介護施設や介護施設が減少すること、高齢者の負担が軽減すること
16. その他 ()
17. 他にない
18. わからない

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

3. 要介護認定者調査票

東京都福祉保健局より介護認定に関するアンケート調査

ようかいごんていしやちやうきようきよう 要介護認定者調査票

APPLICANTS
【要介護認定を受けておられる方へ】

拝見のみなさまへ、お願いの

このアンケート調査は、要介護認定を受けておられる方の生活を対象に、日常生活の状況、介護保険給付の満足状況、サービスの満足状況、今後の生活に関する考えを把握し、今後の施策（2021年度）4月から始める「高齢者の生活環境改善推進計画」の策定の参考資料とすることを目的と致しております。

つきましては、この調査にご協力いただき、ご協力いただいた事項を公表させていただきます。

<ご記入にあたってのお願い>

- ◎ このアンケート調査の調査日は、令和2年（2020年）1月1日です。
- ◎ このアンケート調査は、無記名による調査です。
- ◎ このアンケート調査は、香取市調査、茨城に在住の方のみ、「要介護認定」を受けておられる方から、随時抽出した約1,000人を対象として行います。
- ◎ 記入された調査票は事前の送付前編に入力して、**2月13日（水）まで**に送付ポストに投函してください。なお、郵送が確実かどうかはご自身でご確認ください。

〒285-0014

〒285-0014

東京都香取市千住5番1号 東京都福祉保健局

総務部 調査課 調査係

電話 072-727-9506（直通）ファクス 072-727-8539

ご記入いただいた個人情報について

- 本調査で作られた資料については、統計上による介護保険制度改善等の施策目的には利用しません。また当該資料については適切に管理します。
- ただし、介護保険制度改善計画に本調査で作られたデータを活用することもあり、厚生労働省が提供するデータベース等に情報を提供し、政策に際して活用・分析することもあります。
- 個人情報の提供も、調査結果は、調査の目的をもって統計等に活用を行い、個人のプライバシーへの配慮など、ご理解をいただけることと認めます。
- 本調査結果の公表等も、上記ご説明いただいたとおりとなります。

■ 附 1 ■
 高齢者介護者全体について

(1) 高齢者の認知と実態を把握し、いよいよ暮らし続けることのできる社会を創っていくためにはどのような政策、事業が「急務」と思われますか、より重要度が高いと思う項目3つまでOをつけてください。(Oは3つまで)

1. ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実
2. 在宅介護導入ホームなどの介護施設の充実
3. 施設や介護者の充実
4. 高齢者の認知や実態の調査と情報・調査・統計サービスの充実
5. 施設や在宅介護の中で、高齢者の生活を支える人材づくり
6. 設備づくり、労働者処遇の充実
7. 認知症に関する専門的な支援や相談の提供の拡充
8. 日常生活に支障をきたす高齢者の介護
9. 介護や認知症の緩和ケアサービスの充実
10. 高齢者が性別、年齢や世帯状況などへの配慮
11. ホンターケア施設など、施設で高齢者が生活に支障をきたす高齢者の介護
12. 高齢者を支える社会福祉ボランティアや市民活動のリーダーの育成
13. 高齢者を支える自治体の人的・物的資源の確保
14. 高齢者の暮らしの環境の整備・創出の充実
15. 認知症の予防や介護者負担の軽減、高齢者の権利を守ること
16. その他（ ）
17. 他にない
18. その他なし

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

箕面市保健福祉および介護保険に関するアンケート調査
報 告 書

発行年月 令和2年(2020年)3月
発 行 箕面市
編 集 箕面市 健康福祉部 高齢福祉室
〒562-0014 箕面市萱野5丁目8番1号
みのおライフプラザ内
電話 : 072-727-9505
ファクス : 072-727-3539